

授業評価 2019

—学生による授業評価報告書—

【2019年度新規開設科目】

2020年3月



授業評価 2019
— 学生による授業評価報告書 —
【2019 年度新規開設科目】

I. 「学生による授業評価 2019」の概要 ----- 1

- I-1. 目的
- I-2. 構成と内容
- I-3. 方法と期間
- I-4. 時系列分析
- I-5. 回答者の特性
- I-6. 評価結果の提供と公表
 - I-6-1. 評価結果の提供
 - I-6-2. 評価結果の公表
- I-7. その他

II. 評定尺度調査の分析結果 ----- 19

- II-1. 学部の分析結果
 - II-1-1. 項目平均から見た全体的傾向
 - II-1-2. 学習への取組み姿勢
 - II-1-3. 学部の授業評価
 - II-1-4. 学部の重回帰分析
- II-2. 大学院の分析結果
 - II-2-1. 項目平均から見た全体的傾向
 - II-2-2. 学習への取組み姿勢
 - II-2-3. 大学院の授業評価
 - II-2-4. 大学院の重回帰分析

III. 自由記述のまとめ ----- 103

- III-1. 学部
- III-2. 大学院

付録 ----- 202

2019 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

I. 「学生による授業評価 2019」の概要

I-1. 目的

本学では、授業に関する学生の理解の状況や満足感・充実感等を把握することによって、教育内容や教授方法、講義資料及び学習支援システム・施設等の改善に資することを目的とし、2005年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入した。本年度は、第15回目となり、例年の通り2019年度に新規開設した科目を評価の対象とした。

以下、その集計・分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

- (1) 個別授業科目の改善支援……個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) カリキュラム全体の改善支援……コース、プログラムにおける、より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) 認証評価に関わる資料提供……大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易ではない。そこには、次のような放送大学に固有の条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が付されるからである。

第1に、収録された放送授業は、4年間以上継続して放送する原則になっているため、授業評価で改善点が明らかになったとしても、即座に科目内容を修正することが難しい。

第2に、放送授業の主任講師は半数程度が客員教員であり、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないため、先行科目に対する評価は間接的なものとなり、往々にして参考程度の意味しか持たない。

第3に、公開大学である本学には入学試験がないこともあり、他の一般大学に比して学生集団が多様で流動性も高いため、まとまった評価傾向を見出すことは難しい。授業評価で得られた結果も他大学よりはるかに分散が大きい。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではない。事実、授業評価では毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」という意見と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」という意見は、常に同程度の頻度で見られる。もちろん、そうした意見の平均や中間点を見ても無意味であることは言うまでもない。

そして、第4に、放送大学は教員の5年任期制を採っており、再任のためには5年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。それを踏まえ、授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いるという確たる合意が必要とされるのである。

そのような本学特有の制約を伴う授業評価であるが、もちろん、全体として授業改善・カリキュラム改善に際しての欠くべからざる情報源であることに間違いはない。現在、本学では、学生による授業評価の結果を以下のような局面で有効に用いている。

- (1) 後続科目の作成にあたって、その大まかな内容や担当する講師の選定、難易度等をコース、プログラムで検討する際の重要な情報となる。
- (2) 開講の途中の年度であっても、授業評価で問題が指摘された箇所については、そうした指摘を参考に、科目内容に部分的修正を加えることが可能である。
- (3) 授業評価のうち、特に難易度に関する学生の指摘は、通信指導問題の修正や適切な難易度の単位認定試験問題を次学期以降に作成するうえで非常に役立つ。

今回の、そして今後の授業評価結果がそうした観点から積極的に利用されるべきものであることは言を俟たない。

I-2. 構成と内容

本学生による授業評価調査（放送授業）は、大きく分けて3つの部分からなっている。

第1は、当該科目への取組姿勢、放送授業、印刷教材、単位認定試験等について4段階で評価する評定尺度質問である。その内容は、①当該科目にどれだけ熱心に取り組んだかを示す回答者自身の自己評価と、②授業の難易度・分量、放送授業、印刷教材、通信指導・単位認定試験および全体的に見た授業評価の2つに分かれる。

第2は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらう形態を採った。

そして、第3は回答者の属性に関する質問である。

実際に使用した調査票については206、207頁を参照されたい。

I-3. 方法と期間

評価の対象としたのは、2019年度第1学期に本学で開講していた放送授業のうち、本年度に開設した科目、学部52科目、大学院11科目、計63科目である（表1-1参照）。このような選定システムにすることで、開設後4年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず1回授業評価の対象とされることになる。

表 1-1 コース・プログラム別の評価対象科目数および有効回答数

【学部】					【大学院】				
コース	科目数		有効回答		プログラム	科目数		有効回答	
	2019年度		2019年度			2019年度		2019年度	
	全開設	評価対象	人数	構成比		全開設	評価対象	人数	構成比
基盤科目	2	2	604	13%	生活健康科学	3	3	68	19%
基盤科目(外国語)	2	2	48	1%	人間発達科学	1	1	45	13%
生活と福祉	8	8	970	21%	臨床心理学	3	3	159	45%
心理と教育	5	5	780	17%	人文学	1	1	31	9%
社会と産業	12	12	505	11%	情報学	2	2	30	9%
人間と文化	8	8	949	21%	自然環境科学	1	1	17	5%
情報	6	6	307	7%	全体	11	11	350	100%
自然と環境	7	7	333	7%					
夏季集中科目(看護)	2	2	54	1%					
全体	52	52	4,550	100%					

※構成比は、四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない場合がある。

昨年度より、教務情報システム（システムWAKABA）のアンケート機能を用いたオンライン調査とし、評価対象科目を受講した学部 27,392 名、大学院 1,028 名、計 28,420 名（いずれも延べ人数）に対し、学内連絡及びメールにて周知を行い、実施した。

調査期間は第 1 学期単位認定試験終了後の 7 月 19 日から 9 月 30 日までの 74 日間とし、有効回答数は学部 4,550 票、大学院 350 票、計 4,900 票であった。無記名調査ながら、有効回答率は学部 16.6%、大学院 34.0%、全体で 17.2%と、2018 年度の有効回答率（2018 年度新規開設科目学部 5.5%、大学院 9.2%、全体 5.6%）と比較すると学部、大学院共に、有効回答率は大きく上がっている。

表 1-2 調査対象者数および有効回答率

	2019年新規開設科目			2018年新規開設科目			2017年新規開設科目		
	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率
学部	27,392	4,550	16.6%	38,586	2,136	5.5%	11,515	4,524	39.3%
大学院	1,028	350	34.0%	830	76	9.2%	1,512	705	46.6%
計	28,420	4,900	17.2%	39,416	2,212	5.6%	13,027	5,229	40.1%

I-4. 時系列分析

報告書の一部に過去2年度の調査との比較を掲載した。

本調査は原則として開講1年目の科目を対象とするため、調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は同一の科目同士あるいは同一科目から構成されるコース（プログラム）を比較対象としてこそ、その意義が発揮されるであろう。しかし、対象科目が異なるとはいえ、年度ごとに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になると思われる。

I-5. 回答者の特性

(1) 回答者の属性分布と母集団との比較

(次頁表 1-3) は、回答者の属性分布と母集団 (全受講登録者) の属性分布を比較したものである。両者を比較して、回答者の属性分布と母集団の属性分布間に乖離がないか確認を行う。

学部では、男性は+5.5 ポイント、女性は-5.5 ポイントで母集団との差は、男性でプラス、女性でマイナスであった。

年齢階層別では 19 歳以下~40 歳代までがマイナスで、20 歳代 (-7.8 ポイント) と 30 歳代 (-6.9 ポイント) が、母集団との差が大きかった。

反対に母集団より高かったのは 50 歳代~70 歳以上で、50 歳代 (+9.1 ポイント) と 60 歳代 (+8.2 ポイント) が特に差が大きかった。

学生種別では全科履修生が+12.0 ポイントと母集団から最も大きく乖離しており、反対に選科履修生が-11.2 ポイントで、科目履修生 (-0.8 ポイント) は、母集団とほとんど変わらなかった。

一方、大学院の性別では男性が+2.7 ポイント、女性は-2.7 ポイントであった。

年齢階層別では 20 歳代 (-2.3 ポイント) と 30 歳代 (-1.1 ポイント) 及び 70 歳以上 (-2.3 ポイント) が母集団より低く、40 歳代~60 歳代が高かった。

特に 60 歳代は+4.5 ポイントと年齢階層別の中で、最も母集団との差が大きかった。

学生種別では修士全科生が、母集団から大きく乖離しており、20.8 ポイント上回っていた。

修士選科生は-17.5 ポイント、修士科目生は-3.3 ポイントであった。

表 1 - 3 回答者の属性分布

【学部】

		2019年新規開設科目			2018年新規開設科目			2017年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	46.8%	41.3%	5.5Pt	51.3%	45.5%	5.8Pt	48.2%	42.0%	6.2Pt
	女性	53.2%	58.7%	▲5.5Pt	48.7%	54.5%	▲5.8Pt	50.2%	58.0%	▲7.8Pt
年齢階層別	19歳以下	1.4%	2.6%	▲1.3Pt	0.3%	1.9%	▲1.6Pt	0.4%	1.0%	▲0.6Pt
	20～29歳	6.7%	14.4%	▲7.8Pt	5.9%	11.2%	▲5.3Pt	6.8%	12.7%	▲5.9Pt
	30～39歳	11.5%	18.4%	▲6.9Pt	12.1%	14.8%	▲2.7Pt	11.1%	17.1%	▲6.0Pt
	40～49歳	21.6%	25.6%	▲4.0Pt	25.8%	22.3%	3.5Pt	20.5%	24.9%	▲4.4Pt
	50～59歳	26.9%	17.8%	9.1Pt	27.6%	19.6%	8.0Pt	19.1%	19.6%	▲0.5Pt
	60～69歳	21.5%	13.4%	8.2Pt	23.3%	17.8%	5.5Pt	27.0%	17.0%	10.0Pt
	70歳以上	10.4%	7.7%	2.7Pt	5.0%	12.5%	▲7.5Pt	14.7%	7.7%	7.0Pt
学生種別	全科履修生	74.6%	62.6%	12.0Pt	83.0%	67.1%	15.9Pt	75.3%	72.5%	2.8Pt
	選科履修生	16.9%	28.1%	▲11.2Pt	13.2%	24.5%	▲11.3Pt	17.7%	21.2%	▲3.5Pt
	科目履修生	8.5%	9.3%	▲0.8Pt	3.8%	8.4%	▲4.6Pt	6.1%	6.2%	▲0.1Pt
人数(N)		4,550	82,176	-	2,136	-	-	4,524	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

Pt: ポイント

【大学院】

		2019年新規開設科目			2018年新規開設科目			2017年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団	母集団
性別	男性	54.9%	52.1%	2.7Pt	73.7%	56.7%	17.0Pt	51.1%	54.3%	▲3.2Pt
	女性	45.1%	47.9%	▲2.7Pt	26.3%	43.3%	▲17.0Pt	46.4%	45.7%	0.7Pt
年齢階層別	20～29歳	3.1%	5.4%	▲2.3Pt	5.3%	3.3%	2.0Pt	1.6%	4.8%	▲3.2Pt
	30～39歳	14.3%	15.4%	▲1.1Pt	28.9%	13.5%	15.4Pt	9.2%	12.0%	▲2.8Pt
	40～49歳	22.6%	21.9%	0.7Pt	19.7%	25.5%	▲5.8Pt	17.2%	21.5%	▲4.3Pt
	50～59歳	28.9%	28.4%	0.5Pt	32.9%	30.3%	2.6Pt	30.1%	28.6%	1.5Pt
	60～69歳	25.4%	20.9%	4.5Pt	6.6%	19.9%	▲13.3Pt	30.8%	25.7%	5.1Pt
	70歳以上	5.7%	8.0%	▲2.3Pt	6.6%	7.5%	▲0.9Pt	10.6%	7.4%	3.2Pt
学生種別	修士全科生	36.3%	15.5%	20.8Pt	53.9%	17.6%	36.3Pt	28.6%	20.5%	8.1Pt
	修士選科生	57.4%	74.9%	▲17.5Pt	42.1%	70.2%	▲28.1Pt	62.6%	71.1%	▲8.5Pt
	修士科目生	6.3%	9.6%	▲3.3Pt	3.9%	12.2%	▲8.3Pt	7.7%	8.4%	▲0.7Pt
人数(N)		350	1,028	-	76	-	-	705	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

Pt: ポイント

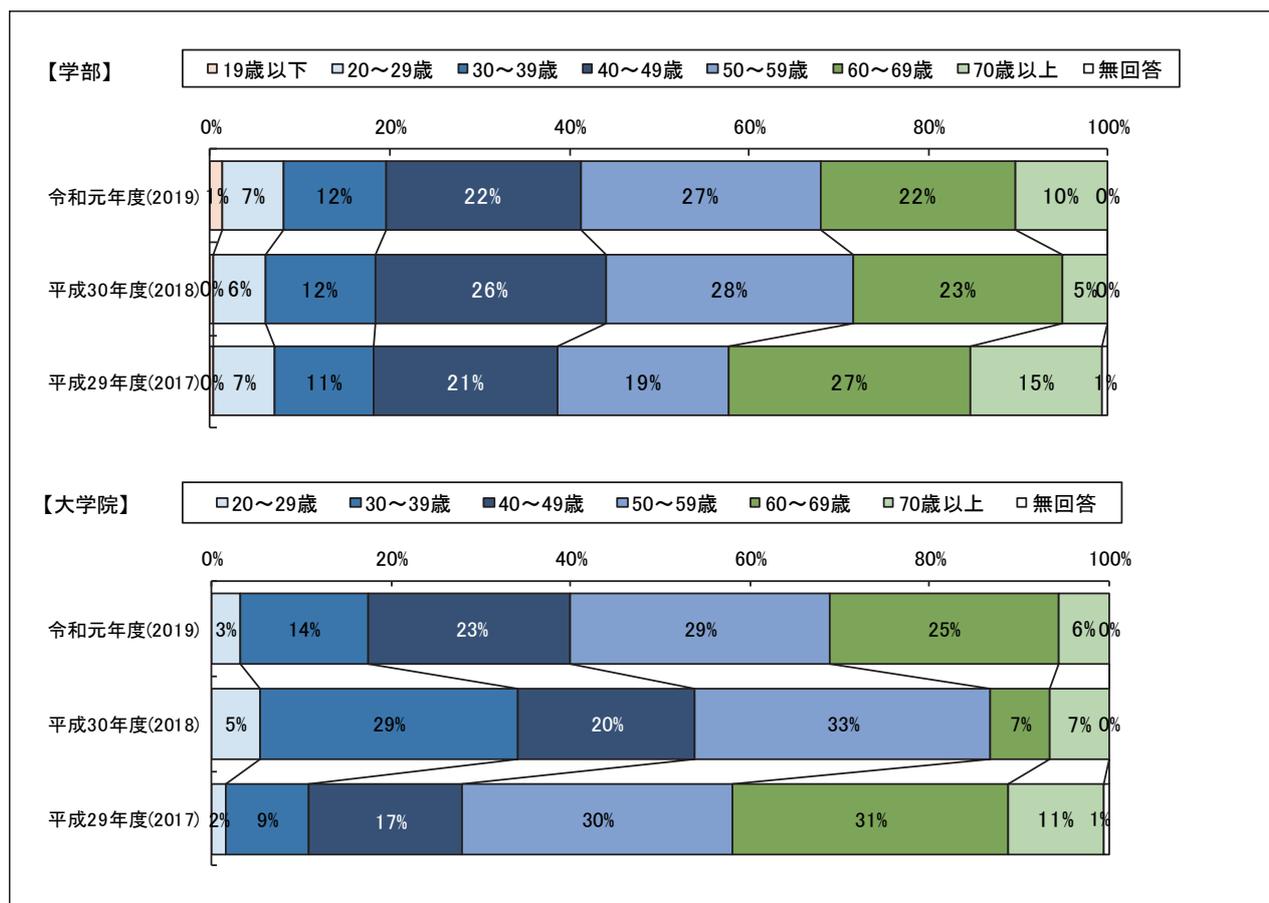
以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらに見ていくことにする。

(2) 年齢階層別の分布（2019年新規開設科目）

年齢階層別に本年度（2019年新規開設科目）の回答者の分布を見ると（図1-1）、学部では50歳代が最も多く27%、次いで40歳代と60歳代が22%を占めた。昨年度と比べると、70歳代以上が10%と倍増している。

大学院では昨年度との比較で、60歳代が25%と大幅な増加が見られ、反対に30歳代が14%と半減していた。

図1-1 年齢階層別回答者



(3) 性別の傾向 (2019年新規開設科目)

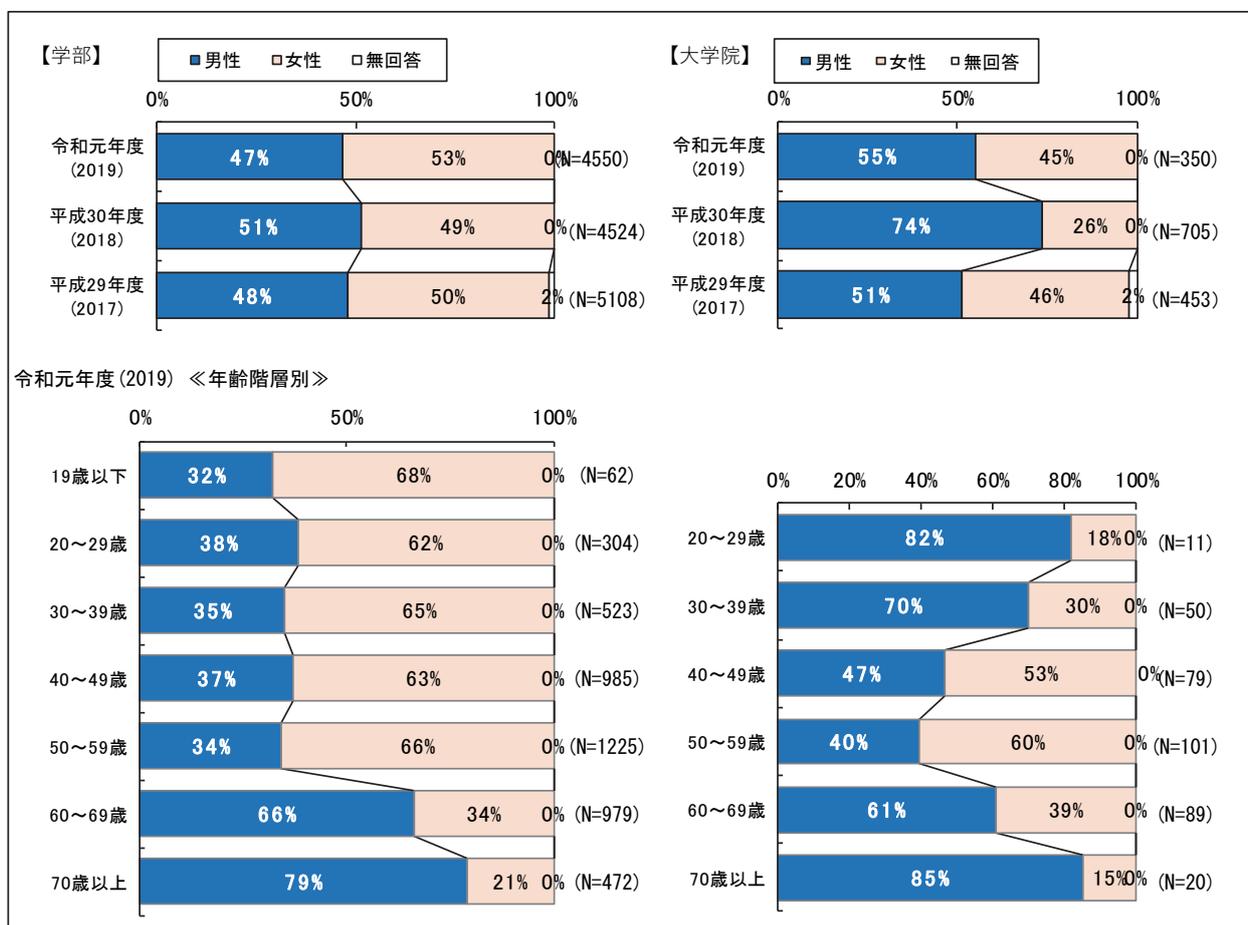
性別で見ると (図1-2)、学部は「男性」47%、「女性」53%で、昨年度と比べると「男性」の割合が減り、女性が過半数となった。

年代別では19歳以下から50歳代までは女性の割合が男性の倍近くと圧倒的に多く、60歳代と70歳以上では、反対に男性が極端に多かった。

大学院では、「男性」55%、「女性」45%で昨年度より男女間の差が縮まり、昨年度から「女性」は19ポイントの大幅な増加となった。

年齢階層別で最も男女間の差が大きかったのは20歳代と70歳以上で、それぞれ男性が82%と85%を占めていた。

図1-2 性別回答者



(4) 職業別分布 (2019年新規開設科目)

職業別では(図1-3)、学部は「会社員」と「無職」が最も多く21%、次いで「パート・アルバイト」が14%で上位であった。

時系列で見ると、昨年度よりも「教員」が増え、「会社員」が減っていた。

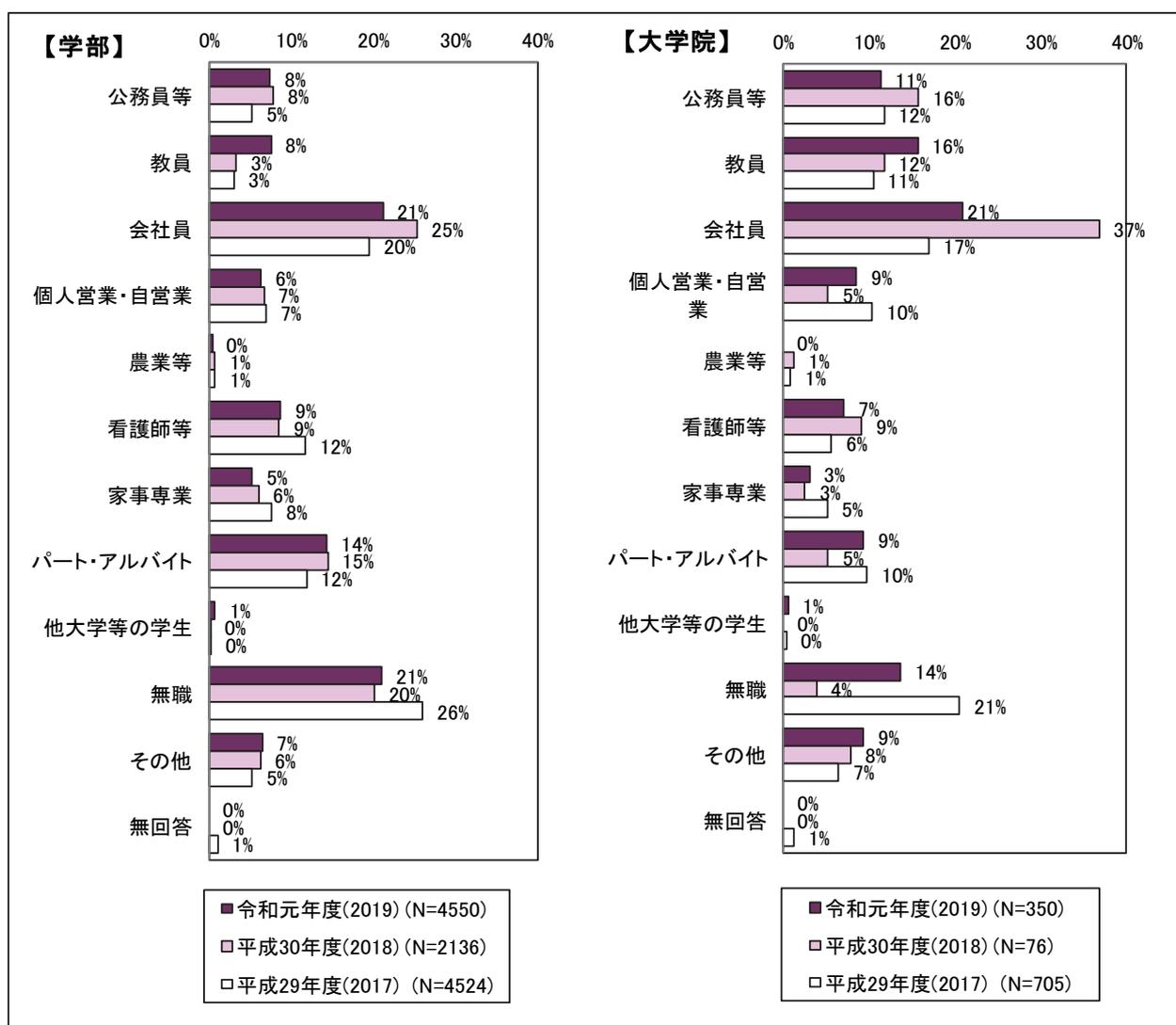
大学院では「会社員」が21%と最多で、次に「教員」16%、「無職」14%と続いた。

時系列で見ると、昨年度よりも「無職」が大幅な増加で(+10ポイント)、他に「教員」「パート・アルバイト」等もわずかに増えていた。

反対に「会社員」が16ポイント減と急激な落ち込みが見られた。

なお、ここでの年齢別、性別、職業別の回答者の割合は、調査対象年度の科目による相違も影響しているので、放送大学の全学生の構成や時系列変化とは必ずしも同じではないことに注意されたい。

図1-3 職業別回答者

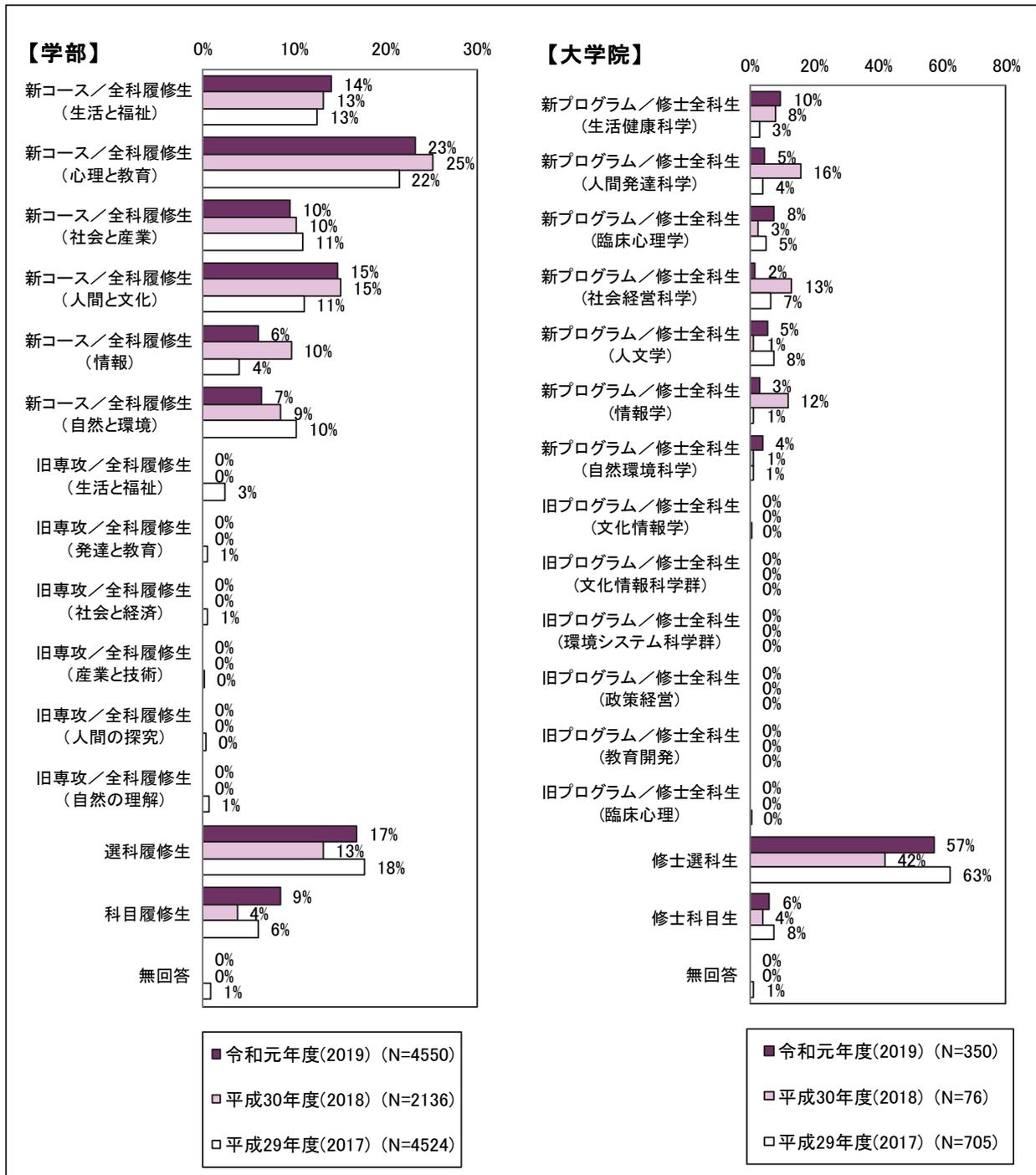


(5) 所属コース（プログラム）別分布（2019年新規開設科目）

次に学生の所属コース（プログラム）別の分布では（図1-4）、学部は全科履修生が75%を占め、そのうち新コース所属が大半で、旧専攻所属はほとんどいなかった。全科履修生の中では、新コースの「心理と教育」（23%）、「人間と文化」（15%）、「生活と福祉」（14%）が上位を占めた。

大学院では修士選科生が57%を占めており、修士全科生が36%、修士科目生が6%であった。修士全科生の所属プログラムでは「生活健康科学」（10%）、「臨床心理学」（8%）、が上位を占めていた。

図1-4 学生の所属コース（プログラム）別回答者



I-6. 評価結果の提供と公表

I-6-1. 評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という3つの大きな目的のもとに実施開始年度当初に企画された。また、当時の授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1) 当該科目を担当した主任講師への提供……担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び自由記述部分が含まれる。
- (2) コース主任及びプログラム・コーディネーターへの提供……全てのコース・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3) 教授会及び教務委員会等関連委員会への提供……大学全体のカリキュラム編成に関する検討や意思決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。

実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、13頁～18頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

I-6-2. 評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果は授業改善の目的で用いることに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表を強く求められていることから、以下のことを基本的な方針とすることとしている。

(1) 公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民への説明責任等を勘案するならば、言うまでもなくそれが理の当然である。そこで、当面は以下に示す形態で公表していくこととする。

(2) 公表する内容

以下のデータに関して公表することとする。

- ① 調査の概要 : 授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等
- ② 回答者の概要 : 基本属性別に見た有効回答者数
- ③ 評点平均 : 全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問の評点平均値
- ④ 自由記述の概略 : 特徴的・代表的な記述

(3) 公表の方法

(2)の内容について、放送大学ホームページ及び広報誌「On Air」紙上等で適宜公表することを基本とする。

I-7. その他

オンライン授業科目について

2015年度から開設されたオンライン授業科目については、原則放送授業に準じた授業評価項目をアンケート調査することとしているが、次の理由により全体集計には入れず、「Ⅲ. 自由記述のまとめ」に当該科目の自由記述の集計等を参考情報として掲載するに留める。

- ・ 調査時期（4月5日～9月2日）や方法（オンライン上での調査・集計）が異なること
- ・ 放送授業と同様に調査できない項目が一部あること（例：印刷教材を作成していない）
- ・ 対象科目が少ない（学部5科目、大学院5科目）こと

提供資料サンプル【学部】

学部 1 2019年度学生による授業評価の調査結果【2019年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○

（○○○○）

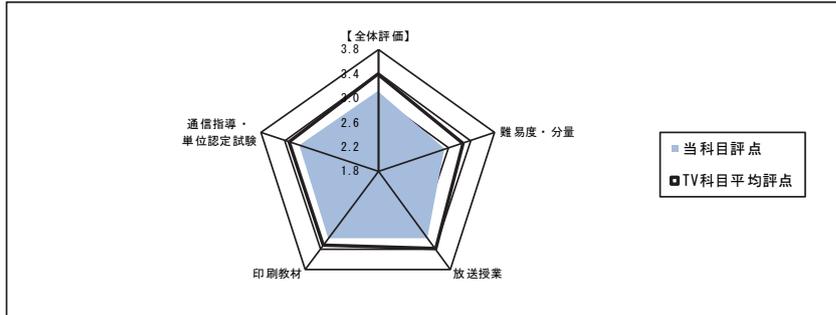
教員氏名 ○○○○

（注）平均評点は、「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出。

1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	TV科目平均評点	
取組み姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	208	44%	33%	18%	5%	3.17	3.44	3.46	-0.29
	A-2 放送授業を十分に視聴した	208	46%	33%	17%	5%	3.20	3.25	3.32	-0.12
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	208	30%	46%	21%	3%	3.03	3.39	3.39	-0.36

2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	TV科目平均評点	
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	208	23%	52%	18%	8%	2.89	3.25	3.23	-0.34
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	208	29%	44%	21%	6%	2.95	3.31	3.29	-0.34
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	208	21%	52%	23%	5%	2.89	3.25	3.23	-0.34
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	208	30%	50%	15%	5%	3.06	3.32	3.30	-0.24
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	208	33%	36%	24%	6%	2.97	3.31	3.35	-0.38
	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	208	53%	36%	6%	5%	3.38	3.50	3.54	-0.16
	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	208	35%	44%	14%	8%	3.06	3.34	3.37	-0.31
	B-8 テレビの特性が十分に生かされていると感じた	208	50%	32%	9%	9%	3.23	3.23	3.32	-0.09
印刷教材	B-9 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	208	36%	47%	14%	3%	3.17	3.34	3.35	-0.18
	B-10 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	208	29%	46%	21%	5%	2.98	3.25	3.25	-0.27
	B-11 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	208	46%	47%	6%	2%	3.36	3.18	3.31	0.05
	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	208	33%	50%	14%	3%	3.14	3.32	3.34	-0.20
通信指導・単位認定試験	B-13 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	208	30%	52%	11%	8%	3.05	3.32	3.32	-0.27
	B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った	208	47%	42%	8%	3%	3.33	3.42	3.42	-0.09
	B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度を高めるのにふさわしい内容だった	208	38%	35%	20%	8%	3.03	3.25	3.22	-0.19
全体評価	B-16 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	208	39%	46%	11%	5%	3.20	3.34	3.34	-0.14
	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	208	39%	41%	15%	5%	3.15	3.42	3.42	-0.27
	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	208	56%	35%	5%	5%	3.42	3.52	3.51	-0.09
	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた	208	20%	47%	24%	9%	2.77	3.21	3.20	-0.43
B-20 この科目の内容には全体として満足している	208	33%	42%	20%	5%	3.05	3.39	3.40	-0.35	

3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	全科履修生（新コース所属）						全科履修生（旧コース所属）	全科履修生【小計】	選科履修生	科目履修生	無回答	計
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報コース	自然と産業	0	161	38	9	0	208
	17	38	33	51	10	12						

性別	男性	女性	無回答	計
	100	108	0	208

年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
	8	13	29	44	59	44	11	0	208

職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
		18	6	61	13	0	5	14	39	1	37	14	0

通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導	無回答	計
	受験	未受験	未提出		
	188	7	7	6	208

単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ		ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ		放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ		無回答	計
		19	27	162	0	0	208	

			A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ							A-2 放送授業を十分に視聴した							A-3 印刷教材を熱心に学習した									
			回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定 評価	評点 平均	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定 評価	評点 平均	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定 評価	評点 平均
				4	3	2	1	無回答				4	3	2	1	無回答				4	3	2	1	無回答		
合計（全体）			2136	54%	37%	8%	1%	0%	91%	3.44	2136	48%	33%	15%	4%	0%	81%	3.25	2136	51%	38%	10%	1%	0%	89%	3.39
学生種別	全科	生活と福祉	284	51%	38%	9%	2%	0%	89%	3.39	284	43%	33%	17%	6%	0%	76%	3.13	284	55%	34%	10%	1%	0%	89%	3.42
		心理と教育	541	53%	37%	8%	1%	0%	91%	3.43	541	46%	34%	17%	4%	0%	79%	3.20	541	49%	40%	11%	1%	0%	89%	3.37
		社会と産業	219	54%	38%	7%	0%	0%	93%	3.47	219	47%	33%	16%	5%	0%	80%	3.21	219	52%	40%	8%	1%	0%	91%	3.42
		人間と文化	322	63%	31%	6%	0%	0%	94%	3.57	322	62%	26%	10%	2%	0%	88%	3.47	322	62%	30%	8%	0%	0%	92%	3.53
		情報	208	47%	39%	11%	3%	0%	86%	3.29	208	47%	33%	15%	6%	0%	79%	3.20	208	42%	40%	14%	4%	0%	82%	3.20
		自然と産業	183	50%	43%	7%	1%	0%	93%	3.42	183	42%	39%	13%	6%	0%	81%	3.18	183	41%	45%	13%	1%	0%	86%	3.26
	全科（旧専攻所属）	16	56%	38%	6%	0%	0%	94%	3.50	16	44%	44%	13%	0%	0%	88%	3.31	16	63%	31%	6%	0%	0%	94%	3.56	
	全科履修生 【小計】	1773	54%	37%	8%	1%	0%	91%	3.44	1773	48%	33%	15%	5%	0%	81%	3.24	1773	51%	38%	10%	1%	0%	89%	3.38	
	選科履修生	282	54%	38%	7%	1%	0%	92%	3.44	282	49%	33%	14%	5%	0%	82%	3.26	282	50%	42%	7%	0%	0%	92%	3.42	
	科目履修生	81	57%	36%	7%	0%	0%	93%	3.49	81	48%	37%	14%	1%	0%	85%	3.32	81	53%	41%	6%	0%	0%	94%	3.47	
認定試験・ 通信指導	単位 試験 認定	受験	2008	55%	37%	7%	1%	0%	92%	3.46	2008	49%	33%	14%	4%	0%	82%	3.26	2008	52%	39%	9%	1%	0%	91%	3.42
		未受験	81	28%	37%	26%	9%	0%	65%	2.85	81	32%	35%	27%	6%	0%	67%	2.93	81	25%	37%	32%	6%	0%	62%	2.80
	通信指導未提出	11	27%	46%	18%	9%	0%	73%	2.91	11	27%	18%	46%	9%	0%	46%	2.64	11	36%	36%	27%	0%	0%	73%	3.09	

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。

2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。

3. 評点については、選択肢「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

提供資料サンプル【学部】

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(学部)

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	<p>[全科履修生 新コース所属の方]</p> <p>1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境</p> <p>[全科履修生 旧専攻所属の方]</p> <p>7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解</p> <p>[選科履修生・科目履修生]</p> <p>13. 選科履修生 14. 科目履修生</p>
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

提供資料サンプル【大学院】

大学院1

2019年度学生による授業評価の調査結果【2019年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○

(○○○○)

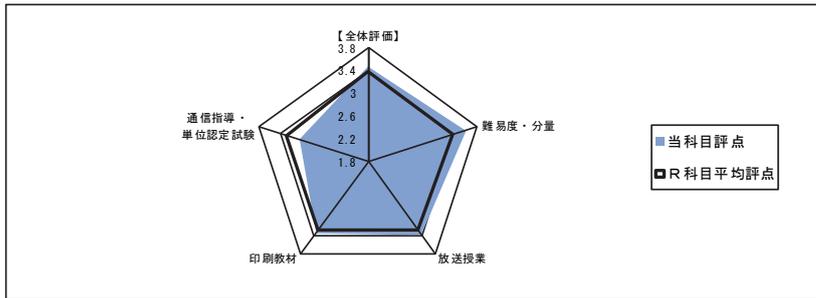
教員氏名 ○○○○

(注) 平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、R科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点	
取組姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	45	43%	57%	0%	0%	3.43	3.53	3.53	-0.10
	A-2 放送授業を十分に視聴した	45	29%	43%	29%	0%	3.00	3.32	3.32	-0.32
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	45	57%	43%	0%	0%	3.57	3.53	3.53	0.04

2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、R科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点	
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	45	14%	86%	0%	0%	3.14	3.37	3.37	-0.23
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	45	14%	86%	0%	0%	3.14	3.38	3.38	-0.24
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	45	71%	29%	0%	0%	3.71	3.41	3.41	0.30
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	45	57%	43%	0%	0%	3.57	3.41	3.41	0.16
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	45	29%	57%	14%	0%	3.14	3.21	3.21	-0.07
	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	45	57%	43%	0%	0%	3.57	3.42	3.42	0.15
	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	45	29%	71%	0%	0%	3.29	3.36	3.36	-0.07
	B-8 映像がなくても十分理解できる内容と感じた	45	29%	57%	14%	0%	3.14	3.05	3.05	0.09
印刷教材	B-9 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	45	29%	71%	0%	0%	3.29	3.22	3.22	0.07
	B-10 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	45	43%	57%	0%	0%	3.43	3.26	3.26	0.17
	B-11 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	45	0%	86%	14%	0%	2.86	3.20	3.20	-0.34
	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	45	29%	71%	0%	0%	3.29	3.33	3.33	-0.04
通信指導・単位認定試験	B-13 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	45	14%	71%	14%	0%	3.00	3.11	3.11	-0.11
	B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った	45	14%	86%	0%	0%	3.14	3.25	3.25	-0.11
	B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった	45	29%	43%	29%	0%	3.00	3.13	3.13	-0.13
全体評価	B-16 授業科目内はこの科目の内容を知る上で役に立った	45	14%	71%	14%	0%	3.00	3.26	3.26	-0.26
	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	45	57%	43%	0%	0%	3.57	3.47	3.47	0.10
	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	45	71%	14%	14%	0%	3.57	3.55	3.55	0.02
	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた	45	43%	57%	0%	0%	3.43	3.30	3.30	0.13
	B-20 この科目の内容には全体として満足している	45	29%	71%	0%	0%	3.29	3.36	3.36	-0.07

3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	修士全科生（新コース所属）										計			
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	人文学	情報学	自然環境科学	修士全科生（旧コース所属）	修士全科生【小計】	修士選科生		修士科目生	無回答	
	3	9	0	0	1	0	0	14	26	5	0	45		
性別	男性	女性	無回答	計	年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
	27	18	0	45	0	0	7	7	11	14	6	0	45	
職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計	
	3	7	7	6	0	4	2	1	2	10	3	0	45	
通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導		無回答	計	単位認定のための学習方法			無回答	計			
	受験	未受験	未提出	提出			ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ					
	43	2	0	0	45	5	13	27	0	45				

			A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ							A-2 放送授業を十分に視聴した							A-3 印刷教材を熱心に学習した									
			回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	評点平均	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	評点平均	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	評点平均
				4	3	2	1	無回答				4	3	2	1	無回答				4	3	2	1	無回答		
合計（全体）			76	57%	40%	4%	0%	0%	96%	3.53	76	47%	37%	16%	0%	0%	84%	3.32	76	58%	37%	5%	0%	0%	95%	3.53
学生種別	修士全科	生活健康科学	6	17%	67%	17%	0%	0%	83%	3.00	6	33%	67%	0%	0%	0%	100%	3.33	6	33%	50%	17%	0%	0%	83%	3.17
		人間発達科学	12	83%	17%	0%	0%	0%	100%	3.83	12	58%	33%	8%	0%	0%	92%	3.50	12	83%	17%	0%	0%	0%	100%	3.83
		臨床心理学	2	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	2	50%	0%	50%	0%	0%	50%	3.00	2	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00
		社会経営科学	10	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	10	80%	0%	20%	0%	0%	80%	3.60	10	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00
		人文学	1	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	1	0%	100%	0%	0%	0%	100%	3.00	1	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00
		情報学	9	44%	56%	0%	0%	0%	100%	3.44	9	33%	56%	11%	0%	0%	89%	3.22	9	33%	44%	22%	0%	0%	78%	3.11
		自然環境科学	1	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	1	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	1	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00
	修士全科生【小計】		41	71%	27%	2%	0%	0%	98%	3.68	41	54%	34%	12%	0%	0%	88%	3.41	41	71%	22%	7%	0%	0%	93%	3.63
	修士選科生		32	38%	56%	6%	0%	0%	94%	3.31	32	34%	44%	22%	0%	0%	78%	3.13	32	44%	53%	3%	0%	0%	97%	3.41
	修士科目生		3	67%	33%	0%	0%	0%	100%	3.67	3	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	3	33%	67%	0%	0%	0%	100%	3.33
認定試験・通信指導	試験単位認定	受験	74	57%	41%	3%	0%	0%	97%	3.54	74	47%	37%	16%	0%	0%	84%	3.31	74	58%	37%	5%	0%	0%	95%	3.53
		未受験	2	50%	0%	50%	0%	0%	50%	3.00	2	50%	50%	0%	0%	0%	100%	3.50	2	50%	50%	0%	0%	0%	100%	3.50
	通信指導未提出	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。

2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。

3. 評点については、選択肢「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

Ⅱ. 評定尺度調査の分析結果

【評定尺度調査の分析にあたって】

今回用いた評定尺度は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」による4段階評価である。本報告書においては、データの理解や分析のしやすさを考慮し、便宜的に4段階のカテゴリーに4～1の点数を振り、その平均値を算出することによって、データの代表値とした。ただし評定尺度の各カテゴリーに振られた「数字」を「数値」として加減乗除の演算をすることは、厳密に言えば統計処理として適切でない。3が2よりもあてはまる程度が大きいことは言えても、4と3の間と3と2の間が等距離（つまり1の間隔）だという保証はどこにもないからである。しかし4つのカテゴリーごとの相対度数（パーセント）から何らかの傾向を掴み取ることは容易ではないため、平均値を回答の傾向を推察する目安の1つとして用いたい。

また、ここでの平均値は何らかの単位を持つものではないので、データ同士の相対比較でのみ、その傾向を読み取ることになる。仮にある項目の平均値が、他の項目より低かったとしても、大部分の回答者がその項目に対して肯定的な評価をしていれば、その項目の評価は低いと簡単に断言できるものではないからである。つまり絶対的な評価が把握しにくいと言える。そこで、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した対象者の割合を同時に提示した。これによって、その評価項目に対し肯定的評価をしている学生がいかほどの割合で存在するかを推測する目安とする。

さらに回答者の属性ごとの回答者数を提示する。本来ならば、グラフ等のデータごとに回答者数を示すべきであるが、データの構造上、全てのデータに回答者数を掲載すると極めて煩雑になるため、ここに一括して掲載することにした（次頁表2-1）。以下、本章においては、常に次頁の回答者数に基づいてデータを見る必要がある。特に回答者数の少ない層ほど誤差が大きくなる傾向で、注意が必要である。

たとえば、大学院では職業別の「家事専業」（11人）、「他大学等の学生」（2人）、「（農業等）」は0人）年齢階層別の「20～29歳」（11人）、プログラム別の「自然環境科学」（17人）が挙げられる。

いずれも参考値としてグラフに記載しているが、極端な値の時は、コメントを割愛する場合がある。

表 2 - 1 回答者数一覧

【学部】

全体	4550	(単位:人)	
メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	2,783	19歳以下	62
ラジオ科目(R)	1,767	20～29歳	304
職業		30～39歳	523
公務員等	343	40～49歳	985
教員	346	50～59歳	1225
会社員	963	60～69歳	979
個人営業・自営業	292	70歳以上	472
農業等	20	コース	
看護師等	400	一般科目	604
家事専業	239	外国語	48
パート・アルバイト	653	生活と福祉	970
他大学等の学生	37	心理と教育	780
無職	960	社会と産業	505
その他	297	人間と文化	949
		情報	307
		自然と環境	333
		夏季集中科目(看護)	54

【大学院】

全体	350	(単位:人)	
メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	-	20～29歳	11
ラジオ科目(R)	350	30～39歳	50
職業		40～49歳	79
公務員等	40	50～59歳	101
教員	55	60～69歳	89
会社員	73	70歳以上	20
個人営業・自営業	30	プログラム	
農業等	0	生活健康科学	68
看護師等	25	人間発達科学	45
家事専業	11	臨床心理学	159
パート・アルバイト	33	人文学	31
他大学等の学生	2	情報学	30
無職	48	自然環境科学	17
その他	33		

Ⅱ-1. 学部の分析結果

Ⅱ-1-1. 項目平均から見た全体的傾向

ここからは、A-1～B-20 の評価項目（13 頁の提供資料サンプルを参照）ごとに、平均値と肯定的評価のグラフを基に、そのデータから目立つ点や、特徴的傾向を記述していくことにする。

平均値は、評価項目の選択肢である「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」に対して順に 4 点、3 点、2 点、1 点の得点を与え、その得点合計を回答者数で割った値である。全員が「あてはまる」とした場合、平均値は 4.00 で最も高くなり、全員が「あてはまらない」とすると最低の 1.00 となる。

また、肯定的評価は文字通り「あてはまる」と「ややあてはまる」の比率の合計である。

平均値より肯定的な評価の方が（例えば回答者の 80%と）イメージしやすく、平均値と肯定的評価に齟齬が出た場合、どちらを採るか合理的な判断ができないので、記述については肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

また、過去 2 年間との年度間の比較（22 頁、24 頁等）の箇所は、比率の差の検定結果から、回答者数(2136 人～4550 人)が多いため、各比率の差が概ね 2 ポイントで有意となり、2 ポイント以上で差があることとした。

テレビ科目とラジオ科目のメディア間の比較では、同検定結果から概ね 3 ポイントで有意差が見られるため、3 ポイント以上で差があることとした。

図 2-1 の肯定的評価では各項目とも 87%前後と 8 割後半で、特に『全体評価』は 89%と最も高い評価を得ていた。

『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均 (A-1～B-20)』はそれぞれ 87%と同率の評価であった。

図 2-1 【学部】項目平均による全体的傾向

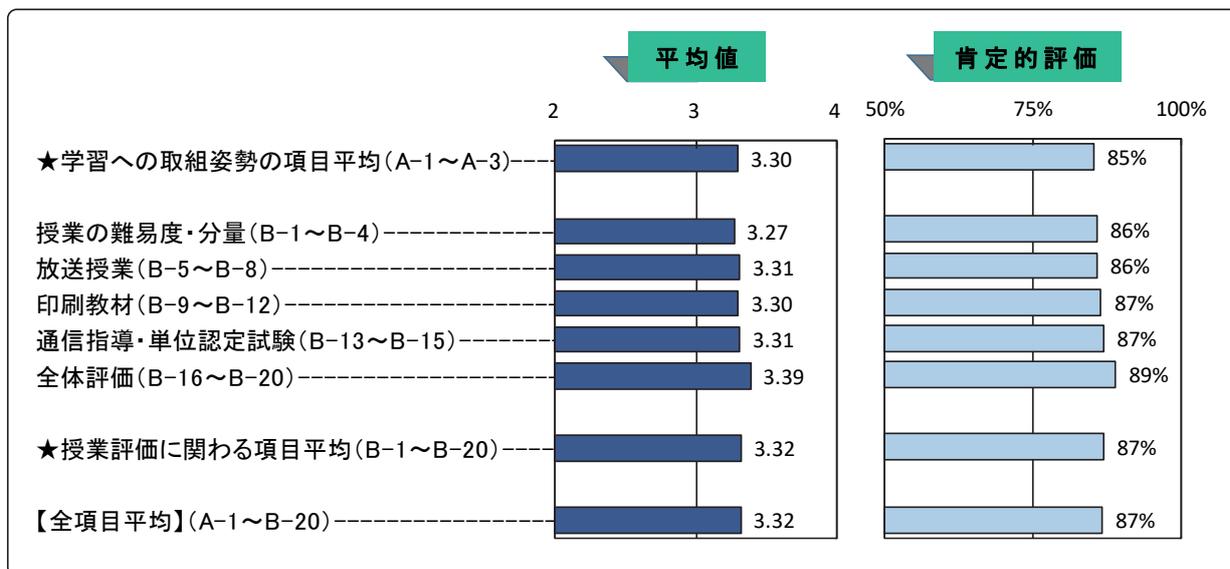
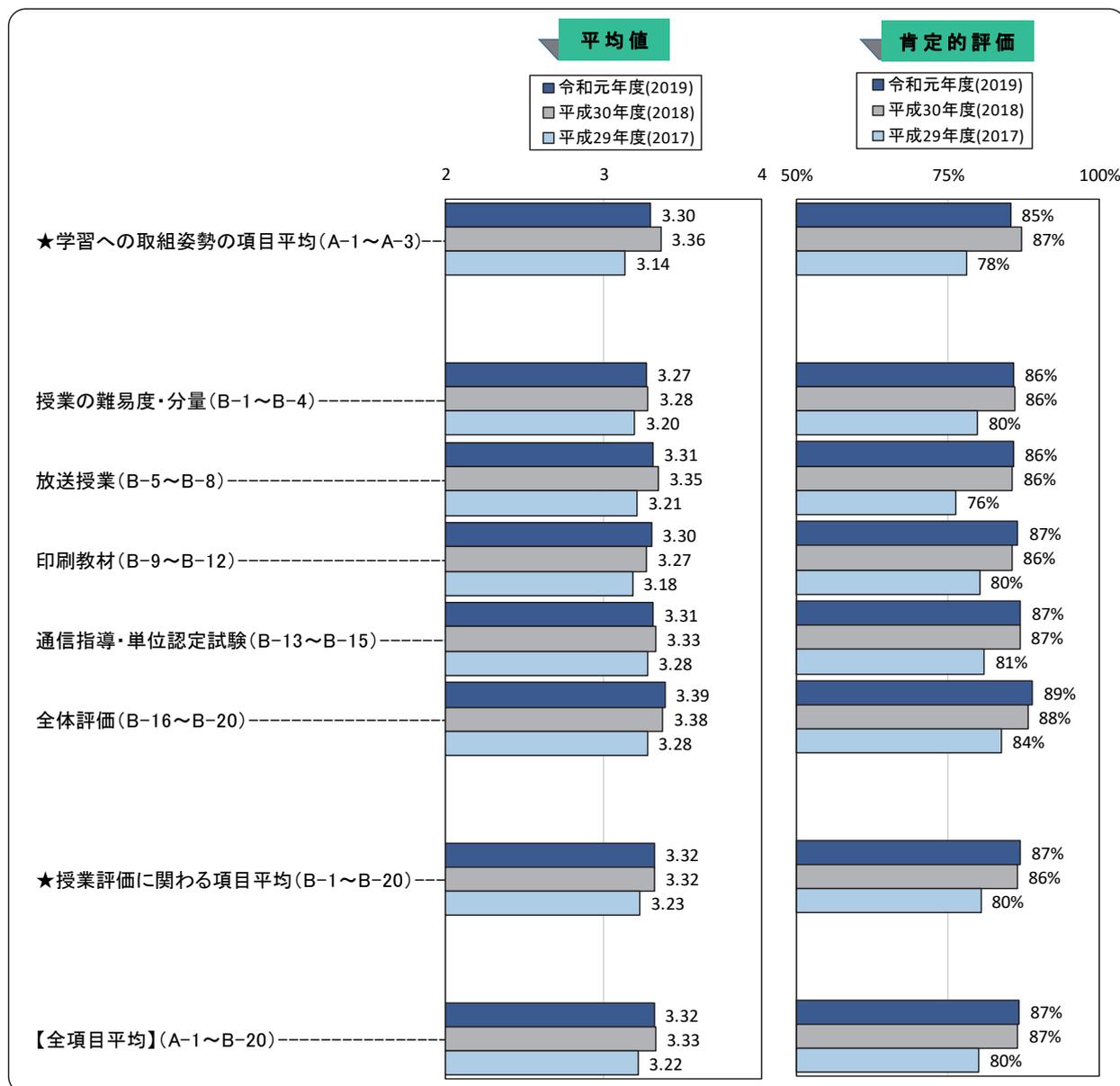


図2-2の項目平均による全体的傾向では、本年度と過去2年度を比較すると、本年度は、『学習への取組み姿勢』(85%)が昨年度よりわずかに下回ったが、授業評価項目では『全体評価』までの5項目で、一昨年度からの上昇を昨年度と変わらず維持していた。

『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』でも一昨年度からの上昇を維持している。

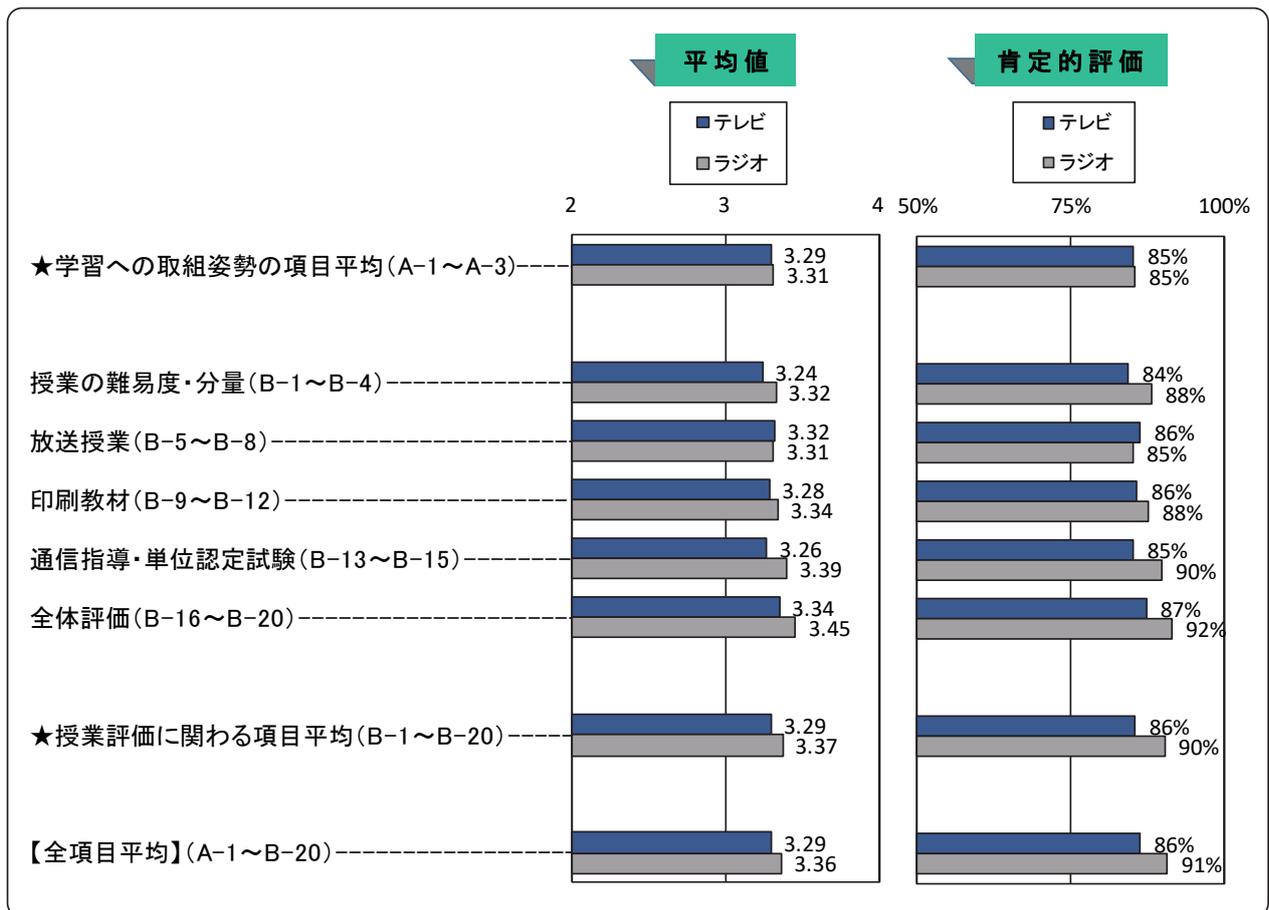
図2-2 【学部】項目平均による全体的傾向(開設年度比較)



メディア別では（図2-3）、テレビ科目（n=2783）とラジオ科目（n=1767）のメディア間で『学習への取組み姿勢』は各メディア受講生の評価は85%と変わらなかった。

授業評価項目の『放送授業』、『印刷教材』については、共に86%前後と変わらなかったが、残る5項目では4~5ポイントの差で、ラジオ科目受講生の評価が高かった。

図2-3 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向

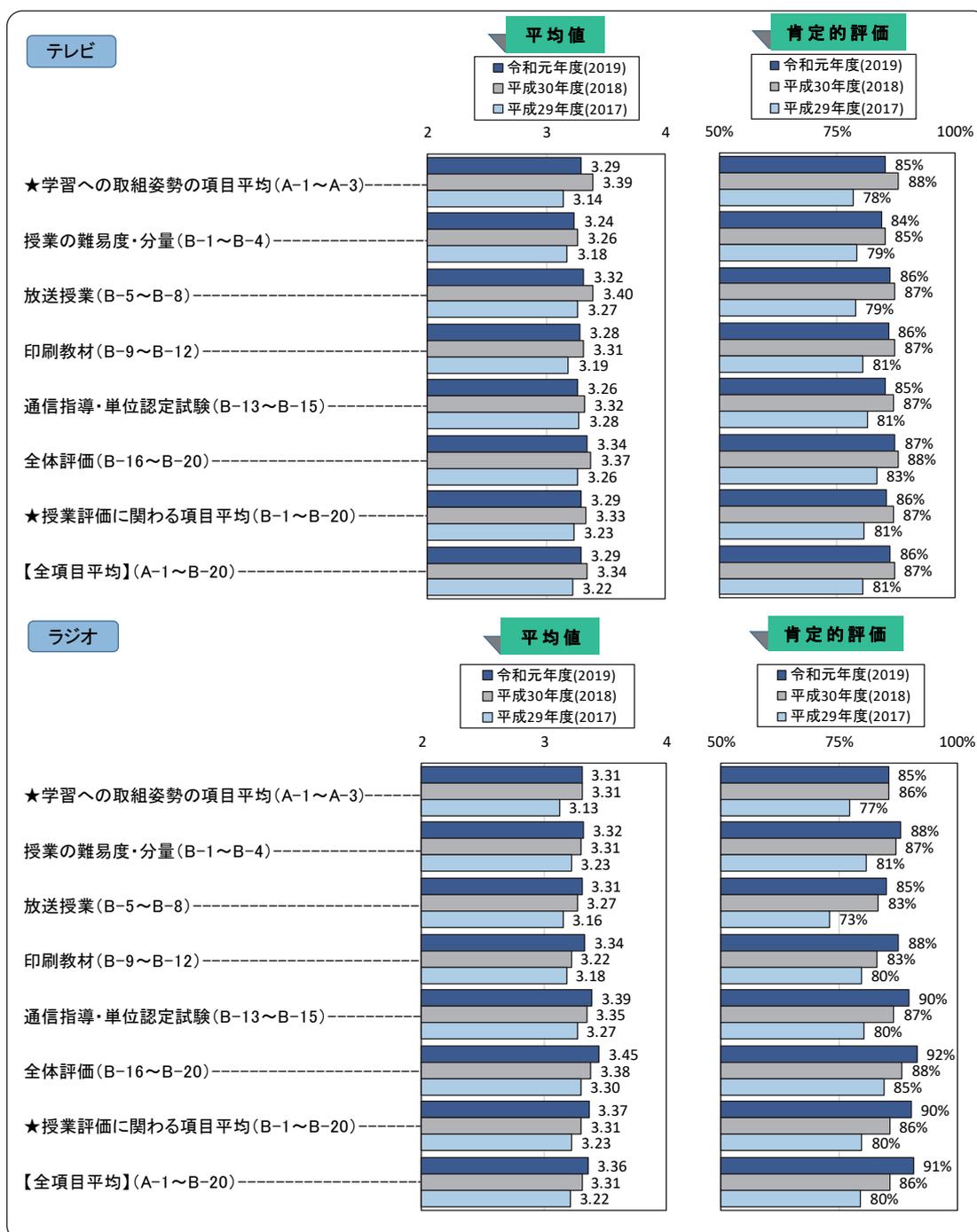


次にメディア別の項目平均を時系列で比較して見ると（図2-4）、テレビ科目において、本年度は、昨年度から『学習への取組み姿勢』で3ポイント下回ったが、それ以外の授業評価項目では同水準の評価を維持していた。

ラジオ科目では、『学習への取組み姿勢』から3項目までは、昨年度と変わらず、一昨年度を大幅に上回っていた。

それ以降の5項目では本年度は、昨年度から3～5ポイントの上昇が見られ、その5項目で90%前後の評価を得ていた。

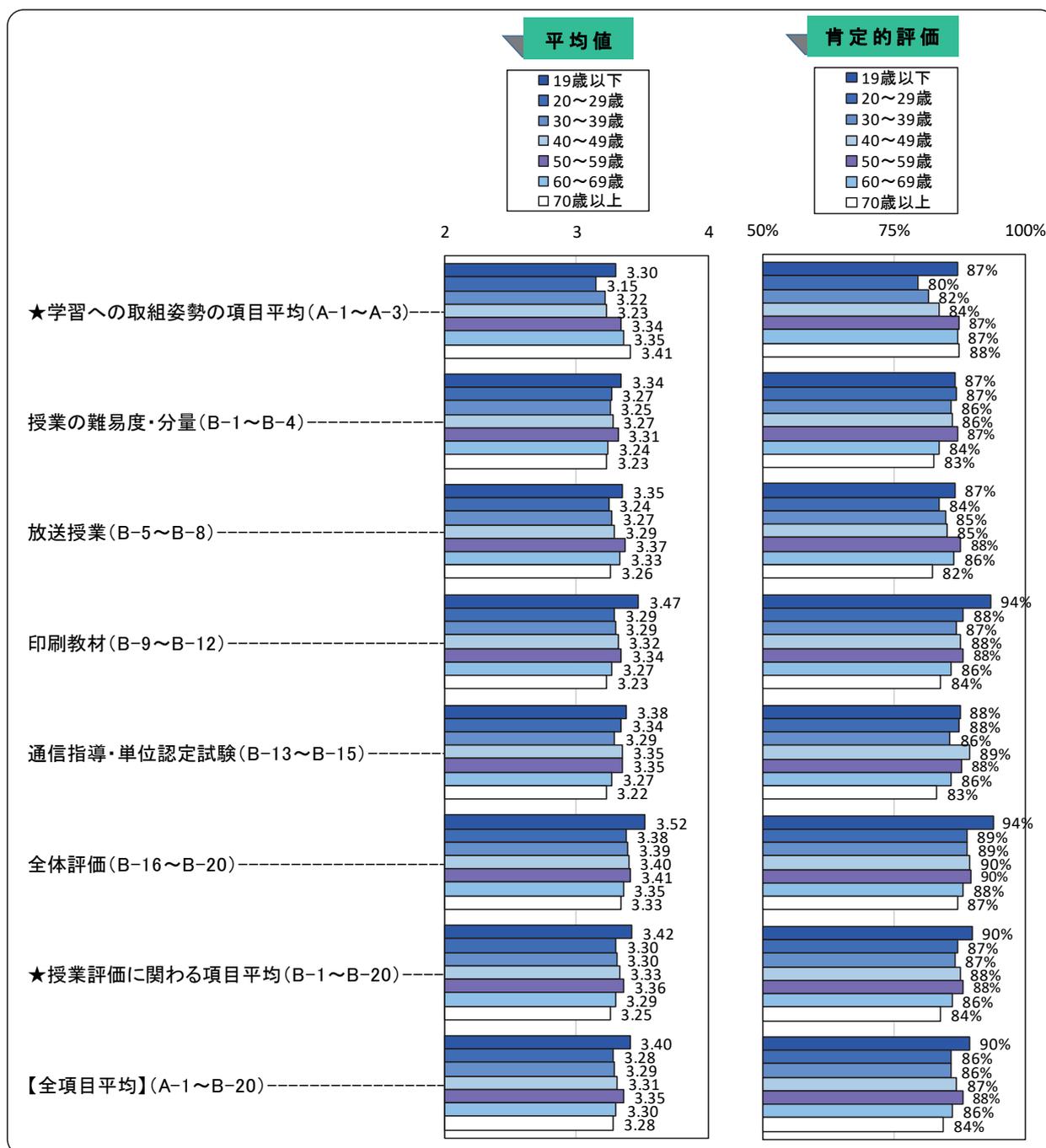
図2-4 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



回答者の年齢階層別（図2-5）では、19歳以下は『学習への取組み姿勢』を含め、いずれの項目でも高い水準で、特に『印刷教材』と『全体評価』は共に94%と高く、『授業評価に関わる項目平均』は他の年代を抑え唯一90%に達していた。

反対に70歳以上は、『学習への取組み姿勢』（88%）は最も高かったが、授業評価の項目についてはいずれも最も低く、特に『通信指導・単位認定試験』は83%と他の年代より3～6ポイント下回っていた。

図2-5 【学部】項目平均による年齢階層別全体的傾向

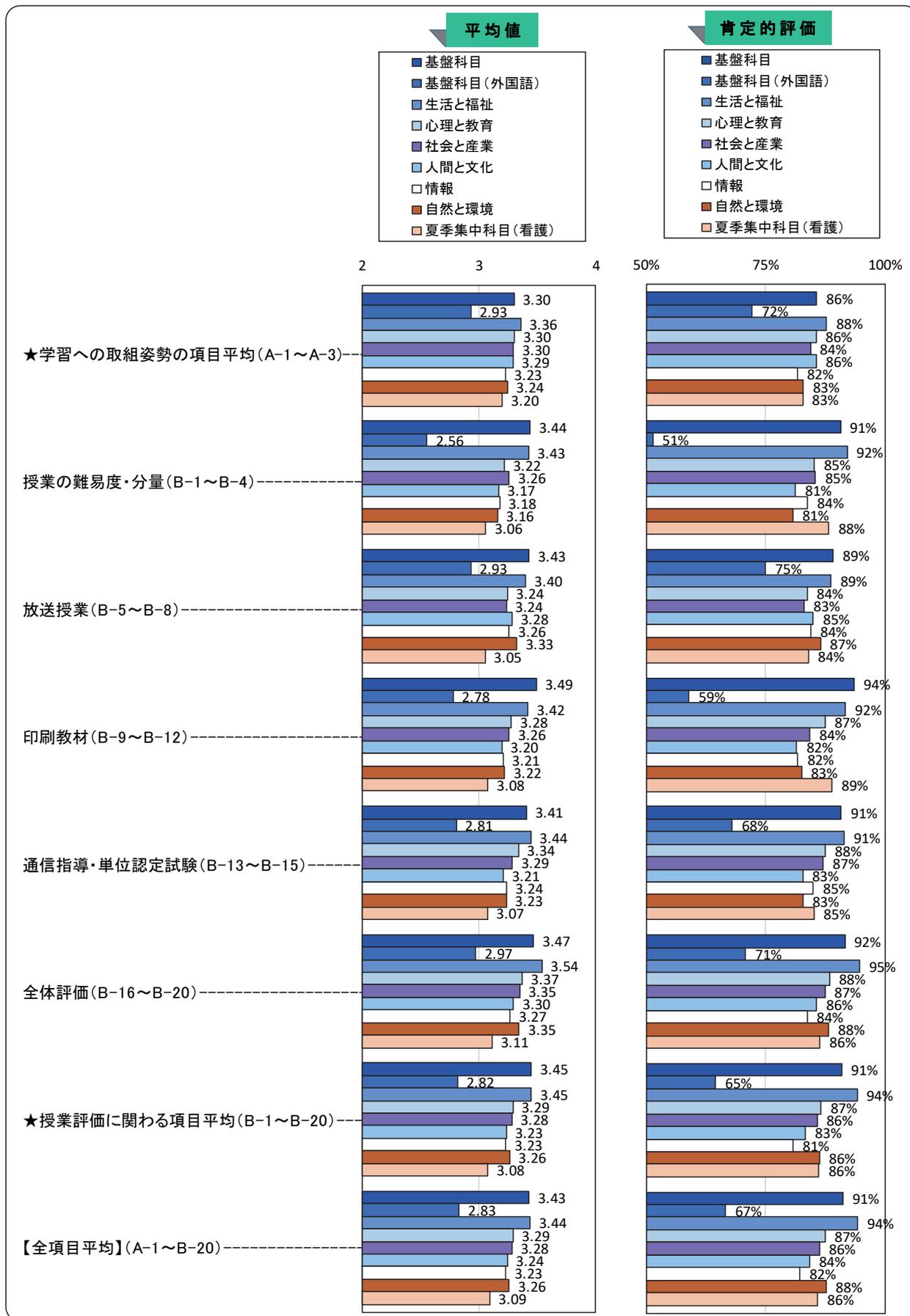


科目の所属コース別に項目平均を見ると（次頁図2-6）、『学習への取組み姿勢』については「生活と福祉」が88%と最も高く、反対に「基盤科目（外国語）」が72%と極端に低かった。

『授業評価に関わる項目』で2項目目～6項目目については、「基盤科目」と「生活と福祉」がいずれの項目でも1～2位を争っており、評価もほぼ90%以上と高率であった。

反対に「基盤科目（外国語）」はいずれの項目でも極端に低く、最も評価の低い『授業の難易度・分量』で51%、最も高い『放送授業』でも75%にすぎず、他の所属コースに比べ大きな差が見られた。

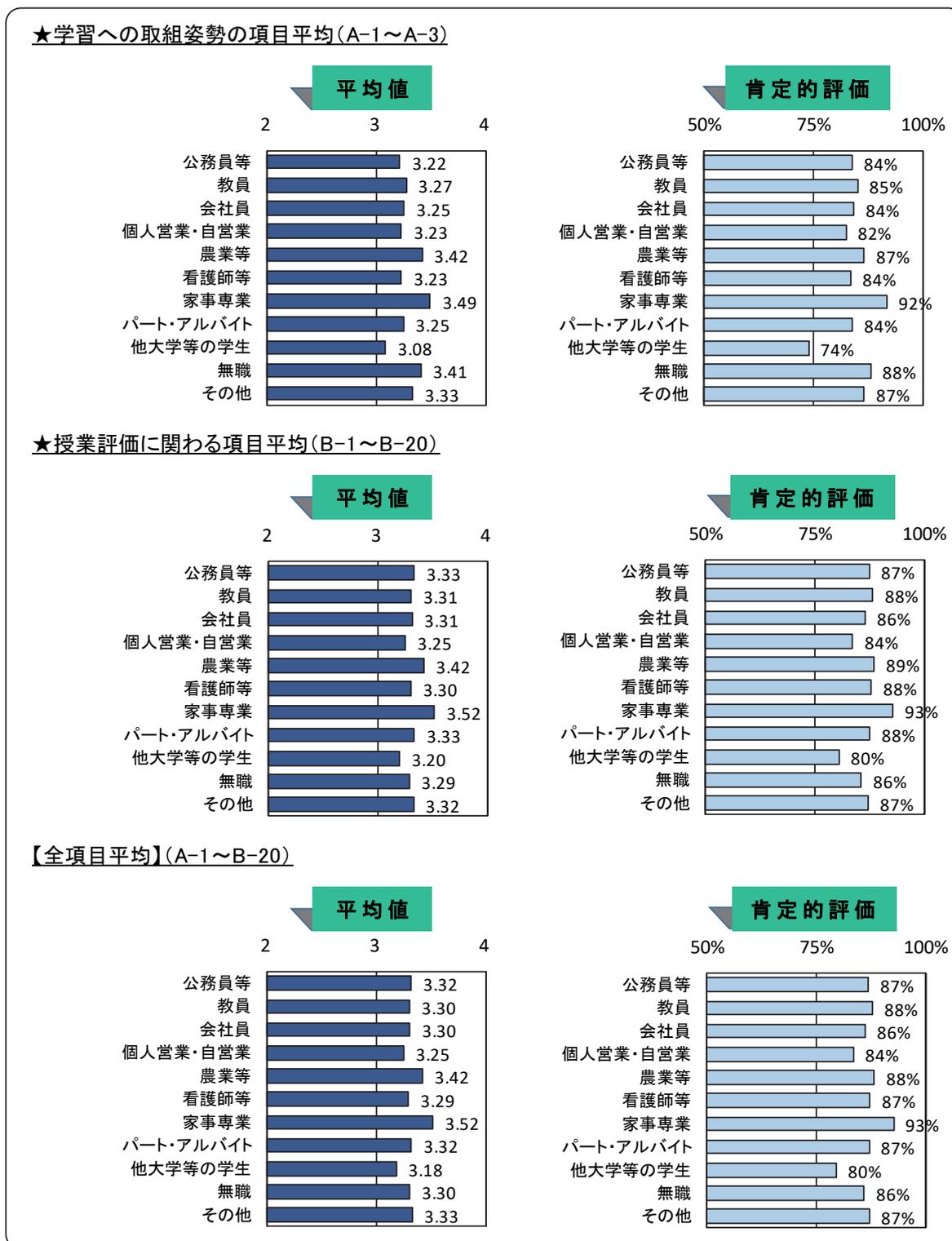
図 2-6 【学部】 項目平均による所属コース別全体的傾向



職業別の（図2-7）『学習への取組み姿勢』では、「家事専業」（92%）が唯一90%台と最も高い取組み姿勢が見られ、反対に「他大学等の学生」は74%にとどまった。それ以外の職業では80%台であった。

『授業評価に関わる項目平均』を見ると、肯定的評価は「家事専業」が93%で最も高く、「他大学等の学生」が80%と評価が低かった。それ以外は8割後半の評価が大半であった。

図2-7 【学部】項目平均による職業別全体的傾向



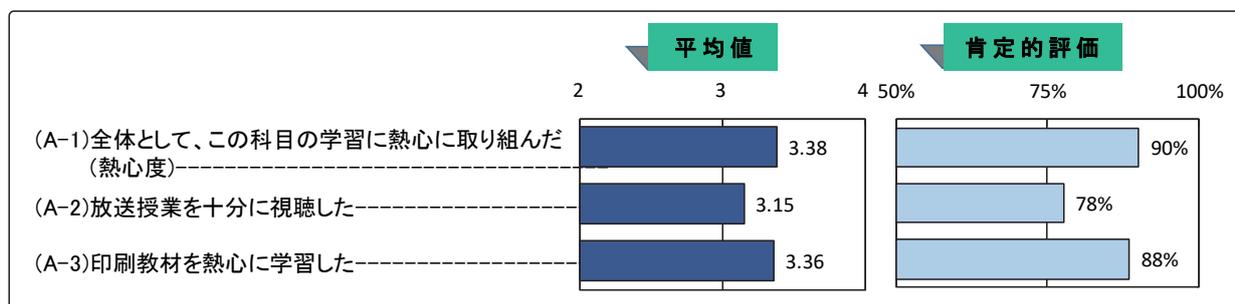
Ⅱ-1-2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれの評価項目ごとに調査結果を見ていく。

全回答者の学習への取組み姿勢（図2-8）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」が90%と、履修生の9割が熱心に学習していた。同様に(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も肯定的評価が88%であった。

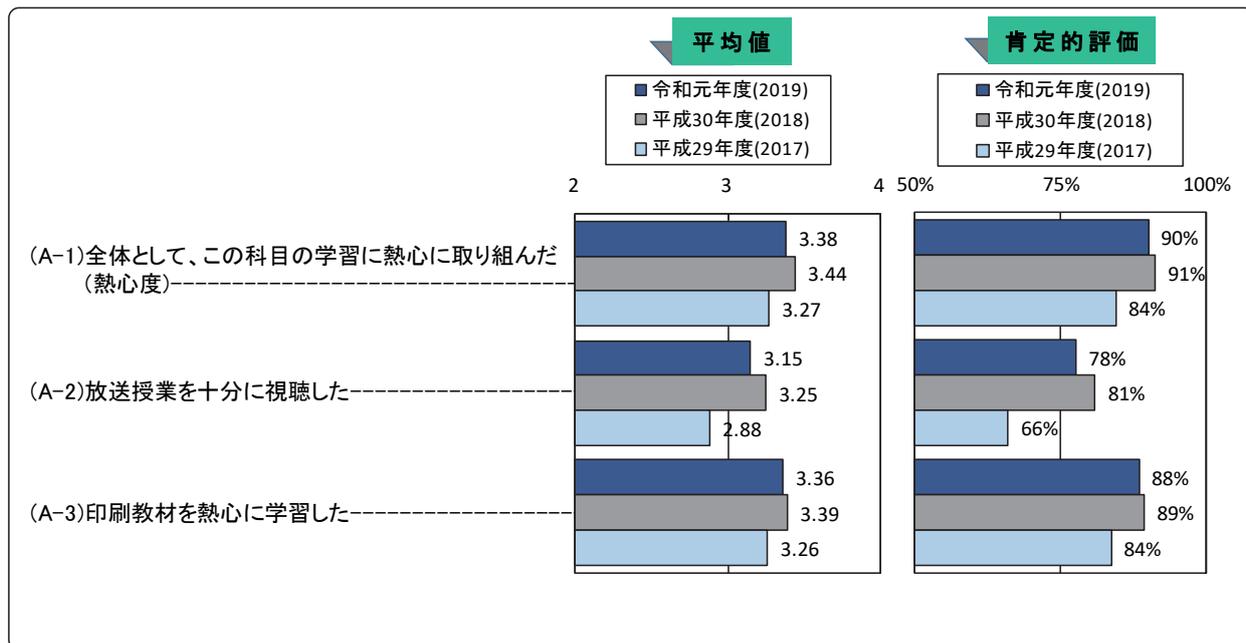
(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は78%と前述の項目に比べ低く、印刷教材での学習のウエイトが高かった。

図2-8 【学部】回答者全体の取組み姿勢



取組み姿勢を時系列で見ると（図2-9）、いずれの項目でも本年度と昨年度の評価は、一昨年度を上回っており、特に(A-2)「放送授業を十分に視聴した」については、本年度は昨年度からわずかに比率を下げたが、一昨年度を大幅に上回っている。

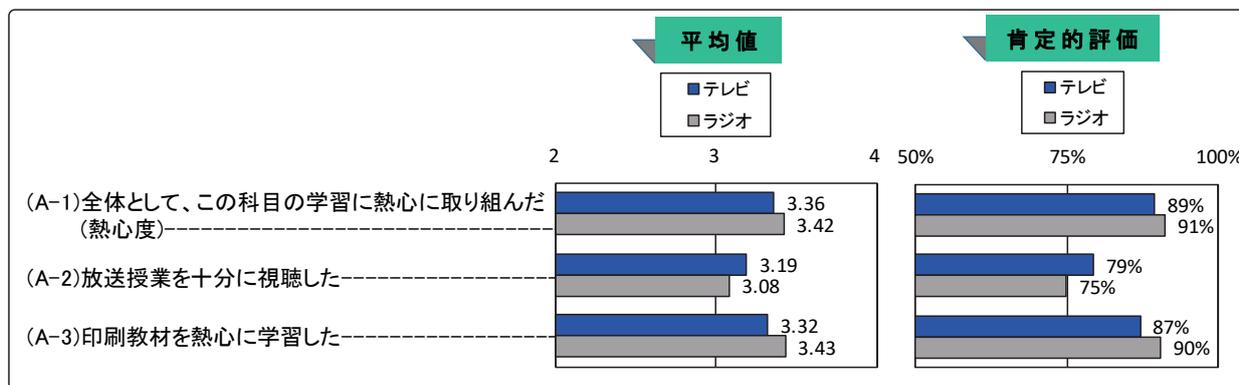
図2-9 【学部】回答者全体の取組み姿勢（時系列）



次にメディア別の取組姿勢では（図2-10）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、ラジオ科目がわずかに高く90%に達していた。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」では、反対にテレビ科目（79%）が4ポイント高かった。

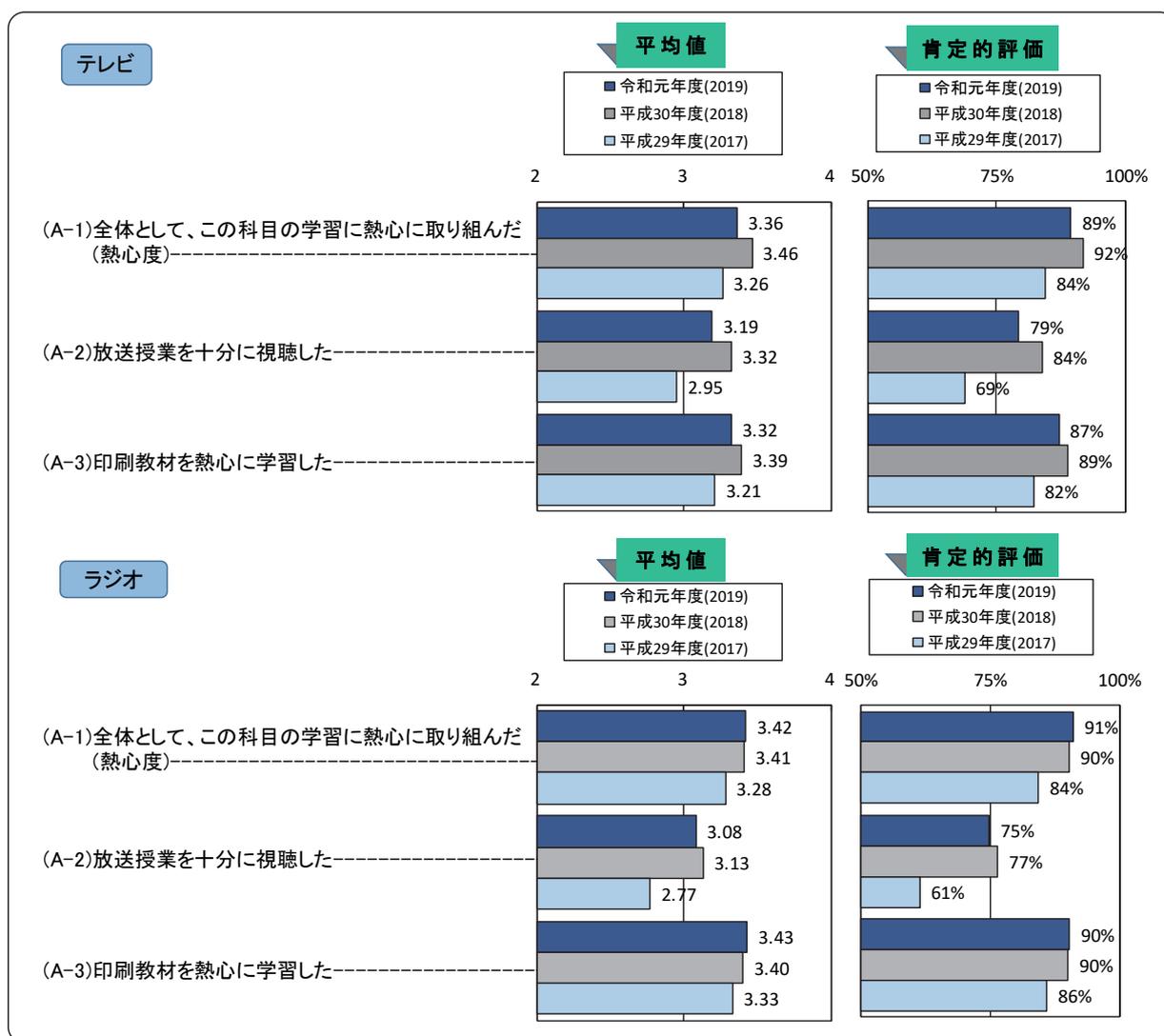
図2-10 【学部】メディア別の取組姿勢



メディア別の取組姿勢を時系列で見ると（図2-11）、テレビ科目は、一昨年度に比べ3項目とも評価が上がっているが、昨年度との対比では3項目とも比率を下げており、特に（A-2）「放送授業を十分に視聴した」では5ポイントのマイナスで79%にとどまった。

ラジオ科目の本年度は、昨年度の一昨年度からの上昇分を維持していた。

図2-11 【学部】メディア別の取組姿勢（時系列）

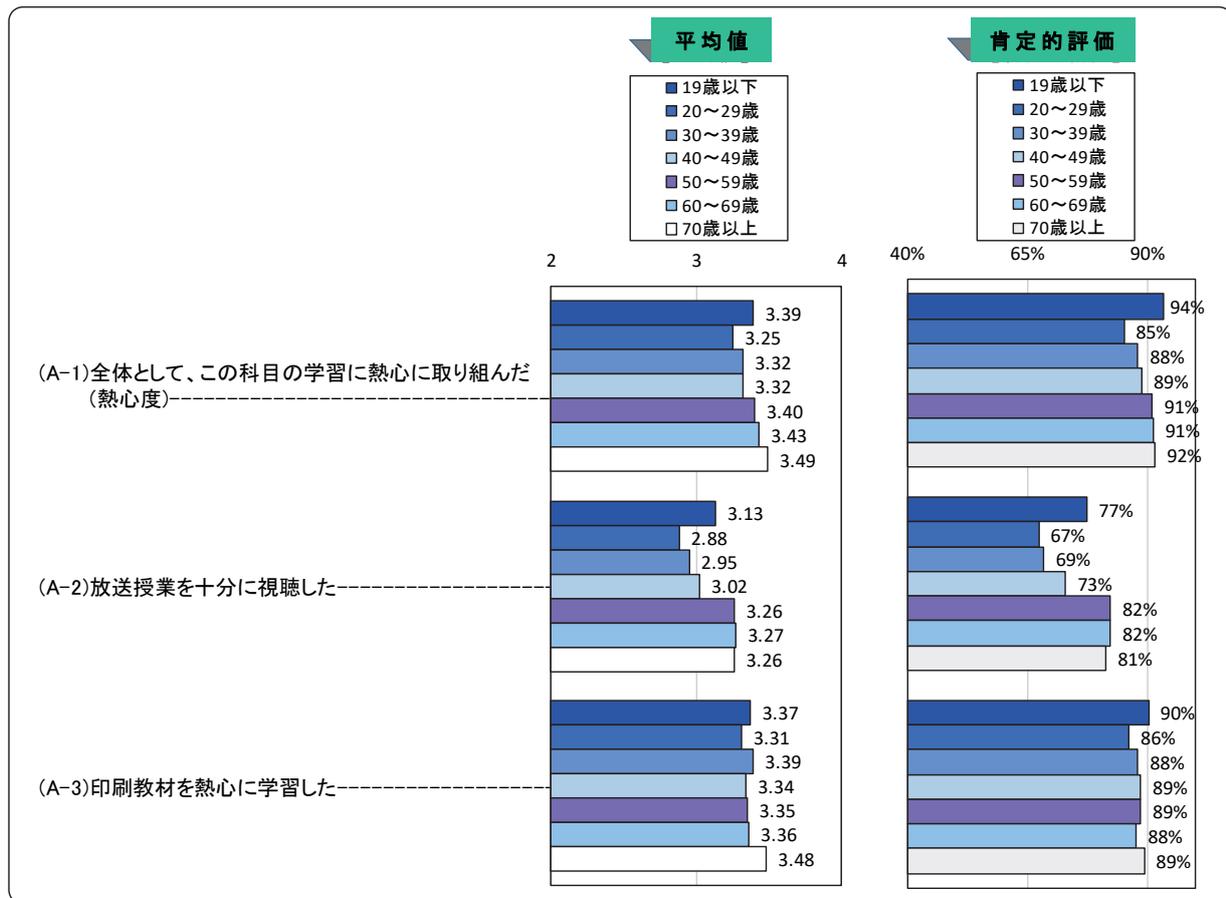


年齢階層別に取り組姿勢を見ると（図2-12）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は19歳以下(94%)が最も高く、それ以降は20歳代から70歳以上まで年代が上がるにつれ、熱心度も高くなる傾向で、70歳以上は92%に達していた。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は19歳以下(77%)が平均的な値で、20歳代～40歳代までが70%前後と低く、50歳代～70歳代が80%越えで高かった。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は80%後半から90%と、どの年代も一様に高かった。

図2-12 【学部】年齢階層別に取り組姿勢



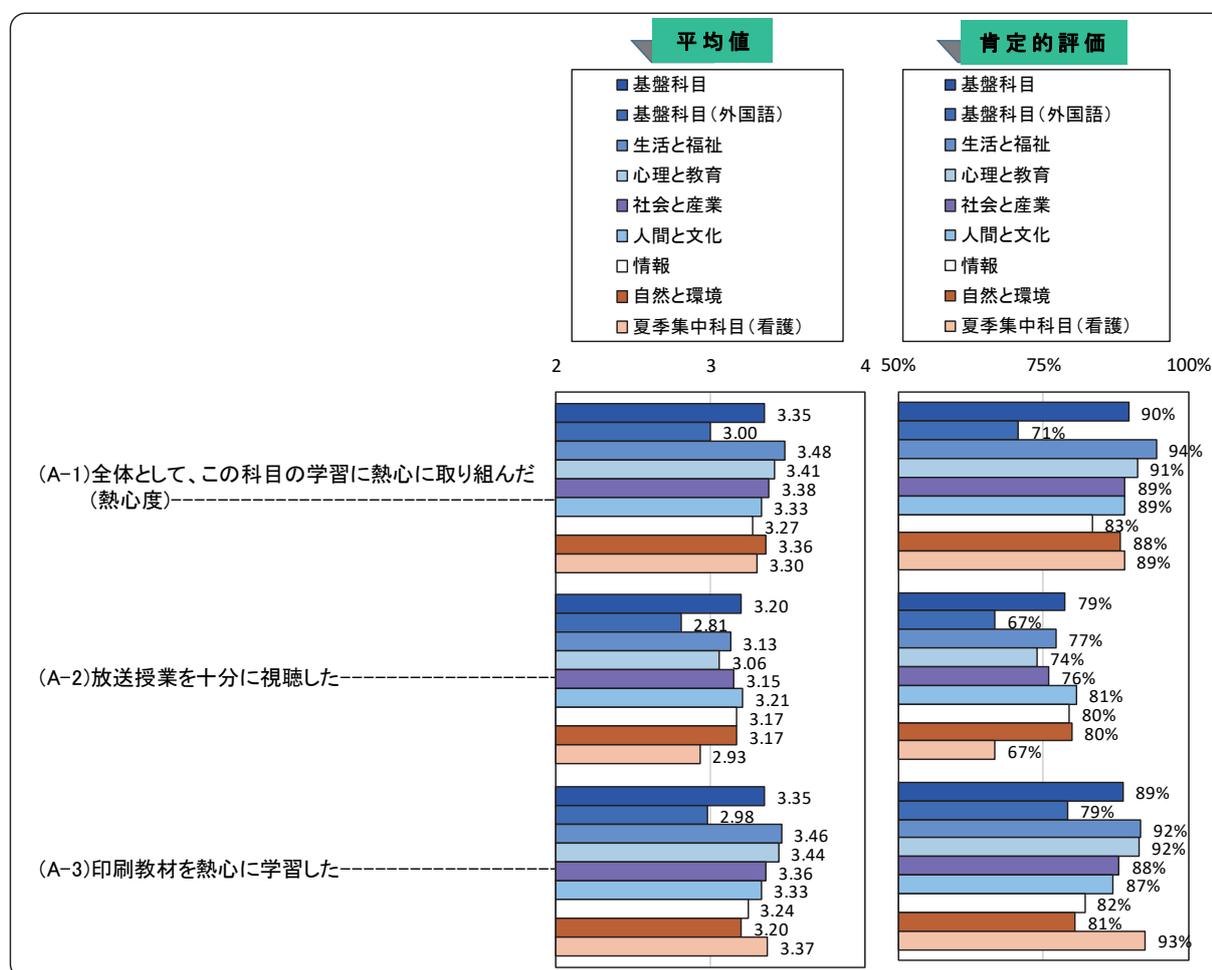
所属コース別に取り組姿勢を見ると（図2-13）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は「生活と福祉」が94%と熱心度が最も高かった。

反対に「基盤科目（外国語）」（71%）と「情報」（83%）はそれ以外のコースと比べ極めて低率であった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は「人間と文化」が81%と最も高く、逆に「基盤科目（外国語）」と「夏季集中科目（看護）」が共に67%と最も低率であった。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では「夏季集中科目（看護）」が93%とトップ、反対に「基盤科目（外国語）」「情報」「自然と環境」は80%前後で、他のコースに比べ熱心度は低かった。

図2-13 【学部】所属コース別の取組姿勢



職業別に取り組姿勢を見ると（次頁図2-14）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は「他大学等の学生」(81%)が他の職業との対比で低率であったが、それ以外は90%前後と熱心度は高かった。

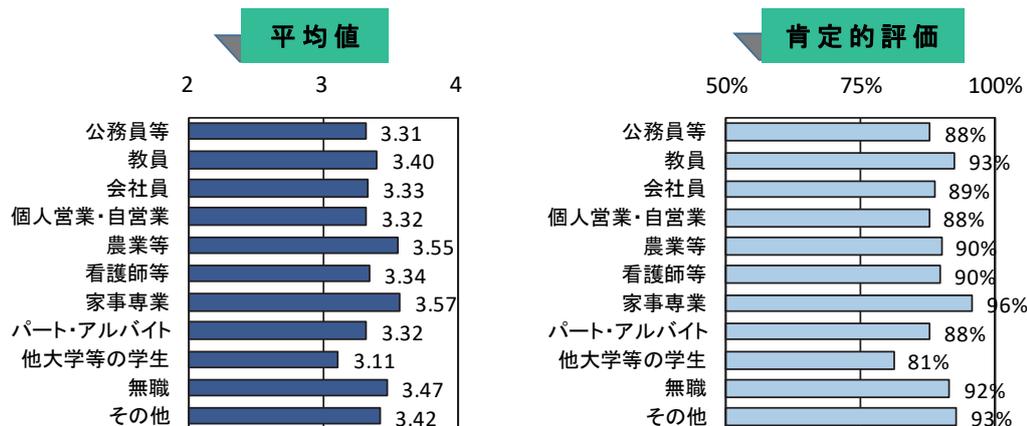
(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は「農業等」(90%)と「家事専業」(86%)が高く、反対に「看護師等」と「他大学等の学生」は70%を下回っていた。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は「教員」「看護師等」「家事専業」「無職」が特に高く90%を越えていた。

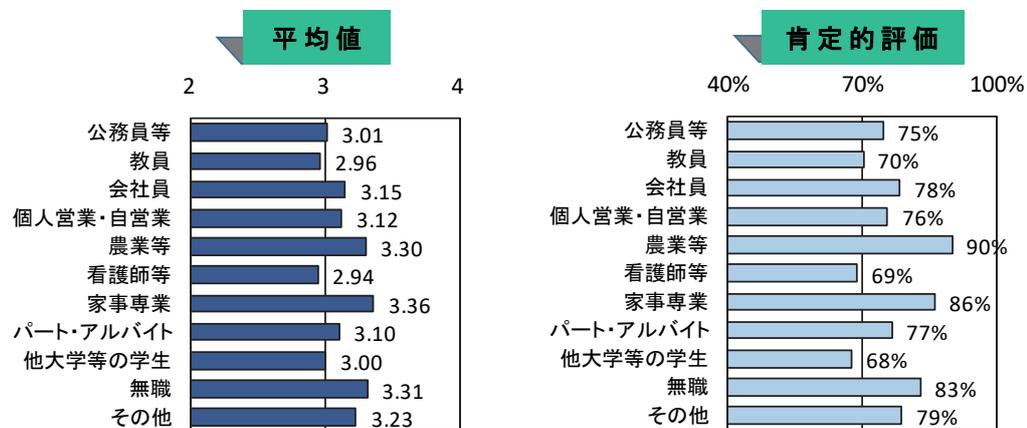
「他大学等の学生」は(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」(73%)でも最も低率で、取り組み姿勢の3項目全てで、最下位であった。

図 2-14 【学部】職業別の取組姿勢

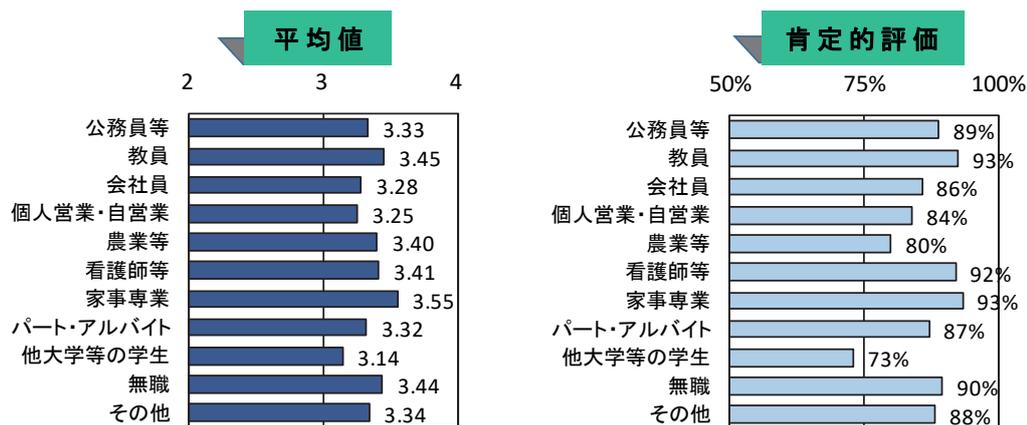
(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ



(A-2)放送授業を十分に視聴した



(A-3)印刷教材を熱心に学習した



単位認定のための学習方法（次頁図2-15）は、全体では『放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ』が68%と過半数を占め、『ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ』が24%、『ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ』はわずか8%で、全二者合計の「印刷教材」で臨んだは92%であった。

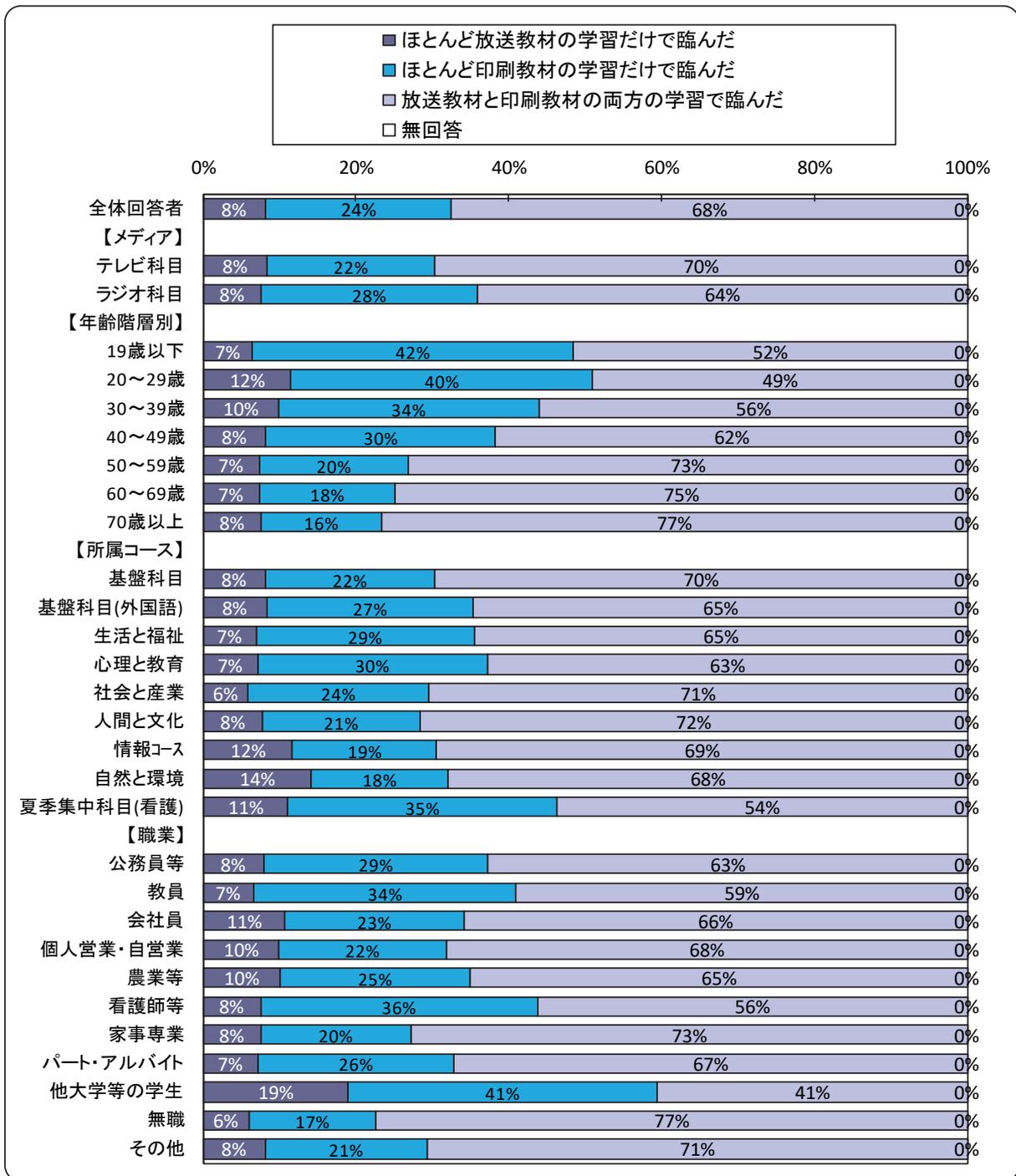
メディア別では「テレビ科目」は『放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ』が「ラジオ科目」より多く、「ラジオ科目」は『ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ』が「テレビ科目」より多かった。

年齢階層別では19歳以下と20歳代は『放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ』が50%前後で、それ以降は、年代の上昇と共に『両方の学習で臨んだ』が増加し、70歳以上で77%に達していた。

所属コース別では『放送教材と印刷教材の両方』が70%越えで高かったのは「基盤科目」「社会と産業」「人間と文化」、『印刷教材の学習だけ』は「心理と教育」「夏季集中科目（看護）」が他の所属コースと比べ30%超えと高かった。

職業別では、『両方の学習で臨んだ』が「家事専業」「無職」「その他」で高く、『印刷教材の学習だけ』は「他大学等の学生」が41%と、他の職業と比べ極端に高く、『放送教材の学習だけ』も19%と突出しており固有の傾向が見られた。

図 2 - 1 5 【学部】 単位認定のための学習方法



Ⅱ-1-3. 学部の授業評価

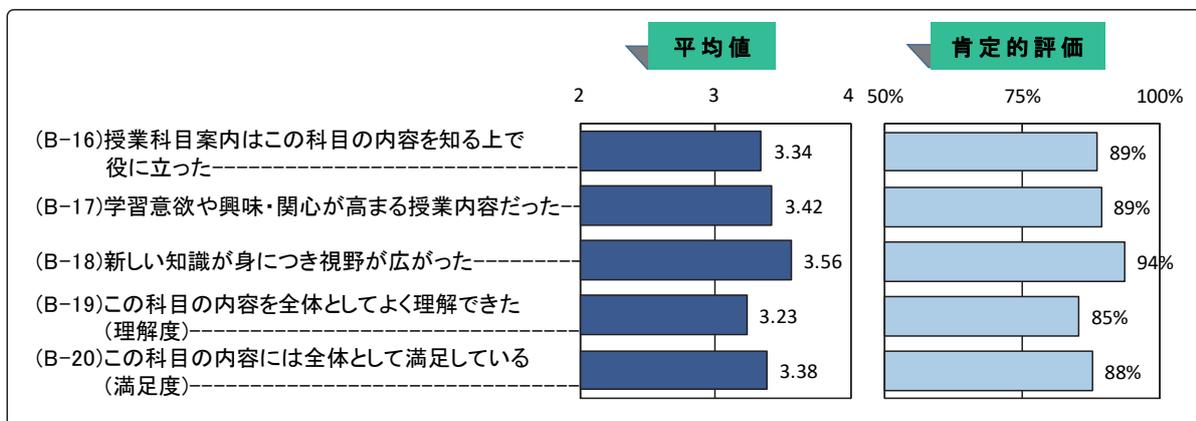
(1) 全体評価

次に学部の授業評価について、評価項目ごとに見ていく。

全体評価の各項目（図2-16）については、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」が94%と最も高く、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」はこの5項目の中では最も低かったが、85%と8割以上から支持されていた。

それ以外の3項目は88%～89%に達していた。

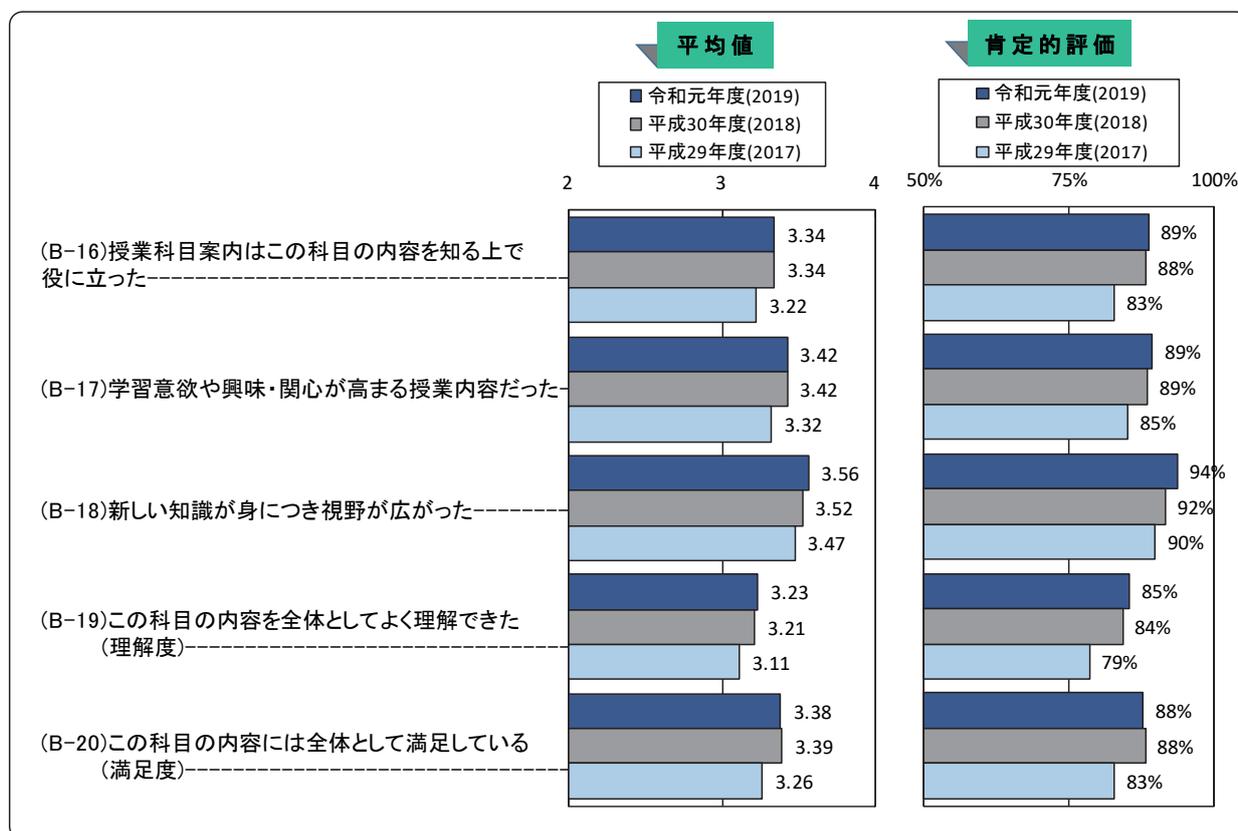
図2-16 【学部】 回答者全体の全体評価



全体評価を時系列で見ると(図2-17)、本年度も下記全ての項目で、概ね昨年度と変わらず、一昨年度からの上昇を維持していた。

本年度の(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」は昨年度からの上昇が見られ、94%と全項目間で最も高い評価となっていた。

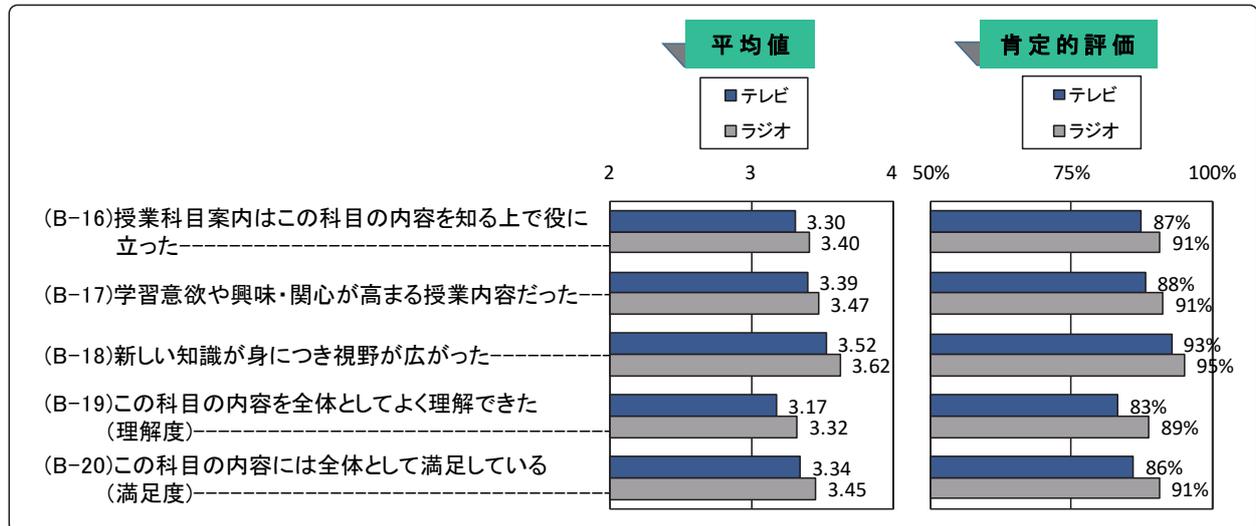
図2-17 【学部】回答者全体の全体評価(時系列)



メディア別に全体評価を見ると（図2-18）、全ての項目でラジオ科目の評価が高く、いずれもほぼ90%を超えていた。

両メディア間の差を見ると、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」でラジオ科目が6ポイント高く、その差が最も大きかった。

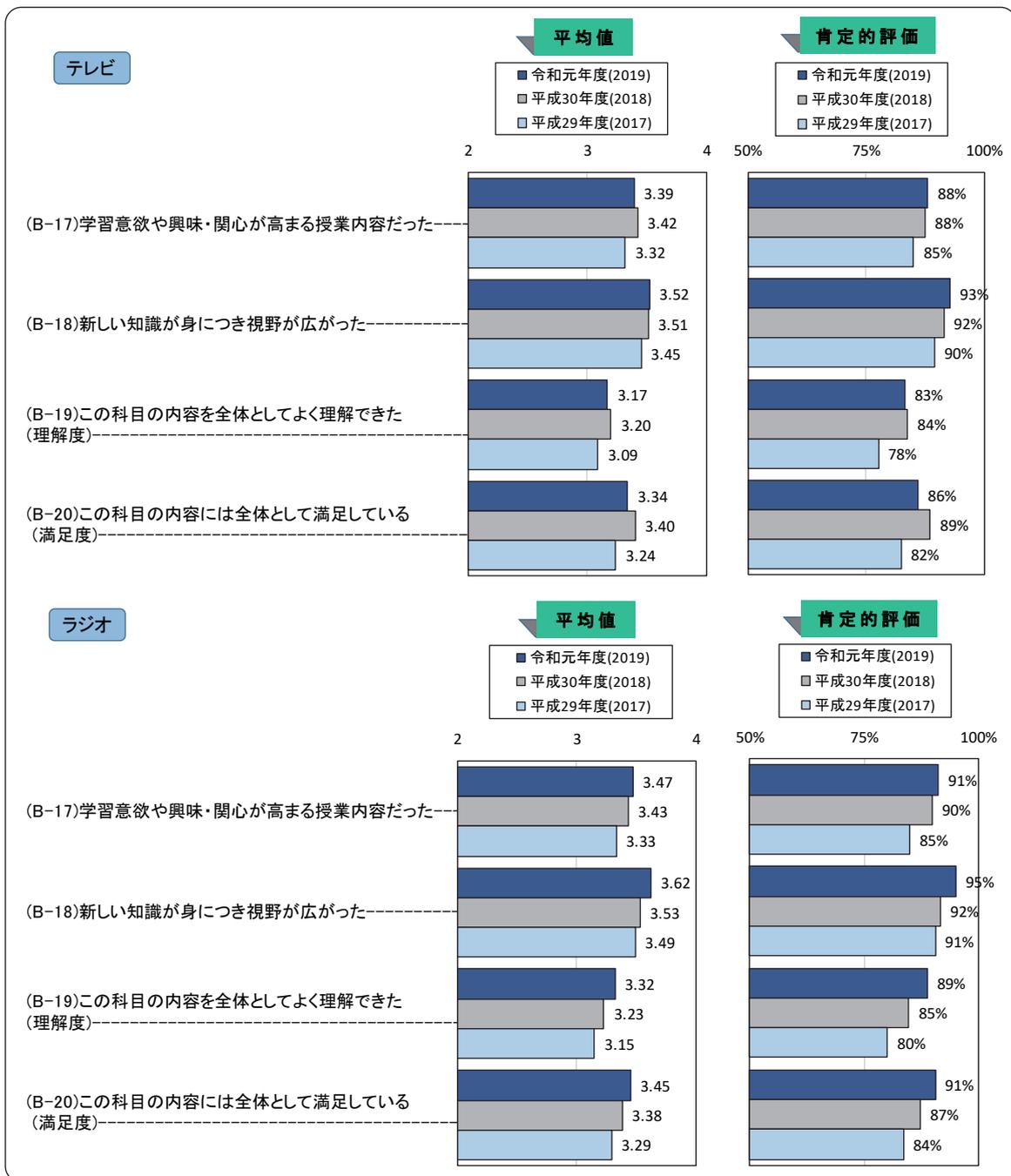
図2-18 【学部】メディア別の全体評価



メディア別の全体評価を時系列で見ると（図2-19）、テレビ科目は、（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」から（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」までの3項目では、本年度は、昨年度と変わらず、一昨年度からの上昇分を維持していたが、（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」において、昨年度からわずかに支持率を下げ86%であった。

ラジオ科目では、（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」については昨年度と同水準の91%であったが、それ以降の3項目では、昨年度を上回る評価を得ており、特に（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」では95%と高く評価された。

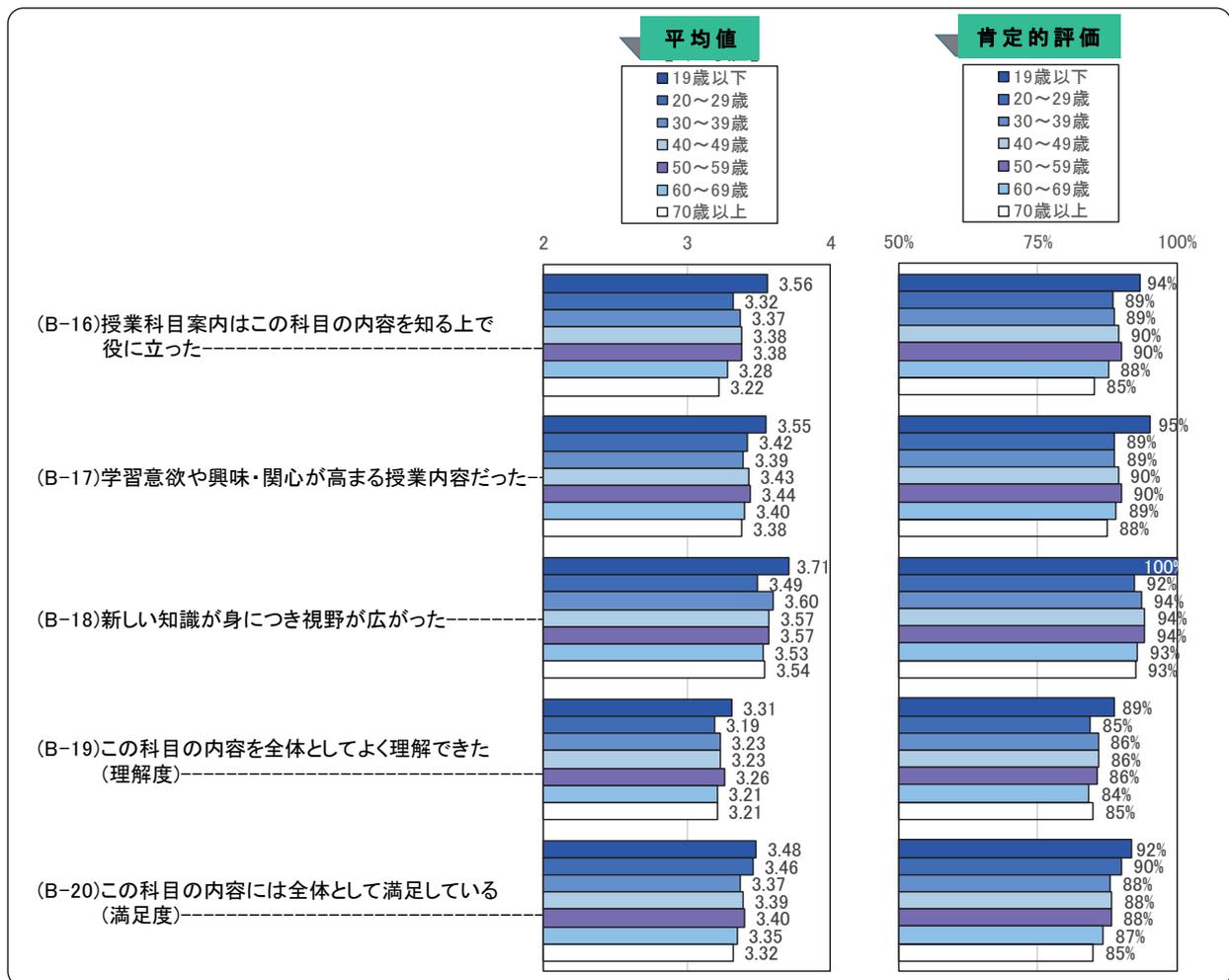
図2-19 【学部】メディア別の全体評価



年齢階層別に全体評価（図2-20）を見ると、全ての項目において19歳以下の評価が最も高く、特に(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」について肯定的評価をしたのは全員であった。

反対に評価が低かったのは70歳以上で、(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」と(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」で85%と、トップとの差は大きく(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」を加えた、3項目で最も低い値だった。

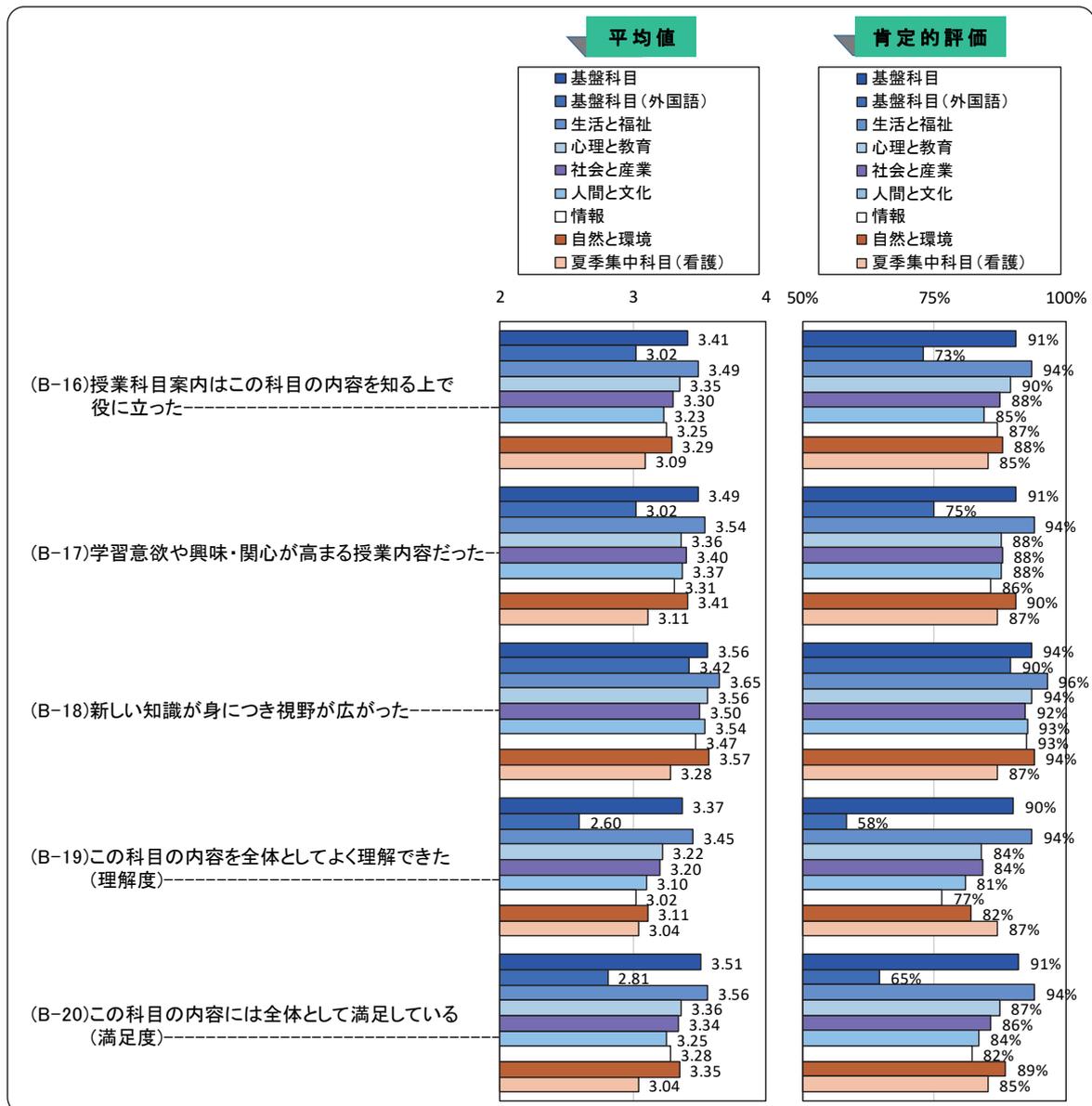
図2-20【学部】年齢階層別の全体評価



所属コース別の全体評価では（図 2-21）、全ての項目で最も高い評価だったのは「生活と福祉」、次いで「基盤科目」であった。その値も全て 90%以上の高率であった。

反対に評価が低かったのは「基盤科目（外国語）」で、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」を除く 4 項目で最下位となり、特に (B-19) の理解度と (B-20) の満足度は他の所属コースと比べ極端に低かった。

図 2-21 【学部】所属コース別の全体評価



職業別の全体評価（次頁図2-22）で評価が高かったのは「家事専業」と「教員」で、図内の3項目のいずれも92%前後であった。

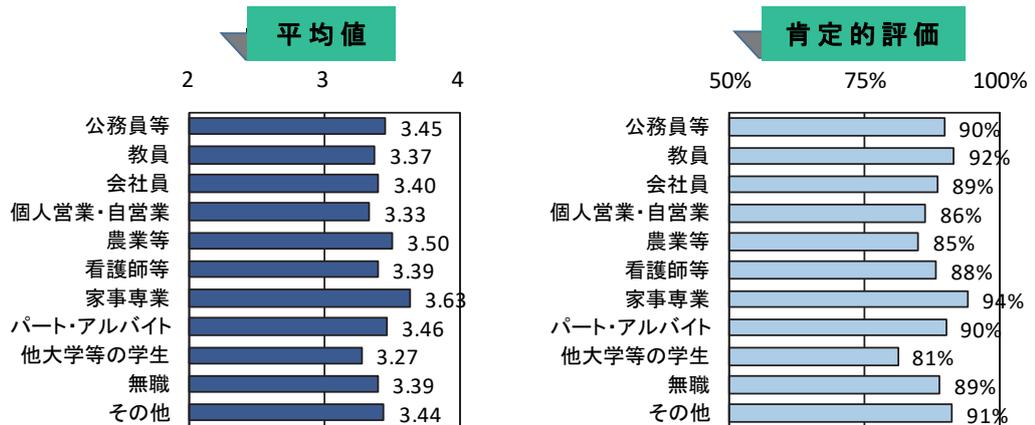
反対に（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」と（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」で評価が低かったのは、「他大学等の学生」で、それぞれ81%に過ぎなかった。

他に（B-19）の理解度と（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」で評価が低かったのは「個人営業・自営業」で、順に81%と83%にとどまっていた。

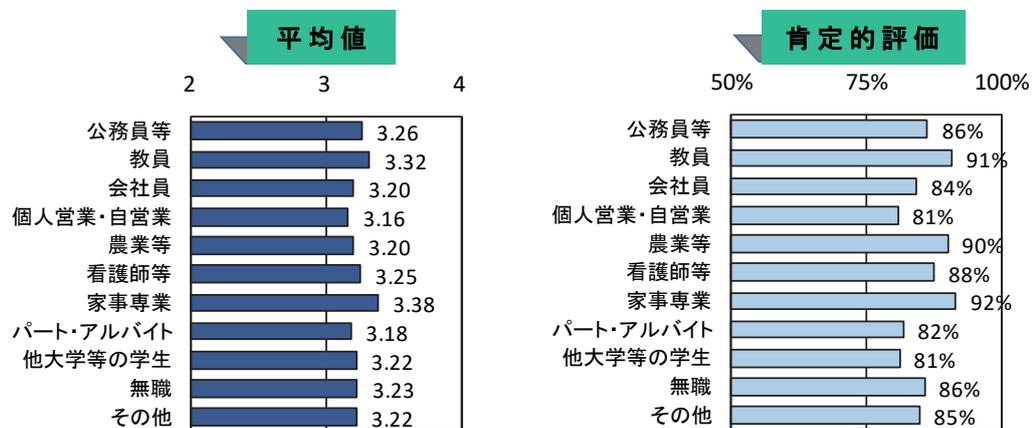
（B-20）の満足度については、その「個人営業・自営業」を除けばどの職業からも86%以上と高い評価を得ていた。

図 2-22 【学部】職業別の全体評価

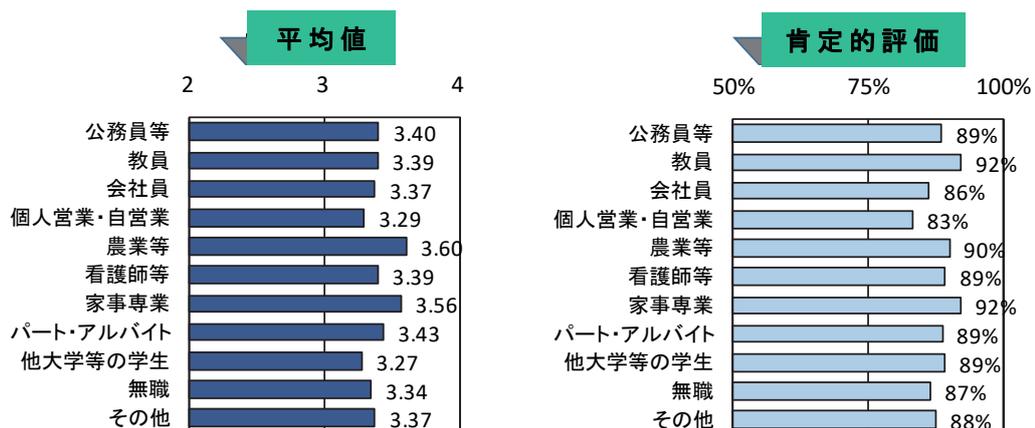
(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)



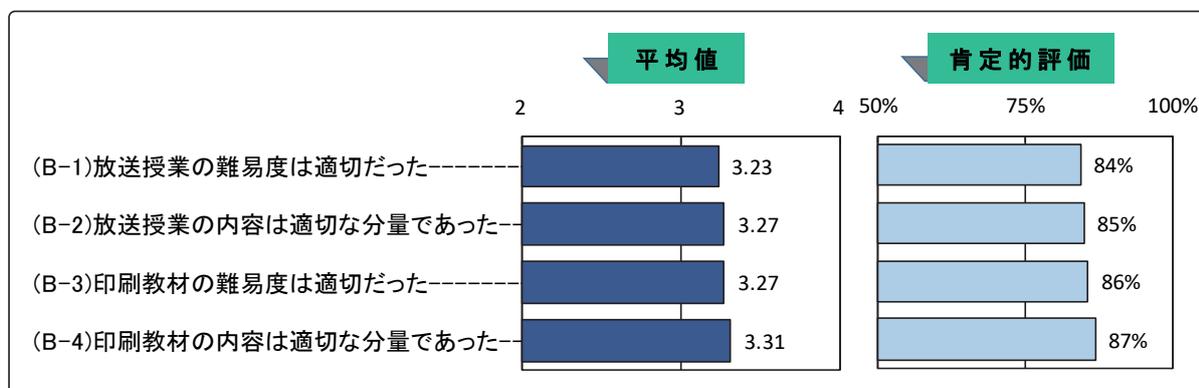
(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)



(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量（図2-23）について、評価項目ごとに見ていくことにする。
肯定的評価の全項目で84%～87%と、80%半ばに達し項目間に大きな差は見られなかった。

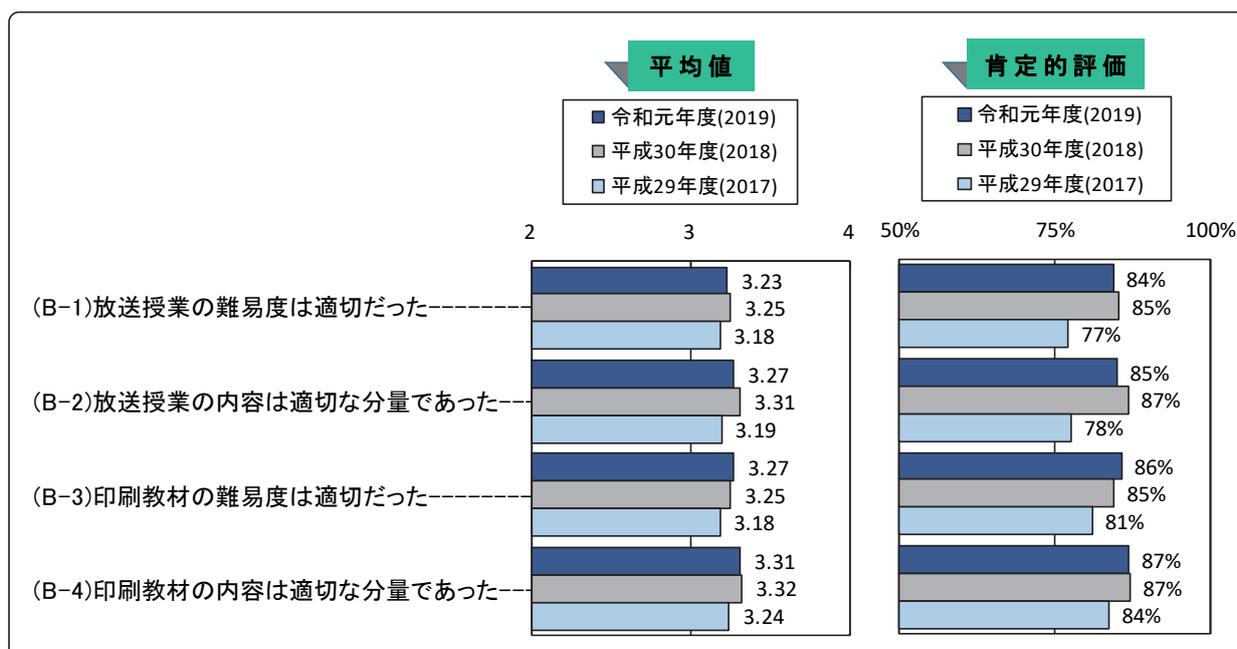
図2-23 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価



開設年度で比較すると（図2-24）、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」以外の3項目では、本年度は昨年度と同水準で、8割半ばを維持していた。

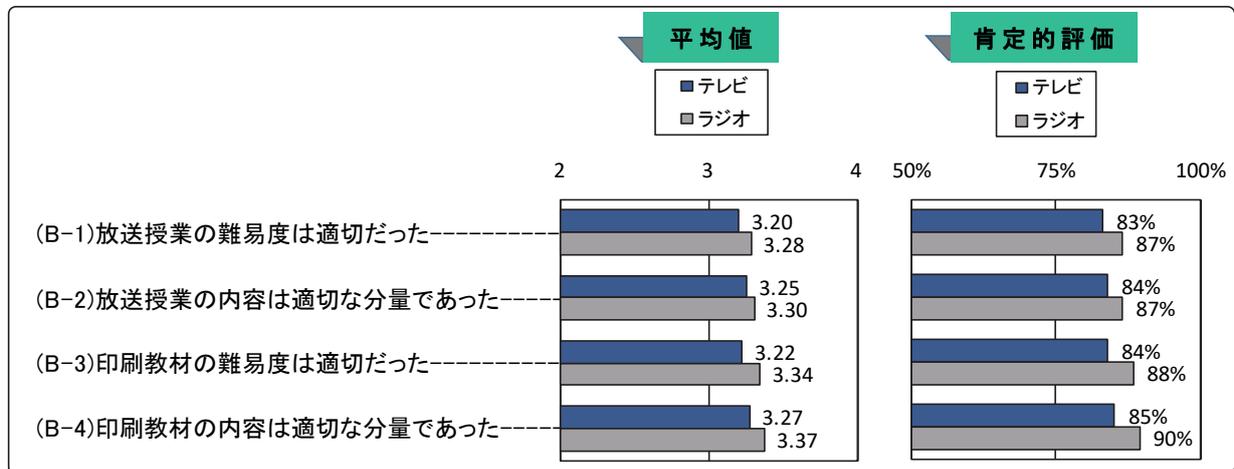
(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」については、本年度は昨年度からわずかに減少したが、85%と一昨年よりは高い支持率であった。

図2-24 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図2-25）、いずれの項目もテレビ科目よりラジオ科目の評価は高く、(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」で5ポイントと最も大きな差が見られた。

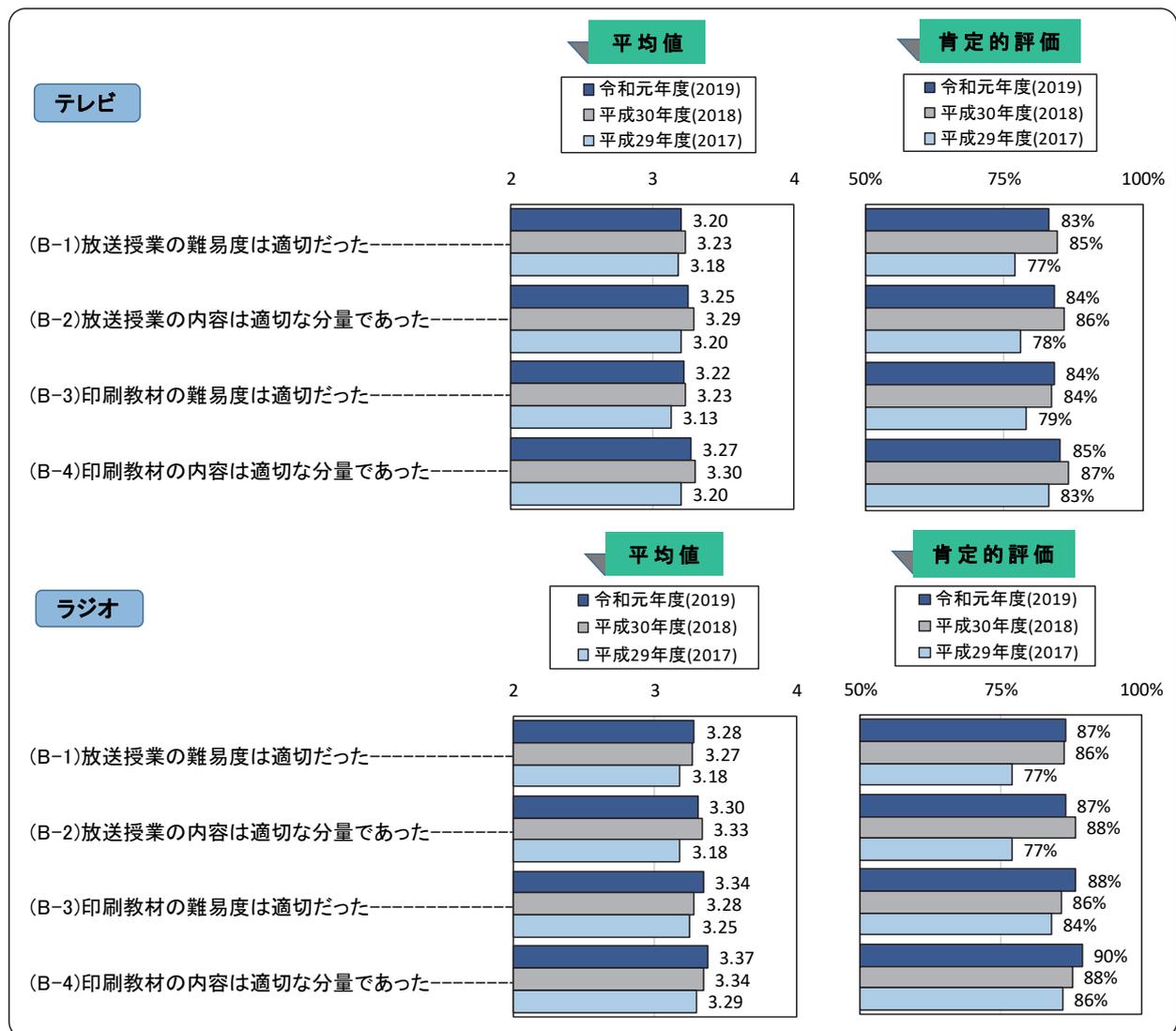
図2-25 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価



メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図2-26）、テレビ科目では、昨年度の一昨年度からの上昇分を全項目で概ね維持していたが、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」以外の3項目では昨年度と比べわずかな下降が見られた。

ラジオ科目もテレビ科目同様、一昨年度からの上昇を維持しており、昨年度との対比では(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」と(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」でわずかに上昇が見られ後者は90%に達していた。

図2-26 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



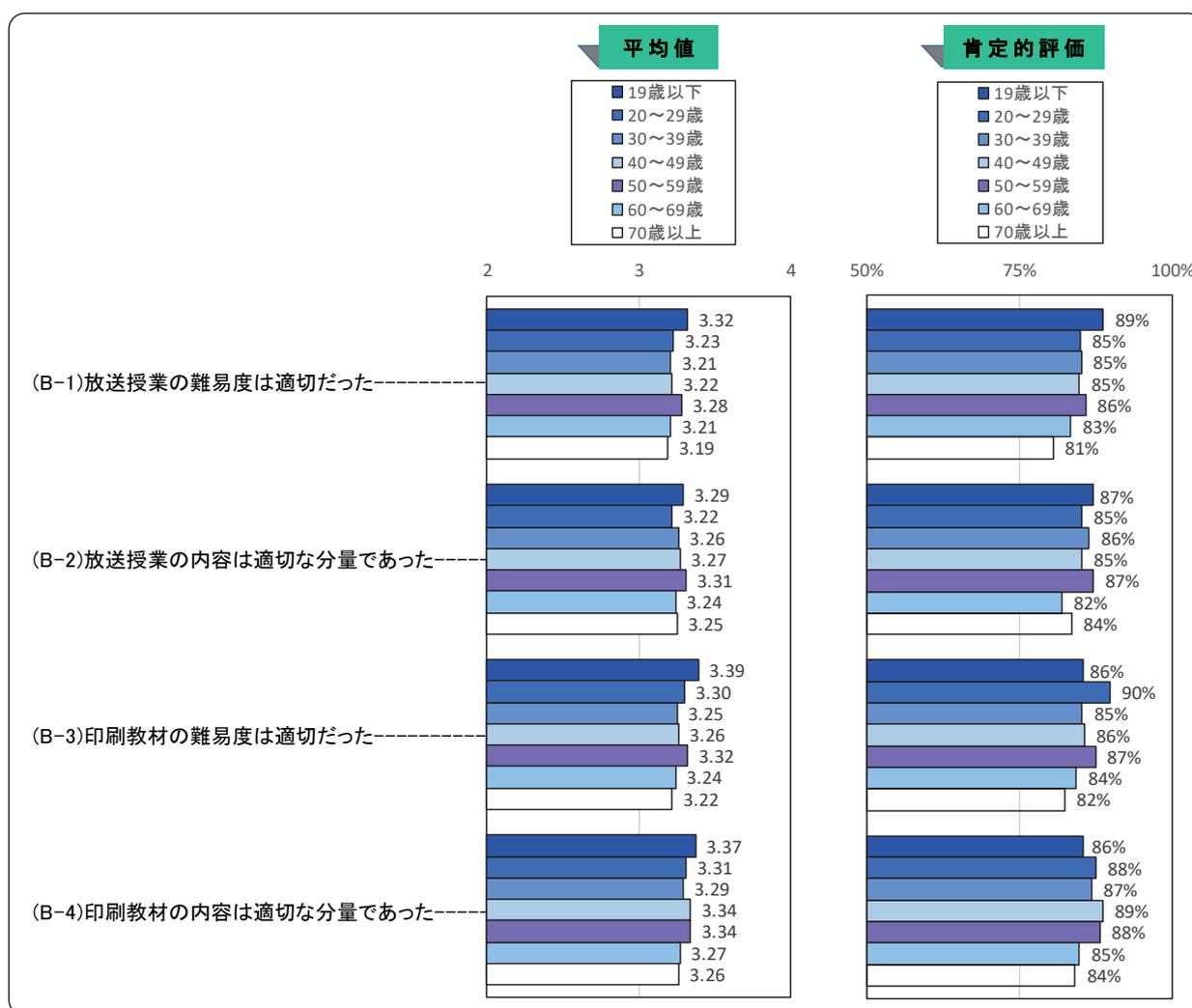
年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-27）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」で最も高く評価をしていたのは19歳以下（89%）、最も低かったのは70歳以上（81%）で、それ以外の年代の支持率は85%前後であった。

(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」では60歳代（82%）の評価は低かったが、それ以外の年代は85%前後で、一様な水準であった。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」に対して、高い評価は20歳代（90%）、反対に低い評価は70歳以上（82%）で、この二者間の差は大きかった。

(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」について、どの年代でも8割半ばから後半に達していた。

図2-27【学部】年齢階層別の授業難易度・分量の評価

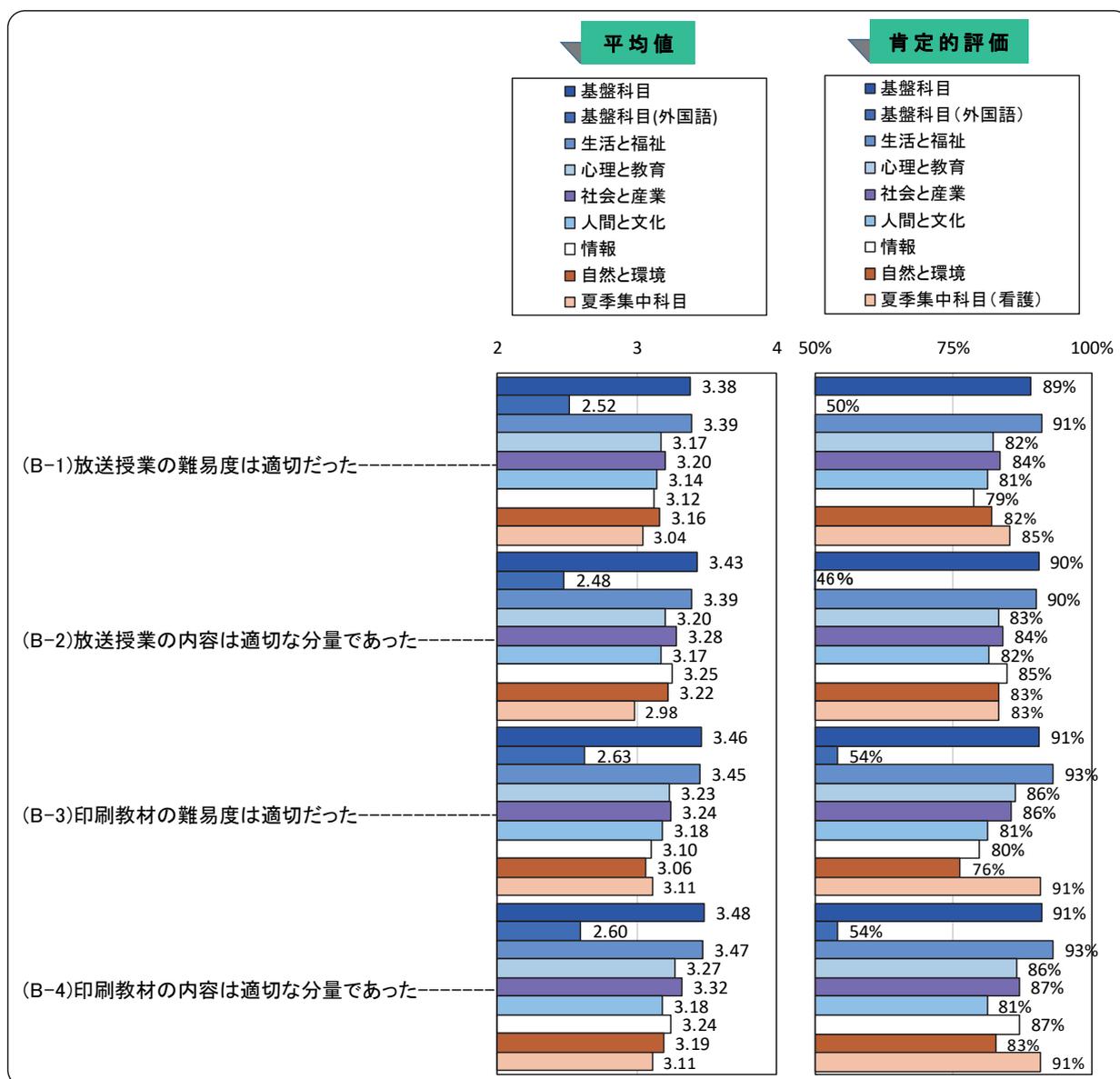


所属コース別に授業の難易度・分量を見ると（図2-28）、下記の4項目について見られる傾向は、「基盤科目」と「生活と福祉」受講生の評価がトップクラスで、90%前後の支持率に達していた。

反対に「基盤科目（外国語）」はそれぞれの評価が極端に低く、その値は46%～54%にすぎなかった。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」と(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」については「夏季集中科目（看護）」も前述の「基盤科目」と「生活と福祉」同様、評価が高く91%に達していた。

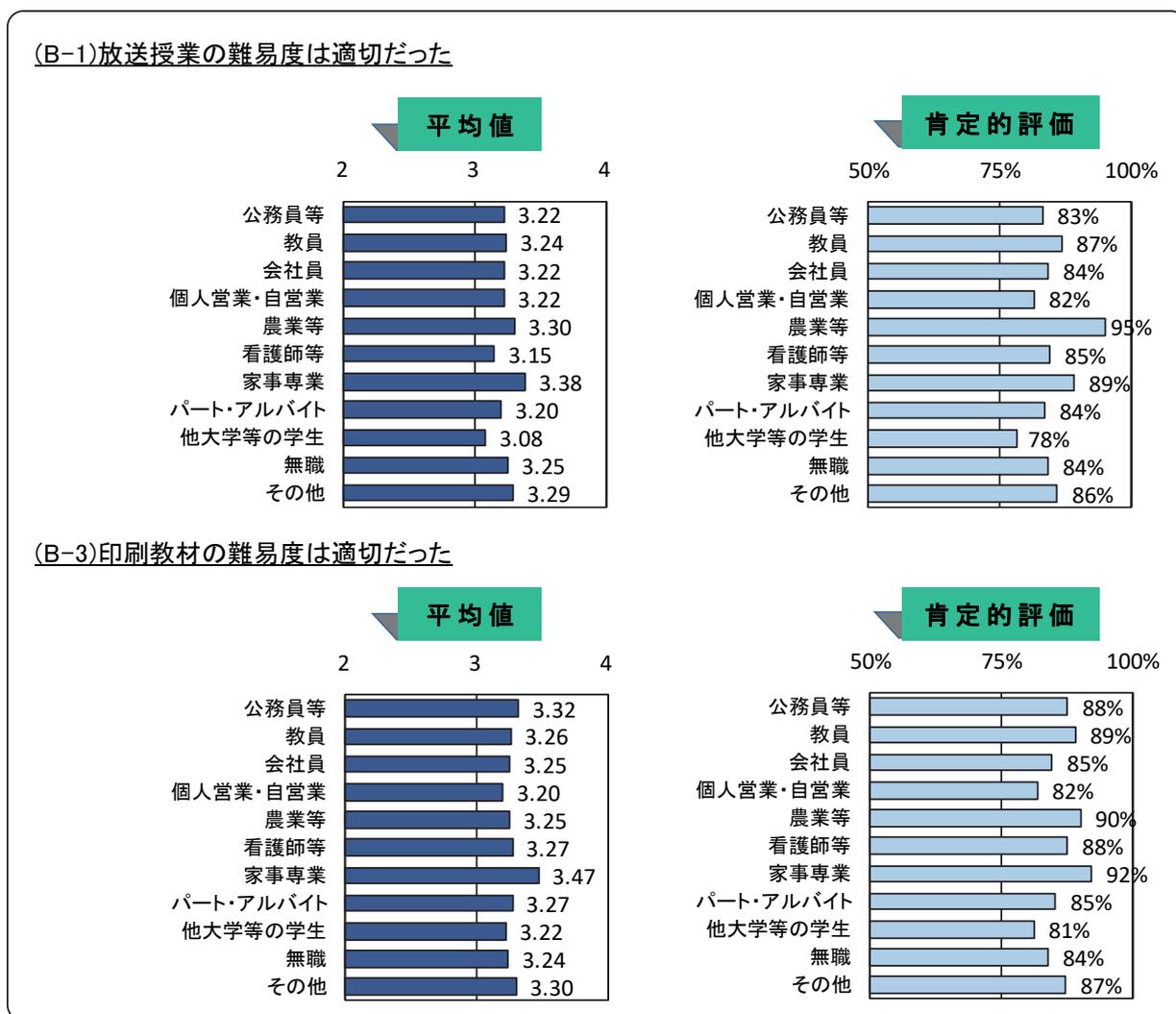
図2-28 【学部】所属コース別の授業難易度・分量の評価



職業別に授業の難易度を見ると（図2-29）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」は、「他大学等の学生」（78%）を除くと、いずれも80%以上の支持率であったが、「農業等」（95%）は唯一90%越えて、他の職業に比べ際立っていた。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」で90%を超えていたのは「家事専業」（92%）と「農業等」（90%）で上位であった。

図2-29 【学部】職業別の授業難易度の評価

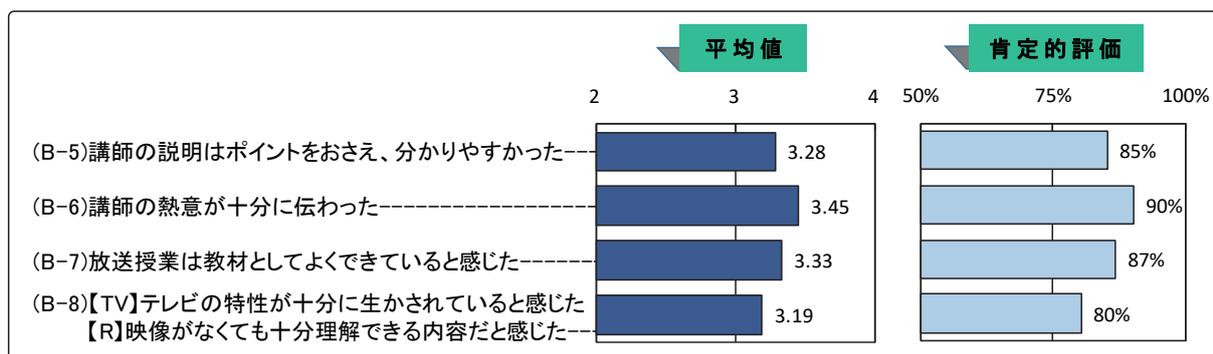


(3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていくことにする。

放送授業に関する4つの評価項目（図2-30）で最も支持率が高かったのは、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」で90%に達し、最も低かったのは(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」が80%にとどまり、この両者には大きな差が見られた。

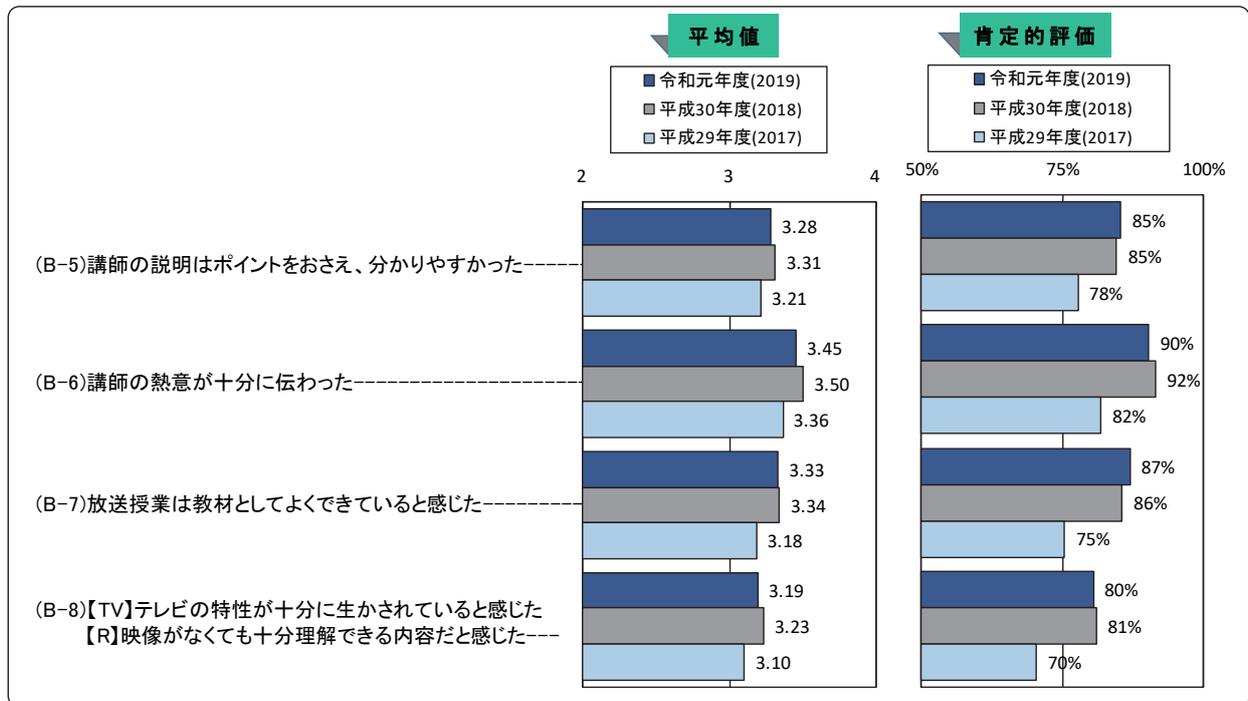
図2-30 【学部】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列で見ると（図2-31）本年度は、4項目全てで昨年度の一昨年度からの上昇分を概ね維持していた。

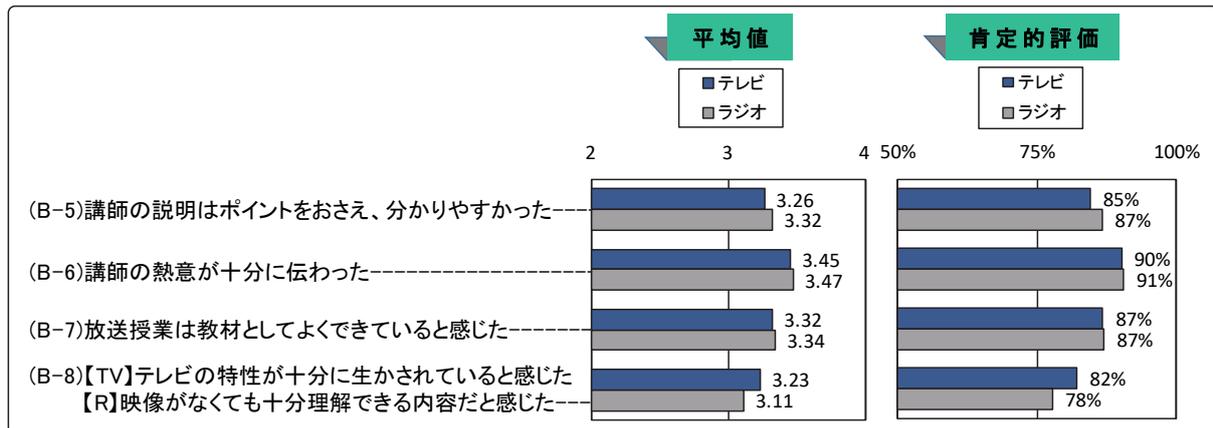
本年度は昨年度と比べると、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」にわずかな減少が見られたが、90%に達していた。

図2-31 【学部】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の肯定的評価を見ると（図2-32）」(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」から(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」までは、テレビ科目とラジオ科目間にほとんど差はなかったが、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」では、テレビ科目が4ポイント高く、ラジオ科目を上回っていた。

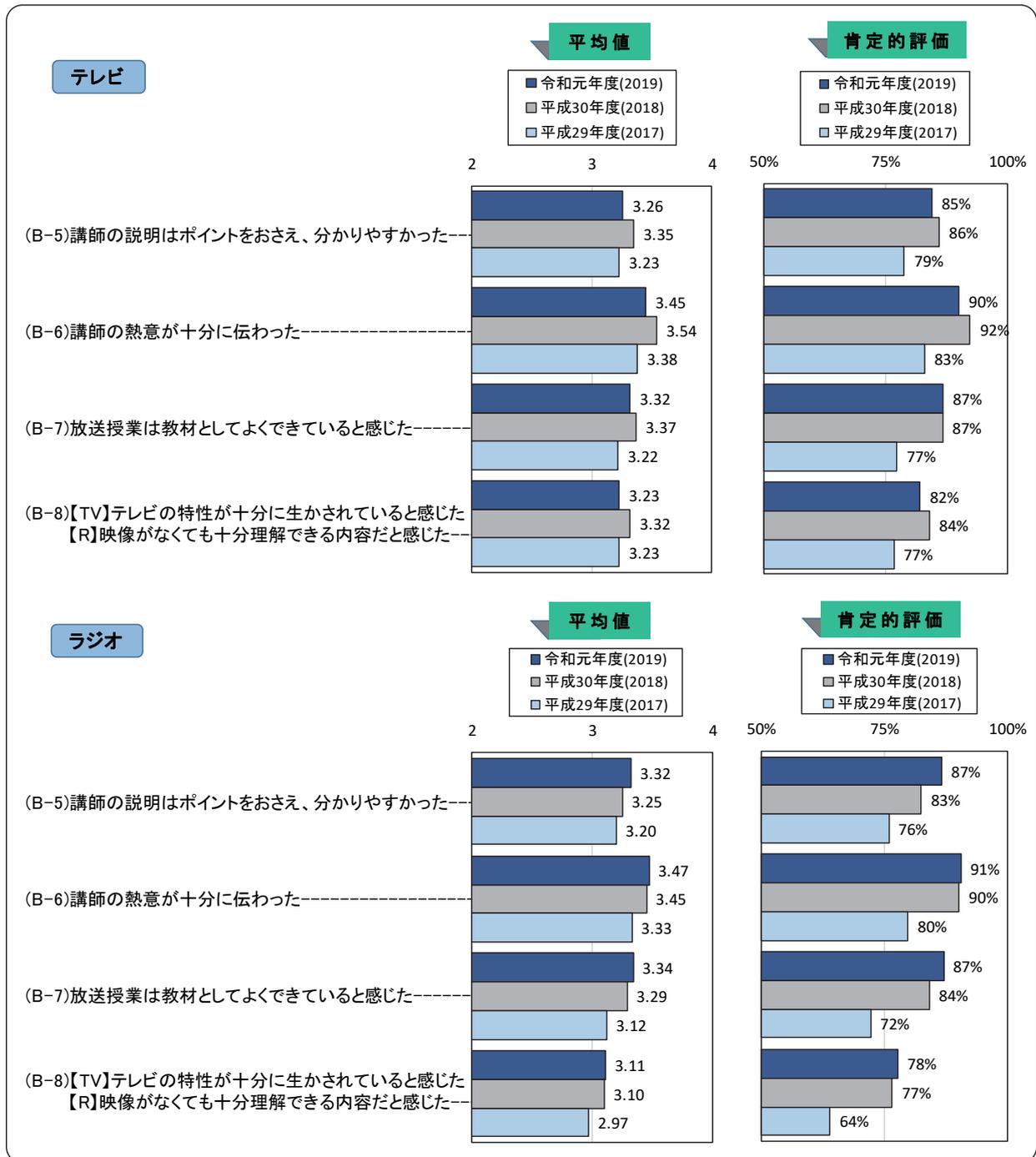
図2-32 【学部】メディア別の放送授業の評価



また、メディア別に放送授業の評価を時系列で見ると（図2-33）、テレビ科目では、本年度は、4項目全てで昨年度の一昨年度からの上昇分を維持しており、本年度と昨年度の4項目の評価は同水準であった。

ラジオ科目では、一昨年度からの上昇という点でテレビ科目と同様であったが、（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」については、本年度の支持率に増加が見られ、それぞれ87%に達していた。

図2-33 【学部】メディア別の放送授業の評価（時系列）

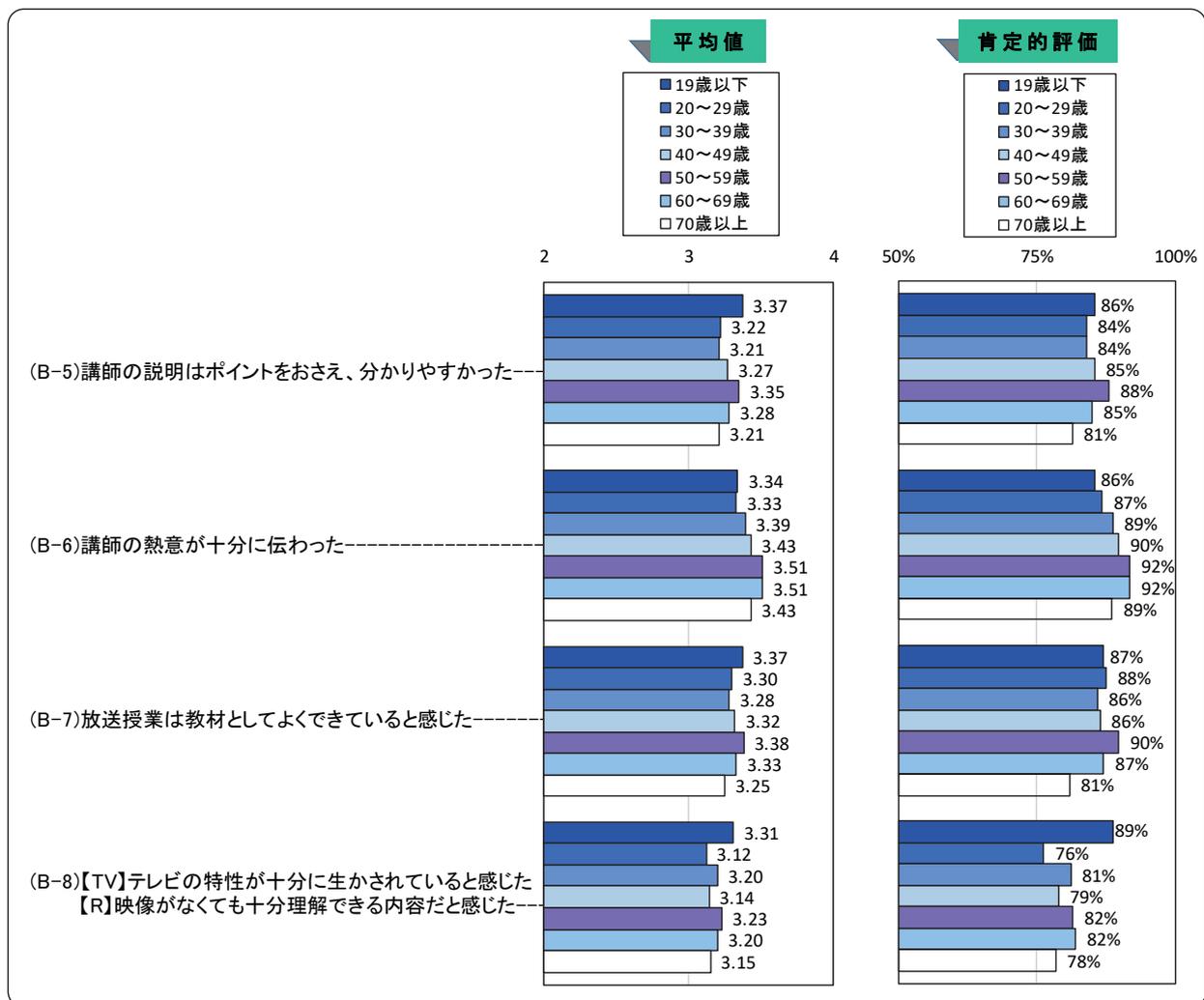


年齢階層別に放送授業の評価を見ると（図2-34）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は50歳代（順に88%, 90%）で高く、70歳以上（各81%）で低いという傾向が見られた。

(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」はどの年代も86%以上の支持率で、中でも50歳代と60歳代はそれぞれ92%と高い支持率であった。

(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は19歳以下が89%と高率で、20歳代が76%と、評価に大きな違いが見られた。

図2-34 【学部】年齢階層別の放送授業の評価



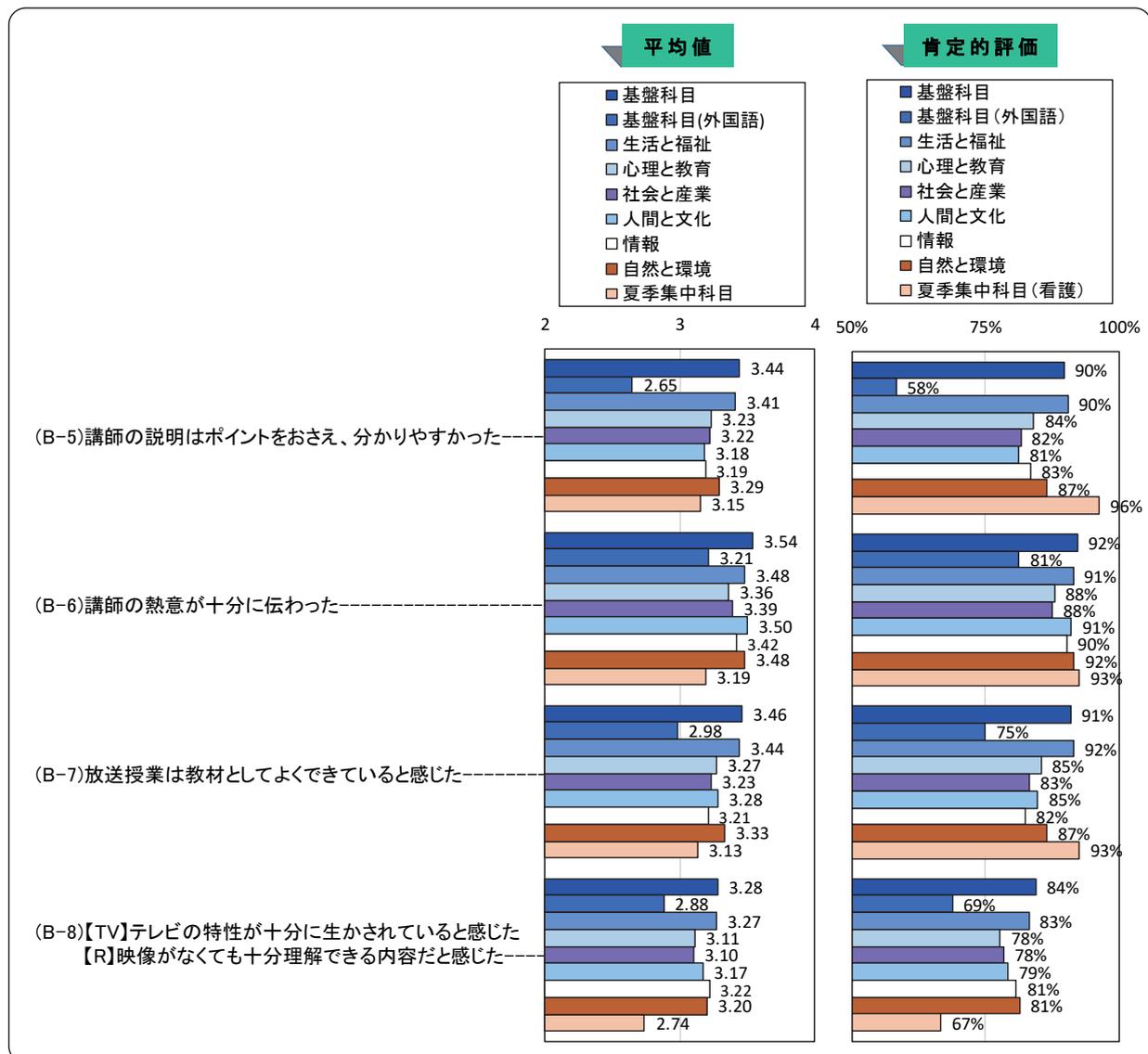
所属コース別に放送授業の評価を見ると（図2-35）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」では「夏季集中科目（看護）」「基盤科目」が90%を越え、評価が高く、「基盤科目（外国語）」が58%と極端に評価が低かった。

(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」でも「基盤科目（外国語）」(81%)が最下位で、それ以外のコースは90%前後と一様に評価が高かった。

(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」では、90%を超えたのは、評価の高い順に「夏季集中科目（看護）」「生活と福祉」「基盤科目」で、この項目でも「基盤科目（外国語）」が75%で最も低かった。

(B-8)「テレビの特性が十分に活かされていると感じた／（ラジオ）映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は「基盤科目」(84%)と「生活と福祉」(83%)が高く、「夏季集中科目（看護）」(67%)と「基盤科目（外国語）」(69%)で低かった。

図2-35 【学部】所属コース別の放送授業の評価

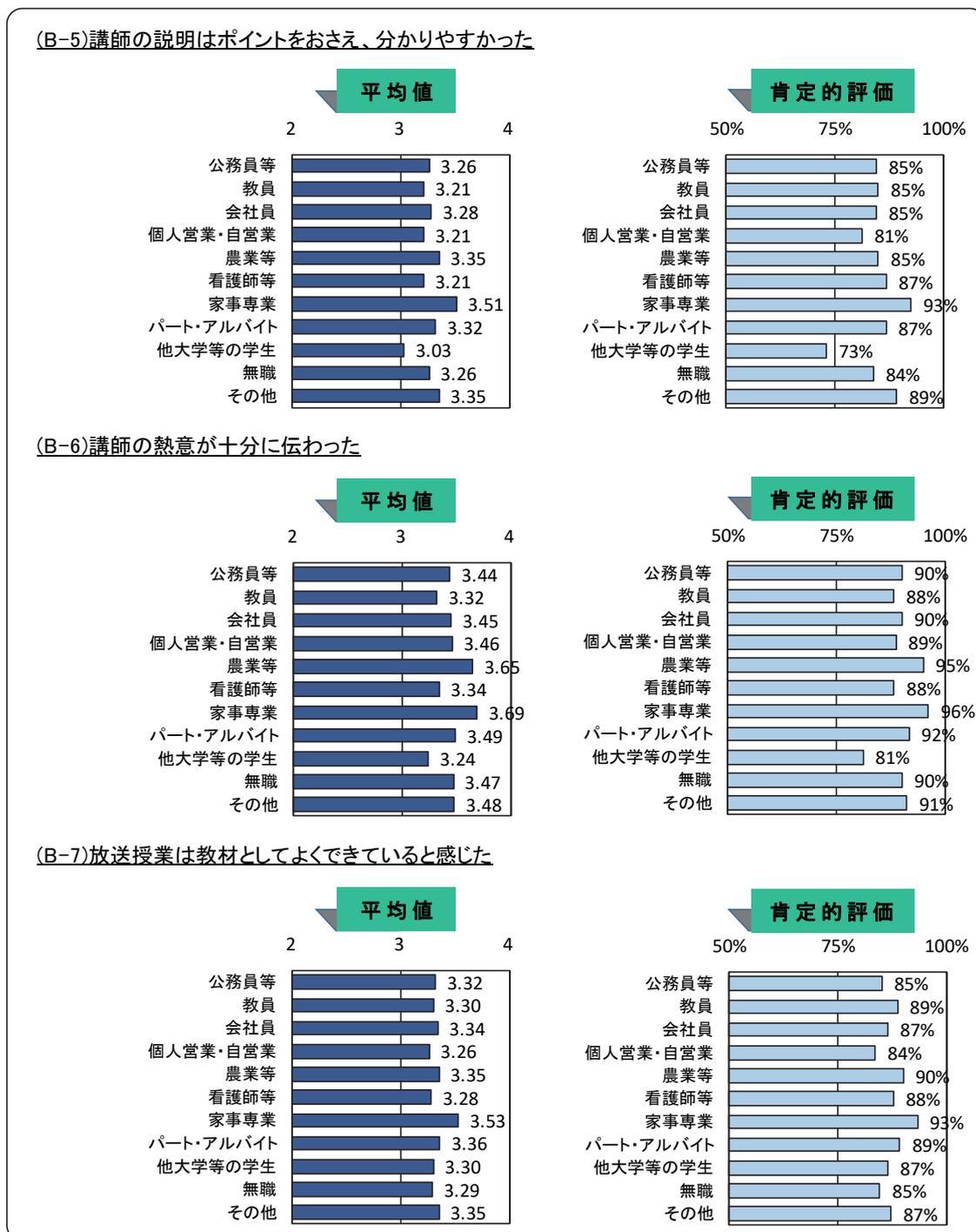


職業別に放送授業の評価を見ると（図2-36）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」では、「家事専業」（93%）が唯一 90%越えで最も高く、「他大学等の学生」が73%と極端に評価が低かった。

(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」では、この項目でも「家事専業」（96%）が最も高く、「農業等」が95%で続き、「他大学等の学生」（81%）が最も低かった。

(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」では90%を超えていたのは「家事専業」（93%）と「農業等」（90%）でそれ以外の職業は84%～89%の支持率であった。

図2-36 【学部】職業別の放送授業の評価



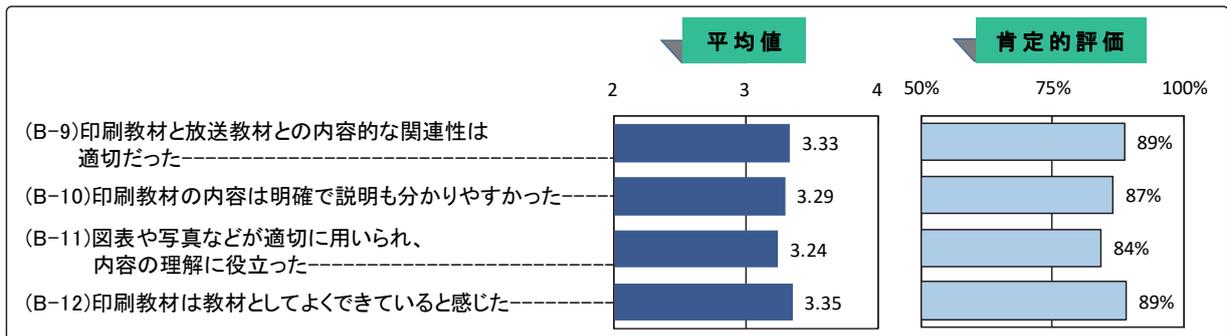
(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていくことにする。

印刷教材の評価項目では（図2-37）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と (B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は 89%で高い支持率であった。

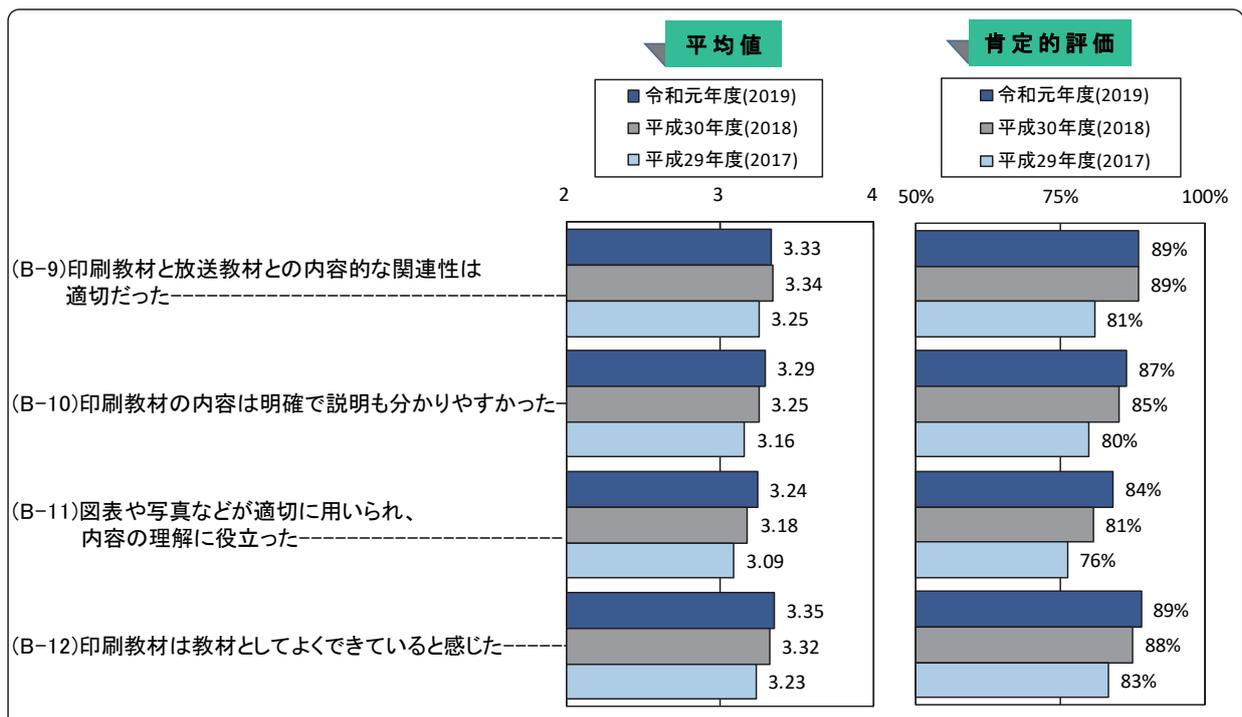
(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は他の項目と比べると 84%と評価が低かった。

図2-37 【学部】回答者全体の印刷教材の評価



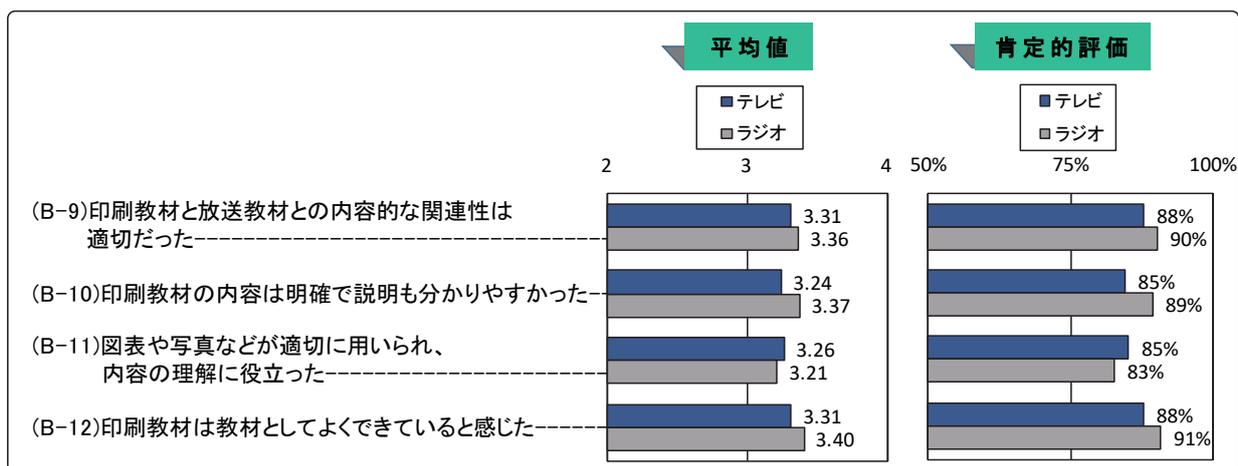
印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-38）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と (B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は昨年度と変わらず高い支持率を維持しており、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と (B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」昨年度から更に評価を上げていた。

図2-38 【学部】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



メディア別に印刷教材の評価を見ると（図2-39）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は両メディア間にほとんど差はなかったが、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では差が見られ、ラジオ科目の支持率の方が多かった。

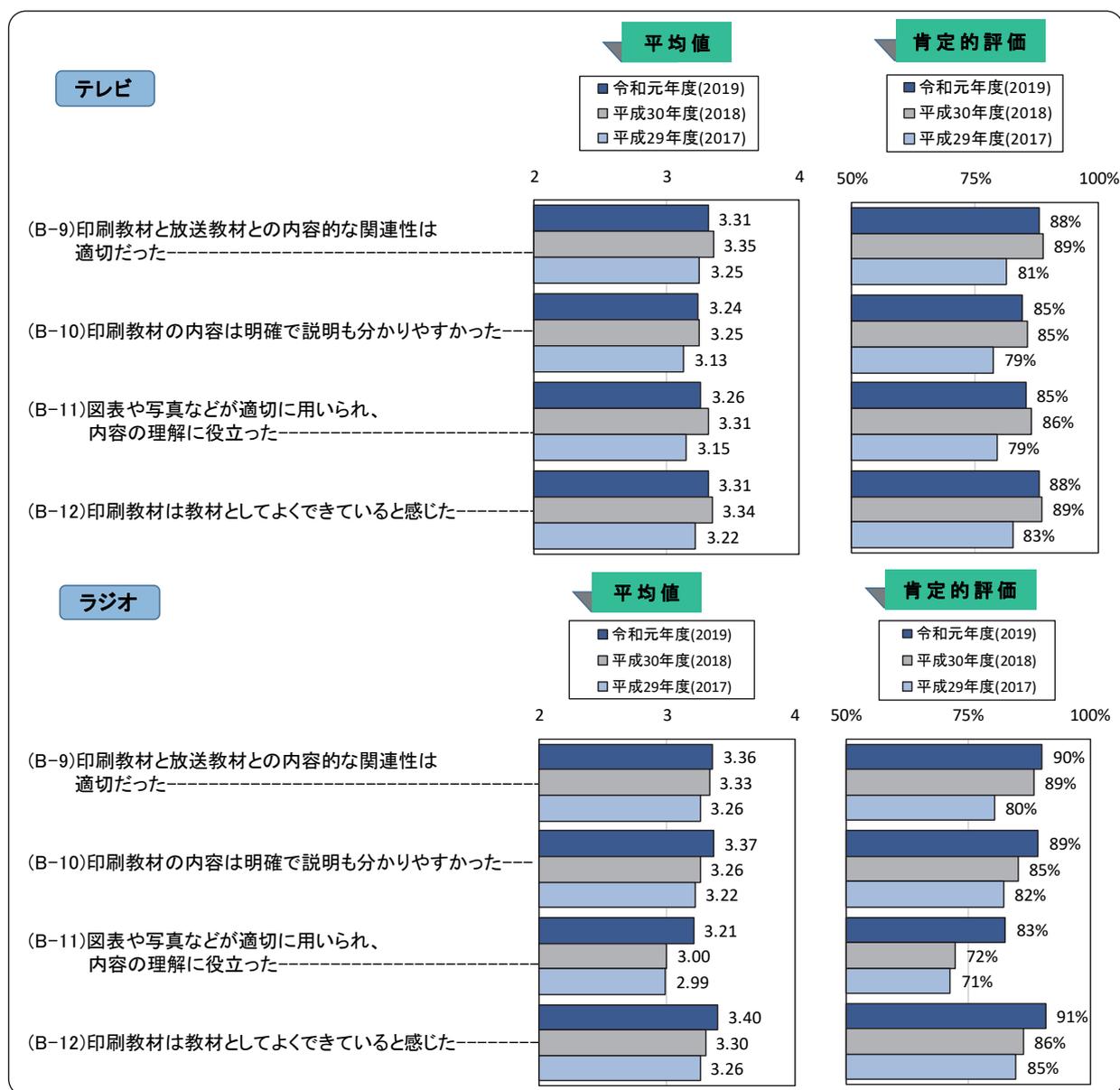
図2-39 【学部】メディア別の印刷教材の評価



メディア別の印刷教材の結果を時系列で見ると（図2-40）、テレビ科目では、本年度は、4項目全てで昨年度の一昨年度からの上昇分を維持しており、その支持率は昨年度と同じ水準を保っていた。

ラジオ科目について、本年度と昨年度を比べてみると(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は、同じ水準であったが、残りの3項目については本年度が増加傾向で、特に(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は11ポイントの大幅増であった。

図2-40 【学部】メディア別の印刷教材の評価（時系列）



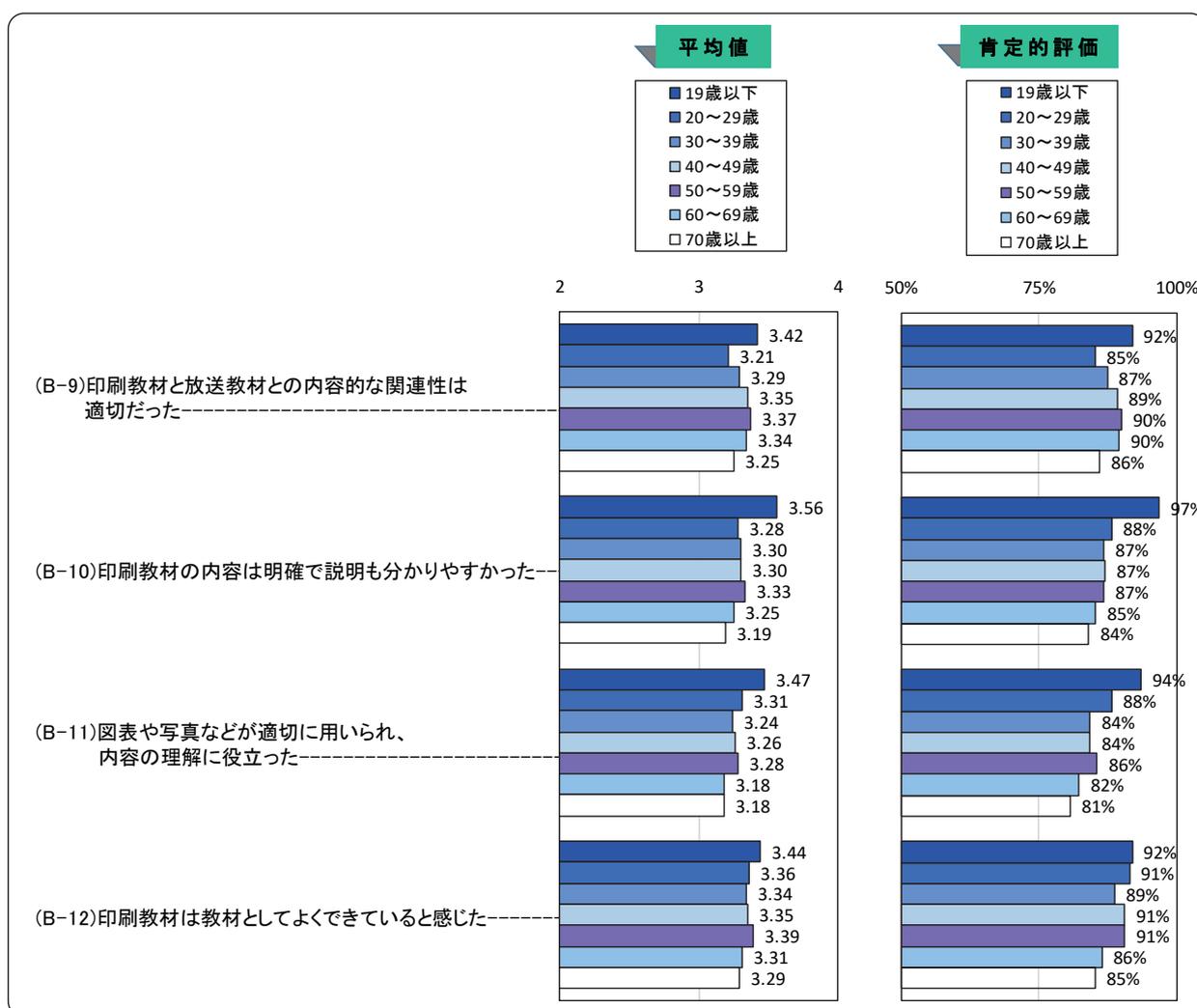
年齢階層別に印刷教材の評価を見ると（図2-41）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は各年代とも85%以上の支持率で、特に19歳以下は92%と高率であった。

(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は19歳以下が97%と最も高く、他の年代を大きく引き離していた。

(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」も同様に19歳以下の評価が94%と群を抜いており、60歳代と70歳以上は逆に80%にとどまり、他の年代との対比で評価が低かった。

(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」はいずれの年代も85%以上で、19歳以下～50歳代は90%前後に達していた。

図2-41 【学部】年齢階層別の印刷教材の評価



所属コース別に印刷教材の評価を見ると（図2-42）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」では、「基盤科目」と「生活と福祉」が共に90%を超え上位で、「基盤科目（外国語）」は67%と、他の所属コースから大差を付けられていた。

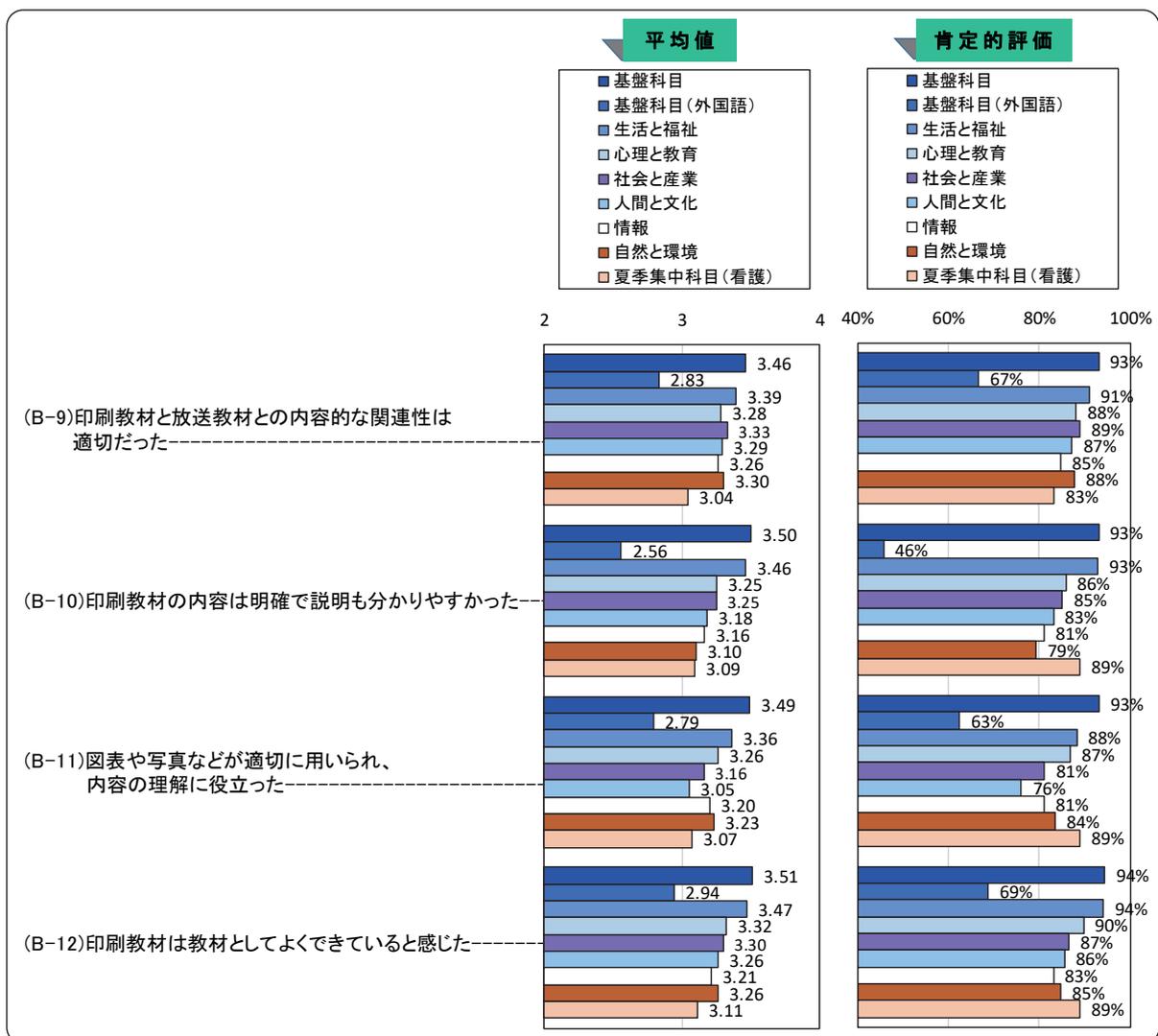
(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」については、「基盤科目」と「生活と福祉」が共に93%で評価は高く、他に「夏季集中科目（看護）」(89%)も上位となっていた。

反対に「基盤科目（外国語）」の支持率は46%と5割に達せず、他の所属コースと大きな開きが見られた。

(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は(B-10)と同じ様な傾向で、「基盤科目（外国語）」が69%と、他のコースとの開きは依然大きい。

(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では、「基盤科目」と「夏季集中科目（看護）」が90%前後と1, 2位を占め、ここでも「基盤科目（外国語）」が63%で最も低い評価であった。

図2-42 【学部】所属コース別の印刷教材の評価

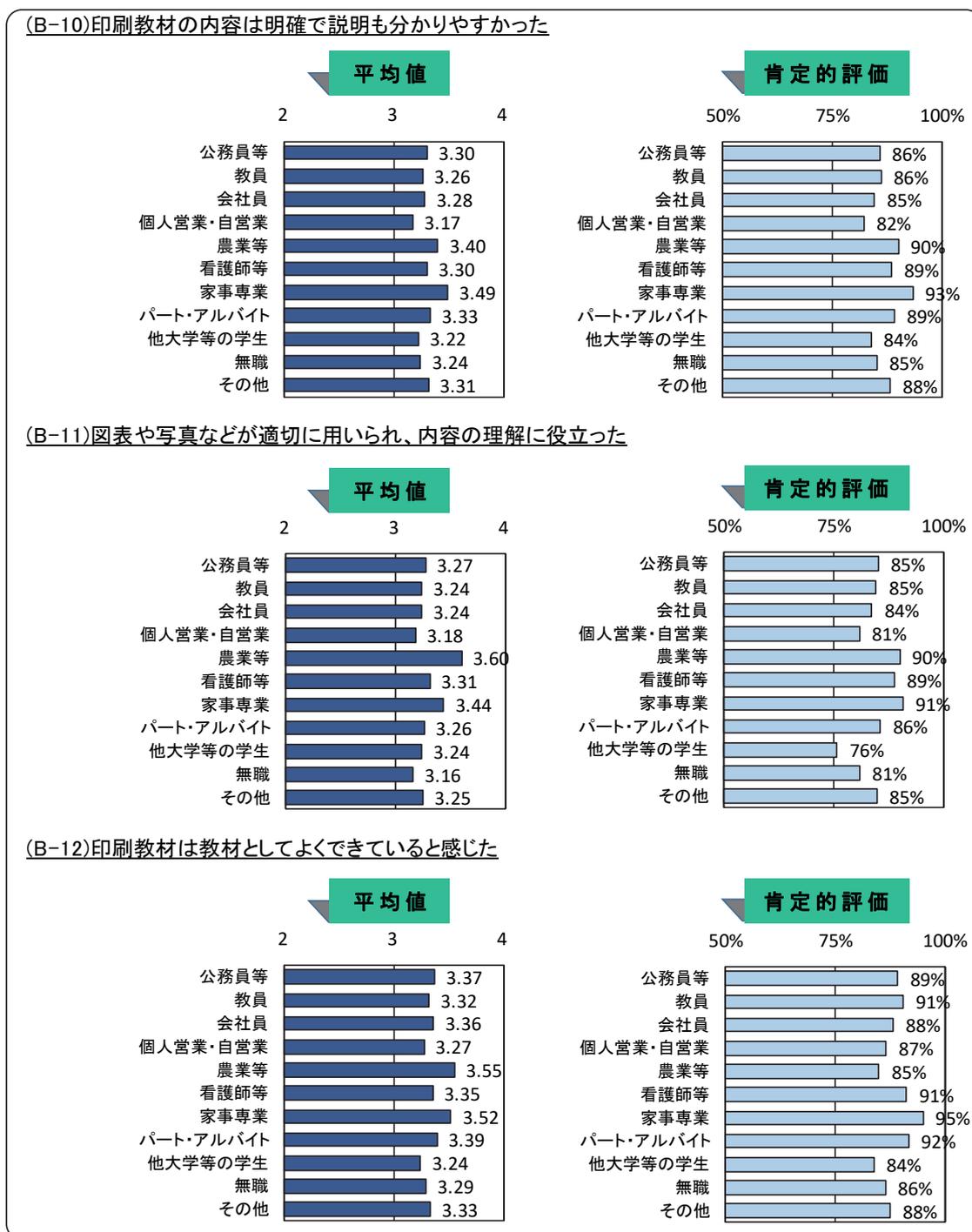


職業別の印刷教材の評価では（図 2-4 3）、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は「家事専業」（93%）が最も高く、最も低かったのは「個人営業・自営業」（82%）で、それ以外の職業は 84%～90%に分散していた。

(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では「家事専業」「農業等」「看護師等」が 90%前後で上位に位置し、「他大学等の学生」は 76%で他の職業と比べ、低い支持率であった。

(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では、いずれの職業も 84%以上で、特に「家事専業」の評価は 95%と特に高かった。

図 2-4 3 【学部】職業別の印刷教材の評価



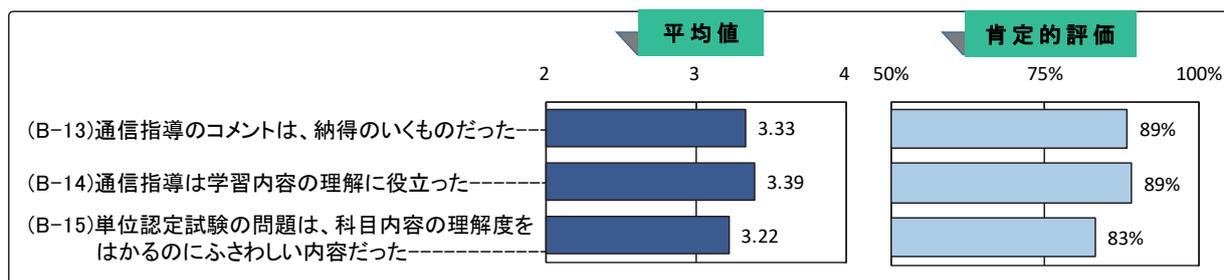
(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとに見ていくことにする。

通信指導については(図2-44)、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」はそれぞれ89%に達していた。

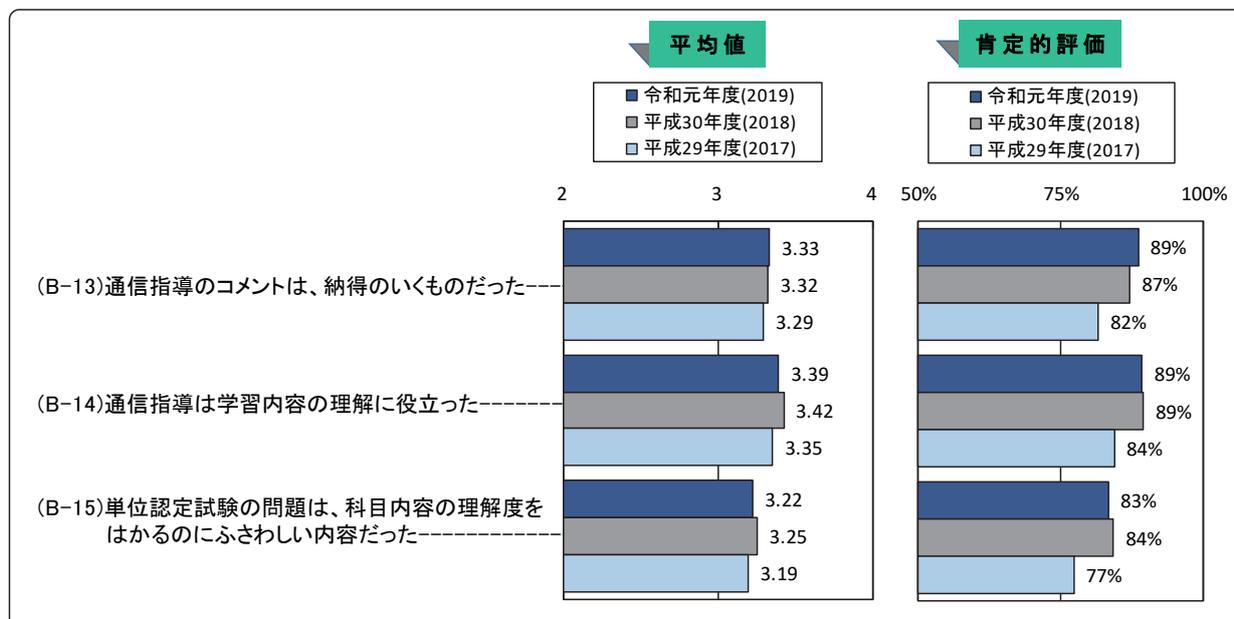
(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」は83%と前2項目より評価は低いが、80%を超えている。

図2-44【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(図2-45)、本年度は、下記の3項目全てで、昨年度の一昨年度からの上昇分を維持しており、支持率が昨年度とあまり変わらなかった。

図2-45【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価(時系列)

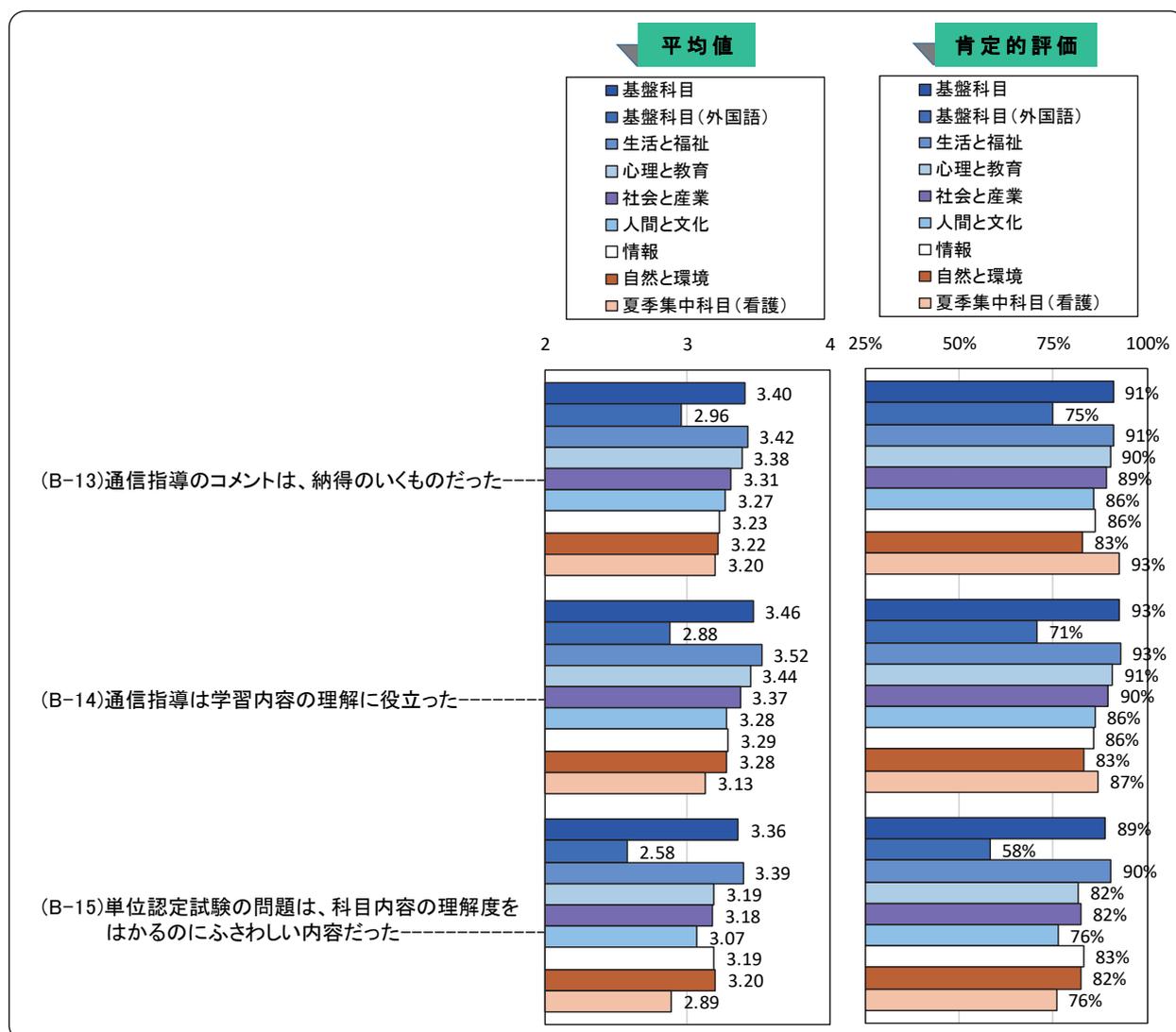


所属コース別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図2-46）、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」では、「夏季集中科目（看護）」が93%と最も高く、最も低かったのは「基盤科目（外国語）」75%で、その他の所属コースは83%～91%であった。

(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」では「基盤科目」と「生活と福祉」が共に93%で最上位、反対に「基盤科目（外国語）」が71%で最も低く、それ以外の各コースは83%～91%で分散していた。

(B-15)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」では、前述の傾向と同じで、「基盤科目」と「生活と福祉」が共に90%前後で最も高く、「基盤科目（外国語）」は58%で極端に低く、それ以外の各コースは76%～83%であった。

図2-46 【学部】所属コース別の通信指導・単位認定試験の評価



II-1-4. 学部の重回帰分析

重回帰分析とは、数量データである目的変数と説明変数の関係を調べ、重回帰式（モデル式）を導き出す解析手法である。

今回の調査では全体の満足度 B-(20)「この科目の内容には全体として満足している」を目的変数とし、調査票 I.A. 授業への取り組み姿勢を除く B.(1)～(19)の各項目を説明変数として分析を試みる。

本調査の選択肢はカテゴリーデータであるが、平均値の算出と同様『あてはまる→4』のように数値ポイント化することで数量として扱い、重回帰分析を適用する。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知ることが目的としている。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度 B-(20)
説明変数	x_1, x_2, \dots	各項目 B(1)～(19):全 19 問(項目)
係数	a_1, a_2, \dots	重回帰分析によって得られる偏重回帰係数

重回帰式 $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{19}x_{19}$ (説明変数が 19 個の場合)

サンプルサイズが十分でない場合や説明変数が多すぎると、全体の満足度を表すのに適した重回帰式を得られないことが経験的に分かっているため、重回帰分析の中で、説明変数間で強い相関関係がある場合、その一方の項目を自動的に削除する「変数減少法」を用いて解析を行うことにする。

使用するデータは質問項目 I.B の全設問を全て回答した 4,550 人のローデータを使用する。(昨年度からオンライン利用によるアンケート形式に替わり、今回も全員が全設問を回答していた。)

■分析精度

自由度修正済み決定係数とは、得られた重回帰式が目的変数に対してどれだけ説明力(寄与度)があるかを示す指標で、「1」に近いほど良い結果で、この分析では 0.730 となった。

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関(自己相関)を示す指標で 0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差(誤差)に規則性があり、解析自体あるいはデータ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされ、その値は 2.002 となった。

◆分析精度

決定係数	0.731
自由度修正済み決定係数	0.730
ダーヴィンワトソン比	2.002
残差の標準偏差	0.401

今回の重回帰分析では分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。

(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1%ある事を表している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p値	判定
全体変動	2710.122	4549				
回帰による変動	1981.993	18	110.1107	685.1972	0.000	[**]
回帰からの残差変動	728.1288	4531	0.160699			

凡例	有意水準	凡例	有意水準
[**]	0.01	[*]	0.05

下表にある標準偏回帰係数とは説明変数の相互比較を可能にするためのもので、各説明変数の目的変数に対する影響力の度合いがこれで分かる。

標準偏回帰係数（全体の満足度に対する寄与度）が最も高かったのは B-19 で 0.241、次いで B-17 の 0.232、他に B-18 (0.164)、B-5 (0.093) と続いた。

説明変数の影響力の度合いを比較するために、表中の標準偏回帰係数の中で絶対値が最も小さい B-6 (0.027) とそれ以外の標準偏回帰係数が B-6 の何倍になるか算出してみた。(表中の右端の数値) その結果、高い順に B-19:8.9 倍、B-17:8.6 倍、B-18:6.1 倍、B-5:3.4 倍となった。

「全体の満足度」(肯定的評価 88%) を上げるためには、上位 2 項目の「B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」と「B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」の肯定的評価を上げる事が最も効果的であると考えられる。

この 2 項目の肯定的評価について見てみると、B-19:85%、B-17:89%で、それぞれの肯定的評価を上げる余地は残っていると思われる。

目的変数	標準偏回帰係数	説明変数	判定	B-6との対比
B-20.全体の満足度	0.241	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	[**]	8.9
	0.232	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	[**]	8.6
	0.164	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	[**]	6.1
	0.093	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	[**]	3.4
	0.067	B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	[**]	2.5
	0.066	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	[**]	2.4
	0.065	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	[**]	2.4
	0.063	B-16 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	[**]	2.3
	0.048	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	[**]	1.8
	0.032	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	[*]	1.2
	0.030	B-10 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	[*]	1.1
	-0.027	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	[*]	1.0
	定数項	[**]		

※説明変数の中で有意水準が0.05以下の項目だけを掲載した

Ⅱ－２．大学院の分析結果

Ⅱ－２－１．項目平均から見た全体的傾向

評価項目の内容ごとに回答者全体の平均値と肯定的評価を A-1～A-3 等の複数の項目の平均を算出しグラフ化（図 2－4 7）した。

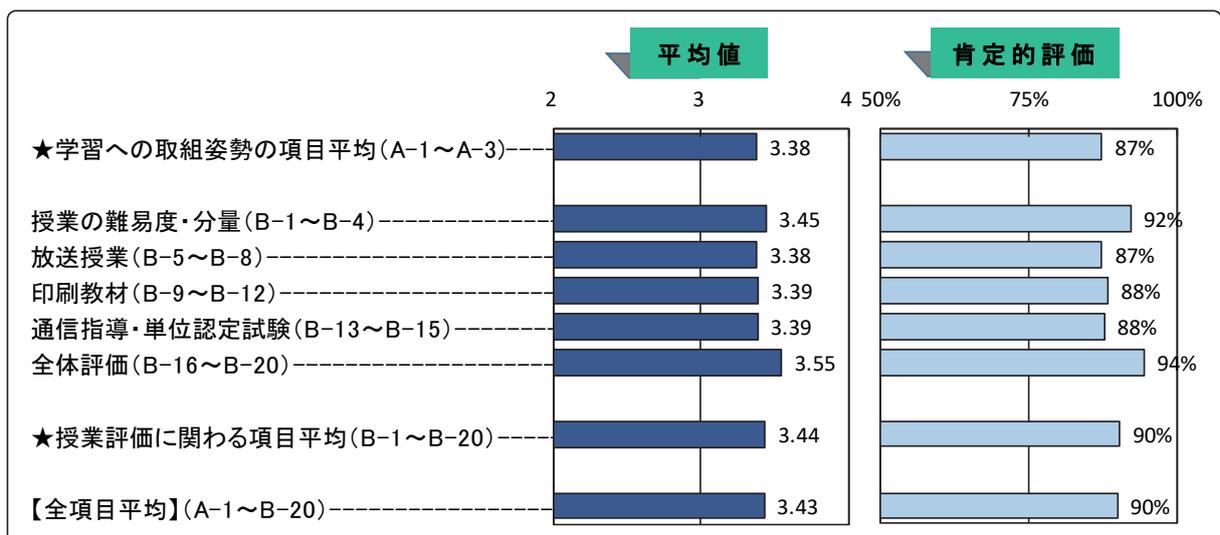
学部同様、肯定的な評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）の方が（例えば回答者の 80%）イメージしやすく、下図左側の平均値と肯定的評価に齟齬が生じた場合、どちらを採用するか合理的に判断出来ないため、コメントについては肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

また、新規開設科目の年度比較は、比率の差の検定結果から、大学院は、学部ほど回答者数が多くないため（2019 年度 350 人、2018 年度 76 人 2017 年度 705 人）、本年度と昨年度の比較では概ね 8 ポイントの差で有意となったため、8 ポイント以上で「差がある」事にする。

項目平均による全体的傾向をみると（図 2－4 7）、『学習への取組み姿勢（A-1～A-3）』は 87%、『授業評価に関わる項目平均（B-1～B-20）』は 90%であった。

授業評価に関わる項目（B-1～B-20）で、90%を超えていたのは『授業の難易度・分量』（92%）と『全体評価』（94%）であった。

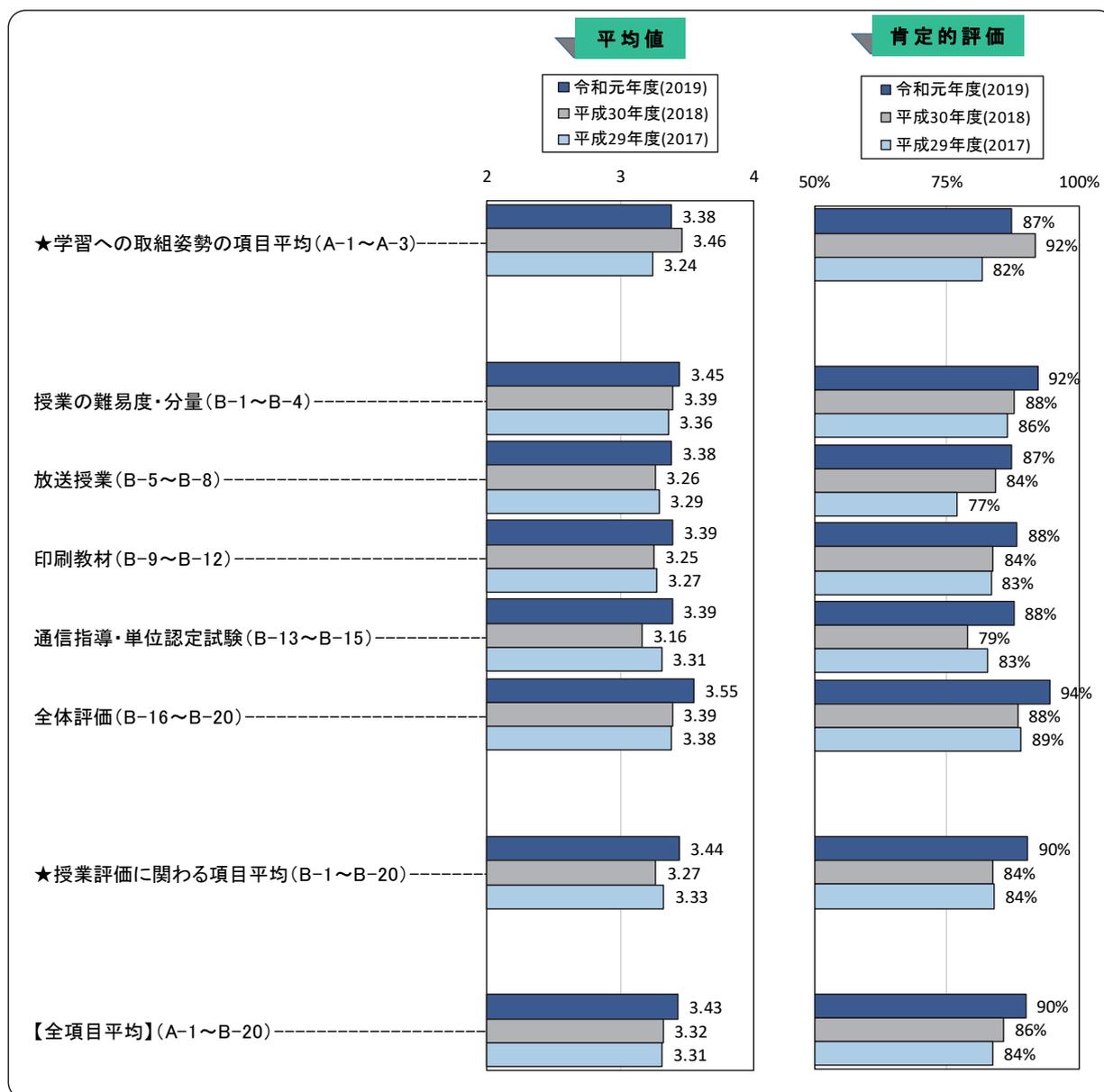
図 2－4 7 【大学院】項目平均による全体的傾向



項目平均を科目の開設年度で比較して見ると（図2-48）、本年度の『学習への取組姿勢』（87%）は、昨年度に及ばず5ポイント下回っていた。

『授業評価に関わる項目』については、本年度は87~94%で昨年度より高い評価となっており、『通信指導・単位認定試験』は昨年度より9ポイント増の88%、『全体評価』は6ポイント増で94%に達していた。

図2-48 【大学院】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



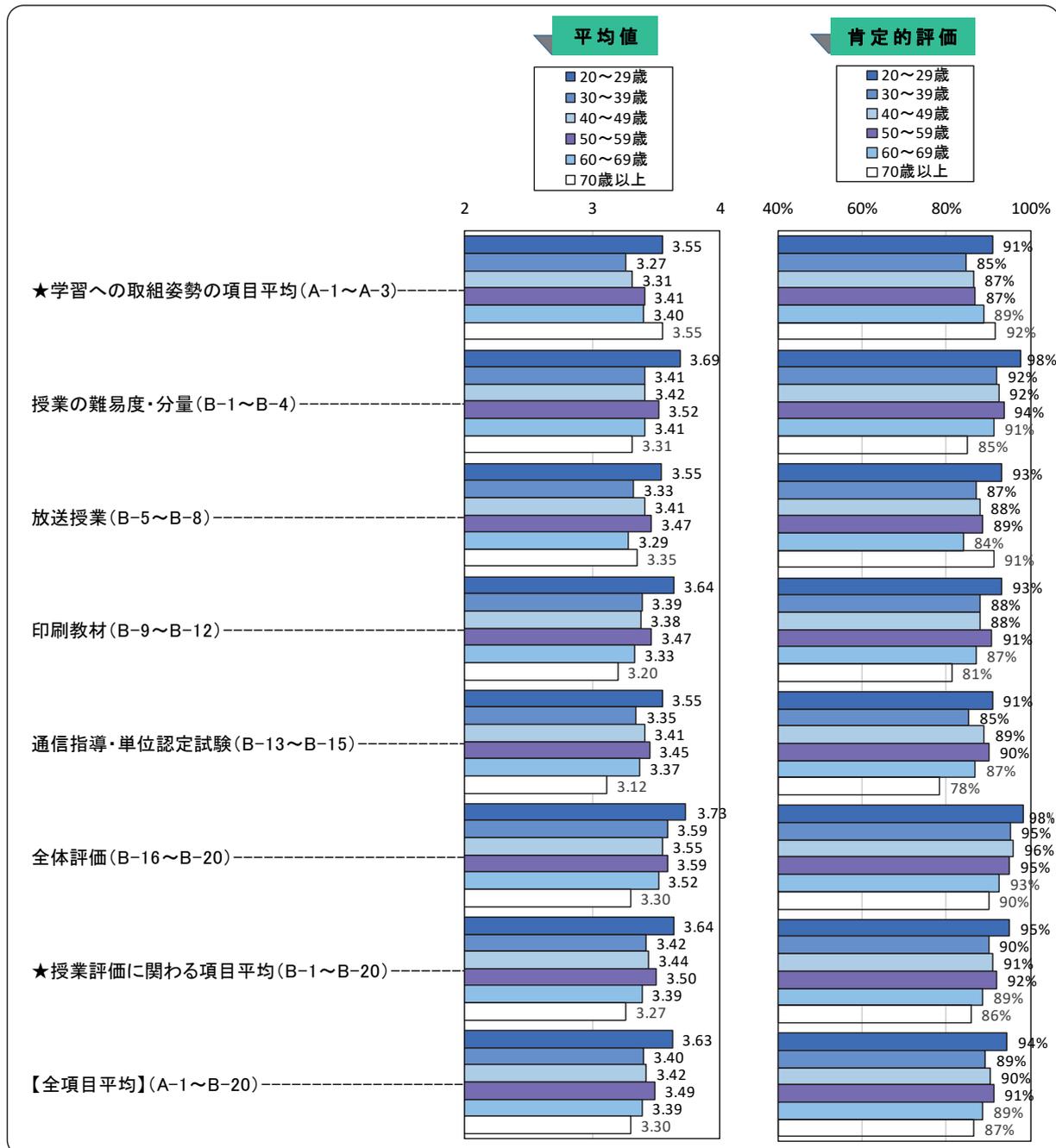
年齢階層別では(図2-49)『学習への取組み姿勢の項目平均』は、20歳代と70歳以上が90%台で、熱心に取り組んだ人が9割を超えていた。

また、3項目目の『放送授業』でも同様の傾向で、20歳代と70歳以上の評価が高かった。

授業評価に関わる残りの3項目では、20歳代の評価が最も高く、70歳以上の評価が最も低かった。

※「20～29歳」は回答者数が11人と少人数である事に留意されたい。

図2-49 【大学院】項目平均による年齢階層別全体的傾向



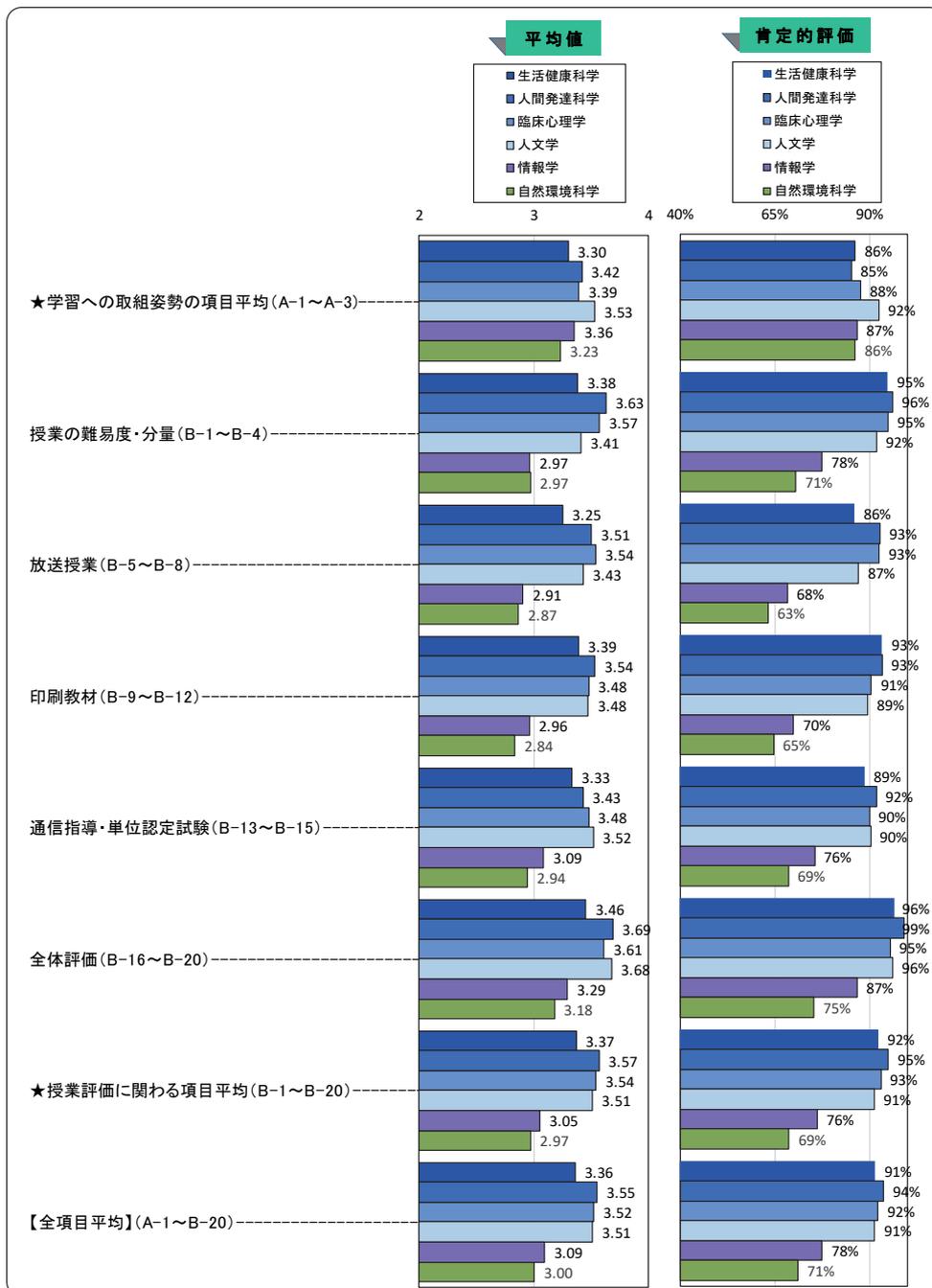
所属プログラム別に項目平均を見ると（図2-50）、『学習への取組み姿勢の項目平均』はいずれのプログラムも85%以上で、特に「人文学」は92%に達し、授業に対する熱心度が最も高かった。

次の項目の『授業の難易度・分量』～『通信指導・単位認定試験』では、「情報学」と「自然環境科学」が60～70%台と極端に低く、それ以外のプログラムはほぼ90%前後と高率であった。

『全体評価』でも前述の傾向が見られ、「情報学」と「自然環境科学」が順に87%、75%だったが、それ以外のプログラムは95%以上と高い評価であった。

※「自然環境科学」は回答者数が17人と少人数である事に留意されたい。

図2-50 【大学院】項目平均による所属プログラム別全体的傾向



職業別では（図2-51）、「家事専業」と「他大学等の学生」は回答者数がそれぞれ11人と2人で、共に少人数なので「家事専業」については基本的に割愛し、「他大学等の学生」については今後言及しないことにする。

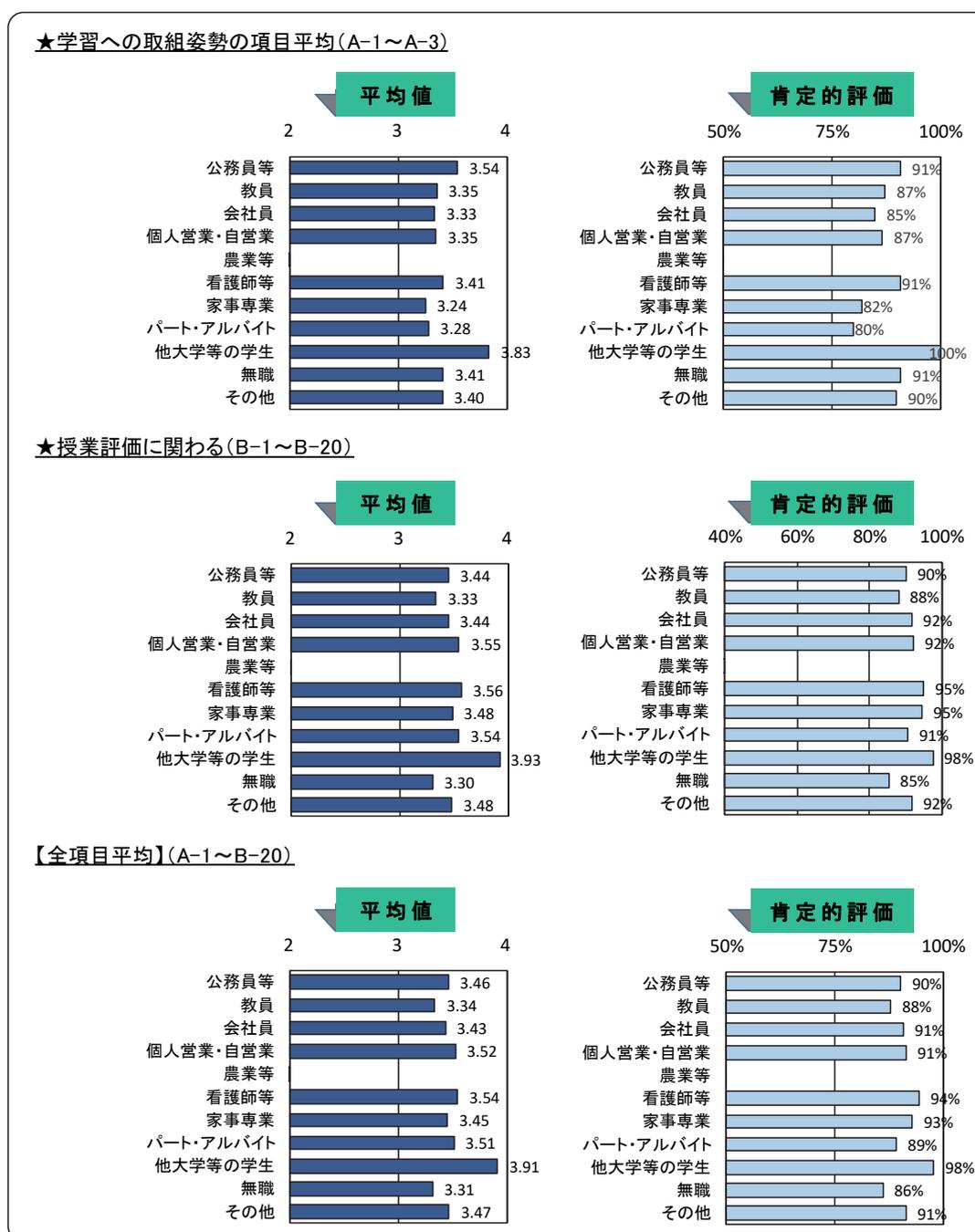
『学習への取組み姿勢の項目平均』ではいずれも80%以上となり、その中で90%以上となったのは「公務員等」「看護師等」「無職」「その他」で上位を占めていた。

『授業評価に関わる項目平均』では「教員」（88%）と「無職」（85%）以外は91%前後に達していた。

『全項目平均』は前述と同様の傾向が見られた。

※職業で農業等の人はいなかった。

図2-51 【大学院】項目平均による職業別全体的傾向



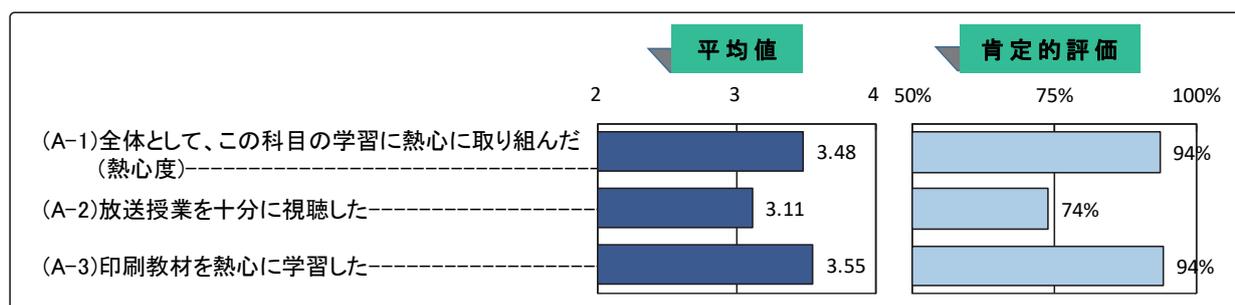
Ⅱ-2-2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

『学習への取組み姿勢』（図2-52）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は94%に達していた。

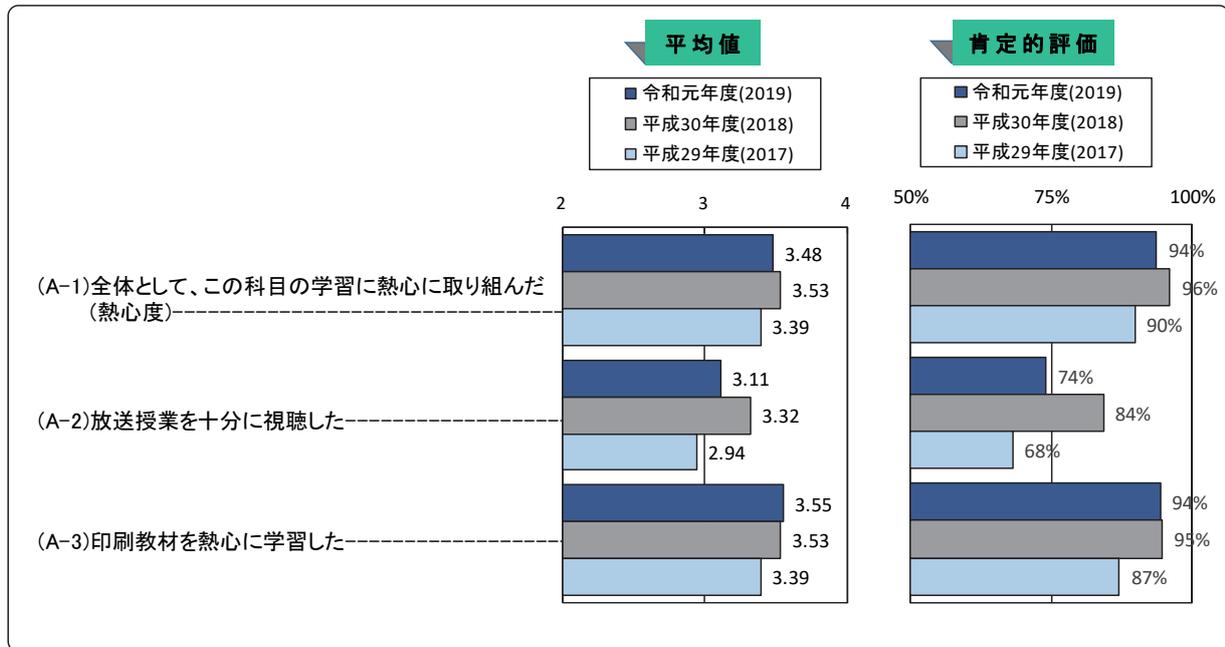
一方、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は74%で前述の2項目に比べると極端に低かった。

図2-52 【大学院】回答者全体の取組姿勢



『学習への取組み姿勢』を時系列で見ると（図2-53）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」については、本年度は、昨年度の一昨年度からの上昇分を維持していたが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」が10ポイント減と極端な落ち込みが見られた。

図2-53 【大学院】回答者全体の取組み姿勢（時系列）

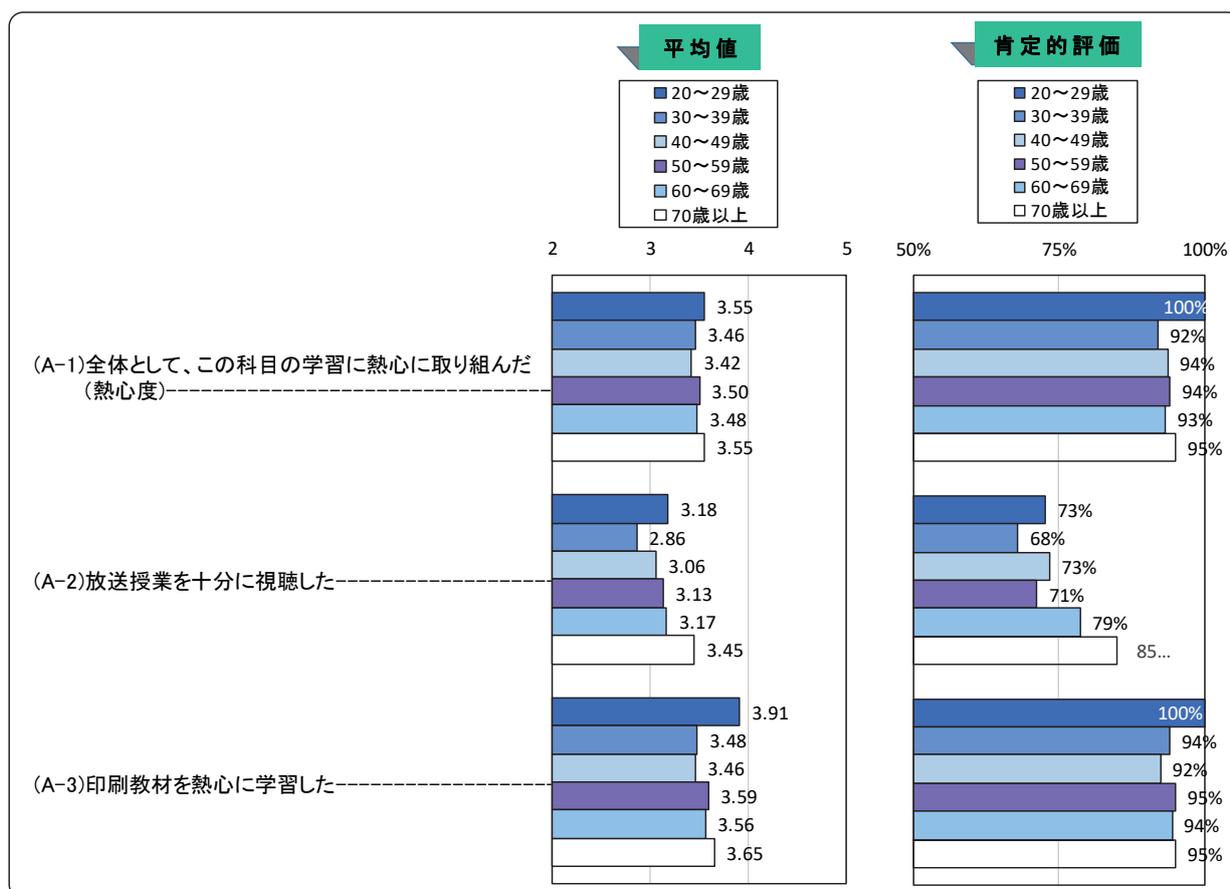


年齢階層別では（図2-54）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、92%～95%と90%を超え、年代間に大きな差は見られなかった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は30歳代～70歳以上で漸増傾向が見られ、70歳以上で85%に達していた。

※「20～29歳」は回答者数が11人と少人数で極端な値を取っているためコメントを割愛し、これ以降のページも同様とする。

図2-54 【大学院】年齢階層別の取組姿勢

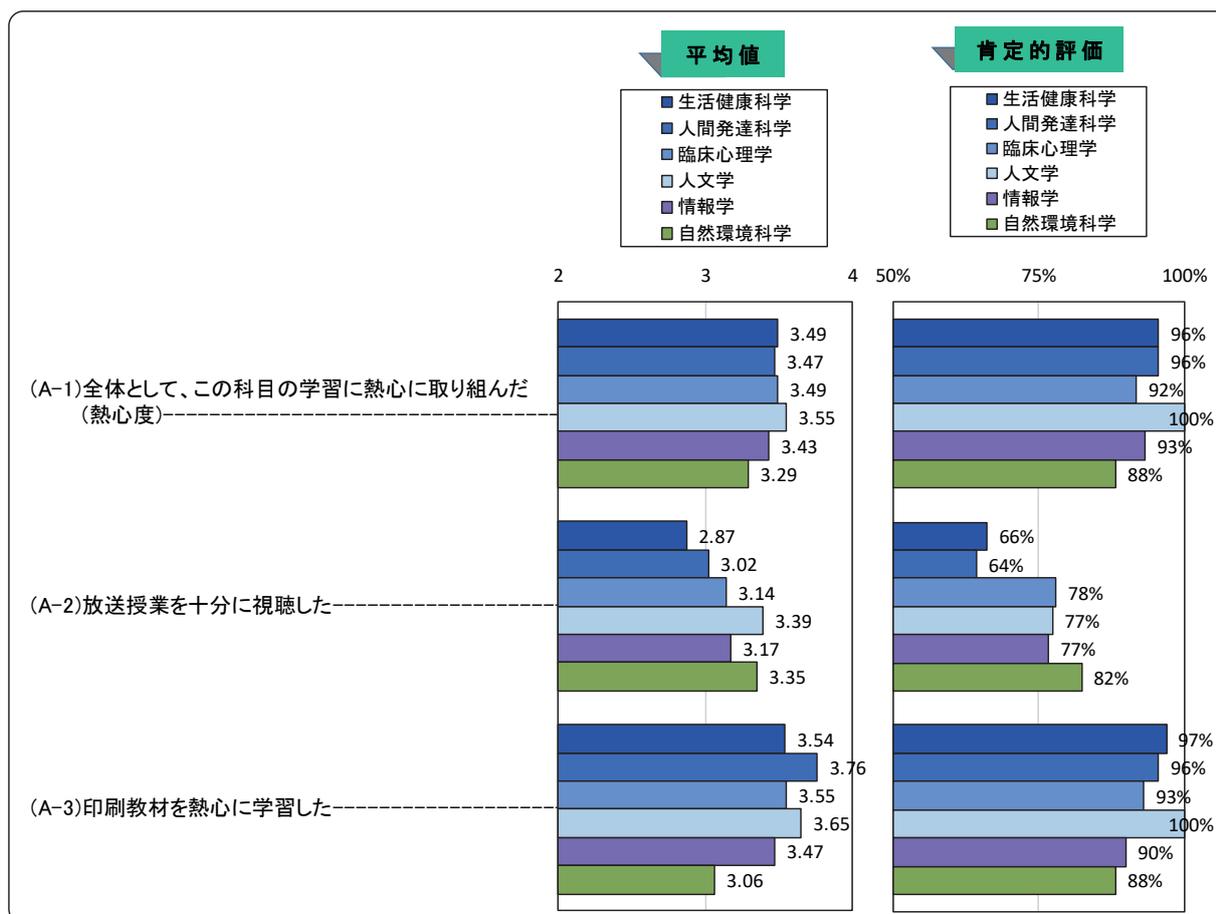


所属プログラム別では（図2-55）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、「自然環境科学」が最も低く88%で、それ以外は90%を上回っており、中でも「人文学」は100%に達していた。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も前述の傾向となっていた。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」については、「生活健康科学」と「人間発達科学」が60%台と下位を占め、「自然環境科学」が82%と最上位であった。

図2-55 【大学院】所属プログラム別の取組姿勢



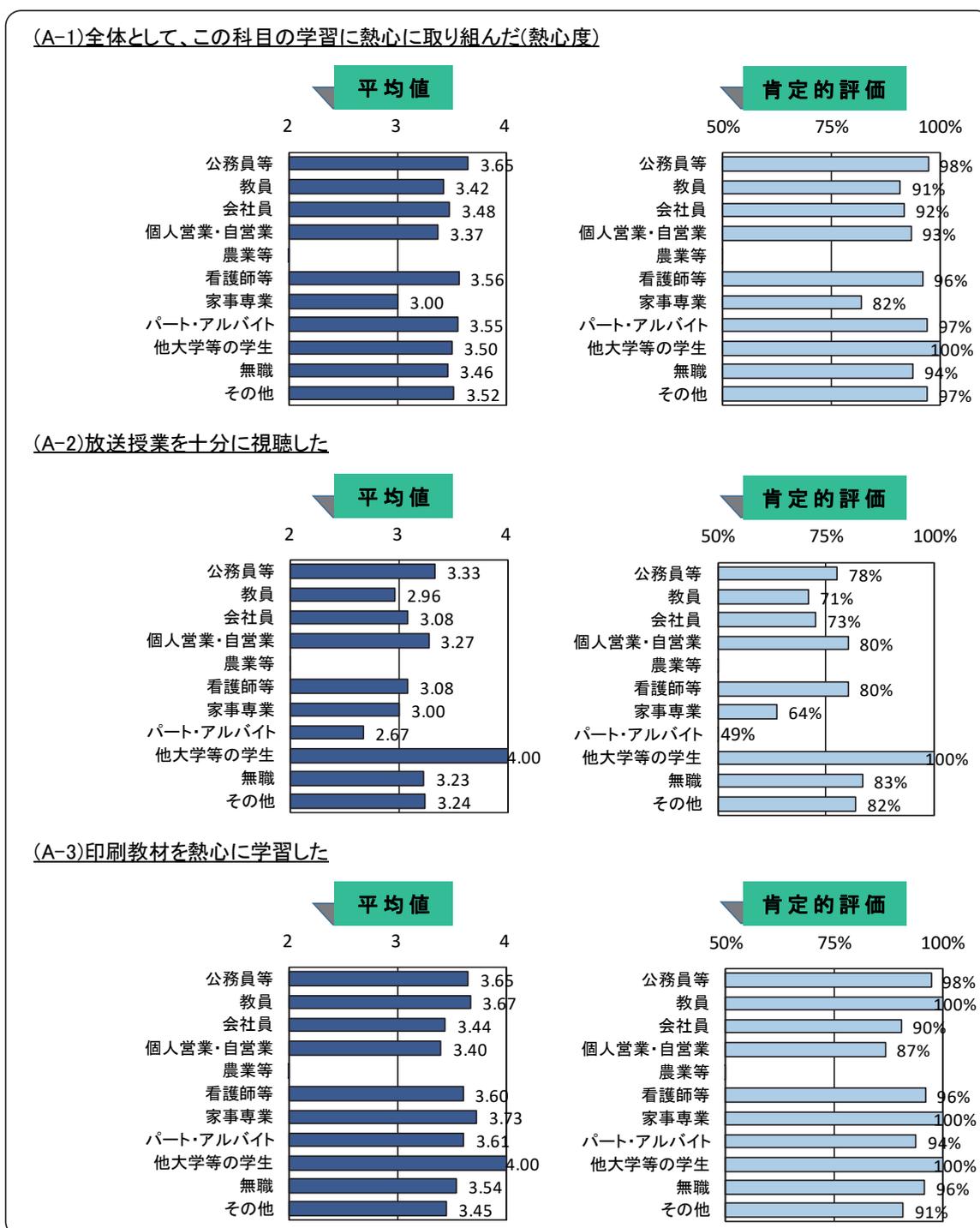
職業別では（図2-56）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、回答者が少数の「家事専業」と「他大学等の学生」を除くといずれも90%を超えており、「公務員等」が98%で最も高かった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、「パート・アルバイト」が49%と極端に低く、「教員」「会社員」も70%前半で下位を占め、それ以外の職業は80%前後であった。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、「教員」が100%で最も高く、「個人営業・自営業」は87%と最も低かった。

それ以外の職業は90%以上で分散していた。

図2-56【大学院】職業別の取組姿勢



単位認定のための学習方法（図2-57）では、属性別の各層内で回答者数が17人以下と少ない20～29歳、「自然環境科学」「家事専業」と「他大学等の学生」の4属性については下記のグラフから除外した。

全体では、比率の高い順に「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が66%と過半数を占め、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が27%で、「ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ」は7%とごくわずかであった。

年齢階層別では、30歳代は「印刷教材の学習だけ」と「両方の学習で」がほぼ同数で、他の年代にはない特徴が見られた。

40歳代と50歳代は全体と同じ傾向で、60歳代と70歳代の高年齢層は「両方の学習で臨んだ」が75～80%と他の年代と比べ多く、その分「印刷教材の学習だけ」が少ない傾向であった。

所属プログラム別では「生活健康科学」が全体に比べ「印刷教材の学習だけ」（40%）が高く、「両方の学習で臨んだ」（57%）が低かった。

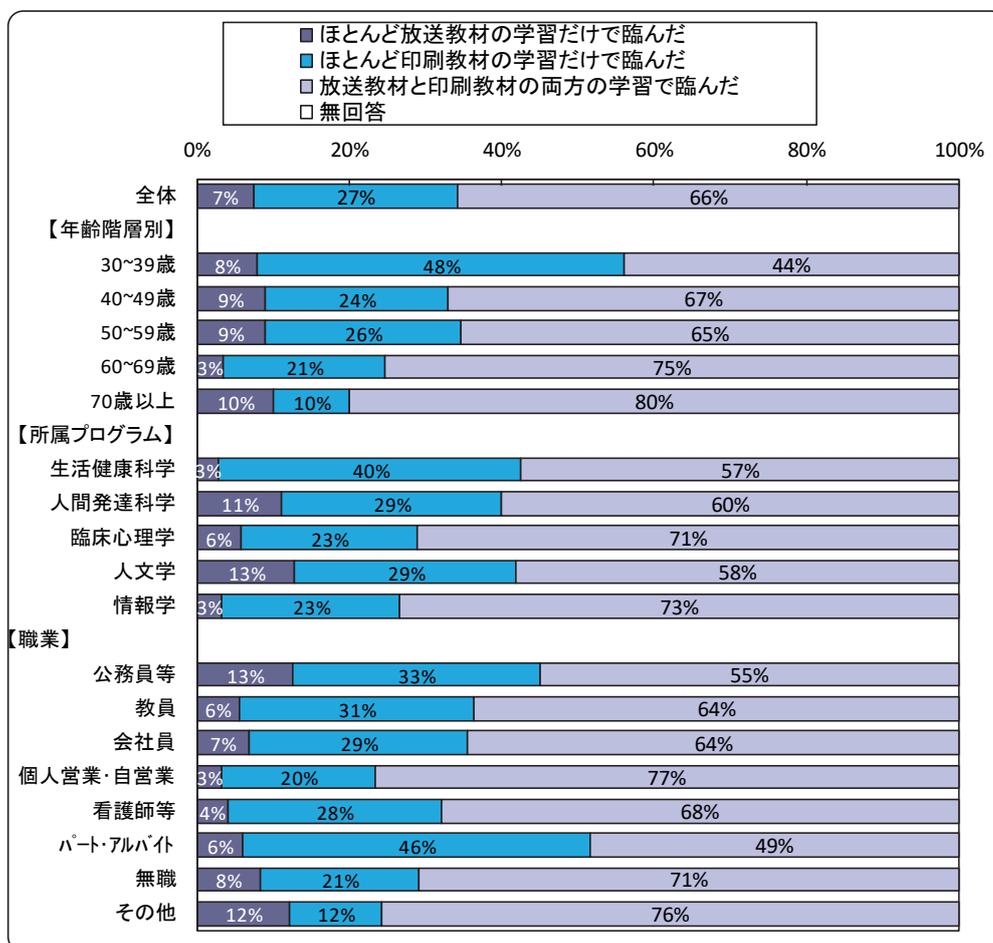
他に「人文学」も「両方の学習で臨んだ」（58%）は全体と比べると低かった。

「情報学」は反対に「両方の学習で臨んだ」（73%）が全体との対比で高かった。

「公務員等」と「パート・アルバイト」は他の年代と比べると、「両方の学習で臨んだ」が順に55%、49%と低く、「パート・アルバイト」は「印刷教材の学習だけ」46%と過半数に達していなかった。

「両方の学習で臨んだ」が70%を超えていたのは「個人営業・自営業」「無職」「その他」であった。

図2-57 【大学院】 単位認定のための学習方法



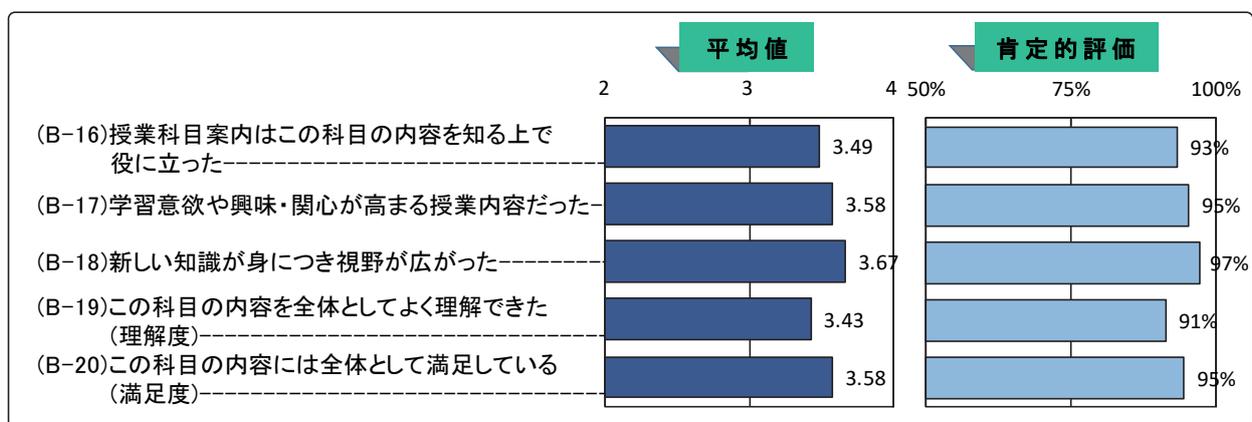
Ⅱ－2－3. 大学院の授業評価

(1) 全体評価

ここからは大学院の授業評価について、評価項目ごとに見ていくことにする。

全体評価では(図2-58)、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」(91%)は下記5項目の中で最も低かったが、それ以外の項目については95%前後に達しており、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」(97%)が最も高く評価されていた。

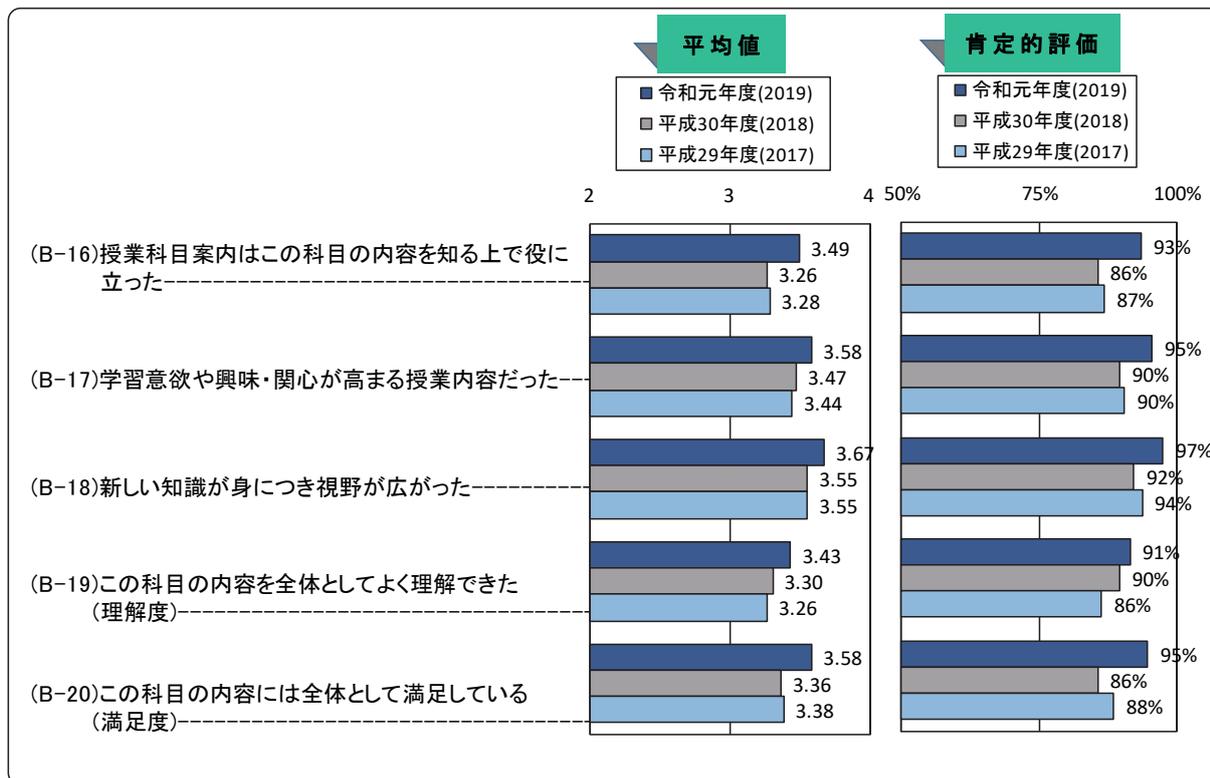
図2-58 【大学院】回答者全体の全体評価



全体評価を時系列で見ると（図2-59）、(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は昨年度と変わりはないが、それ以外の4項目については上昇が見られ、95%前後の評価を得ていた。

特に、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」（95%）については、9ポイントの大幅な上昇が見られた。

図2-59 【大学院】回答者全体の全体評価（時系列）



年齢階層別では(図2-60)、(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」については、50歳代が97%と最も高く、70歳以上が85%最も低かった。

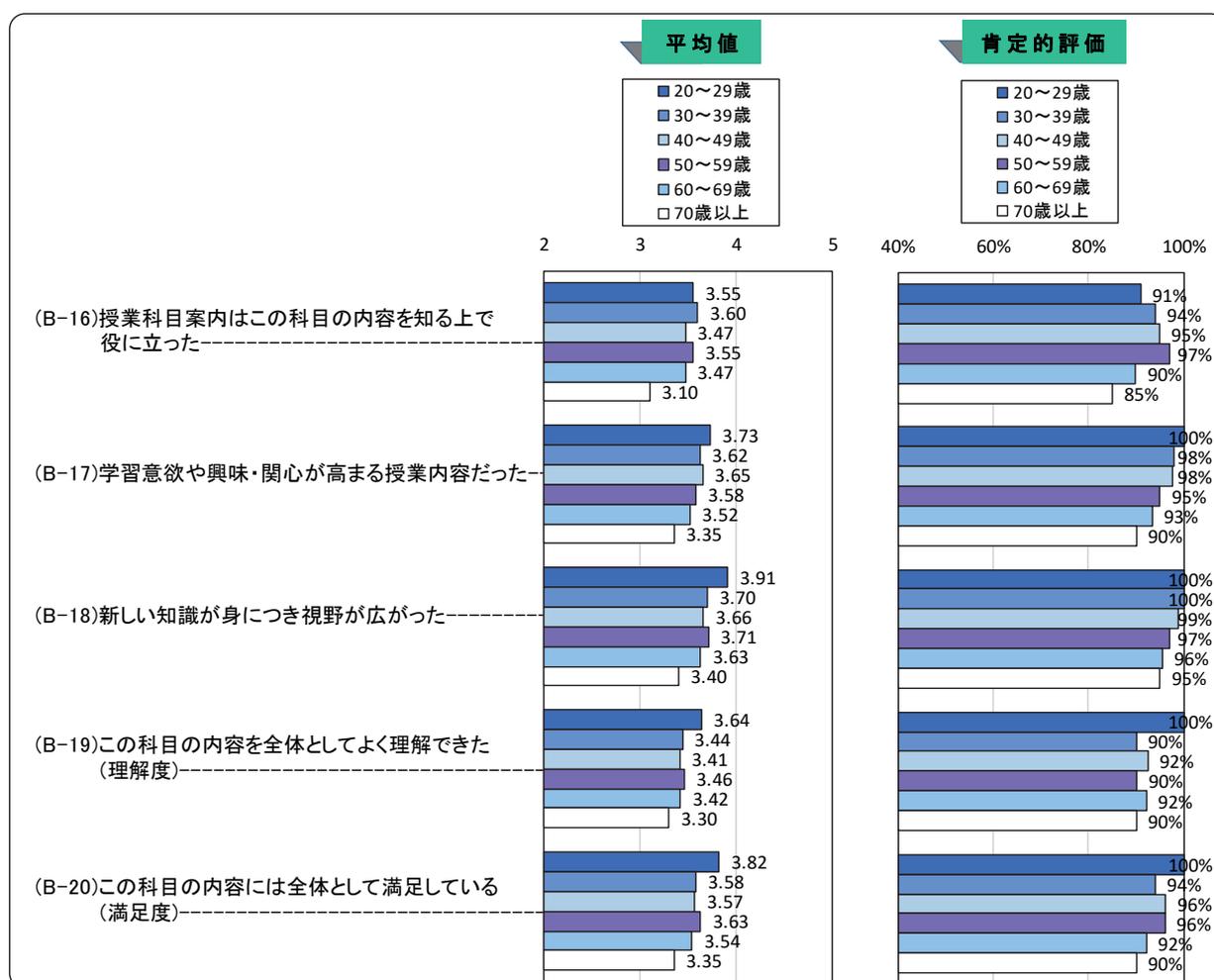
(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は20歳代~40歳代までの若い層の評価が高く、50歳代以上は年代が上がるほど、評価を下げていた。

(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」については、いずれも95%~100%に達し、一様に高い評価を得ていた。

(B-19)「理解度」と(B-20)「満足度」は同じような傾向で、その評価は20歳代(100%)で高く、70歳以上(90%)で低かった。

※「20~29歳」は回答者数が11人と少人数である事に留意されたい。

図2-60【大学院】年齢階層別の全体評価

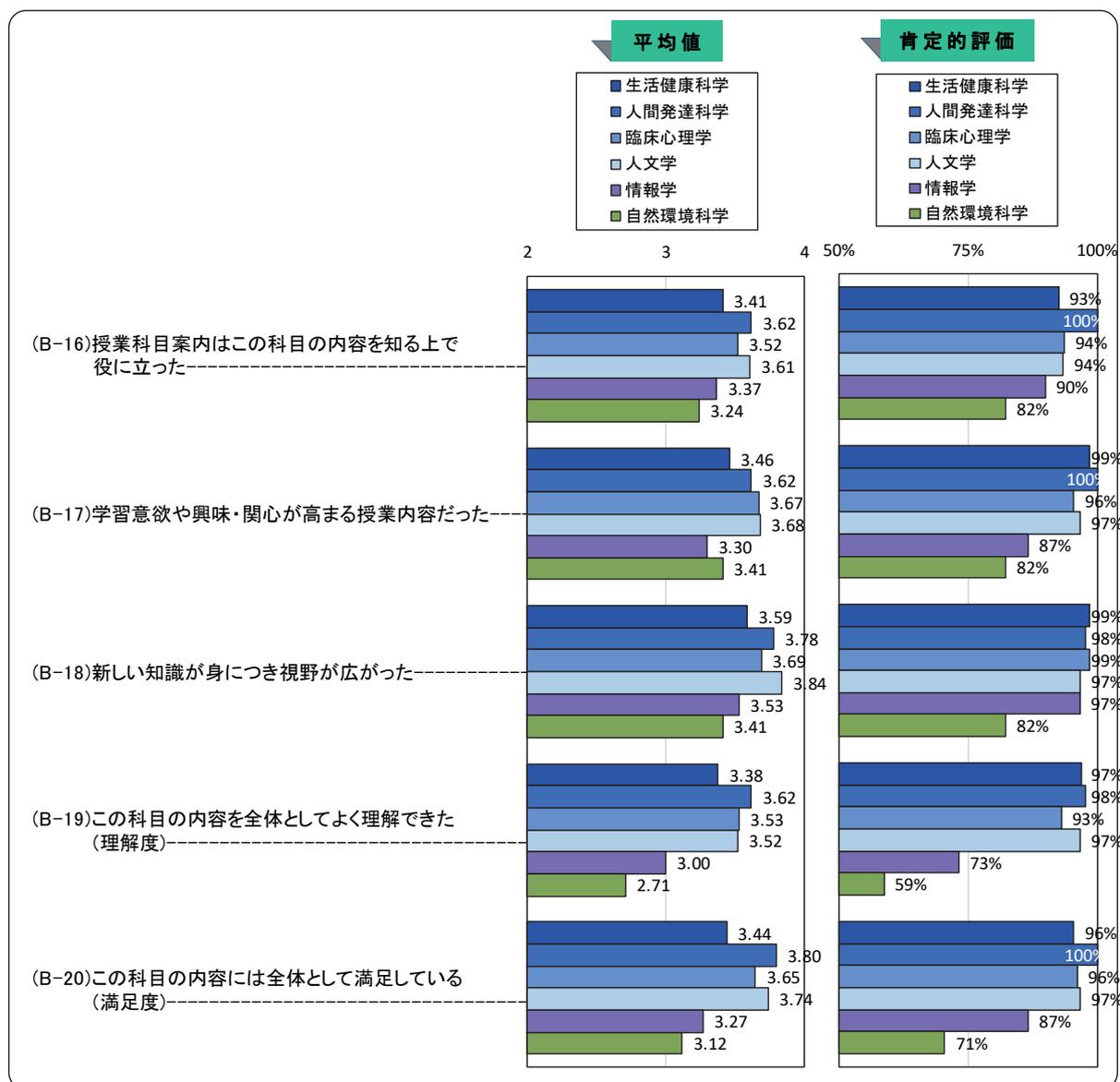


所属プログラム別に全体評価を見ると（図2-61）、(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」では「人間発達科学」受講者の全員が肯定的評価をしており、反対に「自然環境科学」は82%と他のプログラムとの対比で、評価は低かった。

(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」と(B-19)「理解度」、(B-20)「満足度」では、同じような傾向がみられ、「生活健康科学」～「人文学」までは90%台後半から100%の高評価であったが、残る「情報学」と「自然環境科学」は大きく評価を下げており、特に(B-19)「理解度」で「自然環境科学」は59%にとどまっていた。

(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」は「生活健康科学」～「情報学」までは98%前後の高評価であったが、ここでも「自然環境科学」は82%と他のプログラムと比べると低い評価であった。

図2-61 【大学院】所属プログラム別の全体評価



職業別では（図2-62）、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は「個人営業・自営業」「看護師等」「その他」が100%と最も高い評価であったのに対し、「家事専業」と「無職」はほぼ90%にとどまり、他の職業より低い評価であった。

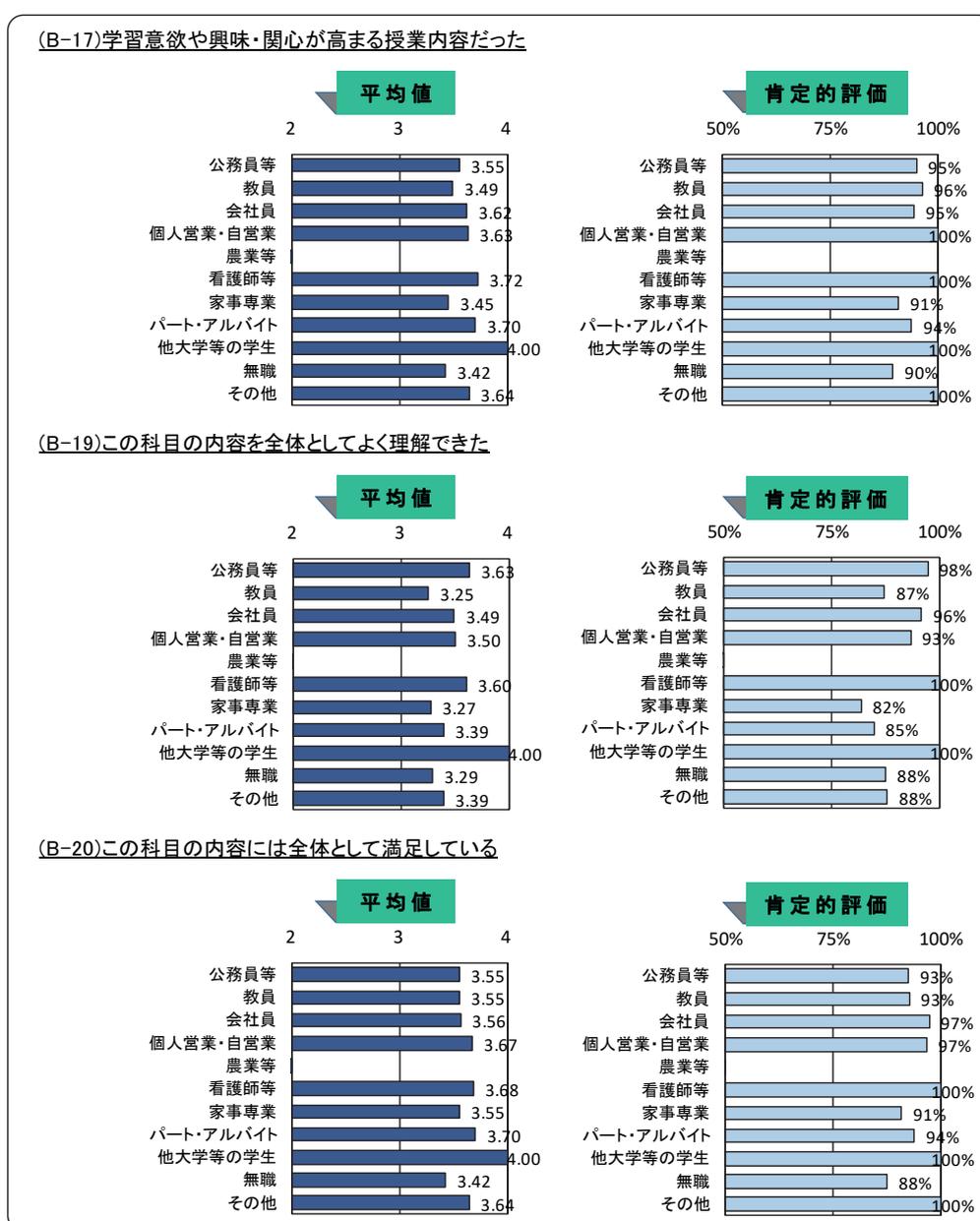
(B-19)「理解度」では、ここでも「看護師等」が100%に達しており、他に「公務員等」(98%)、「会社員」(96%)の評価も高かった。

それ以外は82%～93%と分散している。

(B-20)「満足度」では、前の2項目同様「看護師等」が100%で、他に「その他」も100%に達していた。

反対に「無職」は88%と、他の職業と比べると低い評価であった。

図2-62【大学院】職業別の全体評価

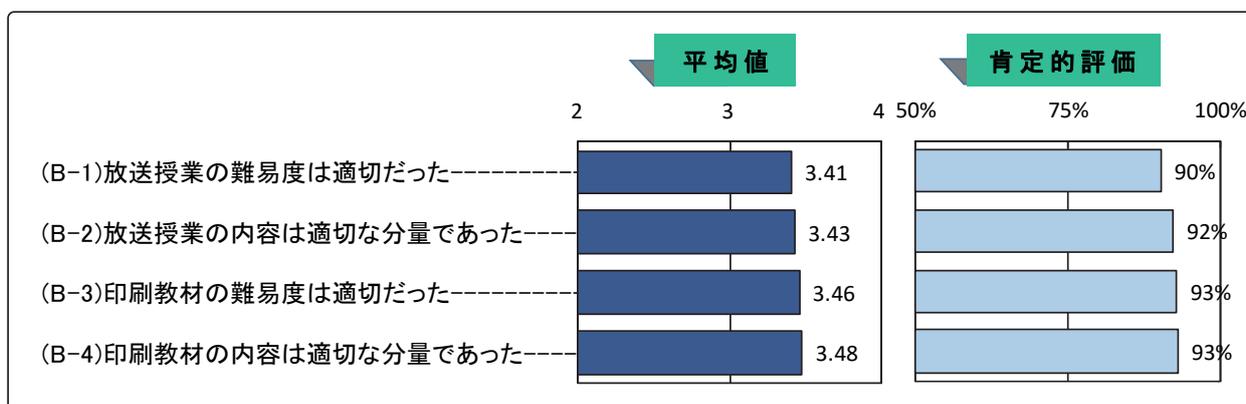


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について評価項目ごとに見ていく。

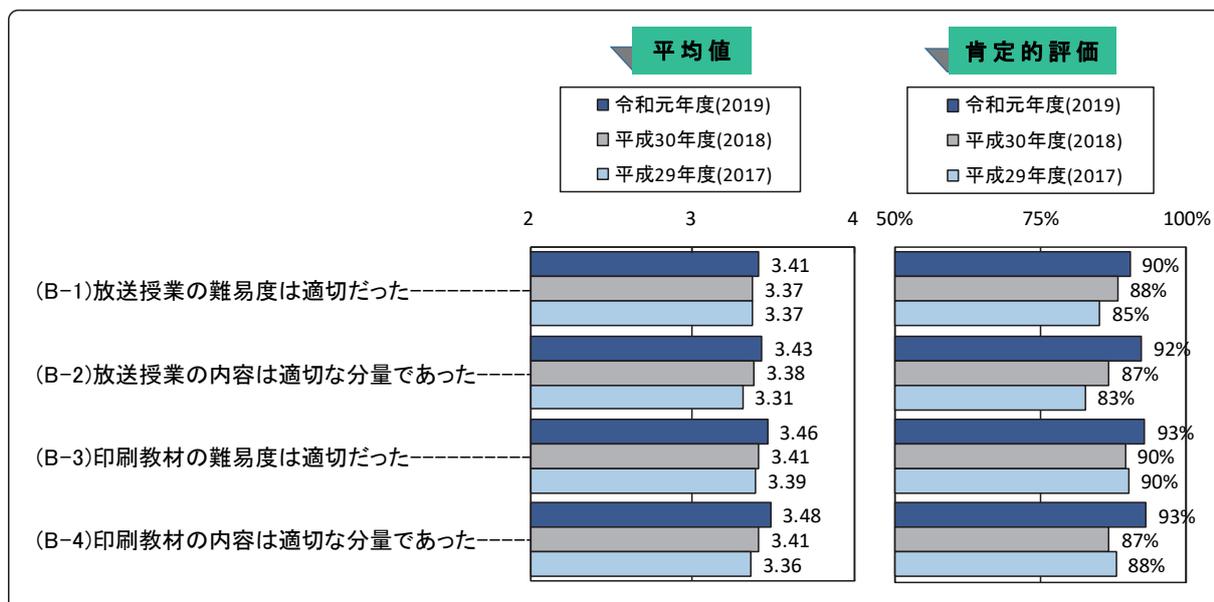
授業の難易度・分量の評価は（図2-63）は、いずれも90%以上と高い評価となっている。

図2-63 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価



開設年度別では（図2-64）、本年度と昨年度を比較すると、下記の3項目で本年度に上昇傾向が見られ、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」と(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」の両方で5ポイント以上上昇しており、共に93%に達していた。

図2-64 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-65）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」は40歳代～60歳の評価が90%以上に達しており、反対に70歳以上は80%と最も評価が低かった。

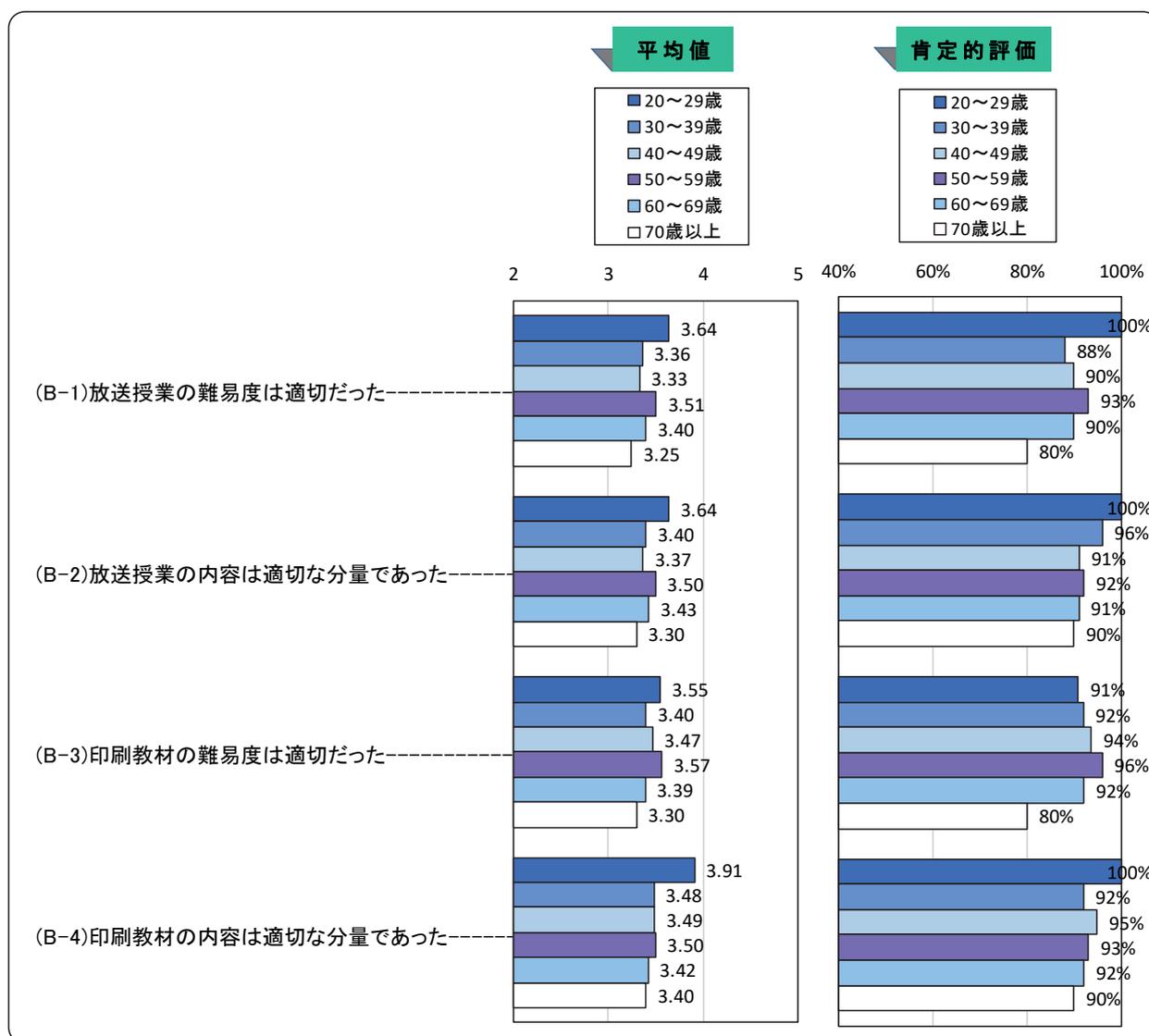
(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」は30歳代（96%）が最も高く、40歳代以上は91%前後で同じ水準であった。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」では、30歳代～60歳代までは90%以上に達していたが、70歳以上は80%にとどまっていた。

(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」は、30歳代～70歳以上まで90%以上で各年代間に大きな差は見られなかった。

※「20～29歳」は回答者数が11人と少人数である為、コメントを差し控えた。

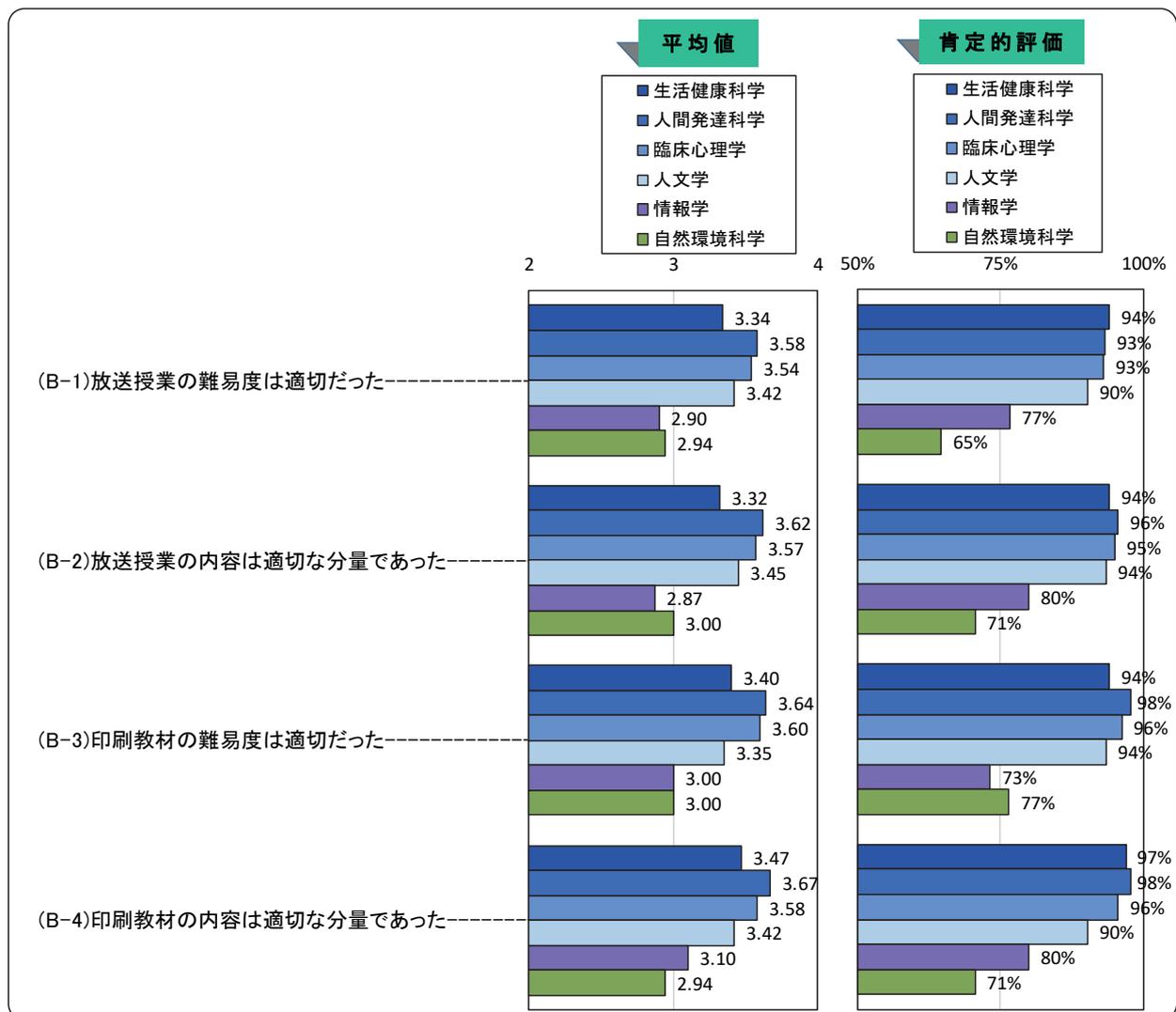
図2-65 【大学院】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属プログラム別に授業の難易度・分量を見ると（図2-66）、下記の4項目全てで同じ様な傾向が見られ、「生活健康科学」～「人文学」は90%以上に達していたが、「情報学」と「自然環境科学」は65%～80%にすぎず、評価が低かった。

※「自然環境科学」は回答者数が17人と少人数である事に留意されたい。

図2-66 【大学院】所属プログラム別の授業難易度・分量の評価



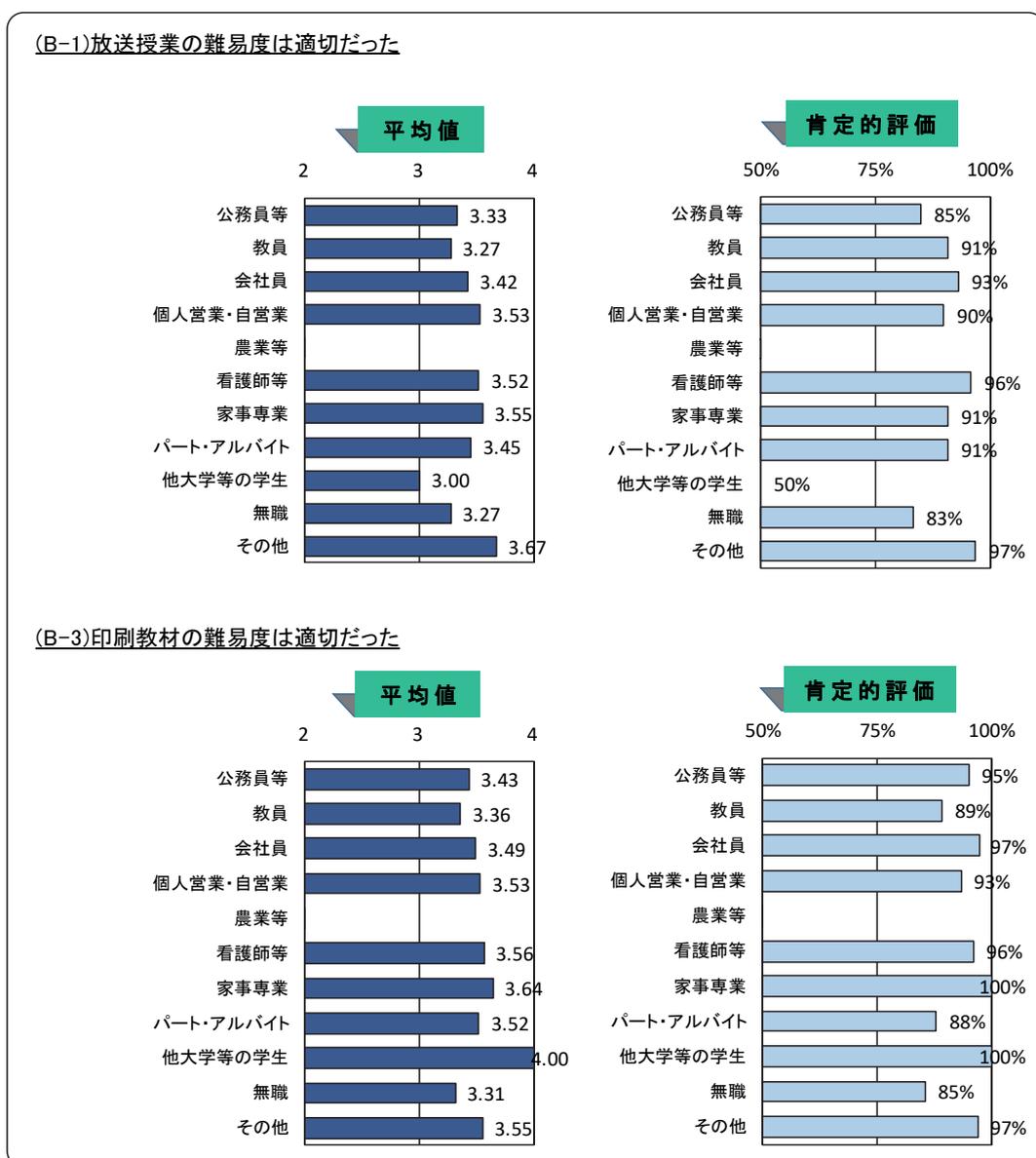
職業別に授業の難易度を見ると（図2-67）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」は、「その他」と「看護師等」が96%以上と上位で、反対に「公務員等」と「無職」は84%前後にすぎなかった。

残りの職業については、90%前半での評価であった。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」では、最も高かったのは「会社員」(97%)と「その他」(97%)で、「無職」(85%)が最も低かった。

※「家事専業」と「他大学等の学生」は回答者数がそれぞれ11人と2人であった為、両方を割愛した。

図2-67 【大学院】職業別の授業難易度の評価

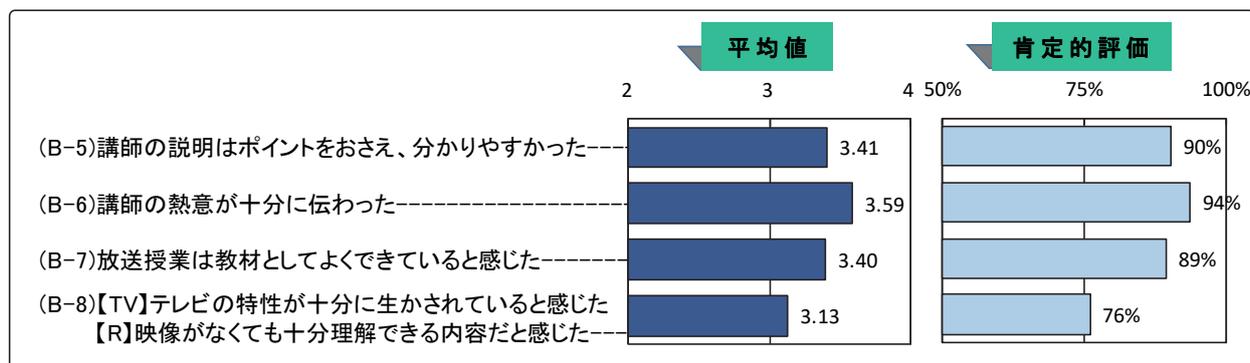


(3) 放送授業

ここからは放送授業について評価項目ごとに見ていく。

放送授業に関する評価項目を見ると（図2-68）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は約90%、講師の熱意が十分に伝わった」は94%に達していたが、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は76%と大きく評価を下げていた。

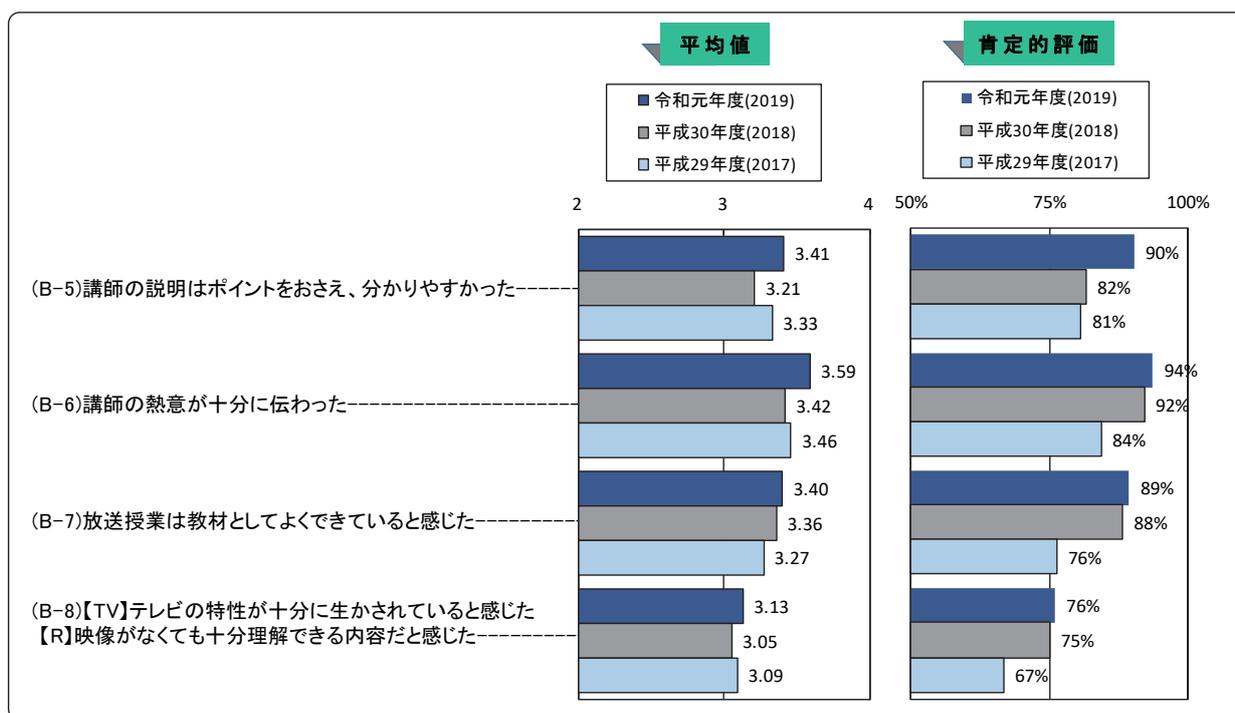
図2-68 【大学院】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列で見ると（図2-69）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」では、本年度は一昨年度と昨年度から大幅に評価を上げ、90%に達していた。

それ以降の(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」～(B-8)「テレビの特性が十分に生かされていると感じた／映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」では、本年度の評価は、昨年度とほとんど変わらなかった。

図2-69 【大学院】回答者全体の放送授業の評価（時系列）

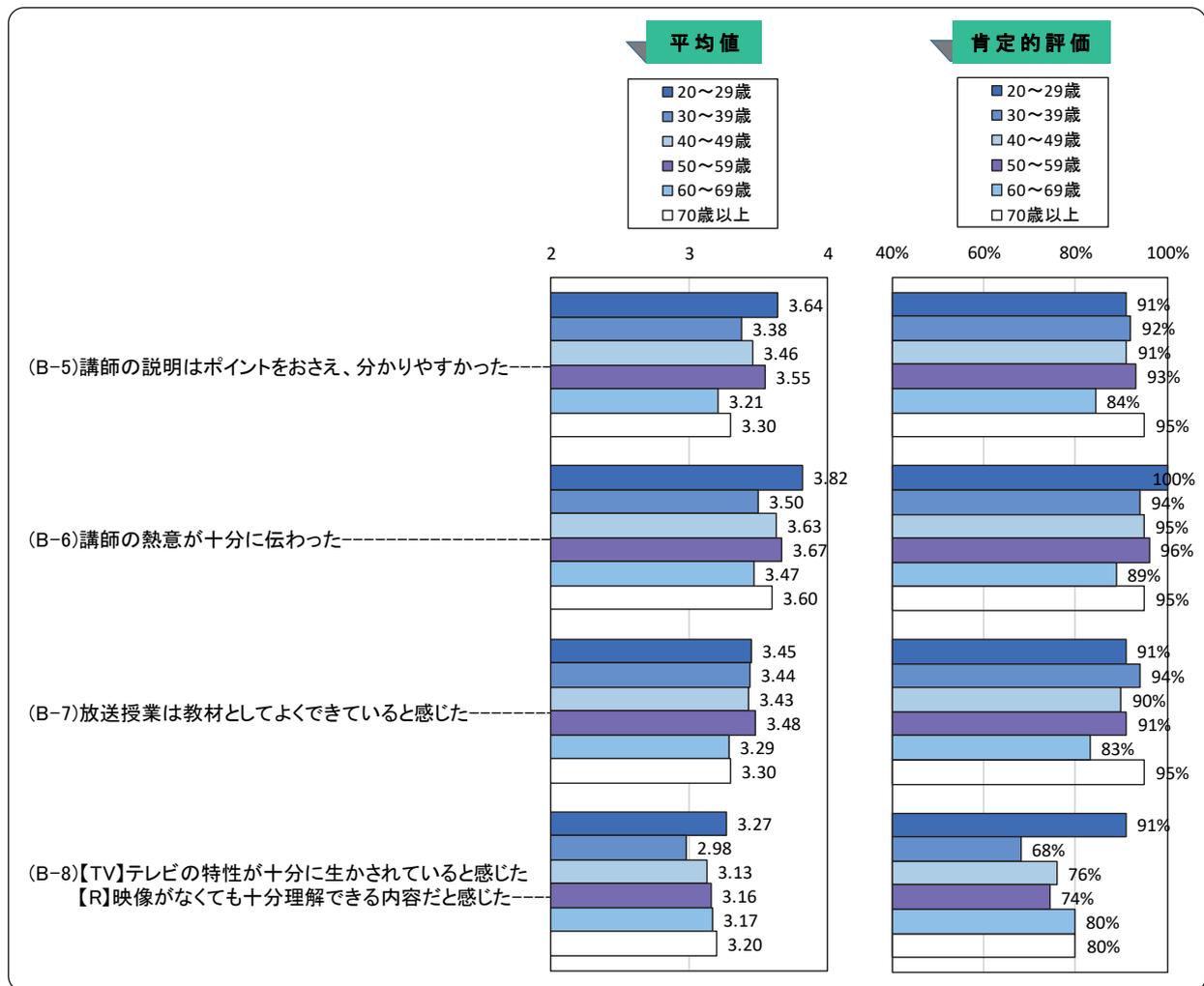


年齢階層別では（図2-70）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」～(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」については、60歳代の評価がそれ以外の年代に比べ低い傾向であった。

(B-8)「テレビの特性が十分に活かされていると感じた／映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」については、60歳代と70歳以上は80%に達し、40～50歳代は75%前後であったに
対し30歳代は68%にとどまり、最も評価が低かった。

※「20～29歳」は回答者数が11人と少人数である為、コメントを差し控えた。

図2-70 【大学院】年齢階層別の放送授業の評価



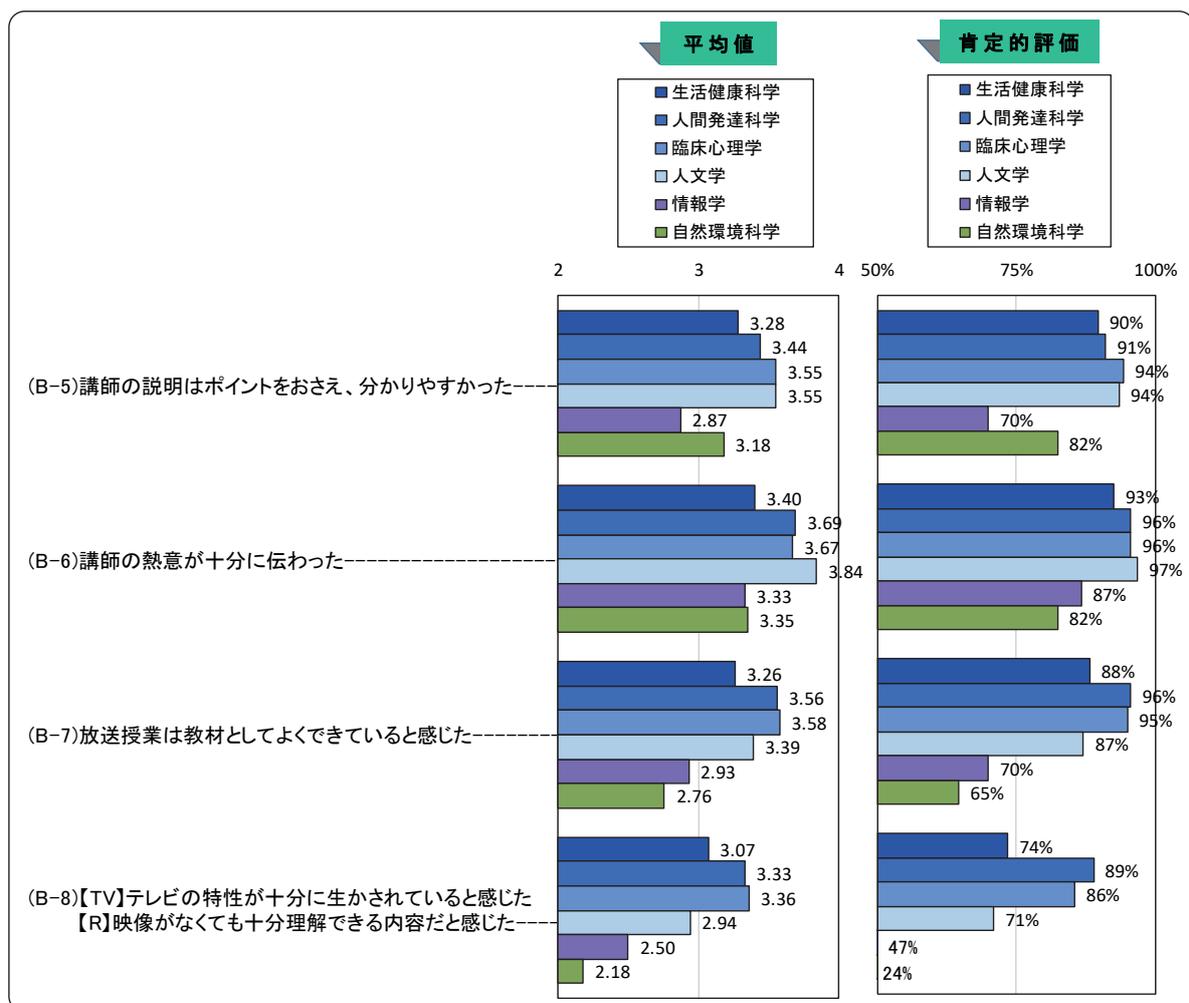
所属プログラム別では(図2-71)、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は、「生活健康科学」～「人文学」では90%以上の評価であったが、「情報学」は70%と最も低く、「自然環境科学」も82%と「生活健康科学」～「人文学」と比べると評価が低かった。

(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」では、前述の傾向に近く、「生活健康科学」～「人文学」は90%の前半から後半の評価であったが、「情報学」と「自然環境科学」は80%台にとどまっていた。

(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」についても、「生活健康科学」～「人文学」の評価が高く、「情報学」と「自然環境科学」の評価が低いという傾向が見られた。

(B-8)「テレビの特性が十分に生かされていると感じた／映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」については、「人間発達科学」と「臨床心理学」が80%後半で上位を占め、「生活健康科学」と「人文学」が70%台、「情報学」と「自然環境科学」が極端に低く50%以下で、3極化していた。

図2-71 【大学院】所属プログラム別の放送授業の評価

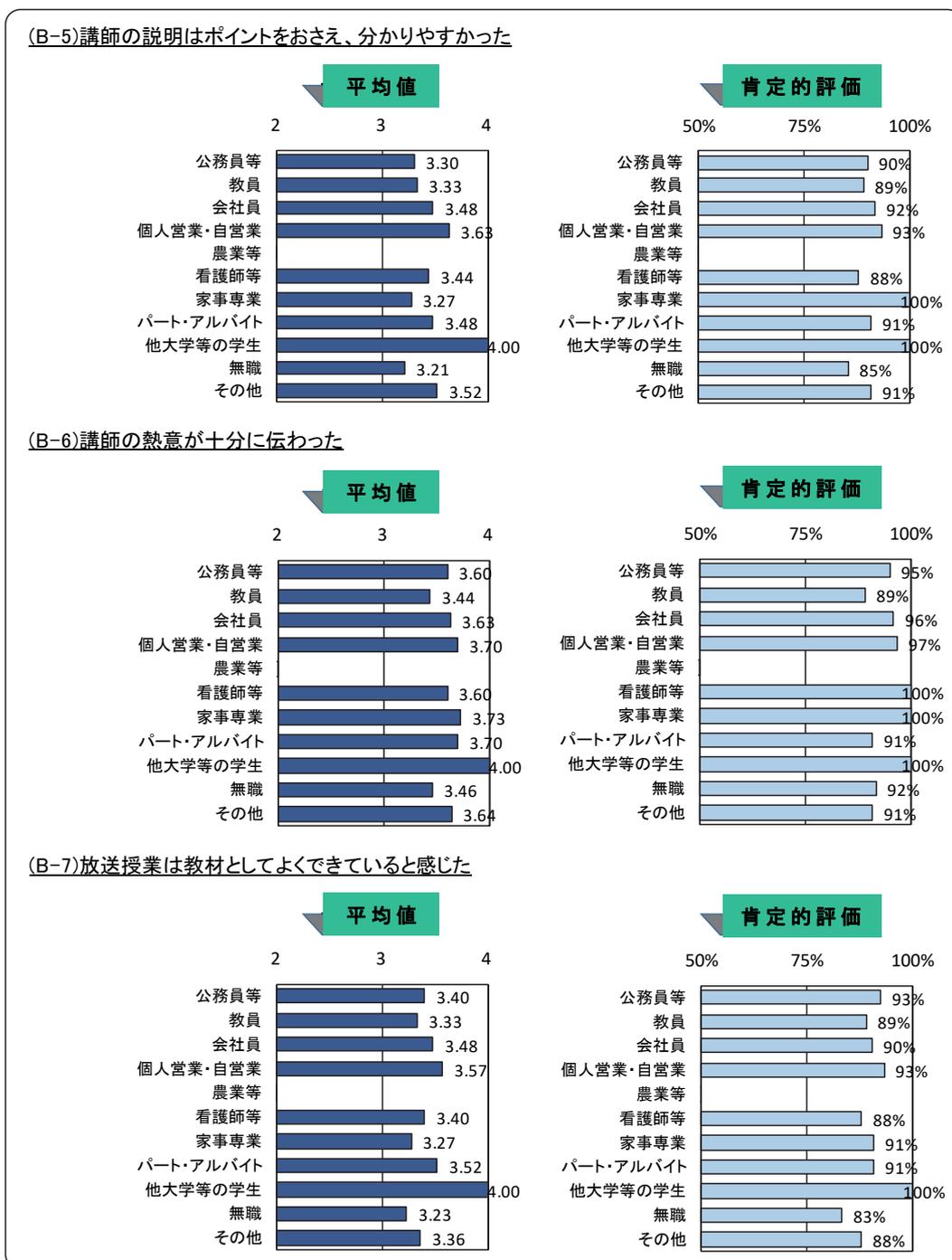


職業別では（図2-72）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は、「個人営業・自営業」（93%）と「会社員」（92%）が上位を占め、反対に「無職」が85%と最も低かった。

(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」では、「看護師等」（100%）の全員が肯定的評価をしており、他に「個人営業・自営業」「会社員」「公務員等」も96%前後と高い評価であった。残る他の職業も90%前後に達していた。

(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、「公務員等」と「個人営業・自営業」からの評価が高く（それぞれ93%）、反対に「無職」は83%と最も低かった。

図2-72【大学院】職業別の放送授業の評価

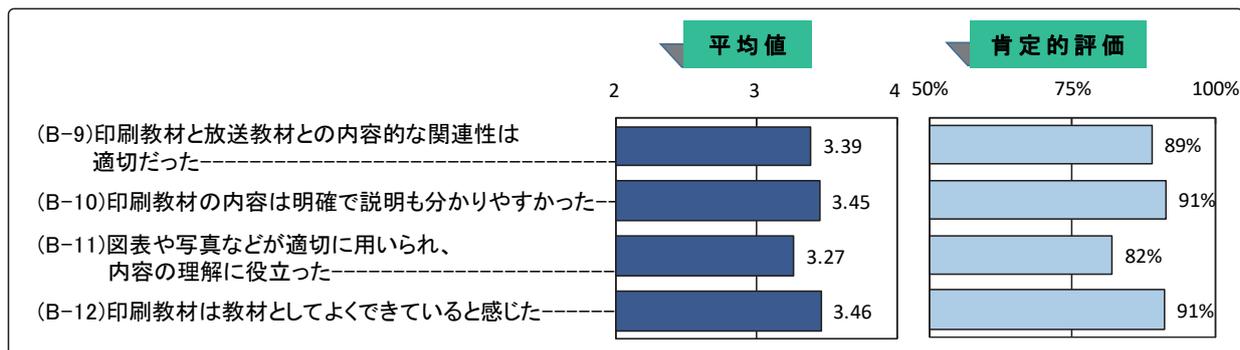


(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

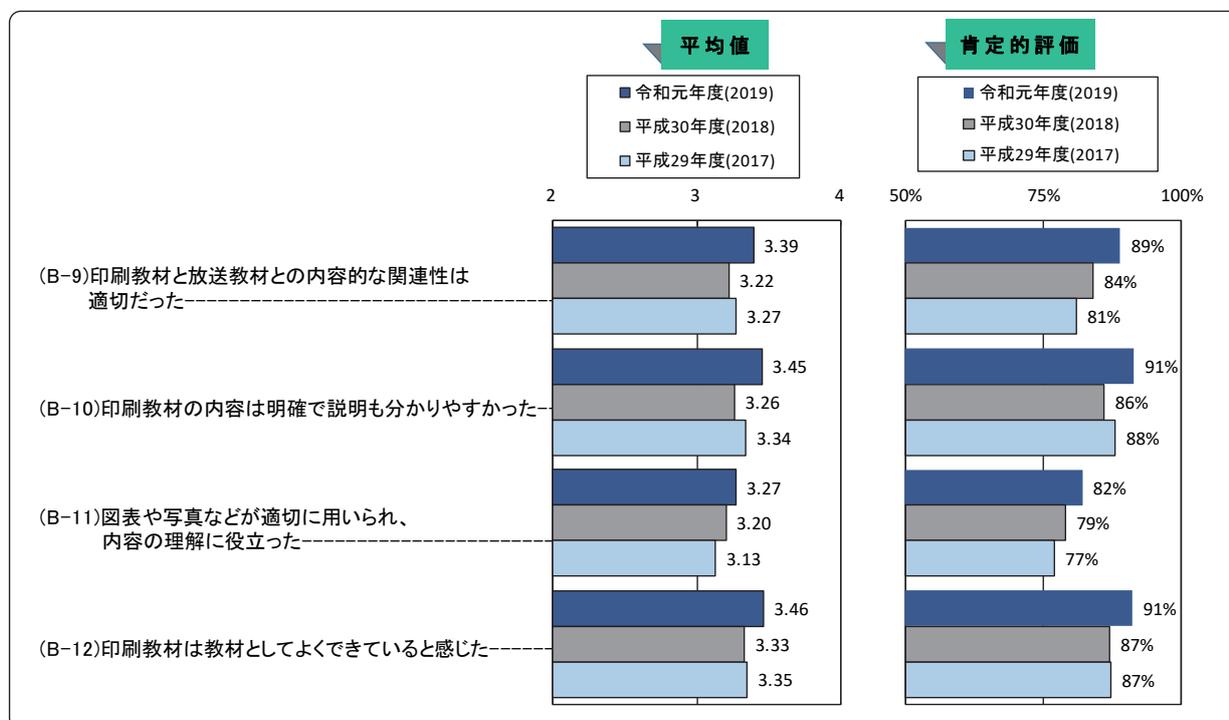
印刷教材の評価項目では（図2-73）、下記4項目の中で、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」以外は、90%前後に達していたが、「B-11」は82%と評価が低かった。

図2-73 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価



印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-74）、以下の4項目では、本年度は昨年度と比べいずれも比率の上昇が見られ、特に(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では、90%前後に達していた。

図2-74 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別の評価（図2-75）の(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」では、「20歳代」「40歳代」「50歳代」がそれぞれ91%に達していたが、「60歳代」と「70歳以上」は85%にとどまり最も評価が低かった。

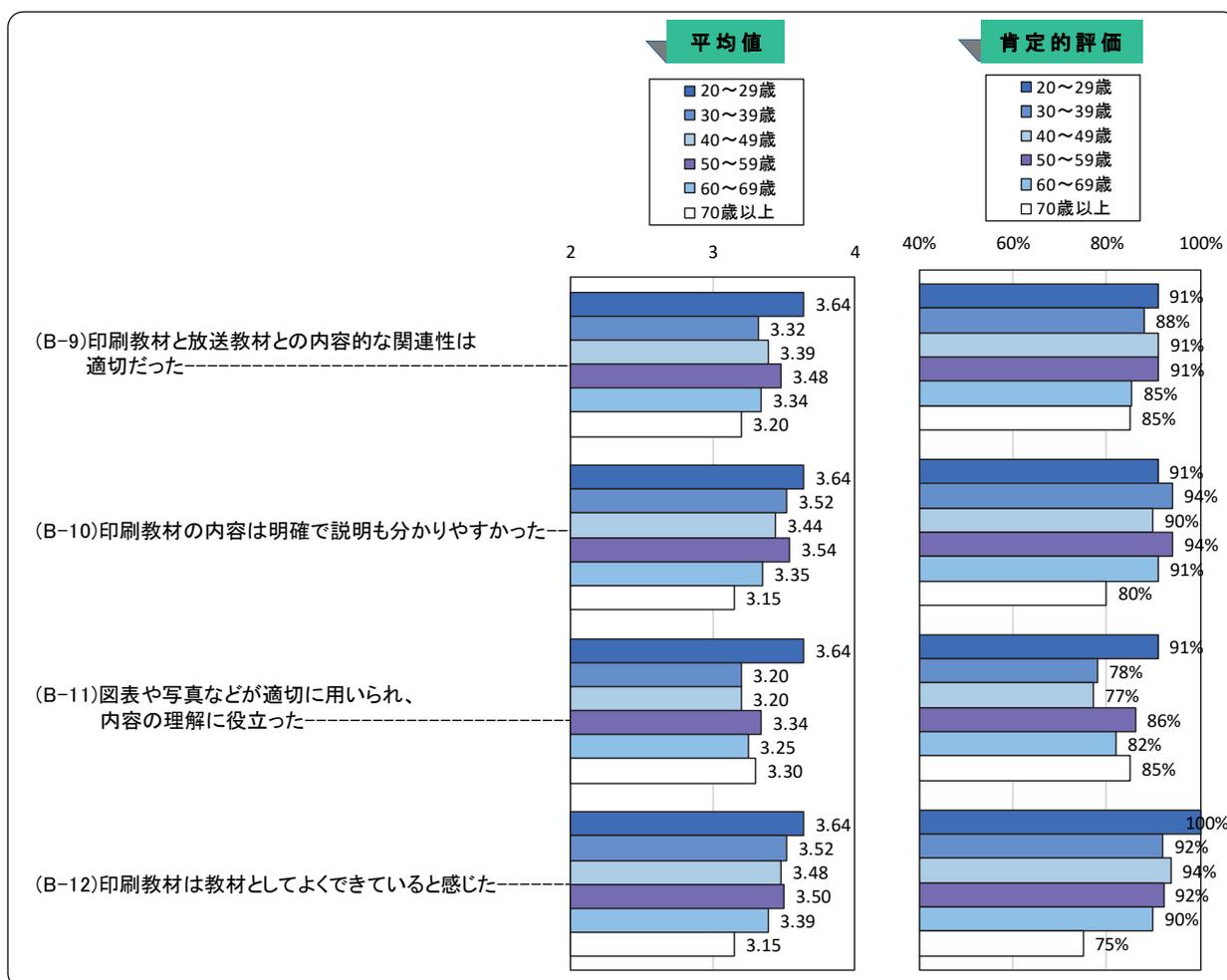
(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」では「20歳代～60歳代」までは90%以上の評価であったが、「70歳以上」が80%と極端に低かった。

(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は「B-10」と同じような傾向で、「70歳以上」が75%と更に評価を下げていた。

(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は、30歳代と40歳代が70%後半にとどまり、それ以外の年代は82～91%に達していた。

※「20～29歳」は回答者数が11人と少人数である事に留意されたい。

図2-75 【大学院】年齢階層別の印刷教材の評価



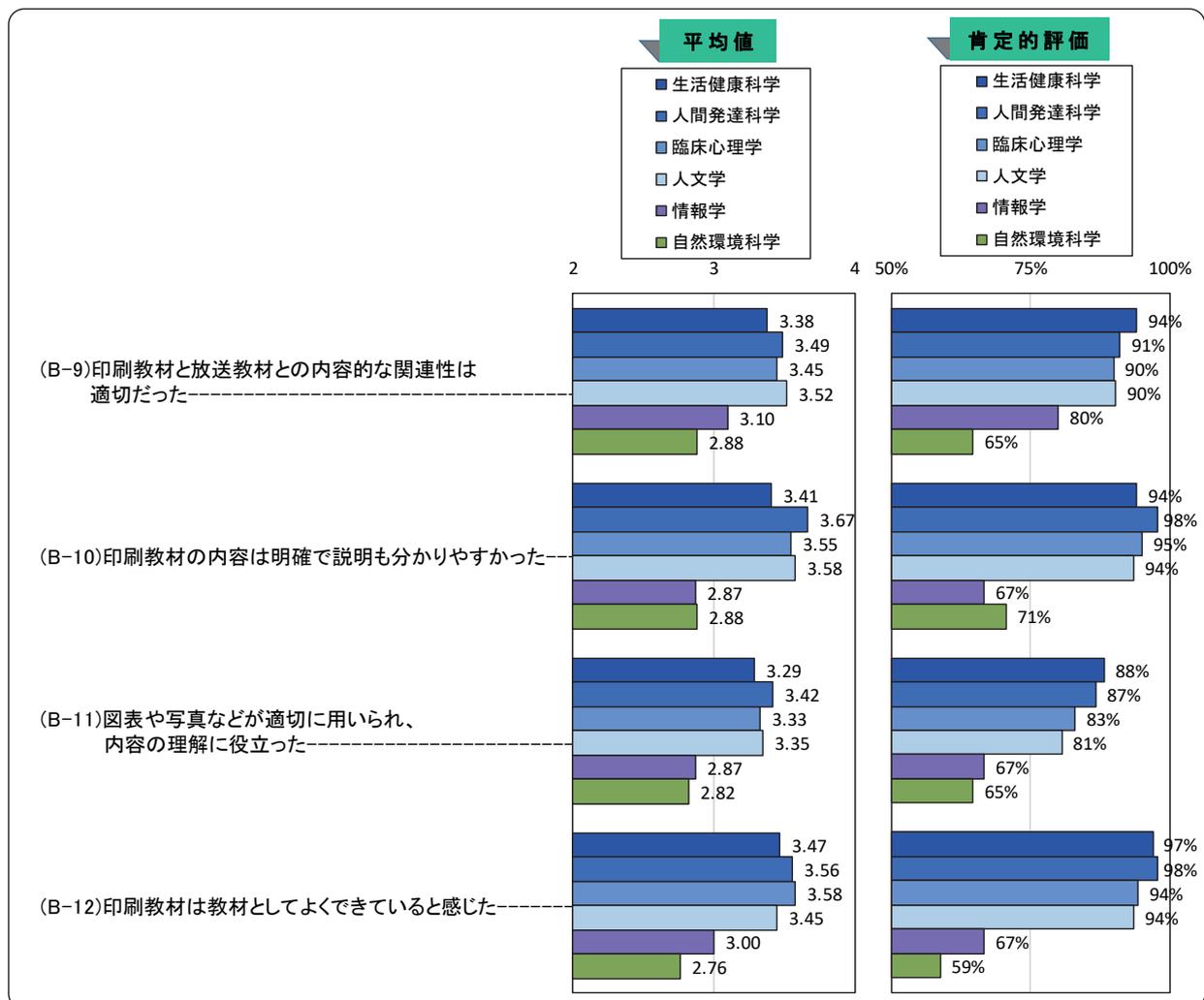
所属プログラム別の評価を見ると（図2-76）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は「生活健康科学」～「人文学」までは90%以上に達していたが、「情報学」では10ポイント以上減の80%、「自然環境科学」更に15ポイント減の65%と極端に評価が低かった。

(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」にも前述の傾向が見られ、「情報学」(67%)と「自然環境科学」(59%)は更に評価を下げていた。

(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」でも「生活健康科学」～「人文学」は94%以上の高評価で、反対に「情報学」と「自然環境科学」は70%前後と、二極化が見られた。

(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では「生活健康科学」(88%)～「人文学」(81%)までは漸減傾向で、「情報学」と「自然環境科学」は66%前後と低い評価であった。

図2-76 【大学院】所属プログラム別の印刷教材の評価



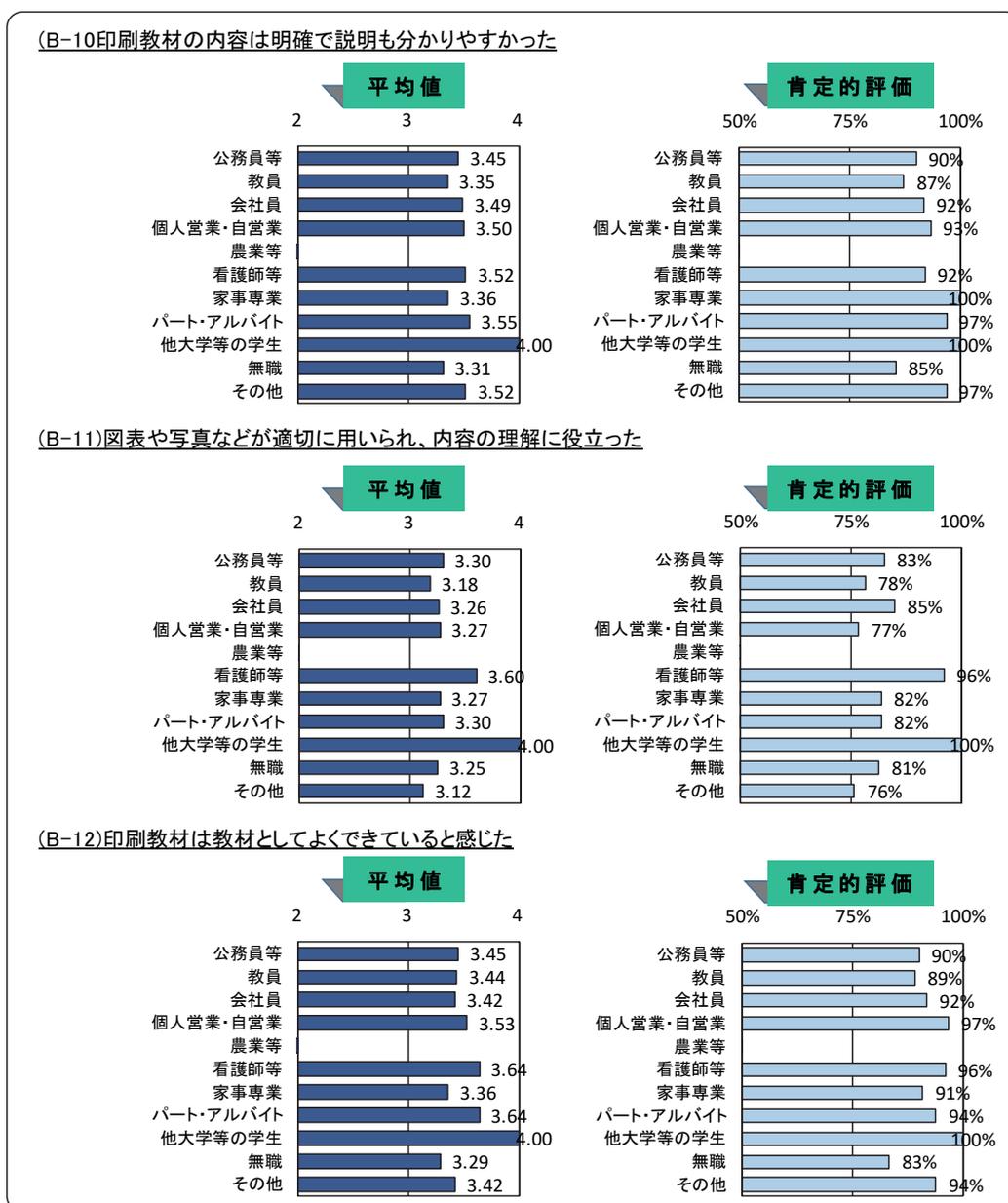
職業別では(図2-77)、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は、「パート・アルバイト」と「その他」が最も高く97%、反対に「教員」と「無職」は86%前後にとどまり、残りの職業は90%の前半であった。

(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では、「看護師等」が96%と唯一90%越えて、「教員」「個人営業・自営業」「その他」は77%前後と評価が低かった。それ以外の職業は81%～85%であった。

(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では、「個人営業・自営業」と「看護師等」はそれぞれ97%、96%と高評価、反対に「無職」は83%と最も低かった。それ以外の職業は、89%～94%と高い評価であった。

※「家事専業」と「他大学等の学生」は回答者数がそれぞれ11人と2人であった為、両方を割愛した。

図2-77【大学院】職業別の印刷教材の評価

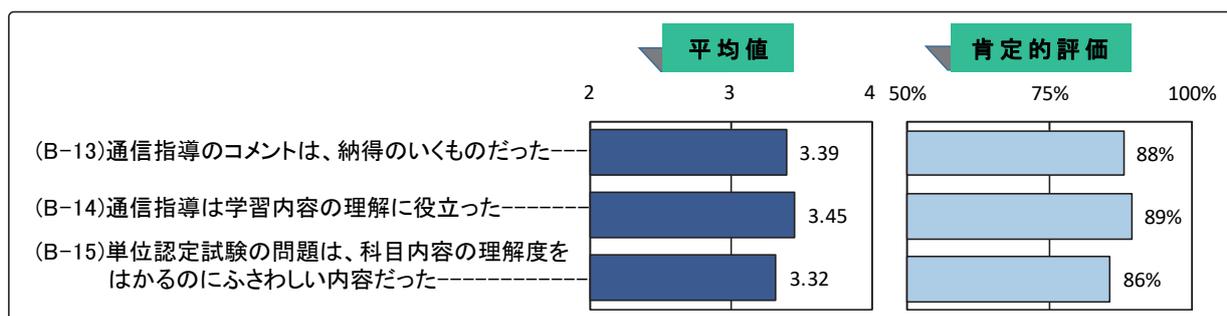


(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとに見ていくことにする。

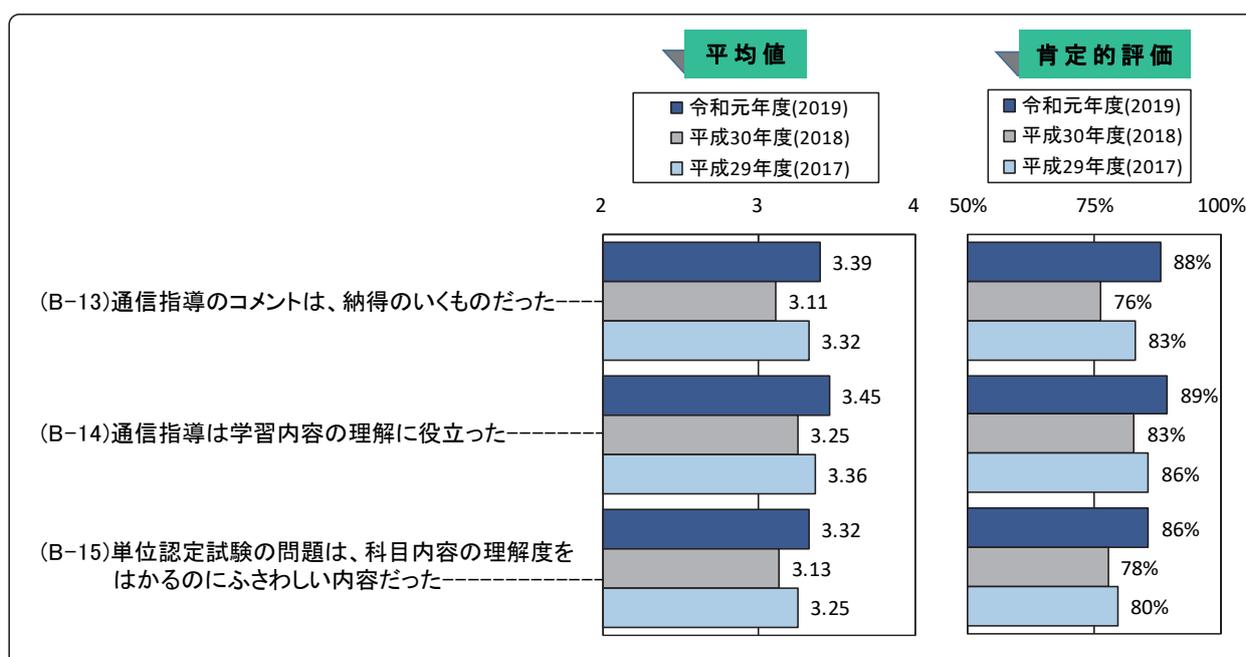
図2-78の通信指導については、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は80%の後半に達していたが、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は80%の後半に達していたが、(B-15)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」は86%にとどまっていた。

図2-78【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



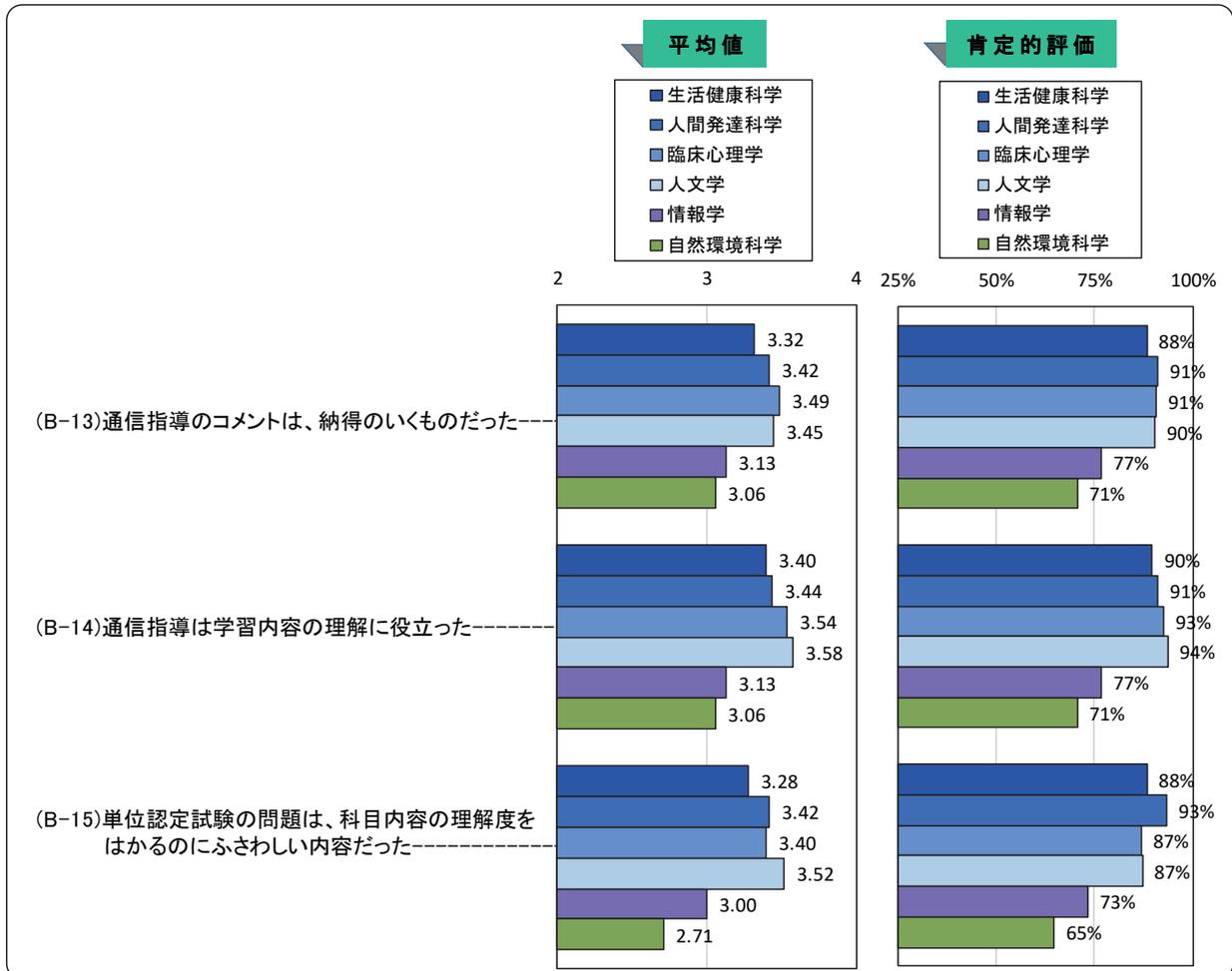
通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(図2-79)、過去2年度と比べ、どの項目でも本年度が高く、昨年度との対比で(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」の上昇幅が、12ポイントと群を抜いていた。

図2-79【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価(時系列)



所属プログラム別では（図2-80）、下記3項目で共通しているのは、「生活健康科学」～「人文学」までは、80%の後半から90%前半に達し、高評価であったのに対し、「情報学」と「自然環境科学」は高くても77%にすぎず、「生活健康科学」～「人文学」との差が大きかった。

図2-80【大学院】所属プログラム別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ－２－４．大学院の重回帰分析

大学院でも学部同様、重回帰分析で全体の満足度 B-(20) を目的変数とし、それ以外の項目を説明変数として分析を試みる。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知ることが目的としている。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度 B-(20)
説明変数	x_1, x_2, \dots	各項目 B(1)～(19) : 全 19 問(項目)
係数	a_1, a_2, \dots	重回帰分析によって得られる偏回帰係数

重回帰式 $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{19}x_{19}$ (説明変数が 19 個の場合)

サンプルサイズが十分でない場合や説明変数が多すぎると、全体の満足度を表すのに適した重回帰式を得られないことが経験的に分かっているため、重回帰分析の中で、説明変数間で強い相関関係がある場合、その一方の項目を自動的に削除する「変数減少法」を用いて解析を行うことにする。

使用するデータは質問項目 I. B の全設問を全て回答した 350 人のローデータを使用する。(昨年度からオンライン利用によるアンケート形式に替わり、今回も全員が全設問を回答していた。)

■分析精度

自由度修正済み決定係数とは、得られた重回帰式が目的変数に対してどれだけ説明力(寄与度)があるかを示す指標で、「1」に近いほど良い結果で、この分析では 0.707 であった。

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関(自己相関)を示す指標で、0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差(誤差)に規則性があり、解析自体あるいはデータ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされ、その値は 2.110 となった。

◆分析精度

決定係数	0.707
自由度修正済み決定係数	0.691
ダーヴィンワトソン比	2.110
残差の標準偏差	0.351

今回の重回帰分析では下表の分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。

(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1%ある事を表している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p 値	判定
全体変動	139.4171	349				
回帰による変動	98.61342	18	5.478523	44.44181	0.000	[**]
回帰からの残差変動	40.80372	331	0.123274			

凡例	有意水準	凡例	有意水準
[**]	0.01	[*]	0.05

下表にある標準偏回帰係数とは説明変数の相互比較を可能にするためのもので、各説明変数の目的変数に対する影響力の度合いがこれで分かる。

標準偏回帰係数（全体の満足度に対する寄与度）が最も高かったのは B-17 の「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」で標準偏回帰係数が 0.226、次いで B-19 の「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」（標準偏回帰係数 0.206）、他に B-18 「新しい知識が身につく視野が広がった」（同 0.187）、B-12 「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」（0.182）で、全体の満足度に対するそれぞれの寄与度は上位 4 項目間で大きな違いは無かった。

「全体の満足度」（肯定的評価 95%）を上げるためには、上位 4 項目の「B-17」「B-19」「B-18」「B-12」の肯定的評価を上げる事が最も効果的であると考えられる。

この 4 項目の肯定的評価について見てみると、B-17:95%、B-19:91%、B-18:97%、B-12:91%で、B-17 と B-18 は、100%に近いので、この肯定的評価を更に上げるのは難しいと思われる。

従って、この 2 項目の肯定的評価の維持と、B-19 と B-12 の肯定的評価を上げる事に重点を置く事が有効だと考えられる。

目的変数	標準偏回帰係数	説明変数	判定	B-15との対比
B-20.全体の満足度	0.226	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	[**]	2.5
	0.206	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	[**]	2.2
	0.187	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	[**]	2.0
	0.182	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	[**]	2.0
	0.102	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	[*]	1.1
	0.101	B-16 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	[*]	1.1
	0.092	B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	[*]	1.0
		定数項	[]	

※説明変数の中で有意水準が0.05以下の項目だけを掲載した

Ⅲ. 自由記述のまとめ

Ⅲ-1. 学部

専攻科目別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点は3%以上、改善点は2%以上の回答があった項目と、その項目の学部全体（オンラインを除く）の比率をグラフ化した。（「基盤科目（外国語）」の改善点のみ、回答者数が48人と少なく、1人の回答が2%となる為、4%以上を掲載。）

ここからは、全体との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

【学部】「基盤科目」の傾向

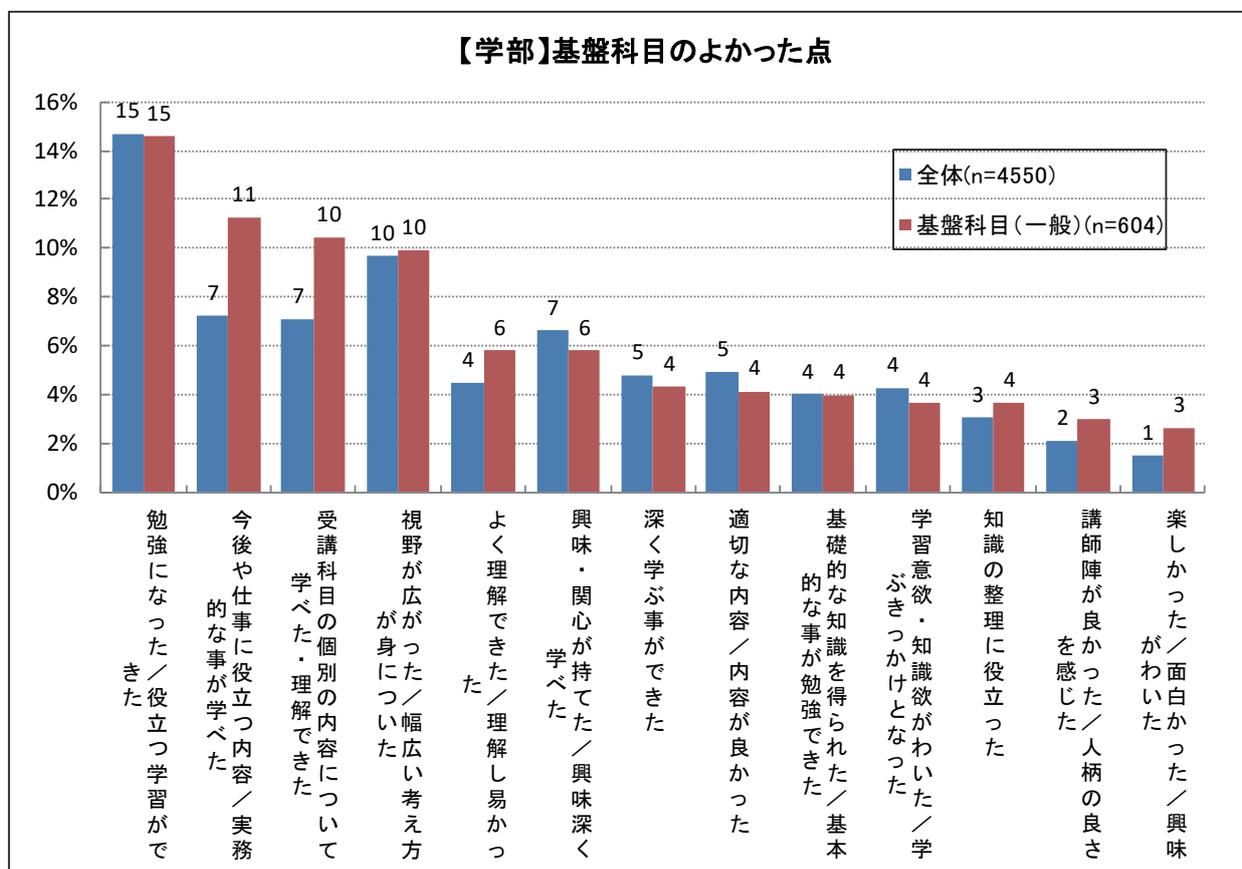
よかった点

「勉強になった／役立つ学習ができた」が15%と最も多く、全体と変わらなかった。次いで「今後や仕事に役立つ内容／実務的な事が学べた」「受講科目の個別の内容について学べた・理解できた」が11～10%と続き、この2項目は全体を上回っていた。

「視野が広がった／幅広い考え方が身についた」も10%に達している。

それ以外の項目は1割未満であった。

図2-81 【学部】よかった点



※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【学部】「基盤科目」の傾向

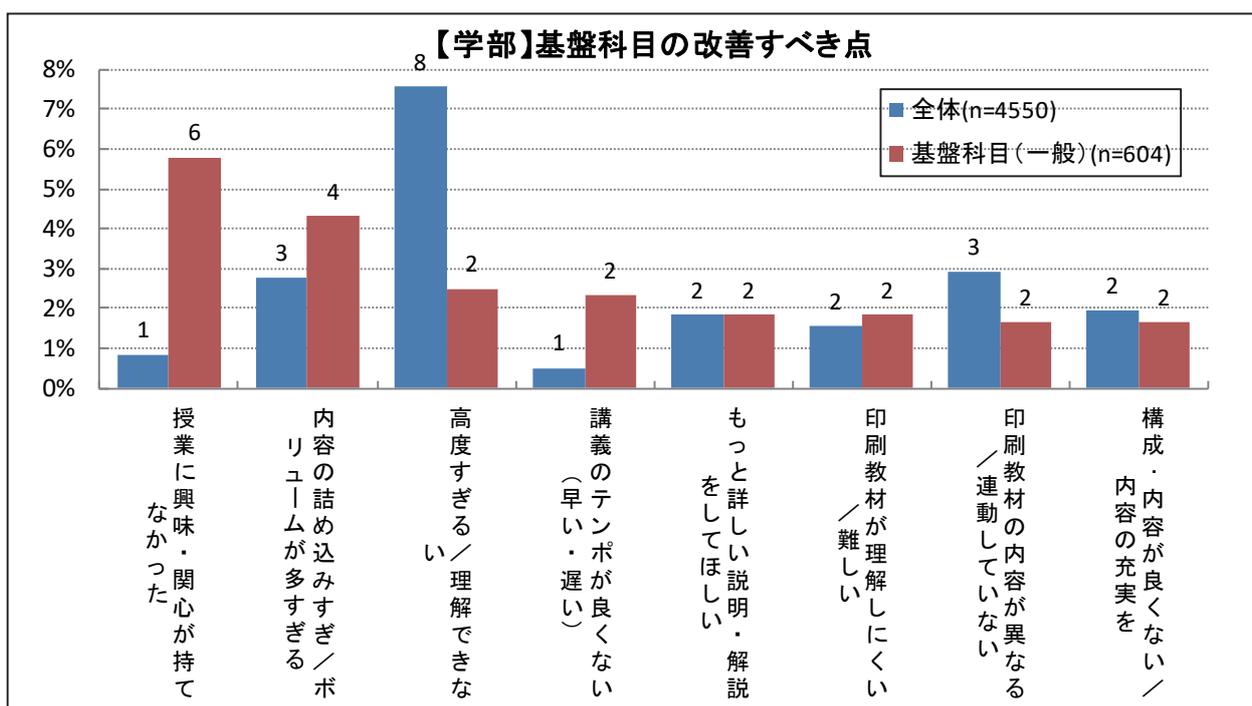
改善点

「授業に興味・関心が持てなかった」が最も多く挙げられ、全体を大きく上回っていたが、6%にとどまっていた。

「高度すぎる／理解できない」は全体と比べ極端に低かった。

その他の改善すべき点は2%と低い値であった。

図2-82 【学部】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が2%以上のものを掲載

【学部】「基盤科目」抜粋

よかった点

- 仕事の中で四大卒の方達と同席すると、問題の分析や解決法の話の進め方に、ルールやフォーマットの的な型があるようだということを感じていましたが、それが明快になりました。
- 教養として、社会人として知っておくべき内容でした。宗教の問題は話題として避けがちな事ですが、知っていて喋らない事と知らないままコメントしないとでは、大きな違いがあると思いました。
- 今まで学校では教えて貰えなかった第二次大戦の経緯、敗戦後の連合国側と日本の条約等は、政府にとって不都合であるだろうが、知ることができ良かった。
- とかく熱くなりすぎる感のある領土問題について、冷静な目で見ることの大切さを教えていただいた。領土問題については宗教や民族の問題と意図的に混同されることが多い。その点についても、新たな視点を与えていただいたと思う。
- 基本的であるにも関わらず、意識もしていなくて理解をしていなかった事柄に関して、授業を通して初めて学ぶという知識が大変興味深く、本当にこの科目を受講して良かったと感じた。
- 領土問題について理解が深まった。相手国の主張もだが、尖閣諸島、竹島問題、北方領土、沖ノ島島のそれぞれについて、自国の主張ですら知識が曖昧だったことを痛感した。
- ブレストやKJ法など個々の手法について独学で学んだことはあったが、「問題解決」という視点で問題の定義から始まって組織での取り組みまで通して体系的に学べた点が非常に良かった。
- これまでユダヤ教、キリスト教、イスラム教について、基本的な知識を持たずにいたので、大まかな概要を知ることが出来て自身の世界が広がったと感じている。
- 他国の人と接する上ではとても重要な視点を持つきっかけを与えていただいたため、それぞれの国や民族の見方、感じ方、歴史、考え方を知ることが国際理解を深めるには大切だと改めて感じ、更に学びを深めたいと思った。
- 問題解決の方法について、自分が今まで持っていたバラバラの知識を統合できた。

改善点

- インターネット配信では、場合によっては著作権の関係で音楽が聞けない場合があったのが残念でした。
- 「世界の中の日本(15)」を受講した時はテレビ授業でした。印刷教材にも挿絵や図解があるのであるのはあるが、地図を使った解説や説明はやはりラジオではなくテレビの映像で視聴できる方がわかりやすい。特に高橋先生のように活字に残らないような追加情報などある授業は、映像で見られる方がさらに知識の向上につながる。内容は申し分ないので、授業方法を今後検討して頂きたい。
- 放送授業で、ナビゲーターのコメントが講師の質問や授業の求めている気づきや発見からずれていると思われることが多々見受けられ、それによって視聴者を十分にはナビゲートできていなかったと感じられた点。
- もう少し詳細な解説を知りたい部分が多々あった。
- 日常生活、職場や家庭においては様々な問題が生じるとは思いますが、もう少し具体的な方法を教えて頂いたら良かったです。
- 学習の目的が少し分かりづらかったように思います。放送授業で実際の取り組みを紹介いただけたのはよかったです。問題解決がどう活かされているか分かりづらく、ポイントが把握しづらかったです。
- 放送授業の中で、重要な点をクリップにまとめてあるのは非常に役に立ったが、中にはそのクリップの内容をただ順になぞっていくだけで、クリップに書いてある目新しい用語についての質問も説明もなく、急いで次のクリップの説明につなげていくだけの授業もあったので、そういう授業であれば自分で教科書を読んでいるのとほとんど変わらないので、ビデオ視聴の時間が無駄に感じられた。
- 内容が難しかった。

【学部】「基盤科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	46	42	88
今後役立つ内容だった	60	8	68
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	14	49	63
視野が広がった	30	30	60
興味・関心が持てた	4	31	35
深く学ぶ(勉強する)ことができた	4	22	26
適切な内容だった	19	6	25
基礎的な知識を得られた	9	15	24
知識の整理に役立った	18	4	22
学習意欲・知識欲がわいた	4	18	22
よく理解できた	9	11	20
自分の意見・考えを持てるようになった	14	1	15
身近に感じる内容だった	13	1	14
学ぶことの楽しさを知った	3	9	12
視点、考え方が変わった	2	9	11
具体的な事例・実践的な内容があった	10		10
満足している	2	7	9
今までにない、新しい情報や知識が得られた		2	2
学習センターや図書館が良かった、利用しやすかった	1		1
引用・参考文献、補助教材、問題集の紹介が良かった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:講師(陣)が良かった			18 18
放送授業:楽しかった	3	13	16
放送授業:分かりやすい解説だった	5	9	14
放送授業:構成・内容が良かった	2	10	12
放送授業:理解しやすかった	4	4	8
放送授業:現場取材や、専門家・ゲスト・第一線の方のインタビューが良かった	5	2	7
放送授業:アシスタントが良かった	3		3
放送授業:図・表・写真・映像があり、分かりやすかった	3		3
放送授業:講師の熱意・熱心さが伝わった	1	2	3
放送授業:講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた		2	2
放送授業:聞き手の方のお陰で楽しく受講できた	1		1
放送授業:対話形式の授業が良かった	1		1
放送授業:良い授業だった		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:難易度が適切だった	1		1
単位認定試験:受験して良かった		1	1
単位認定試験:記述式が良かった		1	1
単位認定試験:評価が良かった		1	1

印刷教材

意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:理解しやすかった	3	4	7
印刷教材:構成・内容が良かった	3		3
印刷教材:図・表・写真・イラストがあり、分かりやすかった	2		2
印刷教材:学習内容の理解・整理に役立った	1		1
印刷教材:手元に置き、今後も読みたい内容だった	1		1
印刷教材:様々な事例、具体的な事例が良かった		1	1
印刷教材:読み物として面白い内容だった		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:指導内容が良かった		1	1

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	11		11
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	9	2	11
構成・内容が良くない	5	5	10
難しい、高度すぎる、理解できない	6	3	9
内容が浅い	6		6
最新の内容を講義してほしい		5	5
期待していた内容ではなかった	4		4
興味・意欲がわかかなかった	4		4
現実に活かせる内容にしてほしい	4		4
練習問題がもっと欲しかった	2		2
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	2		2
内容にまとまりがない	1	1	2
各章ごとに、まとめ・学習ポイント・総括がほしい	1		1
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便	1		1
交流の場を用意してほしい	1		1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:内容が薄い・少なすぎる	2	2	4
印刷教材:理解しにくい	2	1	3
印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい	2	1	3
印刷教材:誤植がある	1	1	2
印刷教材:図・表・写真・イラストが小さくて見づらい	1		1
印刷教材:具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	1		1
印刷教材:構成・内容が良くない		1	1
印刷教材:放送授業中の資料・データを載せてほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:添削・コメントに不満がある		3	3
通信指導:指導内容、対応に不満がある	1		1
通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった	1		1
通信指導:記述式、および記述に関して改善してほしい		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業中に使用された映像・音楽が他メディアで視聴できなかった		35	35
放送授業:メディアを変更してほしい	2	15	17
放送授業:講師以外は必要ない、違和感がある	14		14
放送授業:授業の構成・内容が良くない	6	4	10
放送授業:理解しにくい	5	1	6
放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい	4	1	5
放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない	2	3	5
放送授業:講師の解説、指導が良くなかった	2	1	3
放送授業:講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい	2		2
放送授業:講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	2		2
放送授業:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	2		2
放送授業:テレビの図・表・写真が見にくい、見せ方を改善してほしい	2		2
放送授業:単位認定試験と連動していない	2		2
放送授業:解説中の印刷教材のページが分かりにくい	1	1	2
放送授業:放送授業の時間(スケジュール)が合わない		2	2
放送授業:専門家の意見が聴きたい		2	2
放送授業:授業に興味・関心が持てなかった	1		1
放送授業:講義のテンポが良くない(早い・遅い)	1		1
放送授業:視聴手段を増やしてほしい(ネット配信・DVD・ビデオ等)		1	1
放送授業:講師の熱意が伝わらない		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:解答方法を変更・改善してほしい	3	5	8
単位認定試験:難しすぎる、難易度を下げるべき	3		3
単位認定試験:試験の設問内容に違和感があった	1	2	3
単位認定試験:問題の解答・解説・用紙がほしい		3	3
単位認定試験:試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1		1
単位認定試験:試験時間が短い		1	1
単位認定試験:試験に関する情報を早く教えてほしい		1	1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業中に使用された映像・音楽が他メディアで視聴できなかった
- 放送授業:メディアを変更してほしい
- 放送授業:講師以外は必要ない、違和感がある
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい
- 構成・内容が良くない
- 放送授業:授業の構成・内容が良くない

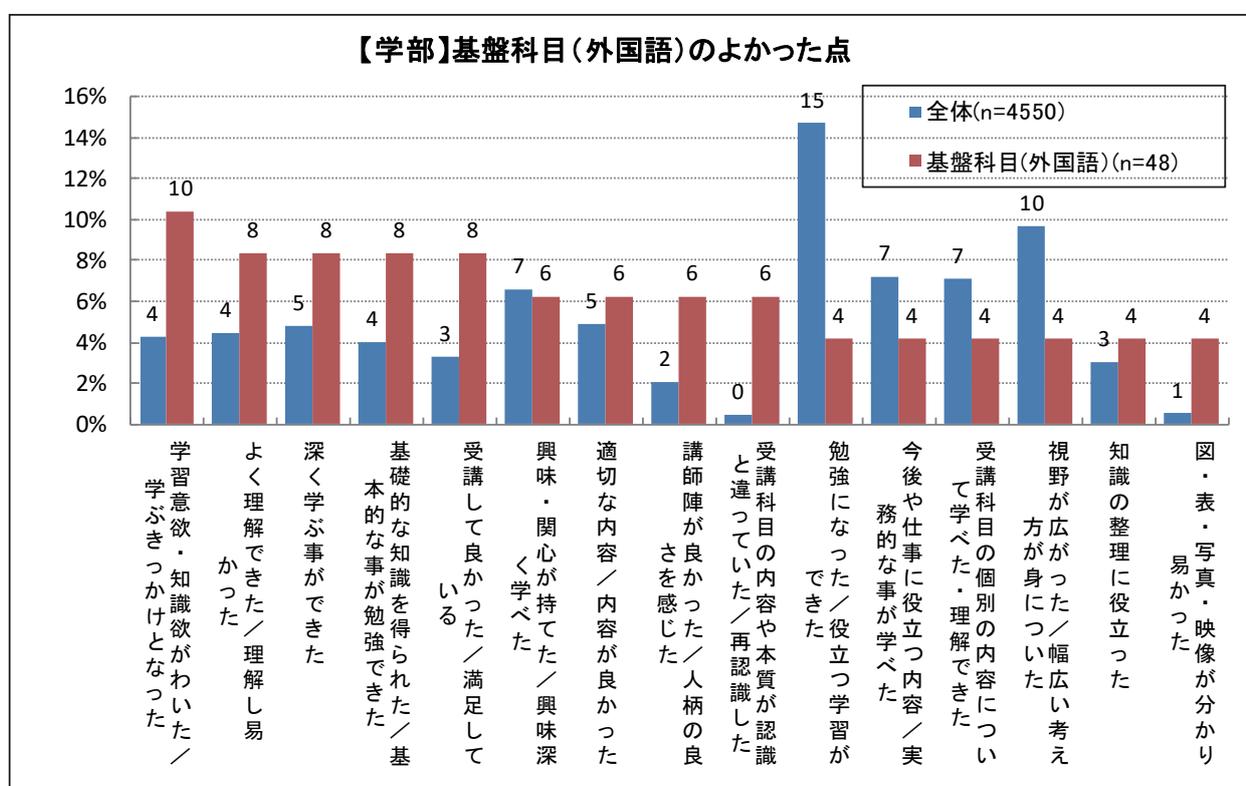
【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

よかった点

上位に挙げられたのは、「学習意欲・知識欲がわいた／学ぶきっかけとなった」（10%）で、他に「よく理解できた／理解し易かった」「深く学ぶ事ができた」「基礎的な知識を得られた／基本的な事が勉強できた」「受講して良かった／満足している」が8%で続き、いずれの項目も全体より高かった。

「勉強になった／役立つ学習ができた」と「視野が広がった／幅広い考え方が身についた」は全体に比べ極端に少なかった。

図2-83 【学部】よかった点



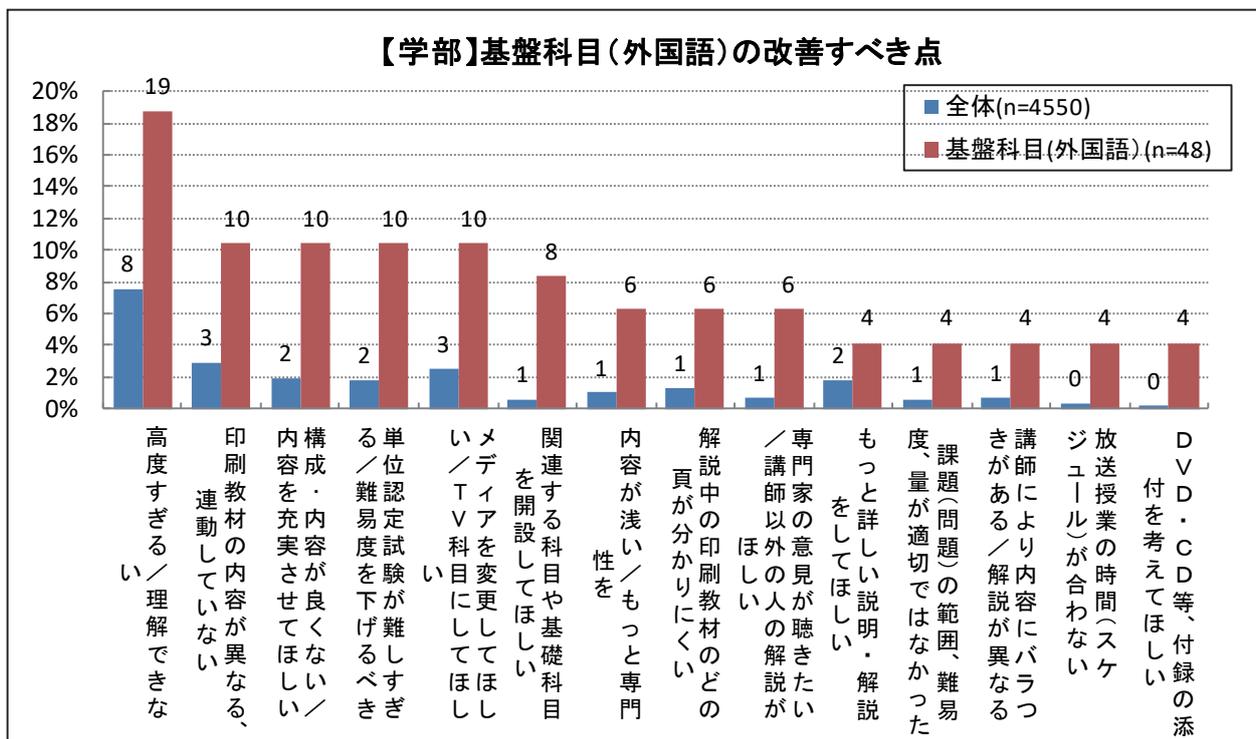
※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

改善点

「高度すぎる／理解できない」が19%と極端に高く、全体を大きく上回っていた。他では「印刷教材の内容が異なる、連動していない」「構成・内容が良くない／内容を充実させてほしい」「単位認定試験が難しすぎる／難易度を下げるべき」「メディアを変更してほしい／TV科目にしてほしい」が10%で続き、いずれも全体を大きく上回り、「基盤科目（外国語）」の特徴的な傾向が見られた。

図2-84 【学部】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が4%(回答数2件)以上のものを掲載

【学部】「基盤科目（外国語）」抜粋

よかった点

- 印刷教材は十分過ぎるドイツ語が記載されていて引いてしまいましたが、試験があるので授業内容だけを必死で勉強しました。もう少し勉強してみたいと今思っているのですが、結果的には良かったと思います。
- ドイツ語文法の基本が詳しくまとめられていて、挑戦し甲斐がありました。この半年で消化しきれなかった部分については、印刷教材を用いて、今後も自学自習を続けようと思います。
- まだ試験は未受験だが、根気強く努力すれば、ドイツ語についての基本的な知識が理解できるようになると実感できる内容だと思った。
- 独学でドイツ語の学習をしていましたので、さまざまなヒントをいただいて理解が深まりました。
- とても密度の濃い授業で、一般的にドイツ語の初級の知識とされるレベルに比べてかなり上のレベルまですんなり進めたのがよかったと思います。
- 教材からのみでなく、質問を介しても森先生と交流でき、先生の言語学者としての御見識を垣間見ることができたのもありがたかったです。中級・上級の授業を森先生から受けてみたいです。
- 前回のドイツ語 I から比べると、内容が難しくなりましたが、分かりやすくなりましたね。
- ドイツ語を全く知らない状態で受講したが、少なくとも簡単な言葉については、何とかでも理解できる状態になった。
- ドイツ語を通して異文化を理解するのに、とても役に立つと思った。
- CD を繰り返し聞くことで、その内容が9割以上理解できた。速さを抑えるなど非常によくできている。

改善点

- 自己知識をもう少しレベルアップしてから臨んだ方が、理解力が深まったかもしれません。
- 文法に偏るのではなく、会話のレッスンももう少し充実していると良かったと思います。
- ボリュームが有り過ぎていた為、クリアするのに難儀した。40年前に勉強済みであったので、何とか出来たが、初めて触る人にとっては大変なボリュームと思った。
- せっかくのテレビ科目なのに、人物がイラストなので発音時の口の動きがわからないのが残念に思う。語学科目には役者さんで演じていただきたい。
- 先生の説明（放送）と教科書を一致させてほしい。
- テキストのどこを説明しているのか、例文の場所がわからないことがあった。
- 全く面白みがなく、視聴を途中で断念した。
- 同じ表を何度も重複して引用したり、箇条書きで済むところを不必要に長い文章で説明している箇所が多く、無駄が多かった。
- 放送教材の解説の日本語表現が難解です。今後はもう少しわかりやすい表現にしてほしい。
- ワクワクする授業とは対極で、科目案内では難易度は入門者向けではないと記載するべきだと思います。
- 時間制限の関係と思うが、解説が不十分であり理解ができない。自己学習が必要不可欠で、自己努力が中心となる。
- 講師が「楽しく学びましょう」と言いながら、無表情、事務的に説明され、もっと生き生きと授業できないものだろうか。
- ドイツ語箇所と日本語箇所、どちらもゴシック体で書かれており見づらい。フォントを工夫するなど、見やすさを重視してほしい。
- テストの問題数を増やしたほうが良いと思います。全てマークシートでも。

【学部】「基盤科目(外国語)」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
学習意欲・知識欲がわいた	4	1	5
満足している	4		4
基礎的な知識を得られた	3	1	4
深く学ぶ(勉強する)ことができた		4	4
興味・関心が持てた	3		3
科目の学問的性質、位置づけがわかった	3		3
適切な内容だった	2	1	3
よく理解できた	2		2
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	2		2
勉強になった	1	1	2
視野が広がった	1	1	2
今後に役立つ内容だった	1	1	2
知識の整理に役立った	1	1	2
学ぶことの楽しさを知った	1		1
今までにない、新しい情報や知識が得られた	1		1
面接授業や実習が良かった、参加しやすかった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:講師(陣)が良かった	3		3
放送授業:図・表・写真・映像があり、分かりやすかった	2		2
放送授業:楽しかった	1		1
放送授業:講師の熱意・熱心が伝わった		1	1
放送授業:発音を聞くことができた(語学)		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:理解しやすかった	1	1	2
印刷教材:良い教材だった	1		1
印刷教材:構成・内容が良かった		1	1
印刷教材:学習内容の理解・整理に役立った		1	1
印刷教材:手元に置き、今後も読みたい内容だった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:指導内容が良かった	1		1

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	8	1	9
構成・内容が良くない	3	2	5
内容の詰め込みすぎ	3	2	5
興味・意欲がわかなかった	2		2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2		2
期待していた内容ではなかった	1		1
時間が取れなかった	1		1
内容が浅い	1		1
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	1		1
授業科目案内は内容が不十分だった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった		1	1
通信指導:単位認定試験のヒントがほしい		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:授業の構成・内容が良くない	5		5
放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない	3	2	5
放送授業:解説中の印刷教材のページが分かりにくい	2	2	4
放送授業:授業に興味・関心が持てなかった	3		3
放送授業:講師の熱意が伝わらない	2		2
放送授業:講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい	1		1
放送授業:講師の解説、指導が良くなかった	1		1
放送授業:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:問題数が少なかった		2	2
単位認定試験:難しすぎる、難易度を下げるべき		1	1
単位認定試験:簡単すぎる、難易度を上げるべき		1	1
単位認定試験:解答方法を変更・改善してほしい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:構成・内容が良くない	3		3
印刷教材:理解しにくい	3		3
印刷教材:文字が読みづらい	2		2
印刷教材:内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい	1		1
印刷教材:放送授業中の資料・データを載せてほしい		1	1

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 構成・内容が良くない
- 内容の詰め込みすぎ
- 放送授業:授業の構成・内容が良くない
- 放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない
- 放送授業:解説中の印刷教材のページが分かりにくい
- 放送授業:授業に興味・関心が持てなかった

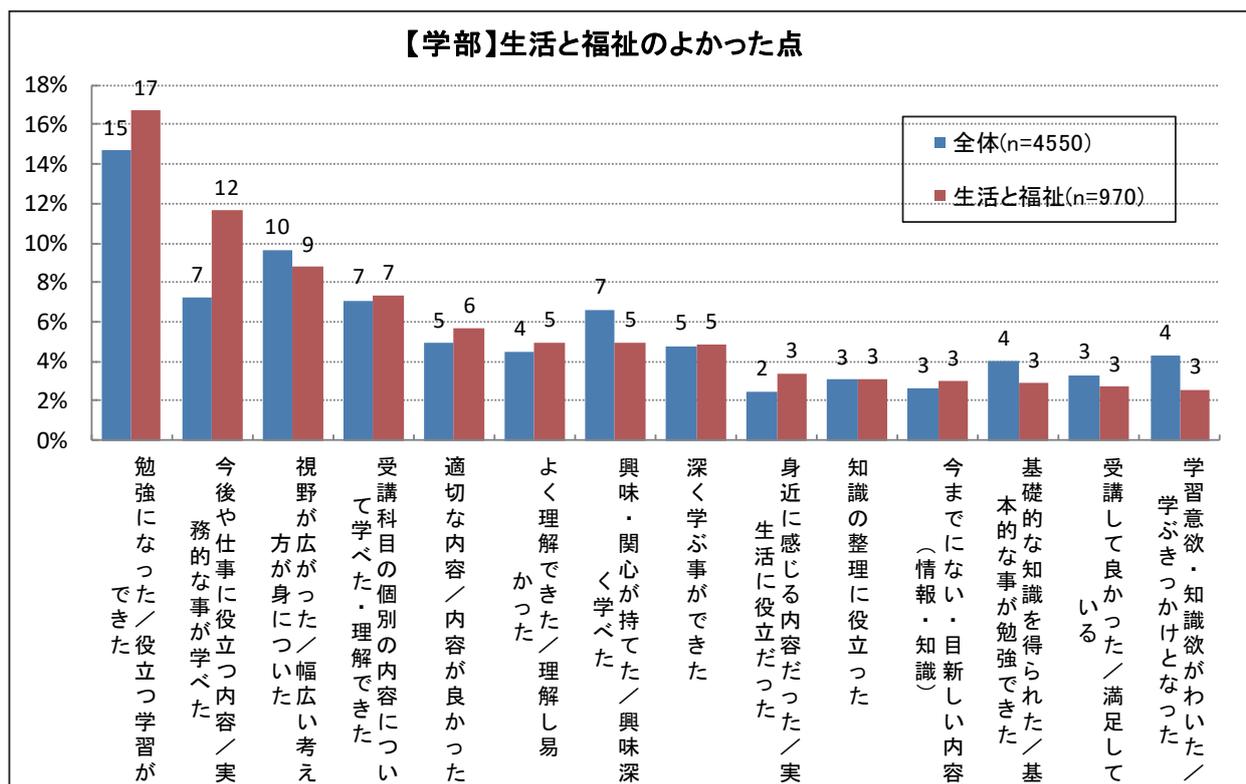
【学部】「生活と福祉」の傾向

よかった点

「勉強になった／役立つ学習ができた」が17%と最も多く、「今後や仕事に役立つ内容／実務的な事が学べた」「視野が広がった／幅広い考え方が身についた」が10%前後で続いた。

「今後や仕事に役立つ内容／実務的な事が学べた」は全体を上回っていた。

図2-85 【学部】よかった点



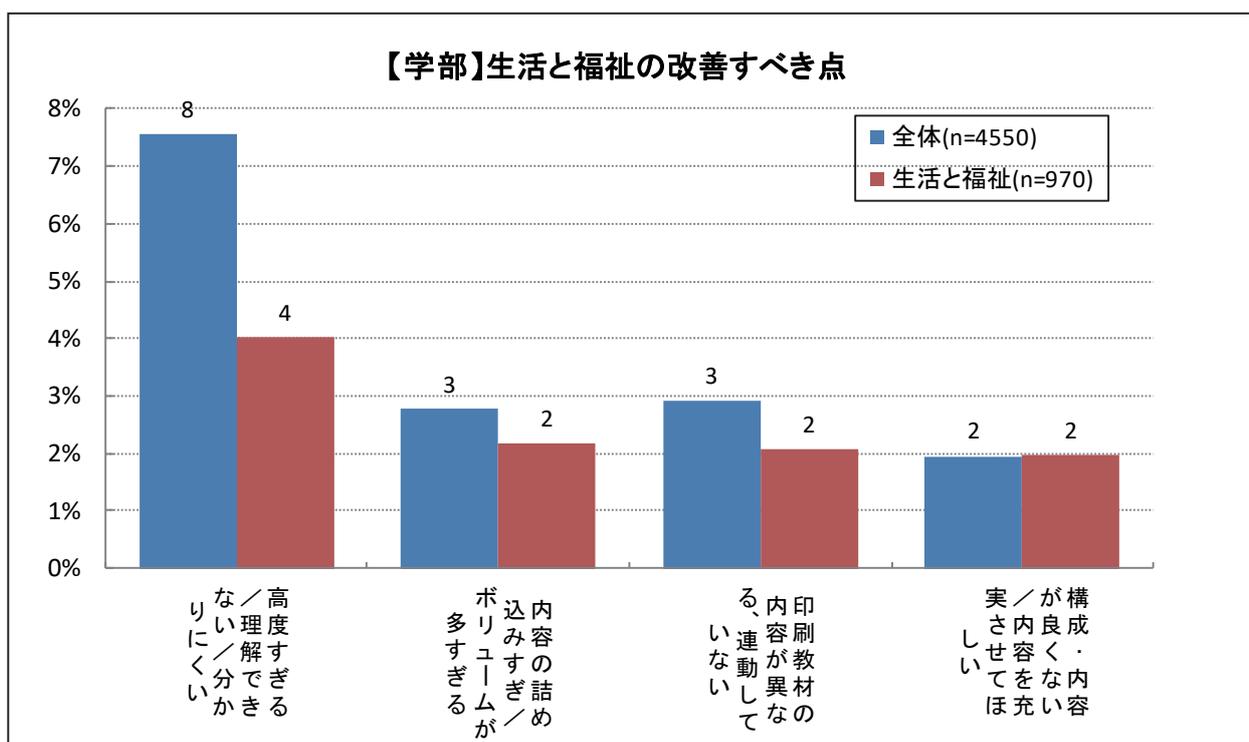
※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【学部】「生活と福祉」の傾向

改善点

「高度すぎる／理解できない／分かりにくい」が4%と最も多く、全体の二分一で、その他の項目も2%と、「生活と福祉」の改善点は、項目数も回答者数も極めて低かった。

図2-86 【学部】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が2%以上のものを掲載

【学部】「生活と福祉」抜粋

よかった点

- 自分が健康だ、健康になりたいと思っている人だけでなく、健康を失いつつある人の周囲の人にとっても役立つ内容だった。
- メンタルヘルスというざっくりしたタイトルだったが、精神疾患や自殺等コアな部分も扱っていて、仕事にも役立つような部分が多かった。
- 医療分野において、治療という視点だけではなく、制度や地球規模として抱えている問題などを学ぶことができた。
- 現在非常に問題となっている「子供の貧困」「若者の労働政策」「移民」「高齢者」など喫緊の問題について、詳しく知ることができた。
- 医療職として興味がある内容であったので、臨床での経験と授業での学びが結びつき、実践に意義深いものとして活かすことができている。
- 貧困に関する見方について、歴史的経緯や現代の実情（派遣労働者など）を詳しく説明されて、深く認識することができたと思います。
- 私自身高齢者に仲間入りした段階であったので、今まで断片的な知識であったものがつながりのある理解として吸収できた。
- 精神面の健康を害している人が増加していることから、身近な問題であり、どのように捉えるべきか、対応するべきかの糸口になった。
- メンタルヘルスに関する課題については、現役時代にいろいろと対応することがあったが、今回この講座を受講することにより、自らの振り返りをする事が出来た。
- 過去にも公衆衛生について学んだことはあるが、かなり前のことなので、色々な変化があるだろうと思い、この科目を受講した。最新のものを学ぶことができてよかったです。
- 貧困問題を理解する上での基本的な事項や考え方を学習でき、自分なりの考えの構築に役立ちました。

改善点

- 言い回しが難しかった。
- やはり実際に映像で見たい内容が多く、テレビにしてほしいと思いました。そうすれば、また何度でも手軽に見られるうえに、できれば一般の人たちにも知ってもらえるのと思いました。
- もう少し内容を充実する。
- 放送時間が短い。
- 言葉や内容が普段使いのものと相違しており、なかなか難しいと感じました。その都度辞書を活用しましたが、言葉の解説があれば理解が進んだかもしれない。
- 医学的裏付けの知識に加え、より具体的な行動や実践的な助言もあれば、さらに興味が深まったと思います。
- 印刷教材と放送授業の内容を一貫してほしい。放送授業で提示された図表がなくて困惑し、自分で書き込んだことが多々あった。
- 科目内容の範囲が広いものなので、放送授業の際に、印刷教材にプラスする内容の補足がもう少しあると、理解に広がりを感じた。
- データ、グラフが多く多彩だった事に対して、表示の仕方が見づらかった事が残念。
- 広く浅くという印象。さらに深く掘り下げた内容を知りたいと感じた。
- 内容が豊富すぎて、覚えることが多すぎるかなと感じた。
- 少し抽象的でわかりにくい記述が多かったので、もう少し具体的でわかりやすい表現で記述してほしい所が何箇所ありました。

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	76	86	162	放送授業:講師(陣)が良かった	6	4	10
今後に役立つ内容だった	65	48	113	放送授業:分かりやすい解説だった	5	3	8
視野が広がった	45	40	85	放送授業:構成・内容が良かった	4	2	6
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	46	25	71	放送授業:対話形式の授業が良かった	4	2	6
適切な内容だった	22	33	55	放送授業:現場取材や、専門家・ゲスト・第一線の方のインタビューが良かった	4		4
興味・関心が持てた	26	22	48	放送授業:聞き手の方のお陰で楽しく受講できた	3		3
深く学ぶ(勉強する)ことができた	26	21	47	放送授業:図・表・写真・映像があり、分かりやすかった	3		3
よく理解できた	25	14	39	放送授業:理解しやすかった	2	1	3
身近に感じる内容だった	20	13	33	放送授業:講師の熱意・熱心が伝わった	2	1	3
知識の整理に役立った	17	13	30	放送授業:講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた	2	1	3
今までにない、新しい情報や知識が得られた	19	10	29	放送授業:楽しかった	1	2	3
基礎的な知識を得られた	17	11	28	放送授業:メディアの特性に合った授業内容だった	2		2
満足している	13	13	26	放送授業:良い授業だった		2	2
学習意欲・知識欲がわいた	13	12	25				
具体的な事例・実践的な内容があった	15	1	16	印刷教材			
視点、考え方が変わった	6	8	14	意見	テレビ	ラジオ	合計
学ぶことの楽しさを知った	5	4	9	印刷教材:構成・内容が良かった	4	4	8
自分の意見・考えを持てるようになった	3	4	7	印刷教材:理解しやすかった	2	3	5
資料・データが充実していた	3	4	7	印刷教材:読み物として面白い内容だった		5	5
引用・参考文献、補助教材、問題集の紹介が良かった	2	3	5	印刷教材:学習内容の理解・整理に役立った	2	1	3
専門的な内容だった		1	1	印刷教材:良い教材だった	1	2	3
授業以外の自分の勉学・個人的な勉強に役立った		1	1	印刷教材:手元に置き、今後も読みたい内容だった		1	1
				通信指導			
				意見	テレビ	ラジオ	合計
				通信指導:理解しやすかった		1	1

改善点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	16	16	32	印刷教材: 図・表・写真・イラストが小さくて見づらい	4	6	10
構成・内容が良くない	9	11	20	印刷教材: 構成・内容が良くない	3	6	9
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	8	5	13	印刷教材: 理解しにくい	2	6	8
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	10	2	12	印刷教材: 図・表・写真・イラストを増やしてほしい	2	3	5
内容が浅い	6	3	9	印刷教材: フリガナ、専門用語の説明などがほしい	2	2	4
内容の詰め込みすぎ	3	5	8	印刷教材: 内容が薄い・少なすぎる	2	1	3
内容にまとまりがない	4	3	7	印刷教材: 放送授業中の資料・データを載せてほしい	2	1	3
興味・意欲がわかかなかった	4	1	5	印刷教材: 索引を充実させてほしい	2	1	3
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	2	2	4	印刷教材: 文字が読みづらい		3	3
各章ごとに、まとめ・学習ポイント・総括がほしい	2	1	3	印刷教材: 内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	1	2
授業科目案内は内容が不十分だった	2	1	3	印刷教材: 講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	1		1
最新の内容を講義してほしい	2		2	印刷教材: 放送授業の要約を載せてほしい	1		1
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	1	1	2	印刷教材: あまり良い教材ではなかった		1	1
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1	1	2	印刷教材: 誤植がある		1	1
時間が取れなかった		2	2	印刷教材: 付録のCDの内容に不満がある		1	1
現実に活かせる内容にしてほしい		1	1				

放送授業				単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業: メディアを変更してほしい	1	20	21	単位認定試験: 簡単すぎる、難易度を上げるべき	5	1	6
放送授業: 授業の構成・内容が良くない	12	7	19	単位認定試験: 問題数が少なかった	2	2	4
放送授業: 印刷教材の内容が異なる、連動していない	9	3	12	単位認定試験: 教材の持ち込みは不要	3		3
放送授業: 印刷教材と異なる講義が聴きたい	3	7	10	単位認定試験: 試験の設問内容に違和感があった		3	3
放送授業: 講師の解説、指導が良くなかった	4	3	7	単位認定試験: 難しすぎる、難易度を下げるべき	2		2
放送授業: 理解しにくい	2	5	7	単位認定試験: 試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1	1	2
放送授業: 講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい	1	6	7	単位認定試験: 通信指導や前学期と内容が同じだった	1		1
放送授業: 図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	5	1	6	単位認定試験: 教材・電卓持込み可にしてほしい	1		1
放送授業: 専門家の意見が聴きたい	2	3	5				
放送授業: 講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	4		4				
放送授業: 講師の熱意が伝わらない	3		3				
放送授業: 講師以外は必要ない、違和感がある	3		3				
放送授業: 解説中の印刷教材のページが分かりにくい	1	2	3				
放送授業: 講義のテンポが良くない(早い・遅い)	1	1	2				
放送授業: 授業に興味・関心が持てなかった		2	2				
放送授業: 各章ごとに、まとめや学習ポイント・総括がほしい		1	1				

主な改善点の提案: 集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 放送授業: メディアを変更してほしい
- 構成・内容が良くない

- 放送授業: 授業の構成・内容が良くない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業: 印刷教材の内容が異なる、連動していない

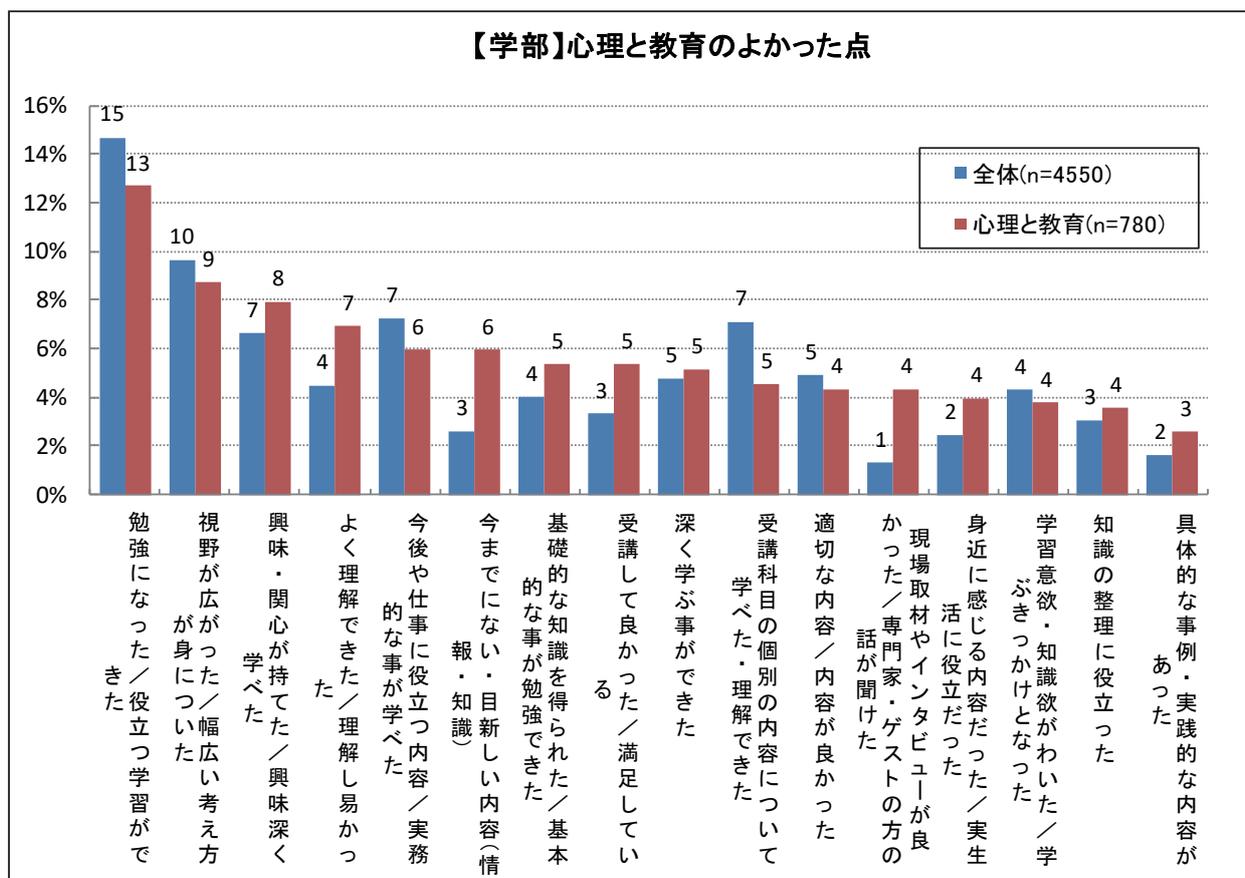
【学部】「心理と教育」の傾向

よかった点

「勉強になった／役立つ学習ができた」が13%で最も高く、次いで「視野が広がった／幅広い考え方が身についた」(9%)と「興味関心が持てた／興味深く学べた」(8%)が上位に挙げられた。

「今までにない・目新しい内容(情報・知識)」(6%)以外は、全体の水準とあまり変わりがなかった。

図2-87 【学部】よかった点



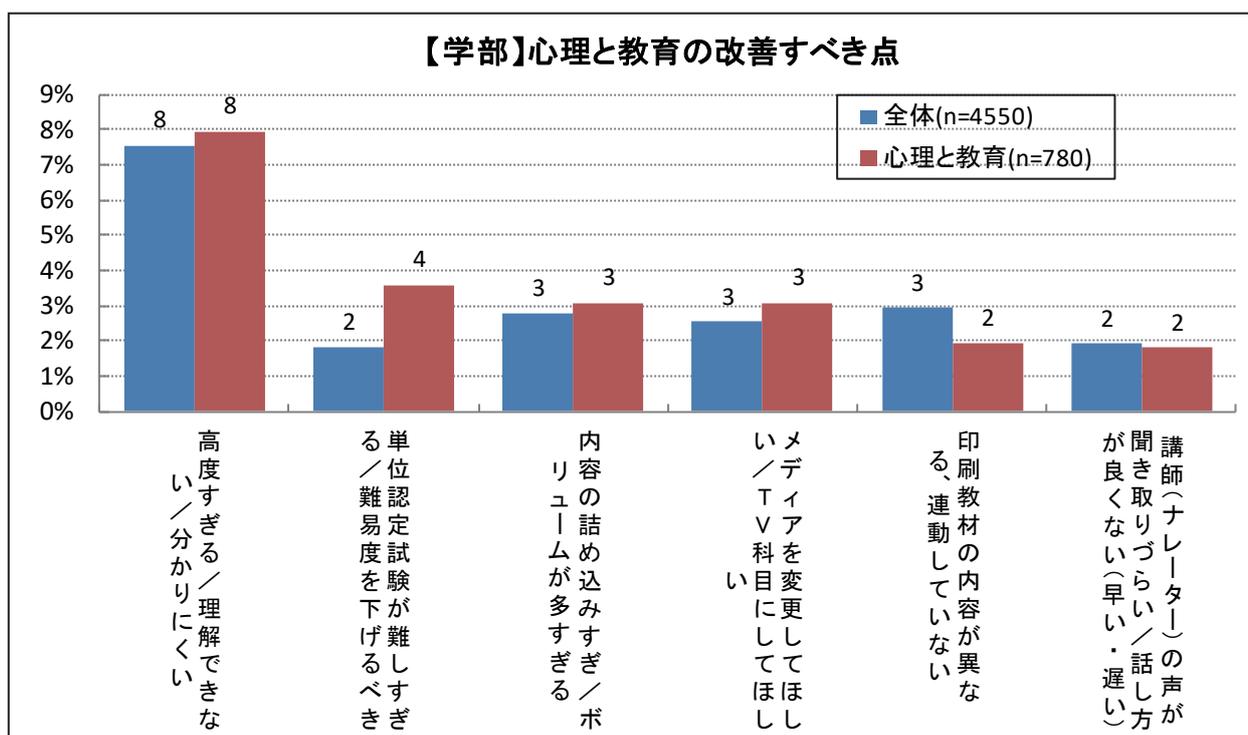
※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【学部】「心理と教育」の傾向

改善点

最も多くても「高度すぎる／理解できない／分かりにくい」が全体と同数の8%で、後は3%前後と低い比率で、「心理と教育」の改善点を挙げる履修生はほとんど見られなかった。

図2-88 【学部】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が2%以上のものを掲載

【学部】「心理と教育」抜粋

よかった点

- 思春期・青年期にある子供達の心身の揺れ、そしてそこから成長していく過程を知ることができ、大変勉強になりました。
- この講座を受講して、マクロな視点で教育が社会に果たす役割を理解することができた。視野が広がったことで、毎日の仕事を新たな気持ちで取り組めるようになった。
- 学習を通して、実際に関わっている子ども達をあらためて俯瞰的に見ることができた。子ども達はそれぞれにニーズがあるが、保護者と話をしていく中でも、わかりやすく伝えるのに活用できる学習だった。
- 公認心理師試験を受ける上で、苦手分野である認知心理学を学習しようと思い履修しました。学習してみると難しいのですが、興味深く面白く感じました。
- まさに思春期の子供がいるので、娘が話に耳を傾けるような接し方ができたり、今の状況を見守ることができるようになり、家族の生活面に良い影響をもたらしました。
- 前期に認知心理学を受講して、今期に知覚・認知心理学を受講しました。脳機能、情動に関すること、推論では演繹・帰納法を、以前より深く学べたと思います。
- 教育の歴史について知ることができた。時代とともに教育は変遷してきており、政治と切り離せないものだということがよく分かった。

改善点

- 「心理学」とあるが、医学的に解説されている箇所もあり難しく感じた
- 第一回目から印刷教材を全く無視した内容で戸惑った。印刷教材は無くても良かったのかと思うくらい、放送教材は独特すぎてついていけなかった。
- 目や耳の構造の部位の名前まで詳しく教材に書かれていて、必要なことではあるが、どこまでを覚えなければいけないのか分かりにくい。また、1つの章にある重要語句が多すぎて覚えられない。全体的に内容が濃かったが、逆にどこが大事なのかが分かりにくい。
- 肢体不自由児の教育は動画で学習ができて分かりやすかったが、他のは音声のみで、時々資料を見る指示が出て、すぐにわからないのもあり、音声だけより動画で先生の顔が見える授業のほうが良いと感じた。
- 講師の先生方の何気なく使われる言葉が難しく感じることもあり、何を言っているのかが分からずに、言葉自体をネットで調べたことが何度かあった。頭脳のレベルが違いすぎるのかなと感じた。
- 特別支援教育基礎論との違いと共通点が明確にあると、単位認定試験の対策ができるように感じました。当然だが、重なる内容が多く、どちらを勉強しているかわからなくなった。
- ラジオだけだと、わかりにくい言い回しや早口になる先生もいらして、聞き取りにくい点。
- 単位認定試験が難しすぎました。
- 専門的な用語の説明が不足。
- 印刷教材の説明を図が補完できていなくて、理解がすずまなかった。
- 単位認定試験の内容が、この授業のメジャーな内容ではなかったように感じ、ちょっと重箱の隅をつつくような細かい問題だった印象でした。そこがちょっと残念でした。
- 前回の高野先生の「認知心理学」が分かりやすくとっても素晴らしかったので「知覚・認知心理学」を受講しようと思ったが、内容が特に理数系に近く難解で、期待外れだった。

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	30	63	93	放送授業:講師(陣)が良かった	1	24	25
視野が広がった	39	44	83	放送授業:理解しやすかった	6	5	11
今後に役立つ内容だった	10	60	70	放送授業:楽しかった	5	6	11
興味・関心が持てた	22	25	47	放送授業:分かりやすい解説だった	2	8	10
身近に感じる内容だった	3	36	39	放送授業:良い授業だった	3	4	7
深く学ぶ(勉強する)ことができた	12	26	38	放送授業:講師の熱意・熱心さが伝わった	2	5	7
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	13	23	36	放送授業:現場取材や、専門家・ゲスト・第一線の方のインタビューが良かった		7	7
適切な内容だった	10	26	36	放送授業:構成・内容が良かった	2	4	6
学習意欲・知識欲がわいた	18	14	32	放送授業:講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた		5	5
知識の整理に役立った	13	14	27	放送授業:図・表・写真・映像があり、分かりやすかった	2	1	3
基礎的な知識を得られた	5	22	27	放送授業:印刷教材の内容が連動していて良かった	1	2	3
満足している	4	21	25	放送授業:印刷教材とのバランスが良かった	1	1	2
よく理解できた	7	17	24	放送授業:メディアの特性に合った授業内容だった		2	2
今までにない、新しい情報や知識が得られた	10	10	20	放送授業:講義のテンポが良かった		2	2
学ぶことの楽しさを知った	10	3	13	放送授業:アシスタントが良かった	1		1
具体的な事例・実践的な内容があった	1	12	13	放送授業:印刷教材と異なる内容で良かった	1		1
専門的な内容だった	3	4	7				
授業以外の自分の勉学・個人的な勉強に役立った	4	1	5				
科目の学問的性質、位置づけがわかった	3	1	4				
視点、考え方が変わった	1	3	4				
自分の意見・考えを持てるようになった		2	2				
授業科目案内は役に立った	1		1				
引用・参考文献、補助教材、問題集の紹介が良かった		1	1				
学校の対応が良かった		1	1				

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:良い教材だった	2	3	5	通信指導:指導内容が良かった		4	4
印刷教材:理解しやすかった	2	3	5	通信指導:学習内容の理解・整理に役立った		1	1
印刷教材:構成・内容が良かった	1	1	2	通信指導:理解しやすかった		1	1
印刷教材:図・表・写真・イラストがあり、分かりやすかった	1	1	2				
印刷教材:熱意が伝わる教材だった	1		1				
印刷教材:手元に置き、今後も読みたい内容だった	1		1				
印刷教材:学習内容の理解・整理に役立った		1	1				

印刷教材				単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:良い教材だった	2	3	5	単位認定試験:印刷教材が持ち込めて良かった		3	3
印刷教材:理解しやすかった	2	3	5	単位認定試験:評価が良かった	1	1	2
印刷教材:構成・内容が良かった	1	1	2	単位認定試験:受験して良かった	1		1
印刷教材:図・表・写真・イラストがあり、分かりやすかった	1	1	2	単位認定試験:科目内容の理解度ををはかるのに相応しい内容だった	1		1
印刷教材:熱意が伝わる教材だった	1		1	単位認定試験:難易度が適切だった	1		1
印刷教材:手元に置き、今後も読みたい内容だった	1		1				
印刷教材:学習内容の理解・整理に役立った		1	1				

改善点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	34	9	43	印刷教材:理解しにくい	7	3	10
内容の詰め込みすぎ	20	4	24	印刷教材:誤植がある	6	2	8
構成・内容が良くない	8	7	15	印刷教材:内容が薄い・少なすぎる	7		7
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	5	5	10	印刷教材:放送授業の要約を載せてほしい	3	3	6
期待していた内容ではなかった	6	2	8	印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい	1	5	6
内容が浅い	2	5	7	印刷教材:構成・内容が良くない	4	1	5
授業科目案内は内容が不十分だった	4	2	6	印刷教材:内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	4	1	5
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい		6	6	印刷教材:放送授業中の資料・データを載せてほしい	3	1	4
関連科目・基礎科目の開設、もしくは既存科目の案内をしてほしい	3	1	4	印刷教材:あまり良い教材ではなかった	2	1	3
時間が取れなかった	3		3	印刷教材:図・表・写真・イラストが小さくて見づらい	1	1	2
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	1	2	3	印刷教材:索引を充実させてほしい	1	1	2
最新の内容を講義してほしい		3	3	印刷教材:講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	1		1
内容にまとまりがない	2		2	印刷教材:具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい		1	1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい		2	2	印刷教材:DVD・CD等、付録の添付を考えてほしい		1	1
興味・意欲がわかなかった	1		1				
現実に活かせる内容にしてほしい		1	1				

放送授業				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない	17	11	28	通信指導:指導内容、対応に不満がある	4		4
放送授業:メディアを変更してほしい		24	24	通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった	4		4
放送授業:理解しにくい	14	5	19	通信指導:課題(問題)が、放送授業、印刷教材と内容がずれている	2		2
放送授業:講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい	12	2	14				
放送授業:解説中の印刷教材のページが分かりにくい	3	5	8				
放送授業:授業の構成・内容が良くない	4	3	7				
放送授業:授業に興味・関心が持てなかった	6		6				
放送授業:専門家の意見が聴きたい	2	2	4				
放送授業:講義のテンポが良くない(早い・遅い)	3		3				
放送授業:講師の解説、指導が良くなかった	2	1	3				
放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい	2	1	3				
放送授業:講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	2		2				
放送授業:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	2		2				
放送授業:放送授業の時間(スケジュール)が合わない		2	2				
放送授業中に使用された映像・音楽が他メディアで視聴できなかった		2	2				
放送授業:手話通訳、または字幕がほしい	1		1				
放送授業:講師の熱意が伝わらない	1		1				
放送授業:各章ごとに、まとめや学習ポイント・総括がほしい	1		1				
放送授業:講師以外は必要ない、違和感がある		1	1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:難しすぎる、難易度を下げるべき	10	1	11
単位認定試験:試験の設問内容に違和感があった	7	2	9
単位認定試験:試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	4	1	5
単位認定試験:教材・電卓持込み可にしてほしい	2	1	3
単位認定試験:教材の持ち込みは不要		2	2
単位認定試験:評価方法に疑問を感じる	1		1
単位認定試験:問題数が少なかった	1		1

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない
- 内容の詰め込みすぎ

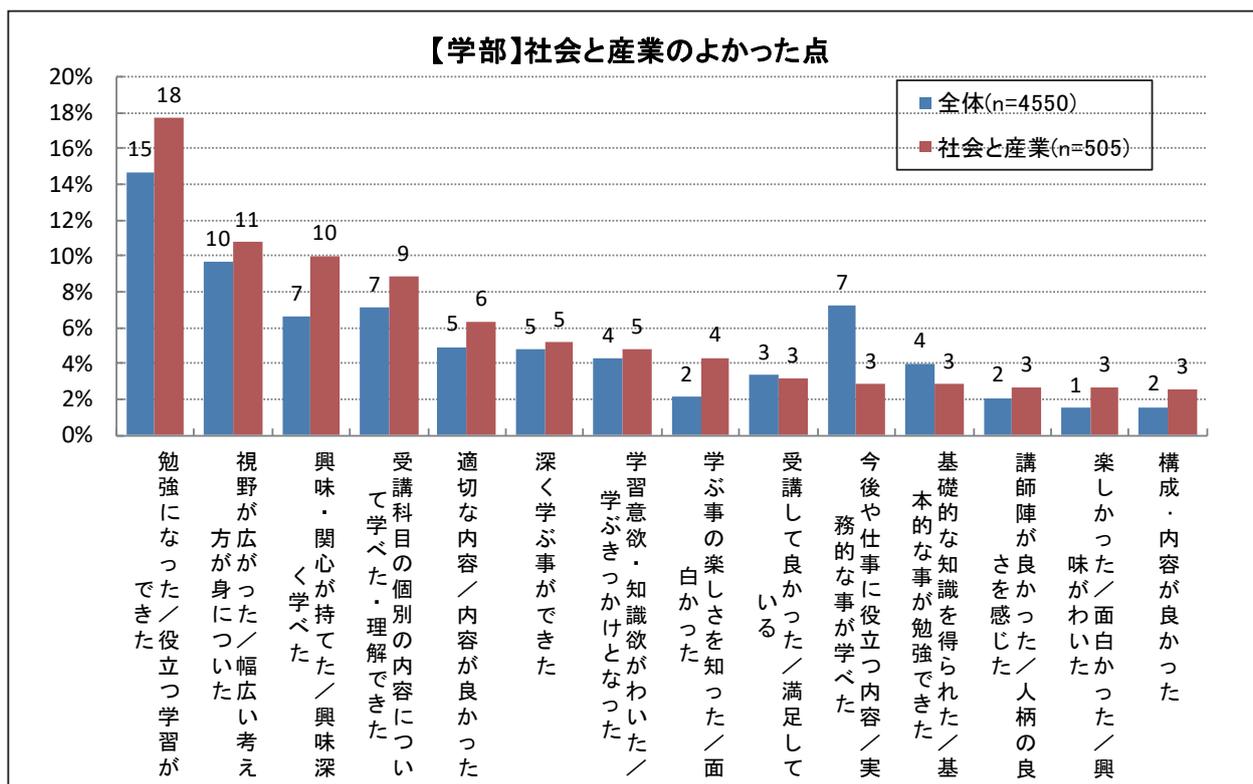
- 放送授業:メディアを変更してほしい
- 放送授業:理解しにくい
- 構成・内容が良くない
- 放送授業:講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい

【学部】「社会と産業」の傾向

よかった点

「勉強になった／役立つ学習ができた」が全体をわずかに上回り 18%と最も高く、「視野が広がった／幅広い考え方が身についた」「興味・関心が持てた／興味深く学べた」「受講科目の個別の内容について学べた・理解できた」が10%前後で続いた。

図2-89 【学部】よかった点



※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

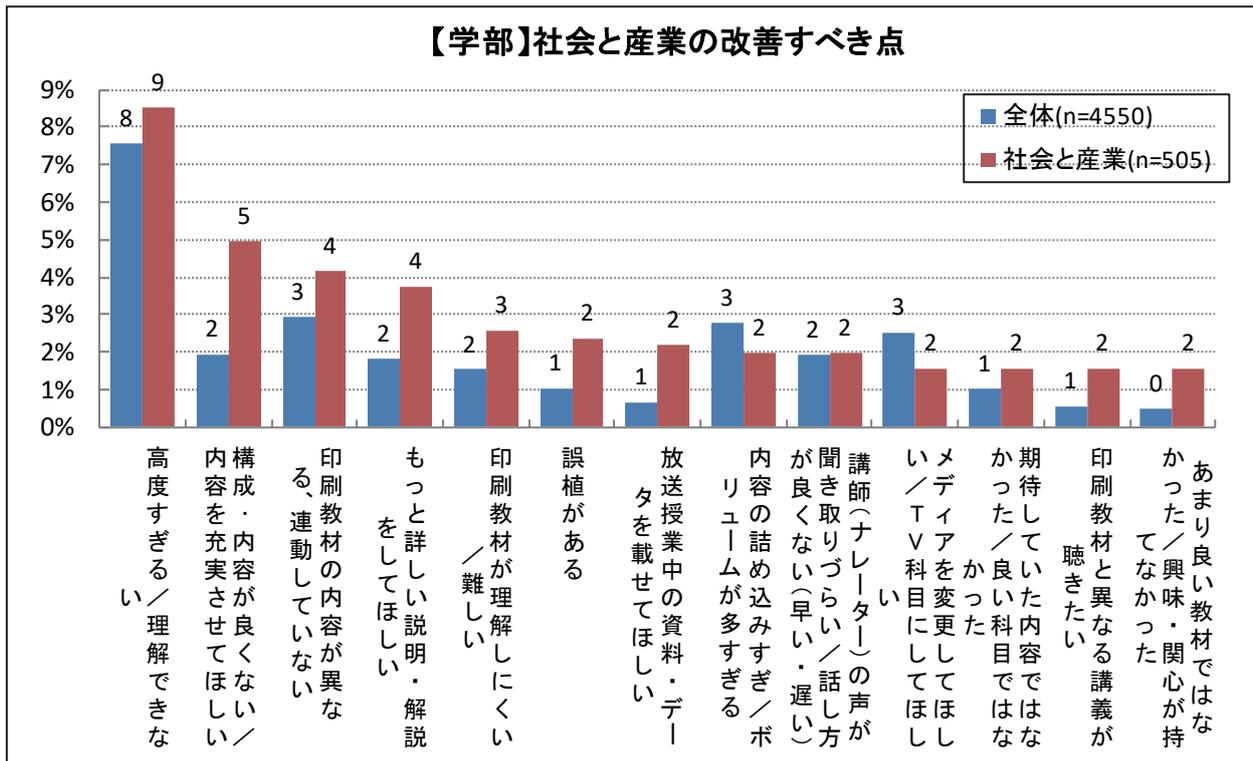
【学部】「社会と産業」の傾向

改善点

「高度すぎる／理解できない」が9%で最も多く、次いで「構成・内容が良くない／内容を充実させてほしい」が5%でこれに続いた。

この「構成・内容が良くない／内容を充実させてほしい」は全体を大きく上回っていた。

図2-90 【学部】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が2%以上のものを掲載

【学部】「社会と産業」抜粋

よかった点

- 日本国憲法制定についての歴史的背景や他国の憲法との関係性を踏まえた上で、立憲民主主義の趣旨を知ることに関与しました。
- エネルギーについての知見が広まった。特にエクセルギーとアネルギーに分けての考え方は新しい知見であった。
- 法律に関しては、ほとんど興味がなかったが、この講義を受講して、憲法関連の話題に注視するようになった。
- 昭和時代の歴史教育を学んできた自身にとって、現代の研究がどれだけ進んだかがよく理解できた。
- 「ものづくり現場」の実態をよくリサーチし、論説されている。「アーキテクチャ戦略」等、今後の日本の産業の方向性が示されており、勇気づけられる内容でありました。
- 想像していた以上に理数系知識を必要とする内容でしたが、文科系人間としても知っている方が良いと思いますので、勉強して良かったと考えます。
- 社会調査について、基本的なことが理解できたと思います。今後、調査や統計について学びを深めていく上で、基本となる内容だったと思います。
- 日本国憲法の解釈が、民主主義の歴史や各国の憲法との比較で論じられており、解釈が深まった。
- 自分が会社人の時にはもうひとつよくわからなかった日本の強みと弱みがよく理解できた。また世界の中の日本の現状もよく理解できた。
- 理論と実践の両面で経営情報学を取り上げた点が、経営情報学とは何かを学ぶ上で理解の一助となった。
- 日本にとり重要な課題である財政について、現状や理論も含めて、体系的に学ぶことができて良かった。
- 放送授業において、実務家等のインタビューを挟み、この科目で重点を置いていた理論と実践との適切な循環を感じることができた。
- 縁遠いと思っていた現代経済学を身近に感じるすることができた。
- 日本政治外交史の概観がわかり、今後引き続き学習していく意欲がわいた。

改善点

- エクセルギーとアネルギーがどうしても理解できなかった。初めて学んだ言葉だったので難解だった。標準の科学用語なのでしょうか。
- 対話方式で進む放送授業の進行は、演者の細かい所作（目線や体の動き、セリフの聞きやすさ）がよく見えるので、善し悪しがあると思われる。
- 授業内容が時系列的な説明が良かったと思います。
- 時代の変化に大きな影響を与える事件などについては、色々な見方があることをもう少し時間を割いて紹介してくれれば一層良かったと思う。
- もう少しメリハリのある説明があると、なお理解が出来たのでは思う。
- 実際に社会調査を経て結果となったものの実例について、もっと見てみたいと思いました。リアルな調査の現場についても見てみたいと思いました。
- 放送はほぼテキストの朗読だったので、視聴する意味を感じませんでした。
- 研究データは、出来るだけ現在に近い年代までのデータを紹介していただけたら、より臨場感が広がった。
- 担当講師の発声や滑舌のトレーニング不足を感じるところがあったので、改善又は別の先生への交代を望む。

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	51	13	64	放送授業:現場取材や、専門家・ゲスト・第一線の 方のインタビューが良かった	21	1	22
視野が広がった	34	10	44	放送授業:講師(陣)が良かった	8	3	11
興味・関心を持てた	33	7	40	放送授業:分かりやすい解説だった	7	2	9
今後に役立つ内容だった	30		30	放送授業:構成・内容が良かった	6	3	9
今までにない、新しい情報や知識が得られた	27	3	30	放送授業:理解しやすかった	6	2	8
基礎的な知識を得られた	27		27	放送授業:良い授業だった	4	2	6
満足している	23	4	27	放送授業:楽しかった	3	2	5
深く学ぶ(勉強する)ことができた	21	5	26	放送授業:対話形式の授業が良かった	1	3	4
よく理解できた	21	3	24	放送授業:講師の熱意・熱心さが伝わった	3		3
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	22	1	23	放送授業:アシスタントが良かった	3		3
適切な内容だった	19	3	22	放送授業:図・表・写真・映像があり、分かりやす かった	3		3
身近に感じる内容だった	18	2	20	放送授業:メディアの特性に合った授業内容だった	2		2
学習意欲・知識欲がわいた	16	3	19	放送授業:印刷教材の内容が連動していて良かった	1		1
知識の整理に役立った	18		18	放送授業:印刷教材と異なる内容で良かった	1		1
具体的な事例・実践的な内容があった	12	1	13	放送授業:印刷教材とのバランスが良かった	1		1
自分の意見・考えを持てるようになった	11	1	12				
学ぶことの楽しさを知った	6	1	7				
視点、考え方が変わった	6		6				
科目の学問的性質、位置づけがわかった	4		4				
引用・参考文献、補助教材、問題集の紹介が良かった	2	1	3				
授業以外の自分の勉学・個人的な勉強に役立った	2		2				
資料・データが充実していた	1		1				

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:良い教材だった	8	1	9	通信指導:学習内容の理解・整理に役立った	1		1
印刷教材:構成・内容が良かった	4		4	通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、分量が適 切だった	1		1
印刷教材:理解しやすかった	3		3				
印刷教材:手元に置き、今後も読みたい内容だった	2	1	3				
印刷教材:引用・参考文献の紹介が良かった	1		1				
印刷教材:様々な事例、具体的な事例が良かった	1		1				
印刷教材:熱意が伝わる教材だった	1		1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:難易度が適切だった	1		1

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	24	3	27
構成・内容が良くない	17	4	21
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	18	1	19
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	12	1	13
最新の内容を講義してほしい	11		11
内容の詰め込みすぎ	7	1	8
現実に活かせる内容にしてほしい	5	3	8
関連科目・基礎科目の開設、もしくは既存科目の案内をしてほしい	4		4
内容にまとまりがない	3		3
内容が浅い	3		3
期待していた内容ではなかった	2		2
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	2		2
興味・意欲がわかかなかった	1	1	2
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発行してほしい	1	1	2
受験・資格取得に役立つ内容にしほしい		2	2
時間が取れなかった	1		1
授業科目案内は内容が不十分だった	1		1
質問や相談がしたい	1		1
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:放送授業中の資料・データを載せてほしい	8		8
印刷教材:放送授業の要約を載せてほしい	6	1	7
印刷教材:構成・内容が良くない	5		5
印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい	3	1	4
印刷教材:内容が薄い・少なすぎる	3		3
印刷教材:フリガナ、専門用語の説明などがほしい	3		3
印刷教材:理解しにくい	2	1	3
印刷教材:内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	2	1	3
印刷教材:図・表・写真・イラストが小さくて見づらい	2		2
印刷教材:索引を充実させてほしい	2		2
印刷教材:あまり良い教材ではなかった	1		1
印刷教材:講師により内容にバラつきがある、解説が異なる		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:指導内容、対応に不満がある	3	3	6
通信指導:課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	1		1
通信指導:課題(問題)が、放送授業、印刷教材と内容がずれている		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:授業の構成・内容が良くない	22	3	25
放送授業:理解しにくい	14	2	16
放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい	11	1	12
放送授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい	10		10
放送授業:授業に興味・関心が持てなかった	7		7
放送授業:印刷教材の内容が異なる、運動していない	6		6
放送授業:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	4		4
放送授業:講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	2	2	4
放送授業:手話通訳、または字幕がほしい	3		3
放送授業:各章ごとに、まとめや学習ポイント・総括がほしい	3		3
放送授業:講師の熱意が伝わらない	2	1	3
放送授業:講義のテンポが良くない(早い・遅い)	2		2
放送授業:講師の解説、指導が良くなかった	2		2
放送授業:講師以外は必要ない、違和感がある	2		2
放送授業:解説中の印刷教材のページが分かりにくい	2		2
放送授業:メディアを変更してほしい		2	2
放送授業:放送授業の時間(スケジュール)が合わない	1		1
放送授業:テレビの図・表・写真が見にくい、見せ方を改善してほしい	1		1
放送授業:単位認定試験と運動していない	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:解答方法を変更・改善してほしい	7	1	8
単位認定試験:試験の設問内容に違和感があった	5	3	8
単位認定試験:試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	3	1	4
単位認定試験:難しすぎる、難易度を下げるべき	3	1	4
単位認定試験:問題数が多かった、範囲が広がった	1	2	3
単位認定試験:教材・電卓持込み可にしてほしい	1		1
単位認定試験:教材の持ち込みは不要		1	1

- 主な改善点の提案:集約
- 難しい、高度すぎる、理解できない
 - 放送授業:授業の構成・内容が良くない
 - 構成・内容が良くない
 - もっと詳しい説明・解説をしてほしい
 - 放送授業:理解しにくい
 - 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい
 - 放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい

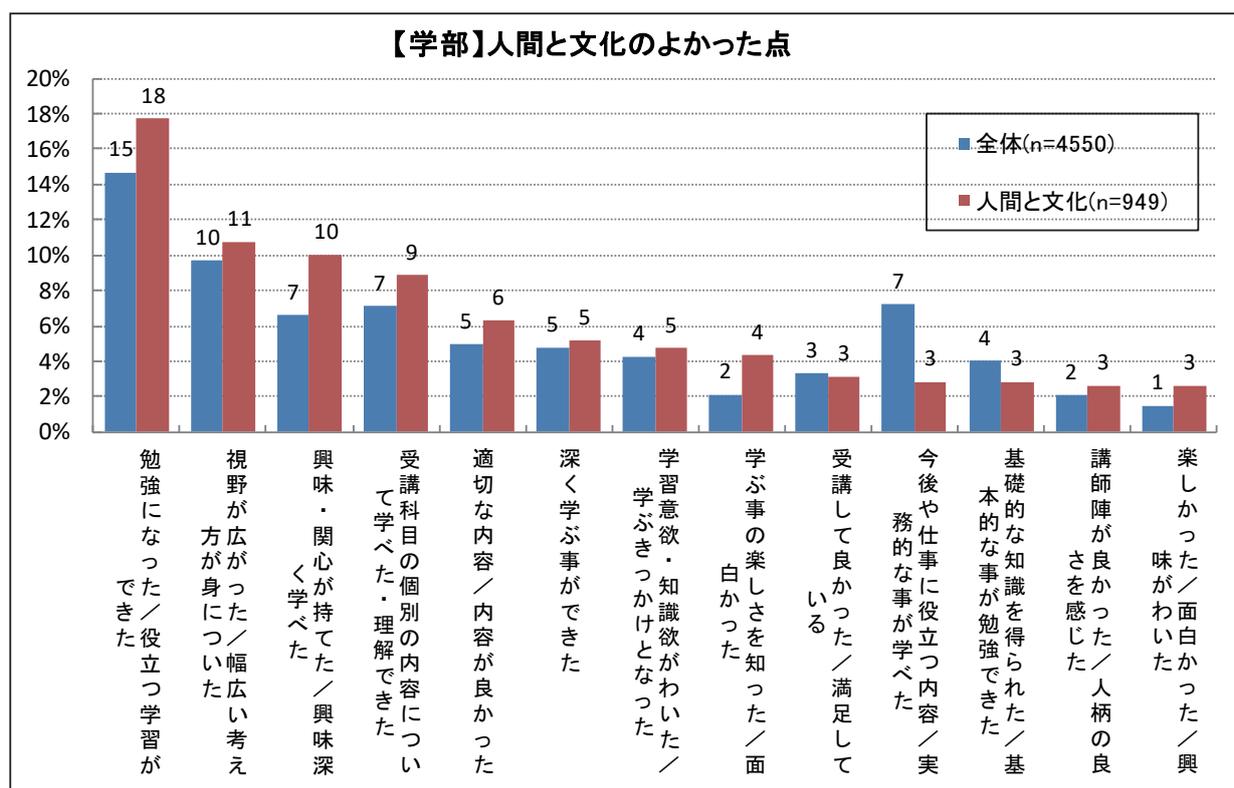
【学部】「人間と文化」の傾向

よかった点

最も多かったのは「勉強になった／役立つ学習ができた」で18%、他に「視野が広がった／幅広い考え方が身についた」「興味・関心が持てた／興味深く学べた」「受講科目の個別の内容について学べた・理解できた」が10%前後で上位に挙げられた。

この4項目は全体をわずかに上回っていた。

図2-91 【学部】よかった点



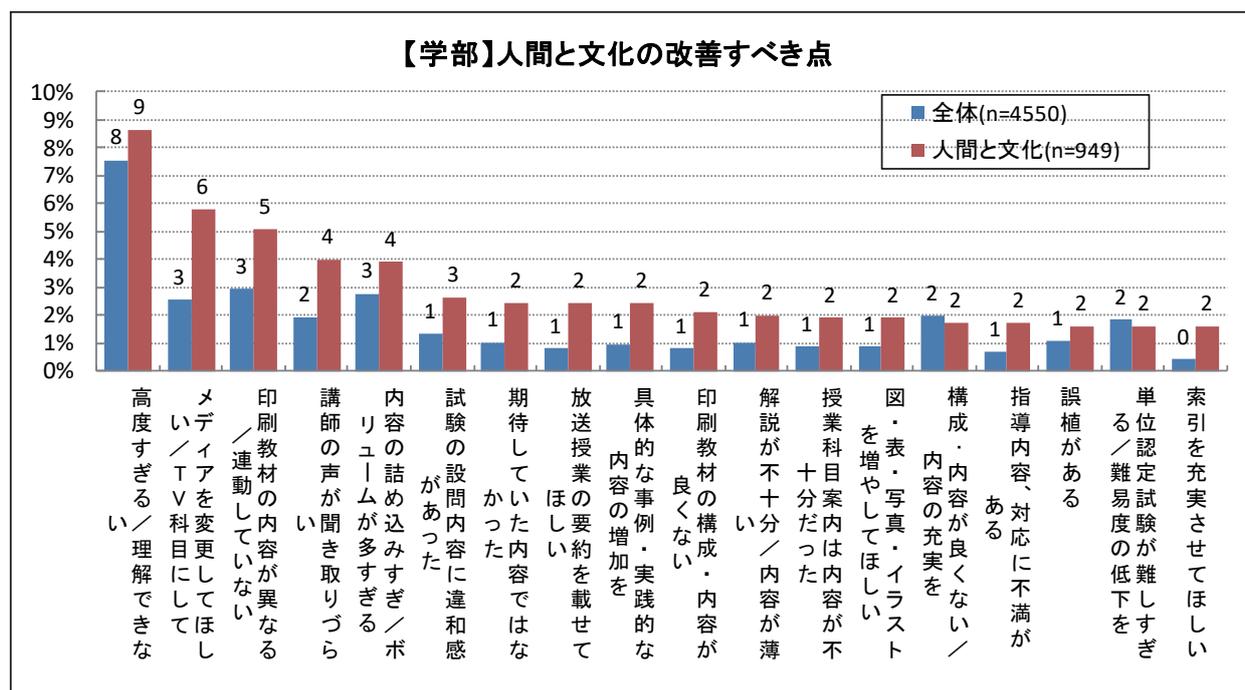
※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【学部】「人間と文化」の傾向

改善点

「高度すぎる／理解できない」が9%で、他に「メディアを変更してほしい／テレビ科目にしてほしい」と「印刷教材の内容が異なる／連動していない」が上位で、この「メディアを変更してほしい／テレビ科目にしてほしい」と「印刷教材の内容が異なる／連動していない」は全体をわずかに上回っていた。

図2-92 【学部】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が2%以上のものを掲載

【学部】「人間と文化」抜粋

よかった点

- 自分の中で理解しているコミュニケーションと、他の人との理解の違い等、他人と接するために大切なことなどが学べたと思う。
- これまでは博物館を、観賞する立場でしか見ていませんでしたが、運営する側の視点を垣間見ることができました。
- 多岐に渡る文化に通奏低音のように共通する精神文化をクロスオーバーに検証することができ、興味深かった。
- 多くの章で自分が知っているアーティストの名前が出てきたが、あらためてそれぞれのアーティストの時代背景や人々に受け入れられていった経過が分かった。
- 漢文理解を違う視点からアプローチでき、この科目を深く勉強することで、漢文の読み方、文法、書き方が、しっかり修得できる内容だと思います。
- もともと日本文化には大変興味を持っており、来年には東京オリンピックを控え、日本文化を奥深く勉強できてよかったと思います。
- 翻訳独特の言い回しや文章に戸惑ってあまり読んでこなかったが、少し読んでみようという気持ちになった。
- アメリカは近くて遠く、ヨーロッパより影響が大きい割にその歴史に疎く、この講義で空白の部分を埋めていただいた。楽しく勉強できた。
- 高校卒業以来60年以上、ほとんど漢文の勉強をしていなかったもので、アジア共通の教養に触れることができ嬉しかった。
- コミュニケーションについては生活上、工作上必要と感じることが多くあるが、他者とコミュニケーションを行う場合の、自分の心構えなどを知ることができた。
- 他の博物館学を学んでいく上で、必要な基礎知識を身に付けることができた。

改善点

- 漢文についての知識がない者が学ぶには難しかったです。
- 広範囲にわたっているので、2つに分けた方がよいのではないかと思います。
- 私的経験、分野の偏りが多かった。
- 講師の話し方がたどたどしく、内容に集中できない部分があった。
- 単位認定試験問題の出題が深堀されていて難しかった。
- この科目はテレビ科目にした方がもっと分かりやすくなると思う。言葉以外のコミュニケーションの説明・表現には、ラジオでは限界がある。
- 講師によりますが、もう少し板書を用いていただければ、わかりやすかったと思います。初心者だったので、少し理解に時間がかかりました。
- 各教授の熱意は伝わったが、趣味性の強い解説で、自己満足感が強かった。
- 単位認定試験で記憶に依存する問題が多いのは改善して頂きたい。
- 通信指導された問題の類似問題等を少し単位認定試験に出題してくださるとよかったと思う。通信指導の問題をやって内容が理解されたかどうか確認していたため、今回の単位認定試験の内容との違いに驚きました。
- ごった煮感がある。もう少し体系的に理解したかった。
- 印刷教材は自分で読み込むので、せっかくのテレビ講義は極力過去の美術品や芸術品、建物や当時の様子の資料等、視覚で楽しみながら学びたい。
- 私は地域博物館についてもっと学びたかった。市民学芸員として地元の郷土博物館のボランティアをしたいと思っていたが、期待が若干外れた。

【学部】「人間と文化」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	103	65	168
視野が広がった	57	45	102
興味・関心が持てた	64	31	95
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	50	34	84
適切な内容だった	39	21	60
深く学ぶ(勉強する)ことができた	28	21	49
学習意欲・知識欲がわいた	21	24	45
学ぶことの楽しさを知った	23	18	41
満足している	10	20	30
今後に役立つ内容だった	10	17	27
基礎的な知識を得られた	9	18	27
知識の整理に役立った	13	4	17
視点、考え方が変わった	12	4	16
具体的な事例・実践的な内容があった	7	2	9
よく理解できた	4	3	7
今までにない、新しい情報や知識が得られた	1	4	5
身近に感じる内容だった	1	2	3
科目の学問的性質、位置づけがわかった		3	3
専門的な内容だった	2		2
面接授業や実習が良かった、参加しやすかった	2		2
自分の意見・考えを持てるようになった	1		1
授業以外の自分の勉学・個人的な勉強に役立った		1	1
引用・参考文献、補助教材、問題集の紹介が良かった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:楽しかった	14	11	25
放送授業:講師(陣)が良かった	13	12	25
放送授業:メディアの特性に合った授業内容だった	20		20
放送授業:分かりやすい解説だった	4	11	15
放送授業:現場取材や、専門家・ゲスト・第一線の方のインタビューが良かった	9	4	13
放送授業:構成・内容が良かった	8	3	11
放送授業:理解しやすかった	7	3	10
放送授業:講師の熱意・熱心さが伝わった	7	3	10
放送授業:対話形式の授業が良かった		9	9
放送授業:図・表・写真・映像があり、分かりやすかった	5		5
放送授業:良い授業だった	2		2
放送授業:講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	2		2
放送授業:印刷教材と異なる内容で良かった	1	1	2
放送授業:図・表・写真・映像が見やすかった(画像)	1		1
放送授業:印刷教材とのバランスが良かった	1		1
放送授業:聞き手の方のお陰で楽しく受講できた		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:良い教材だった	5	3	8
印刷教材:構成・内容が良かった	5		5
印刷教材:手元に置き、今後も読みたい内容だった	2		2
印刷教材:理解しやすかった	1	1	2
印刷教材:学習内容の理解・整理に役立った	1		1
印刷教材:図・表・写真・イラストがあり、分かりやすかった	1		1
印刷教材:図・表・写真・イラストが大きくて見やすかった	1		1
印刷教材:様々な事例、具体的な事例が良かった	1		1
印刷教材:熱意が伝わる教材だった	1		1
印刷教材:読み物として面白い内容だった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:指導内容が良かった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:科目内容の理解度をはかるのに相応しい内容だった		2	2

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	19	40	59
内容の詰め込みすぎ	40	15	55
構成・内容が良くない	30	18	48
内容にまとまりがない	17	3	20
期待していた内容ではなかった	7	11	18
興味・意欲がわかなかった	8	3	11
内容が浅い	8	2	10
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	3	7	10
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2	4	6
練習問題がもっと欲しかった	6	6	6
授業科目案内は内容が不十分だった	4	4	4
時間が取れなかった	2	1	3
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	1	2	3
関連科目・基礎科目の開設、もしくは既存科目の案内をしてほしい	3	3	3
現実に活かせる内容にしてほしい	1	1	1
最新の内容を講義してほしい	1	1	1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1	1	1
各章ごとに、まとめ・学習ポイント・総括がほしい	1	1	1
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便	1	1	1
交流の場を用意してほしい	1	1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験: 難しすぎる、難易度を下げるべき	20	5	25
単位認定試験: 試験の設問内容に違和感があった	18	5	23
単位認定試験: 試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	13	10	23
単位認定試験: 試験時間が短い	15	15	15
単位認定試験: 解答方法を変更・改善してほしい	11	2	13
単位認定試験: 問題数が多かった、範囲が広がった	10	2	12
単位認定試験: 教材・電卓持込み可にしてほしい	1	1	2
単位認定試験: 試験に関する情報を早く教えてほしい	1	1	1
単位認定試験: 問題の解答・解説・用紙がほしい	1	1	1
単位認定試験: 問題数が少なかった	1	1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導: 課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった	4	2	6
通信指導の問題に誤りがあった	5	5	5
通信指導: 課題(問題)が、放送授業、印刷教材と内容がずれている	2	2	2
通信指導: 添削・コメントに不満がある	2	2	2
通信指導: 課題(問題)が、単位認定試験と直結していない	2	2	2
通信指導: 指導内容、対応に不満がある	1	1	1
通信指導: 単位認定試験のヒントがほしい	1	1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業: 講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい	28	10	38
放送授業: メディアを変更してほしい	1	23	24
放送授業: 講師の解説、指導が良くなかった	15	8	23
放送授業: 理解しにくい	6	17	23
放送授業: 図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	19	19	19
放送授業: 授業の構成・内容が良くない	9	7	16
放送授業: 講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	2	14	16
放送授業: 印刷教材の内容が異なる、運動していない	9	6	15
放送授業: 印刷教材と異なる講義が聴きたい	7	8	15
放送授業: 授業に興味・関心が持てなかった	7	1	8
放送授業: 解説中の印刷教材のページが分かりにくい	4	4	4
放送授業: 講師の熱意が伝わらない	2	1	3
放送授業: 専門家の意見が聴きたい	2	1	3
放送授業: 単位認定試験と連動していない	1	1	2
放送授業: 講義のテンポが良くない(早い・遅い)	2	2	2
放送授業: 視聴手段を増やしてほしい(ネット配信・DVD・ビデオ等)	1	1	1
放送授業: 手話通訳、または字幕がほしい	1	1	1
放送授業中に使用された映像・音楽が他メディアで視聴できなかった	1	1	1
放送授業: 放送授業の時間(スケジュール)が合わない	1	1	1
放送授業: 各章ごとに、まとめや学習ポイント・総括がほしい	1	1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材: 図・表・写真・イラストを増やしてほしい	13	5	18
印刷教材: 構成・内容が良くない	9	5	14
印刷教材: 理解しにくい	5	5	10
印刷教材: 内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	7	7	7
印刷教材: 内容が薄い・少なすぎる	6	1	7
印刷教材: 誤植がある	5	5	5
印刷教材: 放送授業の要約を載せてほしい	4	1	5
印刷教材: あまり良い教材ではなかった	4	4	4
印刷教材: 引用・参考文献、補助教材・問題集を紹介してほしい	1	1	2
印刷教材: 講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	2	2	2
印刷教材: 文字が読みづらい	2	2	2
印刷教材: 具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	2	2	2
印刷教材: DVD・CD等、付録の添付を考えてほしい	2	2	2
印刷教材: 図・表・写真・イラストが小さくて見づらい	1	1	1
印刷教材: 放送授業中の資料・データを載せてほしい	1	1	1

主な改善点の提案: 集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 内容の詰め込みすぎ
- 構成・内容が良くない

- 放送授業: 講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい
- 単位認定試験: 難しすぎる、難易度を下げるべき
- 放送授業: メディアを変更してほしい
- 放送授業: 理解しにくい

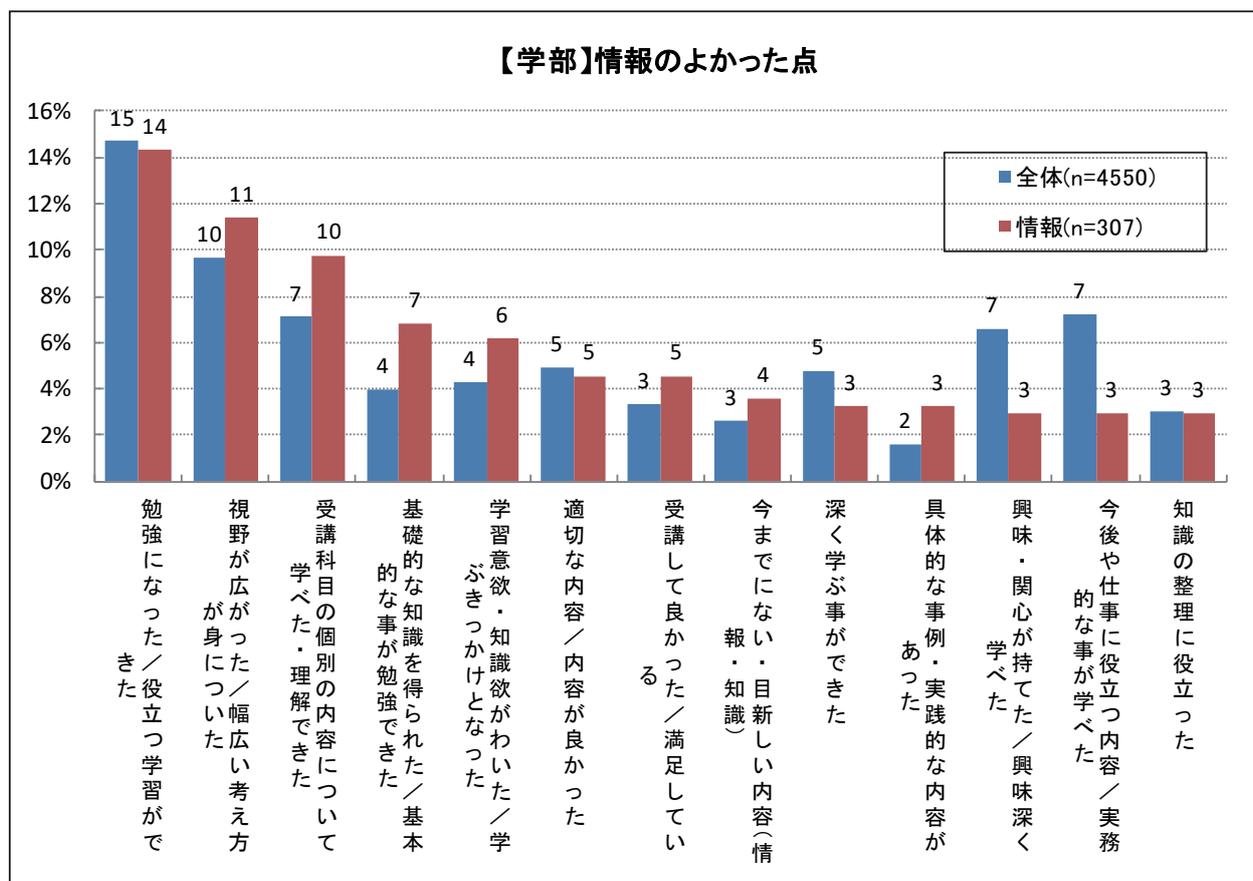
【学部】「情報」の傾向

よかった点

「勉強になった／役立つ学習ができた」が14%、他に「視野が広がった／幅広い考え方が身についた」と「受講科目の個別の内容について学べた・理解できた」が上位で、「受講科目の個別の内容について学べた・理解できた」は全体をわずかに上回っていた。

反対に「興味・関心が持てた／興味深く学べた」と「今後や仕事に役立つ内容／実務的な事が学べた」は全体と比べ、半分以下の比率にすぎなかった。

図2-93 【学部】よかった点



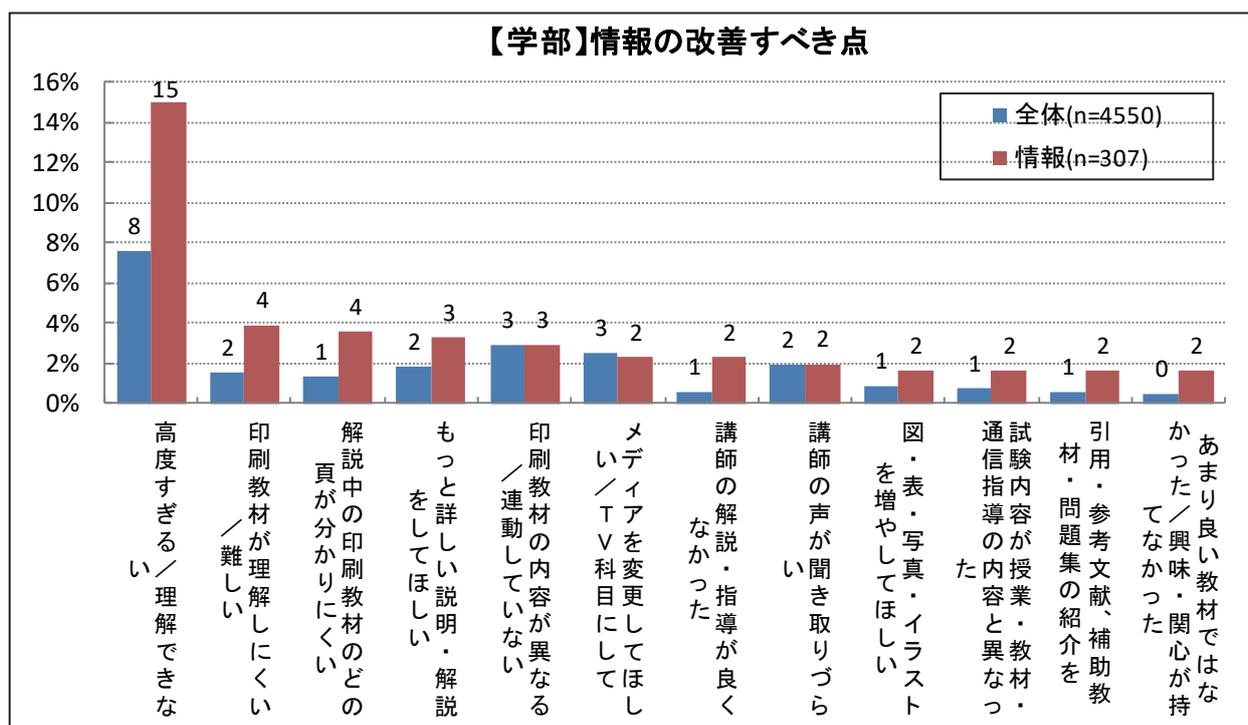
※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【学部】「情報」の傾向

改善点

「高度すぎる／理解できない」が15%と集中がみられ、全体と比べても際立っていた。他の項目は3%前後とごくわずかであった。

図2-94 【学部】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が2%以上のものを掲載

【学部】「情報」抜粋

よかった点

- 町にある不思議に思っていたものなどがユニバーサルデザインだということを学べたし、いろいろなことに積極的に取り組んでいけたらいいなと思えた。
- ユニバーサルデザインがアメリカから入ってきたもので、アメリカの法律など学習するとは思っていなかったもので、そのあたりは新鮮だった。
- 素朴な数理論理学をコンピュータを用いて解く手法を教授させていただき、ありがとうございました。物事の数理理論的に思考する素養が身についたと思う。
- 今後、Webは日常生活に欠かせないものになることを考えれば、この機会にしっかり基本から理解を深められることが、最大のメリットだと思います。
- 論理的な思考を必要とする分野なので、数学的問題に対する学習態度を、今一度見直す機会に恵まれたことが良かったです。
- 障害のある人々もそうでない人々にとっても、ユニバーサルデザインの持つ意味を理解することは、人生をより豊かにすることができると感じた。その意味で受講してよかったと思う。
- 科目のテーマである計算の科学について、数の概念から始まって数理論理学の基礎的な考え方で、よく解き明かしていると思います。
- 知っているつもり、知らない最新動向が満遍なく学べて、また、既に知っていることから改めて気がついた点もあり、体系的に学習することの必要性を感じました。
- ユニバーサル・デザインの実施例がいろいろ紹介されているのは、学習の意義が認識できてよかったと思います。
- 以前からこのような内容（Webに関する基本的な事項）の知識を得たいと思っていたので、書籍だけよりも具体的に理解を深められました。

改善点

- 内容が専門的、技術的過ぎだと思う。
- ラジオだけではわかりにくいところがありました。グラフ構造、木構造、構造を説明するのに言葉だけだとやはり理解に苦しむところがあります。
- 実際に自分のPC上で実験しながら理解できるようになるといい。特に後半。
- 「印刷教材」の全面見直しが必要。教材だけ読んでも理解できない部分が多すぎる。初学者が読んで理解できる内容になっていない。
- プログラム内容の説明が中途半端。本当に理解するためには、もっと詳細な説明が必要と思う。
- 15回目の授業の中で、「日本の高齢化社会」「外国人労働者受け入れ」「温暖化による熱中症」「津波や火山活動」など、日本の未来が抱えている問題とユニバーサルデザインの未来が語られていないのが残念である。
- もう少し項目が少ない方がわかりやすいと感じました。
- 自分の学習強度が足りなかったのはありますが、印刷教材とは別に数学的知識をより深めるために、この数学の参考書を読み解けば印刷教材の内容をより深く理解できるようになりそうです。
- ラジオで声しか聞こえないのに、本を読んでいるだけの感情のないやりとりを感じられ、気になって内容が心に入らなくて困った。ネイティブの日本語とは思えなかった。
- 授業の内容が、「情報」か「ボランティア」か、で言ったら圧倒的に「ボランティア」でしたので、情報コースではないと思いました。
- 受講生の大半が社会人ということを想定すると、職場で役立つ知識やテクニックなども課題に盛り込んで欲しい。
- この科目を習得するために必要な、もう少し基礎的なあるいは初歩的な科目があるとうれしいと思います。

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	41	3	44	放送授業:現場取材や、専門家・ゲスト・第一線の方のインタビューが良かった	5	1	6
視野が広がった	33	2	35	放送授業:楽しかった	4		4
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	30		30	放送授業:分かりやすい解説だった	3		3
基礎的な知識を得られた	18	3	21	放送授業:聞き手の方のお陰で楽しく受講できた	2		2
学習意欲・知識欲がわいた	18	1	19	放送授業:講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた	2		2
満足している	14		14	放送授業:メディアの特性に合った授業内容だった	1		1
適切な内容だった	12	2	14	放送授業:良い授業だった	1		1
今までにない、新しい情報や知識が得られた	11		11	放送授業:構成・内容が良かった	1		1
具体的な事例・実践的な内容があった	10		10	放送授業:理解しやすかった	1		1
深く学ぶ(勉強する)ことができた	10		10	放送授業:図・表・写真・映像があり、分かりやすかった	1		1
知識の整理に役立った	9		9	放送授業:印刷教材と異なる内容で良かった	1		1
興味・関心が持てた	8	1	9				
今後に役立つ内容だった	8	1	9				
視点、考え方が変わった	5		5				
よく理解できた	4	1	5				
科目の学問的性質、位置づけがわかった	4		4				
学ぶことの楽しさを知った	3		3				
練習問題が良かった	2		2				
身近に感じる内容だった	1		1				
専門的な内容だった	1		1				
資料・データが充実していた	1		1				
学校の対応が良かった	1		1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:構成・内容が良かった	1		1
印刷教材:様々な事例、具体的な事例が良かった	1		1

改善点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	31	2	33	印刷教材:理解しにくい	9	2	11
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	11	1	12	印刷教材:内容が薄い・少なすぎる	4	1	5
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	9	1	10	印刷教材:誤植がある	4		4
構成・内容が良くない	8	1	9	印刷教材:フリガナ、専門用語の説明などがほしい	4		4
内容の詰め込みすぎ	7		7	印刷教材:放送授業の要約を載せてほしい	2		2
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	7		7	印刷教材:具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	1	1	2
期待していた内容ではなかった	5		5	印刷教材:あまり良い教材ではなかった	1		1
現実に活かせる内容にしてほしい	5		5	印刷教材:構成・内容が良くない	1		1
関連科目・基礎科目の開設、もしくは既存科目の案内をしてほしい	5		5	印刷教材:内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
練習問題がもっと欲しかった	4		4	印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい	1		1
内容が浅い	3		3	印刷教材:文字が読みづらい	1		1
最新の内容を講義してほしい	3		3	印刷教材:色刷りにしてほしい	1		1
質問や相談がしたい	3		3	印刷教材:放送授業中の資料・データを載せてほしい		1	1
授業科目案内は内容が不十分だった	2	1	3				
時間が取れなかった	2		2				
興味・意欲がわかかなかった	2		2				
各章ごとに、まとめ・学習ポイント・総括がほしい	2		2				

放送授業				単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:理解しにくい	10	3	13	単位認定試験:難しすぎる、難易度を下げるべき	4		4
放送授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい	5	1	6	単位認定試験:教材・電卓持込み可にしてほしい	3		3
放送授業:授業の構成・内容が良くない	4		4	単位認定試験:問題数が多かった、範囲が広がった	2		2
放送授業:講師の熱意が伝わらない	4		4	単位認定試験:試験時間が短い	2		2
放送授業:印刷教材の内容が異なる、運動していない	4		4	単位認定試験:評価方法に疑問を感じる	1		1
放送授業:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	4		4	単位認定試験:解答方法を変更・改善してほしい	1		1
放送授業:インターネットでの視聴方法が分かりにくい、使いづらい	2		2				
放送授業:手話通訳、または字幕がほしい	2		2				
放送授業:講義のテンポが良くない(早い・遅い)	2		2				
放送授業:講師以外は必要ない、違和感がある	2		2				
放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい	2		2				
放送授業:テレビの図・表・写真が見にくい、見せ方を改善してほしい	2		2				
放送授業:授業に興味・関心が持てなかった	1	1	2				
放送授業:メディアを変更してほしい		2	2				
放送授業:講師の解説、指導が良くなかった	1		1				

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 放送授業:理解しにくい
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい
- 印刷教材:理解しにくい
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 構成・内容が良くない
- 内容の詰め込みすぎ

【学部】「自然と環境」の傾向

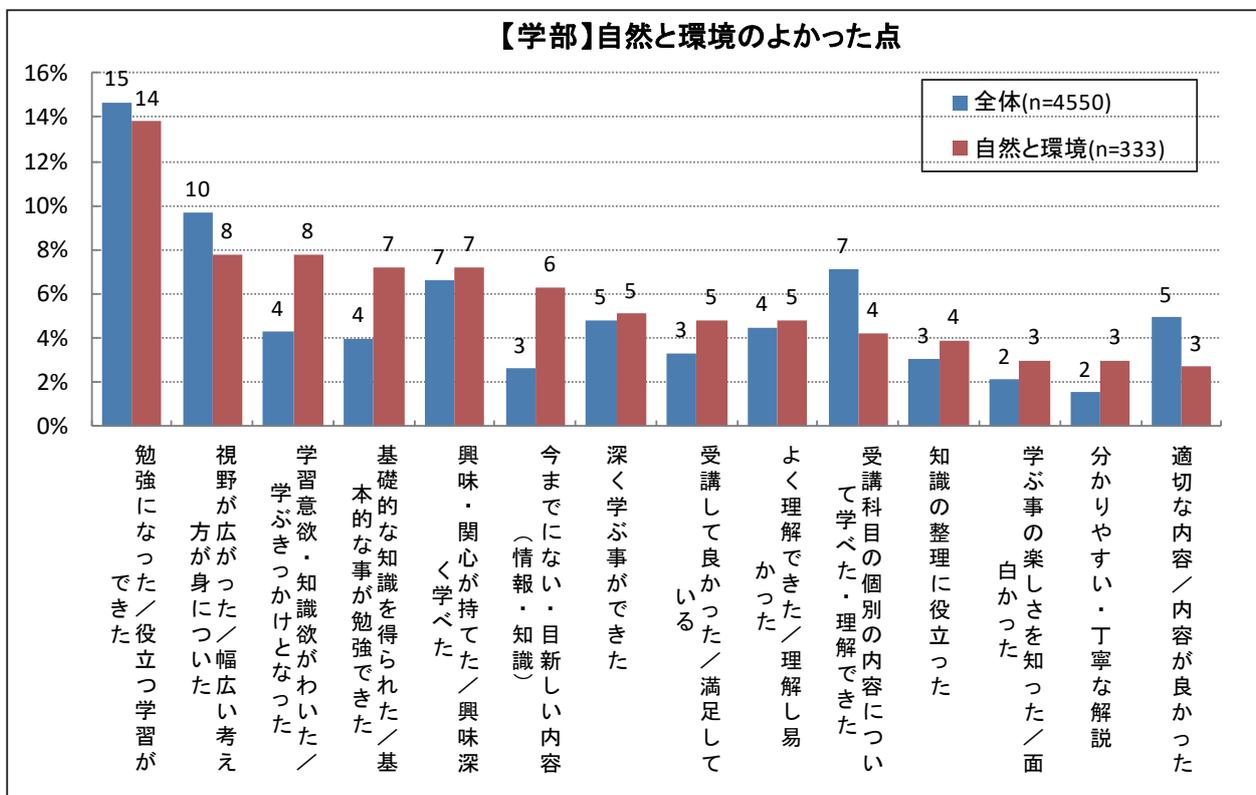
よかった点

「勉強になった／役立つ学習ができた」が14%で群を抜いており、他では「視野が広がった／幅広い考え方が身についた」「学習意欲・知識欲がわいた／学ぶきっかけとなった」「基礎的な知識を得られた／基本的なことが勉強できた」「興味・関心が持てた／興味深く学べた」が7～8%で続いていた。

「学習意欲・知識欲がわいた／学ぶきっかけとなった」と「基礎的な知識を得られた／基本的なことが勉強できた」は全体を上回る支持率であった。

反対に「受講科目の個別の内容について学べた・理解できた」は全体を下回っていた。

図2-95 【学部】よかった点



※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

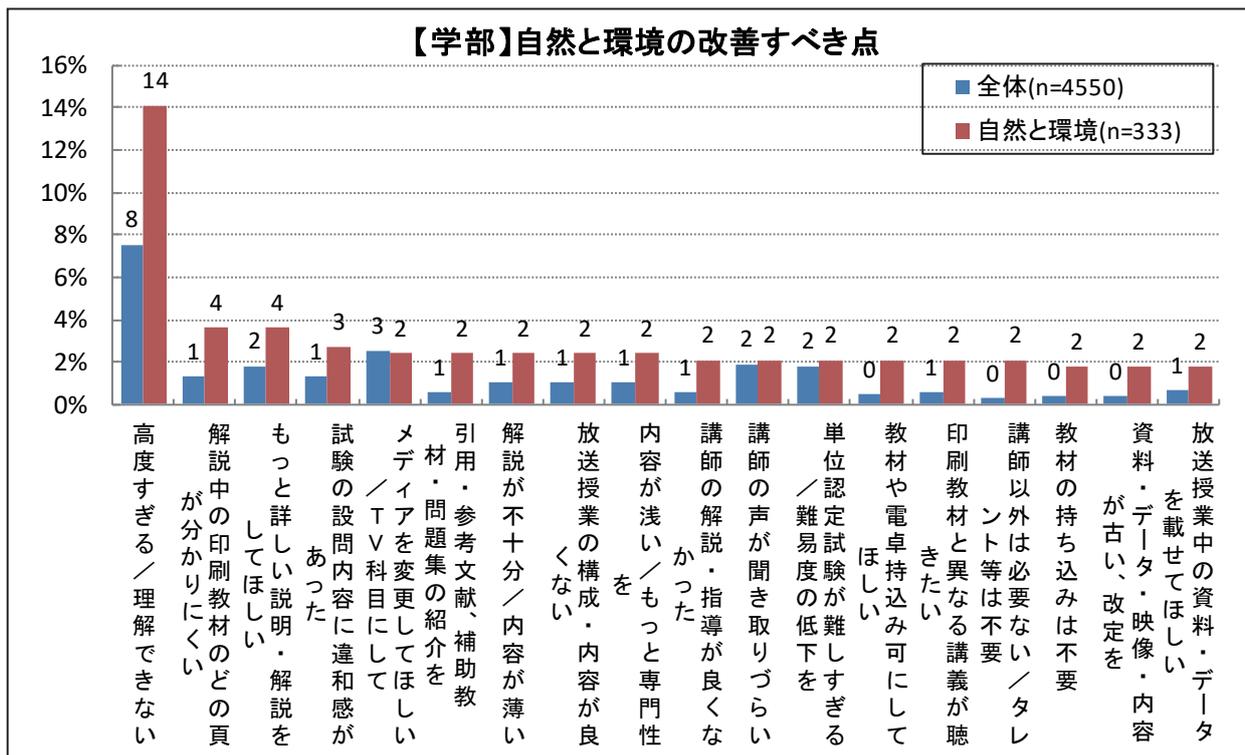
【学部】「自然と環境」の傾向

改善点

「高度すぎる／理解できない」が14%で、改善点はこの項目に集中しており、それ以外の項目は、4%以下で数多く挙げられていた。

「高度すぎる／理解できない」は全体と比べると大きな差が見られた。

図2-96 【学部】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が2%以上のものを掲載

【学部】「自然と環境」抜粋

よかった点

- 宇宙を理解するための手法と、その結果わかった知識を体系的に知ることができた。
- 宇宙を知ることは地球上の生物を知ることであり、これらの根源を理解するために、素粒子についてもっと知りたいと思った。
- これまで触れることのなかった「数学の歴史」を学習でき、特に数学の必要性和、ヒトの知識追求の貪欲さに、改めて感銘を受けた。
- 力学について体系的に学ぶことができ、物理学への興味が高まった。
- 線形代数については、行列式のイメージくらいしかなかったので、今回の学習を通じて何となくその基本的な部分が理解できたように感じた。
- 宇宙の誕生から遠い未来まで、最新の研究による考え方の概要について知ることができた。
- 現象としての生命分子について理解が深まったと考えているが、何故そのような現象が起こるのか、化学反応で説明できることが生命のすべてなのか、謎はさらに深まったことが良かったと思う。
- 放送教材は深いところまで解説されているところもあり、難しいと感じる部分もありましたが、好きな分野なので学べて良かったと思っています。
- 近代以前の数学の歴史を知ることができ、大変有用であった。特に、アラビア数学の歴史、人物、役割を得ることができ、良かった。
- 雑学的に蓄積していた知識を体系立てて整理することができ、また、足りてない部分を埋めることができた。
- 私にとっては難易度が高い内容でしたが、繰り返し勉強するうちに、自分なりに理解できるようになってきて、非常に楽しく勉強できました。
- 放送授業にあっては、ゆっくりめではっきりと筋道立ててお話しされる講師の先生方で、わかりやすくて良かった。

改善点

- 「入門」なのに加速度を付けて難しくなっていく感じがあった。最初の方は計算の手順だけなのだが、後半になると、手順は正しいのだろうが「何をしているのだろう」という疑問があった。
- 印刷教材は幅広く書いてあるが、放送授業は時間の関係で要約してあり中間部分で理解に苦しむ。
- 簡単な部分の説明を繰り返すのではなく、どうしてこういう解法になるのかの詳しい説明をしてほしかった。
- 印刷教材については、初めて線形代数を履修する方への配慮が欠け、かなり「難解」だと思います。提出課題や単位認定試験の内容から考えると、印刷教材はもっと「入門者向け」であるべきと思います。
- 暗記が必要な部分が多くて、単位認定試験が少し難しかったです。
- 第14章、第15章の分量が多いので、3回程度に分けるとよいと思う。
- もう少し専門的な深い内容でも良いのではないかと思います。
- 統計を適切に使用とするには分かりやすいが、数学的な理論の部分が少ないので、ここを補う科目を新設して、より総合的に理解できるように考えてもよいのではないかと思います。
- 実験の様子や研究の様子などを映像ではさんでくれると、授業内容がより身近に感じれたと思う。
- コラムのような、教科に関わるが一休みできるような内容が教材があればいいと思いました。
- 印刷教材と放送教材の難易度のギャップが大きいので、穴を埋める参考Webのページなど紹介が欲しい。
- 放送授業の話のスピードが少し速いかも。時々停止したり聞き直したりがありました。

【学部】「自然と環境」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	38	8	46
視野が広がった	25	1	26
学習意欲・知識欲がわいた	22	4	26
興味・関心が持てた	23	1	24
基礎的な知識を得られた	19	5	24
今までにない、新しい情報や知識が得られた	21		21
深く学ぶ(勉強する)ことができた	15	2	17
満足している	14	2	16
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	14		14
知識の整理に役立った	12	1	13
学ぶことの楽しさを知った	10		10
適切な内容だった	7	2	9
今後に役立つ内容だった	4	1	5
よく理解できた	3	2	5
科目の学問的性質、位置づけがわかった	3	1	4
具体的な事例・実践的な内容があった	2	1	3
身近に感じる内容だった	2		2
専門的な内容だった	1		1
資料・データが充実していた	1		1
授業科目案内は役に立った	1		1
視点、考え方が変わった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:理解しやすかった	2	2	4
印刷教材:良い教材だった	2		2
印刷教材:手元に置き、今後も読みたい内容だった	2		2
印刷教材:構成・内容が良かった	1		1
印刷教材:読み物として面白い内容だった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:指導内容が良かった	1		1
通信指導:記述式が良かった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:評価が良かった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:分かりやすい解説だった	9	1	10
放送授業:理解しやすかった	5	2	7
放送授業:講師の熱意・熱心が伝わった	6		6
放送授業:楽しかった	3		3
放送授業:講師(陣)が良かった	3		3
放送授業:図・表・写真・映像があり、分かりやすかった	3		3
放送授業:構成・内容が良かった	2		2
放送授業:聞き手の方のお陰で楽しく受講できた	1		1
放送授業:メディアの特性に合った授業内容だった	1		1
放送授業:講義のテンポが良かった	1		1
放送授業:良い授業だった		1	1

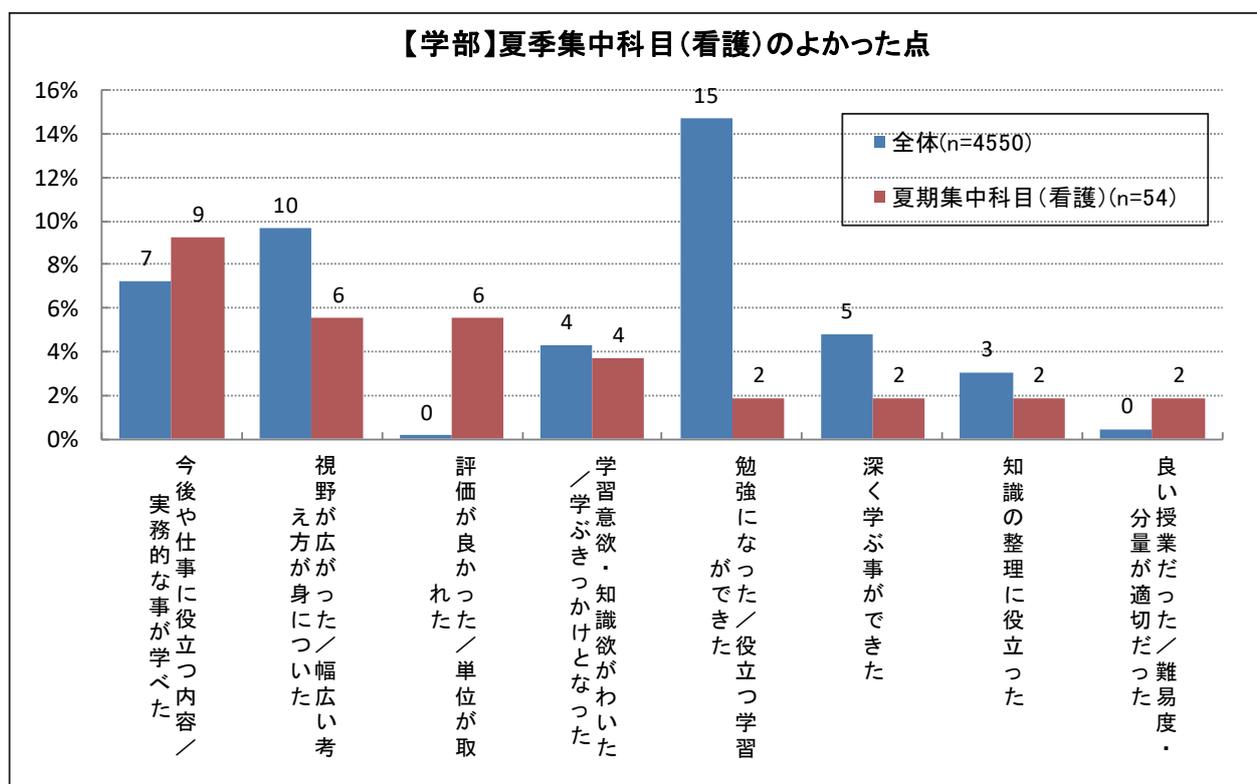
【学部】「夏季集中科目（看護）」の傾向

よかった点

「今後や仕事に役立つ内容／実務的な事が学べた」「視野が広がった／幅広い考え方が身についた」「評価が良かった／単位が取れた」が上位で、「視野が広がった／幅広い考え方が身についた」は全体より低く、反対に「評価が良かった／単位が取れた」は全体を大きく上回った。

また、「勉強になった／役立つ学習ができた」は、全体 15%に対して、2%と極端に低かった。

図2-97 【学部】よかった点



※当該科目の「よかった点」の回答率が低かった為、回答された内容(項目)が2%以上のものを掲載

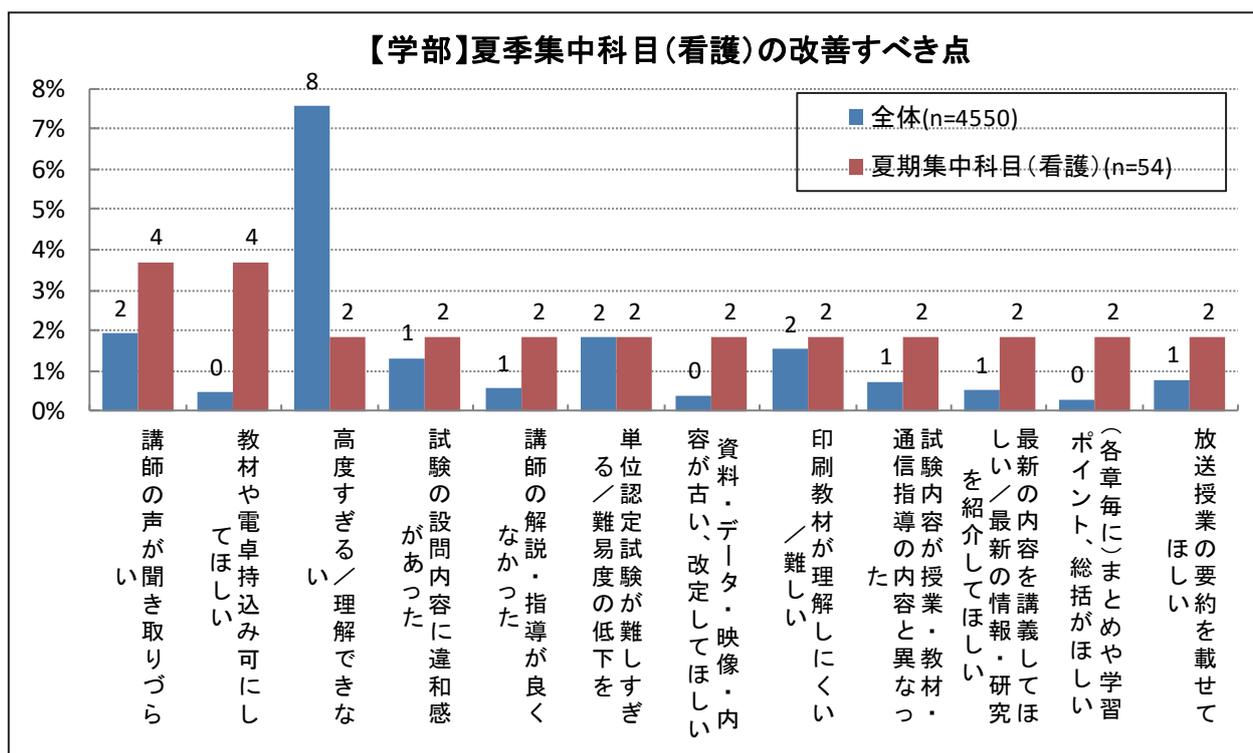
【学部】「夏季集中科目（看護）」の傾向

改善点

最も多くても「講師の声が聞き取りづらい」と「教材や電卓持ち込み可にしてほしい」が4%で、改善点の比率は極めて小さかった。

「高度すぎる／理解できない」(2%)は、全体との対比で大きく下回り、目立っている。

図2-98 【学部】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が2%以上のものを掲載

【学部】「夏季集中科目（看護）」 抜粋

よかった点

- 今後の看護に活かせる内容でした。
- 精神科看護についての新たな知識の修得につながったと思います。ただ、もう少し深めたいとも思いました。
- 看護学校が認める単位が取れること。
- 興味があった科目なので知識が得られて良かった。
- 看護職で振り返りと専門的な知識が深まった。

改善点

- 音声を遅く（0.5倍速など）できたら重要なところをじっくり聴けるので、技術的に声のトーンを低く間延びさせずに遅くできたならと思います。
- 少し早口過ぎて、たまにわからなくなる。
- 放送授業は、ほぼ教科書を読むだけの様にしたのもあります。
- 講師によっては印刷教材にない項目を延々と説明される回があり、どう理解していいのかわからなかった。たいていは印刷教材になくても伝えたいと思われていることは理解出来るのですが・・・。
- 国家試験への取り組みとしては、自身の不足を感じました。
- 多職種連携、家族との連携の事例を知りたかったです。
- 今度の受講をきっかけに、類書を読み始めました（老年看護学／川島みどり監修、改定版、看護の科学社、2015.）。事例が豊富で、老いるとどう弱り、どう死んでいくのか、周りの家族はどう対応したかが分かります。看護学生だけでなく一般向けの老年看護論があったらと思います。
- もう少し分かりやすい解説をしてもらいたい。
- ラジオと放送、統計の%が違うところがあり戸惑いました。
- 試験問題や過去問をみて、印刷教材をもう少し、色々な分野の事をつけ足してもいいかもと思いました。教材はある程度まとめて、かなりはしょった部分もあると感じました。
- 問題に誤字がありました。
- 用語も難しいので、簡単に説明してもらいたい。
- 授業内容と提出問題はポイントを押さえたものかと納得がいくものであった。試験とはリンクしてないのではと感じた。
- 過去問と傾向が違ったので、問題が難しかったです。

【学部】「夏季集中科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
今後に役立つ内容だった	1	4	5	放送授業: 良い授業だった		1	1
視野が広がった	2	1	3				
学習意欲・知識欲がわいた	1	1	2				
勉強になった	1		1	単位認定試験			
知識の整理に役立った	1		1	意見	テレビ	ラジオ	合計
深く学ぶ(勉強する)ことができた	1		1	単位認定試験: 評価が良かった	2	1	3

【学部】「夏季集中科目」

改善点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
時間が取れなかった	1		1	印刷教材: 内容が薄い・少なすぎる	1		1
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい		1	1	印刷教材: 誤植がある	1		1
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい		1	1	印刷教材: フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1		1

放送授業				単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業: 講義のテンポが良くない(早い・遅い)	1	1	2	単位認定試験: 試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1		1
放送授業: 講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい	1	1	2	単位認定試験: 難しすぎる、難易度を下げるべき	1		1
放送授業: 理解しにくい	1		1				
放送授業: 印刷教材の内容が異なる、連動していない			1				

主な改善点の提案: 集約

- 放送授業: 講義のテンポが良くない(早い・遅い)
- 放送授業: 講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい
- 時間が取れなかった

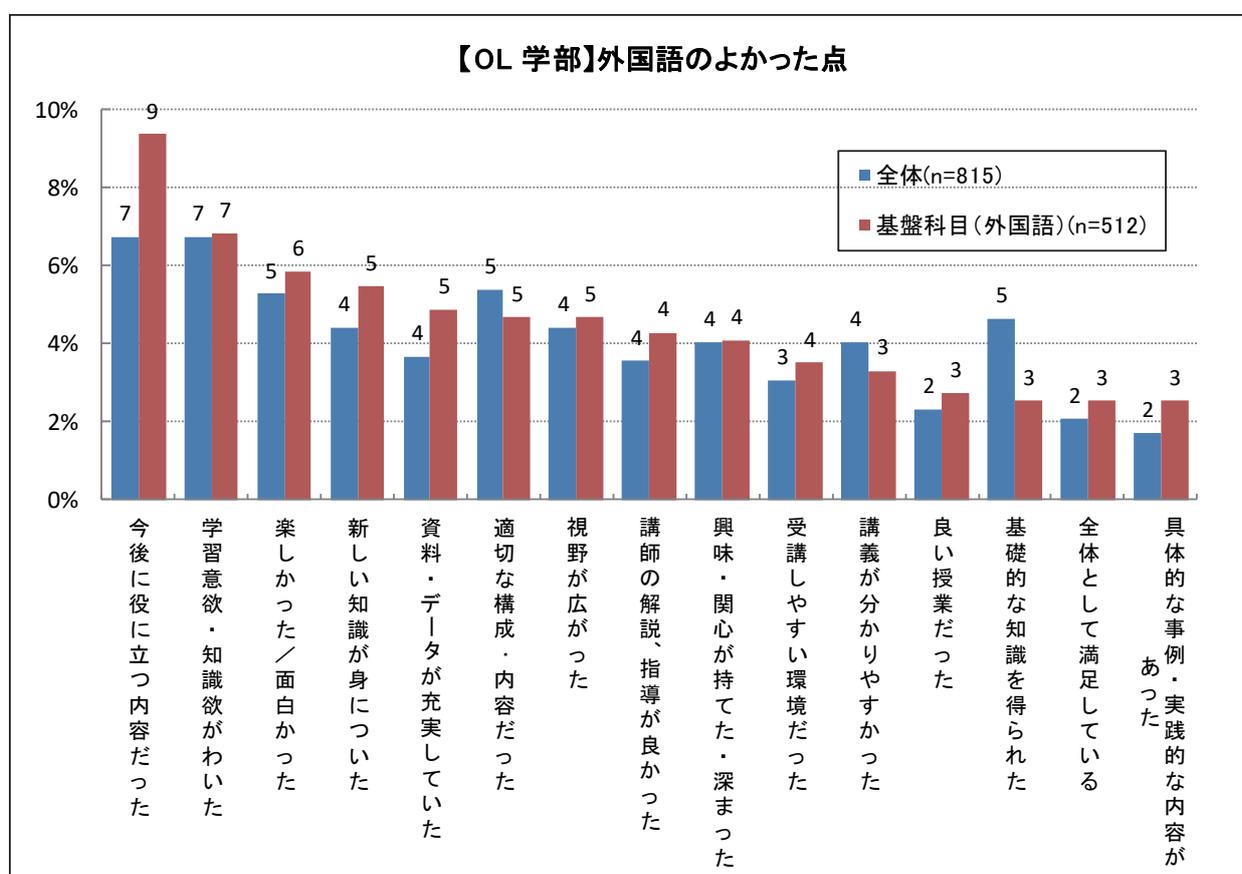
学部のオンライン科目については、専攻科目別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点と改善点について、3%以上の回答があった項目と、その項目のオンライン学部全体の比率をグラフ化した。

【学部（OL）】「基盤科目（外国語）」の傾向

よかった点

「今後に役立つ内容だった」「学習意欲・知識欲がわいた」「楽しかった／面白かった」が上位項目で、「今後に役立つ内容だった」はわずかに全体を上回っていた。

図2-99 【学部（OL）】よかった点



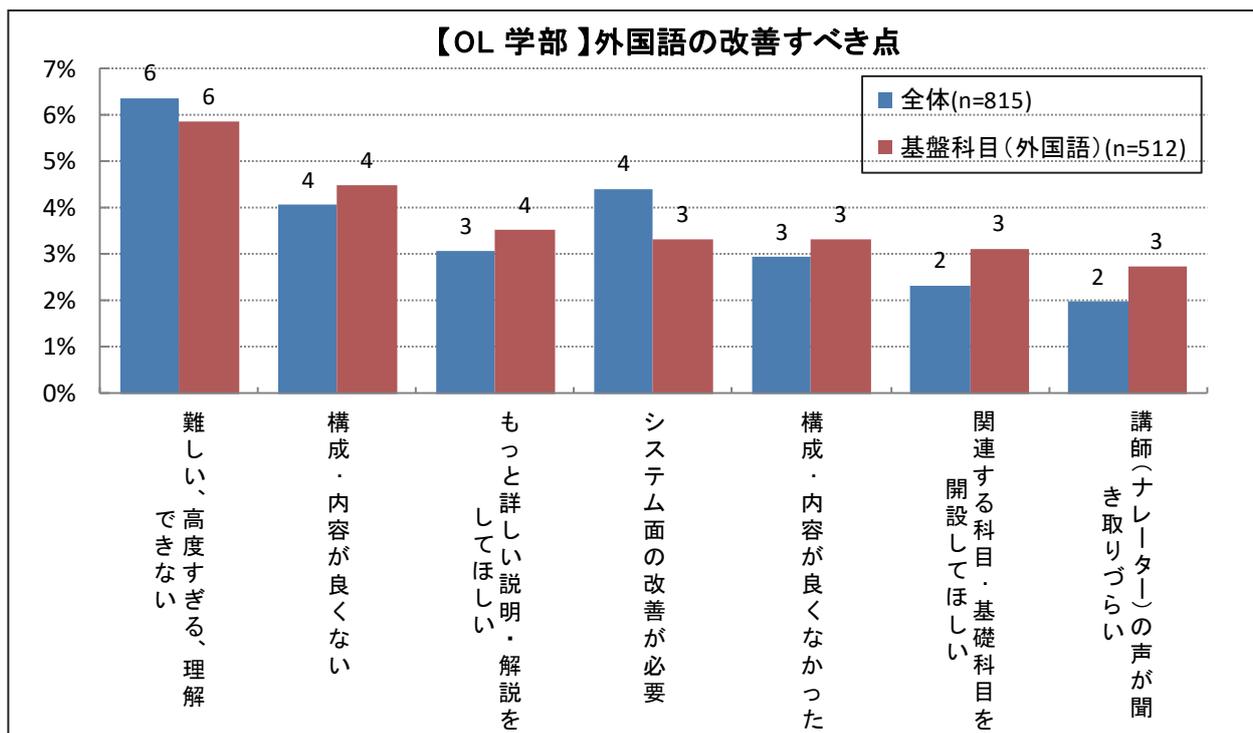
※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【学部 (OL)】「基盤科目 (外国語)」の傾向

改善点

最も高く「難しい、高度すぎる、理解できない」が6%、次いで「構成・内容が良くない」「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」がそれぞれ4%にとどまっております、全体の傾向とほとんど変わりなかった。

図2-100 【学部 (OL)】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【学部 (OL)】「基盤科目 (外国語)」抜粋

よかった点

- 専門用語が多く、知らない単語がたくさん出てきたので大変だったが、難易度の高い英文も、単語さえ分かれば何とか読み進めることができるという自信がついたと思う。
- 英語を母国語とする人向けに、様々な分野において、それぞれ異なる人によって書かれた英語を少しずつ読むことができた。
- 観光や冬季にスポーツで訪れる外国人が増加している。または移住後に、慢性疾患で治療を継続している方が受診される割合が増えているため、現在の業務に大変役立つものであった。
- 実際の医療の場でよく使われる会話だったので、そのまま使うことのできる文章ばかりだった。
- 英語のスキルアップへのモチベーションアップに大変刺激になった事にとどまらず、様々な分野の論文を知ることができ、在籍コース以外の分野にも興味を持てた。
- 普段このような難しい論文等を読むことがないので、新しい単語や熟語の知識が広がった。
- いろいろな科目の基礎文献を原文で読むことが出来、また講師の訳も非常に優れたものでした。訳がなければ読めない英文がたくさんあり、とても発見が多かったです。
- 幅広い文献に触れることができ視野が広がった気がします。いくつか掘り下げてみたいと思える分野が見つかりました。
- スキットと日本語訳、英語表現の解説のバランスが良く、無理なく確実に内容を覚える事ができる構成であったように思う。
- 視覚教材が楽しく作られており、興味をもって学習できた。
- 家でテストを受けることができ、自分の都合で勉強ができるのはとてもよかったです。
- 今まで受講してきた授業で一番楽しかったです。あっという間に終わってしまいました。難易度も適切で、他の英語の授業で苦手意識が生まれてきましたが、楽しく実践的に学びました。

改善点

- 英文の内容が難しすぎる。それぞれの分野の知識がないと授業になかなかついていけない。
- 個人的には、もう少し一回の分量があってもいいと思う。
- 省略されている内容や挿入されている文を、分かりやすく、本文とは別に表して頂けたらと思いました。
- 科目というか、途中聞き逃したところを巻き戻しできるようにしていただけると良いと思います。一から再生し直しは時間ももったいないと感じました。
- 音読よりも内容の理解に重点を充てたほうが良い。音声は別途ダウンロードして聞けば済むことなので、その時間を違うものに使ったほうが良いと思う。最初に全体の音読があり、授業内でも音読に続いて試訳が続くと講義が間延びしてしまう。内容の理解を深めることと、ゲスト講師の説明等に時間を割いたほうがより充実した内容になると思う。
- この科目のシリーズを是非作って下さい。どうして英語を学ばなければいけないのか？と問う子どもたちに、「視野が広まり、世界が広がるから。」と答えたいと思うからです。改善点があればシリーズ化することでさらに自ずと改善されていくと思います。
- 単語・発音をもう少しハッキリ・ゆっくり聞き取りたかった。場面映像の後に、一文ずつゆっくりはっきり発音してもらうことで、内容が理解しやすかったと思います。
- 映像を見なくても視聴メモを見れば解ける問題が多い。2割くらいは、映像を見ないと解けない内容でもいいような気がする。また、もう少し学生が「考える」様な課題を増やしても良いように思う。

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
大変勉強になった	83	オンライン授業:内容が良かった	24
今後に役に立つ内容だった	48	オンライン授業:講師の解説、指導が良かった	22
学習意欲・知識欲がわいた	35	オンライン授業:受講しやすい環境だった	18
新しい知識が身についた	28	オンライン授業:楽しかった	18
資料・データが充実していた	25	オンライン授業:講義が理解しやすかった	17
視野が広がった	24	オンライン授業:良い授業だった	14
興味・関心が持てた	21	オンライン授業:複数の講師の話聞いた	12
全体として満足している	13	オンライン授業:受講科目の内容が勉強になった	12
基礎的な知識を得られた	13	オンライン授業:発音が聴けて良かった	11
具体的な事例・実践的な内容があった	13	オンライン授業:映像がありわかり易かった	10
楽しかった	12	オンライン授業:講師間の会話のやり取りが楽しかった	8
専門的な内容だった	12	オンライン授業:短時間でも取り組めた	6
知識の整理や知識を深める事に役立った	9	オンライン授業:講師の人柄の良さを感じた	6
深く学ぶ(勉強する)ことができた	9	オンライン授業:講師の熱意が伝わった	3
自分のペースで勉強できた	8	オンライン授業:専門家の方々と先生の対談が良かった	3
理解しやすかった	8	オンライン授業:講義のテンポが良かった	1
身近に感じられる内容だった	7		
今までにない内容	4		
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		
教材がこれからも活用できる	1		

設問解答

意見	合計
設問回答:小テストが良かった	5
設問回答:レポートの提出が良かった	4
設問回答:指導内容、対応が良かった	2
設問回答:練習問題があり確認しながら学べた	1

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	30	オンライン授業:システム面の改善が必要	17
構成・内容が良くない	23	オンライン授業:構成・内容が良くなかった	17
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	18	オンライン授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい	14
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	16	オンライン授業:理解しにくい	8
参考文献・補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	11	オンライン授業:資料が多く、閲覧・印刷が大変だった	5
内容の詰め込みすぎ	10	オンライン授業:講義のテンポが良くなかった	5
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	9	オンライン授業:図解・グラフ・写真・映像・表を多く取り入れてほしい	5
内容が浅い	6	オンライン授業:講師の講義態度が良くない	4
現実に活かせる内容にしてほしい	5	オンライン授業:講義の分割の仕方が良くない	3
授業科目案内は役に立たなかった	5	オンライン授業:講師の解説、指導が良くなかった	2
内容にまとまりがない	3	オンライン授業:確認テストの内容が適切ではなかった	2
交流の場を用意してほしい	3	オンライン授業:映像内・動画に誤りがある(スライド・字幕・他)	2
期待していた内容ではなかった	2	オンライン授業:オンライン上の操作・説明がわかりにくい	1
興味・意欲がわかかなかった	2		
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	2		
時間が取れなかった	1		
最新の内容を講義してほしい	1		
各章ごとにまとめ・要点の課題がほしい	1		
例題・練習問題を増やしてほしい	1		
講師・事務方の対応が良くなかった	1		
質問や相談がしたい	1		

テキスト・講義ノート	
意見	合計
テキスト・講義ノート:印刷した講義ノートがほしい	8
テキスト・講義ノート:テキストや講義ノート等の教材に誤りがある	4
テキスト・講義ノート:テキストを印刷するのが大変	3
テキスト・講義ノート:講義ノート等、印刷したPDF資料が見つからない	1

設問解答

意見	合計
設問解答:小テスト(試験)が簡単すぎる、難易度を上げるべき	12
設問解答:小テストの解答・解説に納得できない	5
設問解答:問題の解答・解説がほしい	4
設問解答:指導内容、コメント、対応に不満がある	3
設問解答:レポートが難しい	3
設問解答:レポートの提出期限を事前に知りたい	2
設問解答:小テストの問題数が少なかった	2
設問解答:ディスカッションのルール・整理が必要	2
設問解答:ディスカッションの人数・発言・回数が少ない	2
設問回答:学習内容の理解・整理にあまり役立たない	1
設問解答:小テストに時間制限があることを表示してほしい	1
設問解答:小テスト(試験内容)が授業・教材の内容と違った	1
設問解答:小テスト(試験)が難しい	1

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 構成・内容が良くない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- オンライン授業:システム面の改善が必要
- オンライン授業:構成・内容が良くなかった
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- オンライン授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい

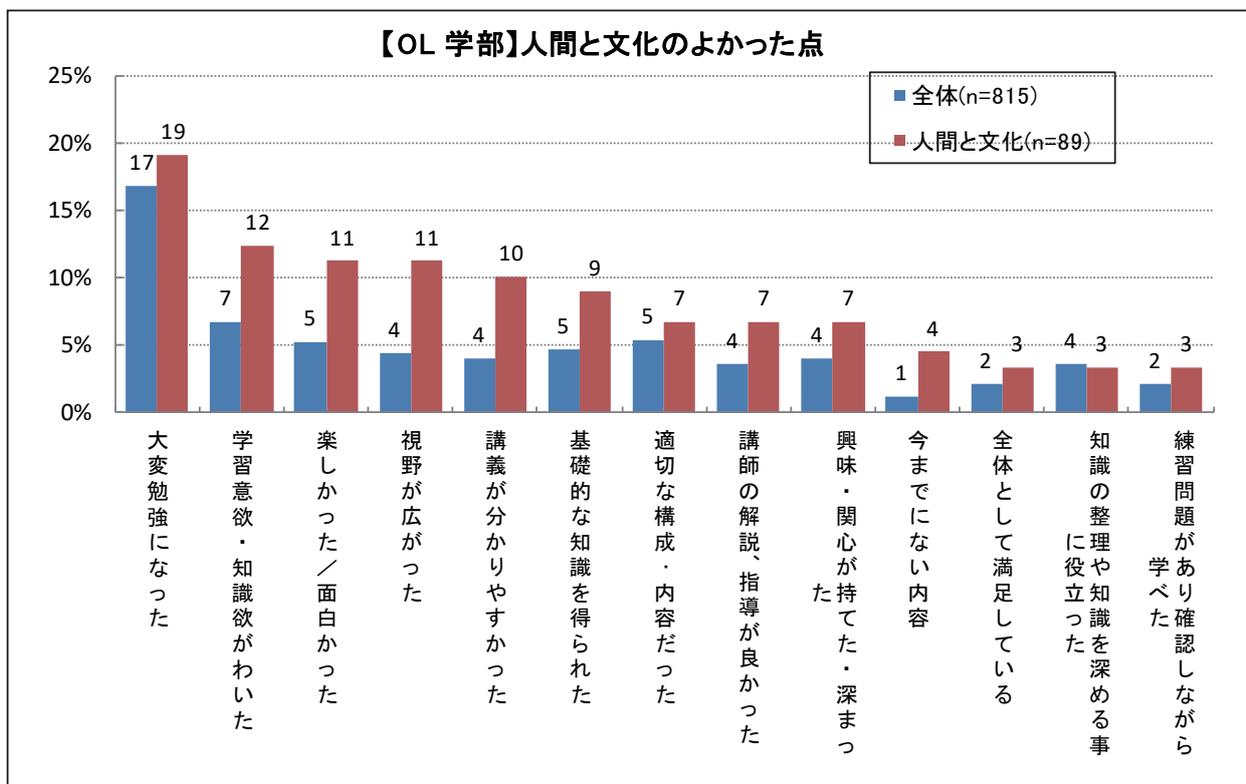
【学部（OL）】「人間と文化」の傾向

よかった点

「大変勉強になった」が最も高く19%に達し、他に「学習意欲・知識欲がわいた」「楽しかった／面白かった」「視野が広がった」「講義が分かりやすかった」「基礎的な知識を得られた」が約1割以上から挙げられていた。

前述の2項目目の「学習意欲・知識欲がわいた」から「基礎的な知識を得られた」までは、全体を4ポイント以上上回っていた。

図2-101 【学部（OL）】よかった点



※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

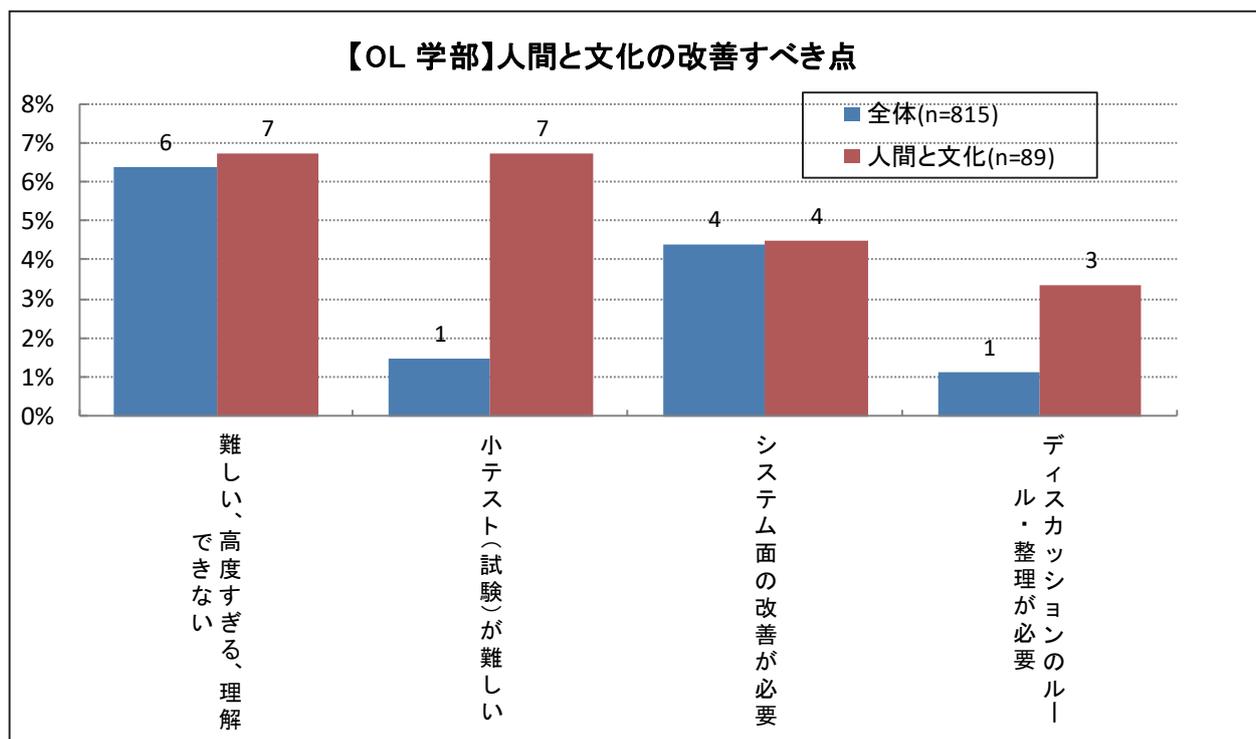
【学部（OL）】「人間と文化」の傾向

改善点

「人間と文化」の改善点は回答者数も項目数も少なく、最も多くても「難しい、高度すぎる、理解できない」と「小テスト（試験）が難しい」がそれぞれ7%であった。

「小テスト（試験）が難しい」は全体の7倍の比率で、全体と比べると際立っている。

図2-102 【学部（OL）】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【学部 (OL)】「人間と文化」抜粋

よかった点

- 言葉というものを話すためのツールではなく、より深いものだとして認識できた点が一番よかった。
- 今まで曖昧だった言語の細かい分類や区別などを知ることができ、大変良かったと思っております。
- 以前より興味があった、なぜ言葉を発声出来るのか、喉頭下降の謎がわかり、これからもいろいろな本を読み、興味を広げていきたい。
- 言語について科学的な面から触れることができた。難しい内容だったが、言葉に対する見方が広がった。
- 指定教材を一通り読んでも理解できなかったことが、オンライン講義の分かりやすい事例と解説、小テストの繰り返しなどで理解が深まった。
- 言語学の基本的概念を、講義と練習問題を通して学ぶことができた。
- 日常では思いも付かない言語に関する視野が広がり、非常に興味深く勉強できた。
- 視聴→練習問題→視聴→練習問題→視聴→小テストという構成だったので、確認しながら進めることができた。
- 滝浦先生の講義が丁寧で、わかりやすかった。また、おもしろい資料などを使い、説明に工夫がされており、楽しく受講できた。
- 母国語として意識せず使っていた日本語の新たな発見が多々あり、非常に興味深く、また楽しく受講できた。
- インターネット科目と被っていない部分を勉強できてよかった。
- とにかく面白かったです。
とても難しく理解できないこともたくさんあって、自分の力不足を感じることもありましたが、それでも面白かったと言えます。
- 自分が普段から興味を持って学んでいることを、さらに詳しく分かりやすく学べた。

改善点

- シラバスで確認した内容より難しく感じた。まったく言語学の勉強したことのない、馴染みのない人には、かなりの学習量が必要に思った。
- 小テストがやりにくい。回答選択操作ミスの確認がしづらい。理解しているのに紛らわしい選択肢で減点されてしまう。
- スマホで受講をすると、ノートを見返す手間がかかる。すぐに戻る機能が欲しい。
- 双方向性が活かされていないと感じた。私は掲示板に書き込まなかったが、いくつかの専門的な質問が投稿されていても放置状態だったので、講師の方やアシスタント的な方もディスカッションに加わって欲しいと感じた。オンラインは掲示板のディスカッションに投稿しやすいように、講師他、担当の方からきっかけを作って欲しいと感じた。
- 指定教材の順番通りに進まないときがあったこと。
- 指定テキストだけではなく、印刷教材もあったほうが良い。
- 参考テキストが市販のものだったので、書店になかった為、某サイトで購入した。私は定価で購入できたが、授業開始前に一時在庫切れが起こり、中古本販売業者がものすごい高値を付けていた。恐らく受講者が立て続けに購入したためと思われる。在庫切れなら一般書店でも取り寄せになると思うが、学生は老若男女いるので可能な限り普遍的に準備できるものが望ましいかと思う（もしくは講義ノートを充実化するか）。
- 印刷をしたとき、記載内容が小さくなって読みにくかった。メモ欄はいらないので、もう少し大きくしてほしい。もしくは、自分でサイズ変更できるようにしてほしい。

【学部(OL)】「人間と文化」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
大変勉強になった	17	オンライン授業:講義が理解しやすかった	9
学習意欲・知識欲がわいた	11	オンライン授業:楽しかった	7
視野が広がった	10	オンライン授業:内容が良かった	6
基礎的な知識を得られた	8	オンライン授業:講師の解説、指導が良かった	6
興味・関心が持てた	6	オンライン授業:講義のテンポが良かった	2
今までにない内容	4	オンライン授業:講師の人柄の良さを感じた	2
全体として満足している	3	オンライン授業:受講しやすい環境だった	1
楽しかった	3	オンライン授業:短時間でも取り組めた	1
知識の整理や知識を深める事に役立った	3	オンライン授業:良い授業だった	1
今後役に立つ内容だった	2	オンライン授業:講師の熱意が伝わった	1
深く学ぶ(勉強する)ことができた	2	オンライン授業:発音が聴けて良かった	1
自分のペースで勉強できた	1	オンライン授業:図表が用いられていて分かりやすい	1
新しい知識が身についた	1	オンライン授業:受講科目の内容が勉強になった	1
最新の情報・研究が学べた	1		
具体的な事例・実践的な内容があった	1		
資料・データが充実していた	1		
教材がこれからも活用できる	1		

設問解答

意見	合計
設問回答:練習問題があり確認しながら学べた	3
設問回答:小テストが良かった	2

【学部(OL)】「人間と文化」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	6	オンライン授業:システム面の改善が必要	4
期待していた内容ではなかった	1	オンライン授業:講義ノートやテキストと内容が異なる、連動していない	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	オンライン授業:構成・内容が良くなかった	1
構成・内容が良くない	1	オンライン授業:理解しにくい	1
内容の詰め込みすぎ	1	オンライン授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい	1
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	1		

テキスト・講義ノート

意見	合計
テキスト・講義ノート:印刷した講義ノートがほしい	2
テキスト・講義ノート:テキストを印刷するのが大変	2
テキスト・講義ノート:文字・画像を大きくしてほしい	2

設問解答

意見	合計
設問解答:小テスト(試験)が難しい	6
設問解答:ディスカッションのルール・整理が必要	3
設問解答:指導内容、コメント、対応に不満がある	1
設問解答:小テスト(試験内容)が授業・教材の内容と違った	1

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 設問解答:小テスト(試験)が難しい
- オンライン授業:システム面の改善が必要

- 設問解答:ディスカッションのルール・整理が必要
- オンライン授業:講義ノートやテキストと内容が異なる、連動していない
- テキスト・講義ノート:印刷した講義ノートがほしい
- テキスト・講義ノート:テキストを印刷するのが大変

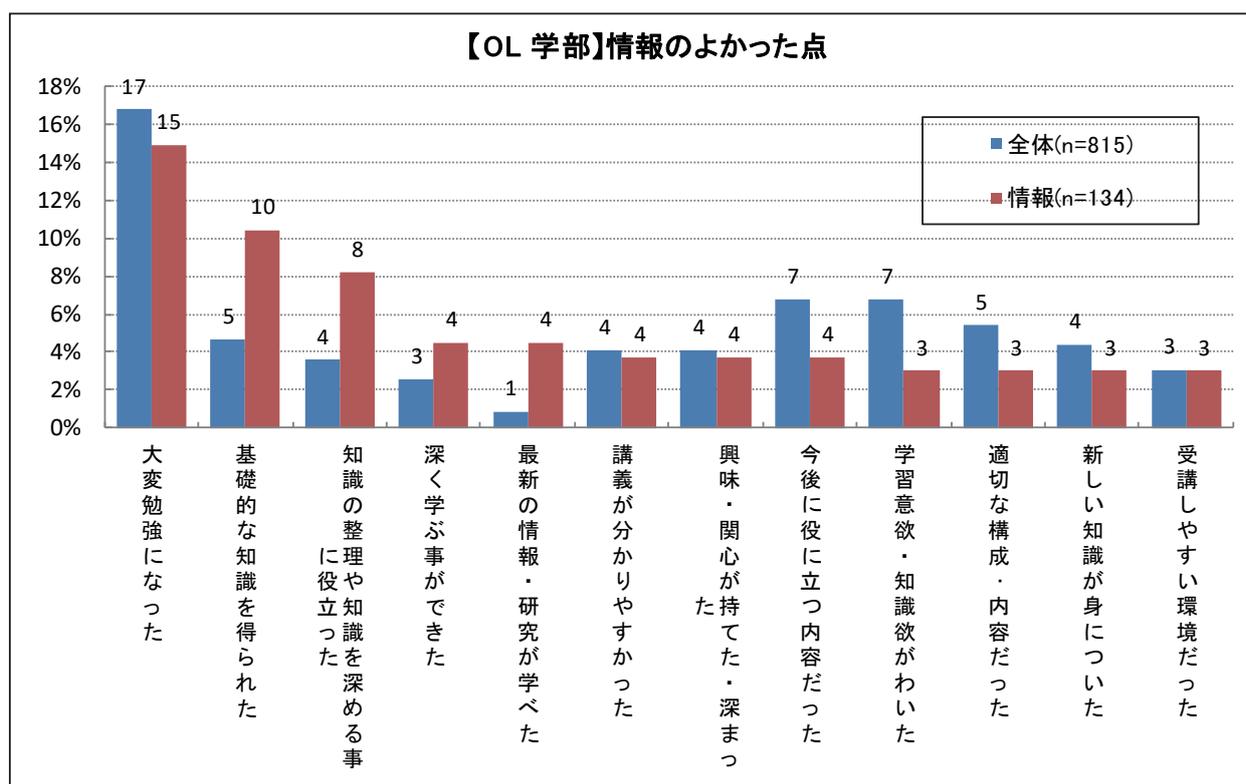
【学部 (OL)】「情報」の傾向

よかった点

最も多かったのは「大変勉強になった」(15%)で、他では「基礎的な知識を得られた」(10%)「知識の整理や知識を深めることに役立った」(8%)と続いた。

「基礎的な知識を得られた」と「知識の整理や知識を深める事に役立った」は全体を大きく上回っていた。

図2-103 【学部 (OL)】よかった点



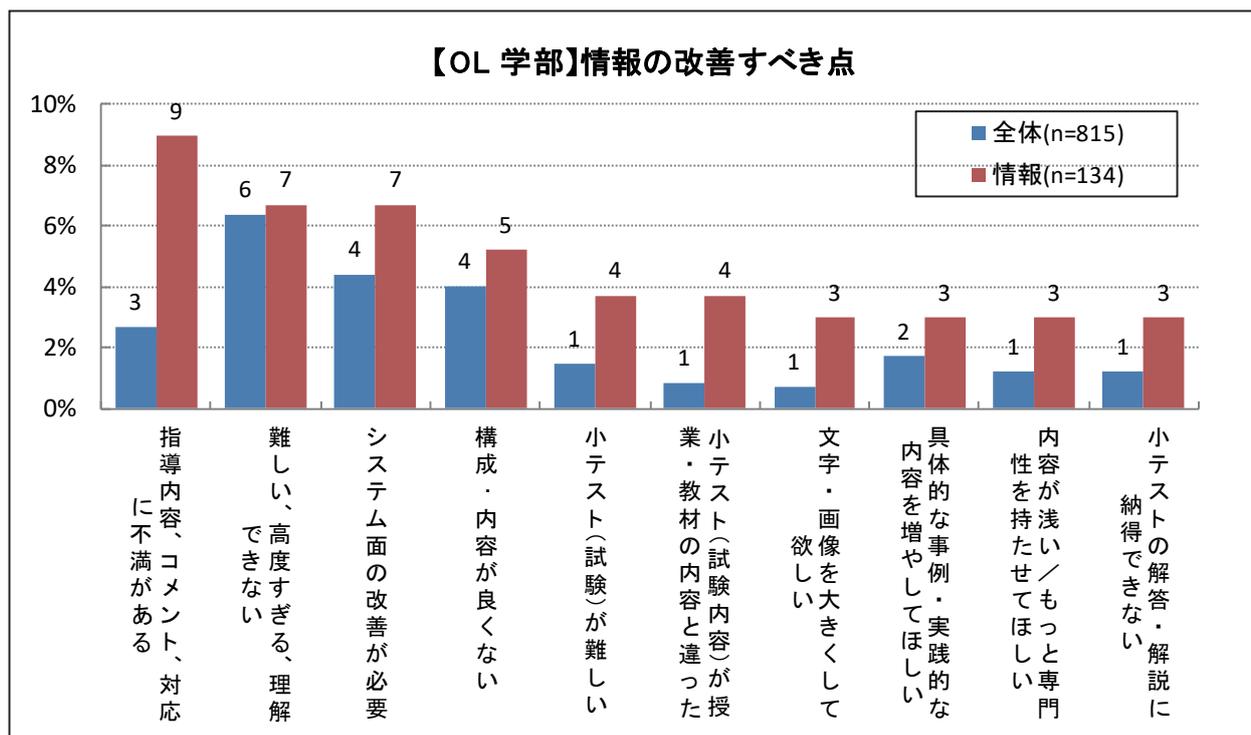
※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【学部（OL）】「情報」の傾向

改善点

上位に挙げられたのは「指導内容、コメント、対応に不満がある」「難しい、高度すぎる、理解できない」「システム面の改善が必要」「構成・内容が良くない」などで、「指導内容、コメント、対応に不満がある」は全体に比べ6ポイントアップと目立っている。

図2-104 【学部（OL）】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【学部 (OL)】「情報」抜粋

よかった点

- 日頃から利用している情報機器の仕組みとセキュリティを、改めて勉強することができました。
- web システムや Wi-Fi のセキュリティについて不安を感じていましたが、本講座を受講して、ある程度の理解ができました。
- 暗号アルゴリズムの説明は簡単に理解できるものではないが、その仕組みや理屈など、教材を読んだだけでは深まらない基本的な知識を学ぶことができた。
- 当該分野について初歩的などころは勉強していたので、ちょうどよい難易度で、知りたかった内容が一通り網羅されており、良かった。
- 以前「情報のセキュリティと倫理」という科目（オンラインではない）を受講しましたが、その内容の範囲を超えた知識を得ることができました。
- 日々進化するこの分野での最新の情報を学べたことに非常に満足感があります。自分にとって難解な単元もありましたが、全体を通して非常に興味深く学ぶことができました。
- 情報ネットワークの理解を深めることができた。
- 情報系に就職しようと思いましたが、就職先でもプライベートでも役立つ知識を得られました。
- 難易度は少々高目ではありましたが、現在の情報システムが解決しなくてはならない喫緊の課題について、分かりやすく説明されていた講義と思います。
- 知らなかった知識、聞いたことはあるが理解していなかった知識が身についたと思う。
- ICT 活用はペーパーレス、キャッシュレス化が進み、ますます見えにくくなると思うが、学習を続けたい。

改善点

- レポートのフィードバックが全く無く、どうやって評価をつけたのか、疑問を感じている。
- ちょっと掘り下げすぎ。
- 話すスピードを速くできるようにしてほしい。話した内容を動画と同時に文字化して流してほしい。話した内容を文字化したものを講義ノートに入れてほしい。
- いきなり計算問題が出てきて『おっ』ってなったこと。計算よりも用語の理解の問題のほうがよかったのではと思いました。
- 小テストの答えと練習問題の答えが一致していないような箇所があるように感じた。そのため、特に後半とてもやりにくいと感じた。
- 小テストの設問に理解を誤りそうな微妙な記述が多いように思われる。間違った判断をしてしまわないような出題文にする必要があると感じた。
- 現役のころ I SMS を担当していました。当時は ISMS 自体が社内でまだそれほどの理解が得られていない時期だったので、普及までには苦労がありました。本講座でも I SMS については触れられていますが、もっと突っ込んだ説明が欲しかったです。例えば情報資産台帳の例、情報資産台帳による脆弱性の判断基準など紹介いただくとありがたかったです。
- もう少し記載された項目に関連するエピソードなどを交えて話を深掘していただけると、さらに頭の中に入ってくると思う。
- スライドを印刷したが、小さく読みづらかった。
- 設問に対する解答では何か所か疑問に思う点があったので、受講生の意見やフォーラムでの発言を参考に改善してもらえば嬉しいです。
- 略語について説明がない箇所もあったため、略語は略す前のものも記載が欲しい。
- 専門的なことが多く、特に用語は補足資料などがあるとよかった。

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	9	オンライン授業:システム面の改善が必要	9
構成・内容が良くない	7	オンライン授業:構成・内容が良くなかった	3
内容が浅い	4	オンライン授業:理解しにくい	2
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	4	オンライン授業:講義のテンポが良くなかった	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3	オンライン授業:講義ノートやテキストと異なる講義が聞きたい	2
参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	3	オンライン授業:図解・グラフ・写真・映像・表を多く取り入れてほしい	1
期待していた内容ではなかった	2	オンライン授業:確認テストの内容が適切ではなかった	1
最新の内容を講義してほしい	2	オンライン授業:講義内容と、各テストの内容がずれている	1
授業科目案内は役に立たなかった	2	オンライン授業:映像内・動画に誤りがある(スライド・字幕・他)	1
内容の詰め込みすぎ	1		
内容にまとまりがない	1		

テキスト・講義ノート		設問解答	
意見	合計	意見	合計
テキスト・講義ノート:文字・画像を大きくして欲しい	4	設問解答:指導内容、コメント、対応に不満がある	12
テキスト・講義ノート:テキストや講義ノート等の教材に誤りがある	3	設問解答:小テスト(試験内容)が授業・教材の内容と違った	5
テキスト・講義ノート:印刷した講義ノートがほしい	1	設問解答:小テスト(試験)が難しい	5
テキスト・講義ノート:テキストを印刷するのが大変	1	設問解答:小テストの解答・解説に納得できない	4
		設問解答:ディスカッションのルール・整理が必要	3
		設問解答:小テストの問題数が少なかった	1
		設問解答:ディスカッションの人数・発言・回数が少ない	1
		設問解答:問題の解答・解説がほしい	1

主な改善点の提案:集約

- 設問解答:指導内容、コメント、対応に不満がある
- 難しい、高度すぎる、理解できない
- オンライン授業:システム面の改善が必要

- 構成・内容が良くない
- 設問解答:小テスト(試験内容)が授業・教材の内容と違った
- 設問解答:小テスト(試験)が難しい
- 内容が浅い

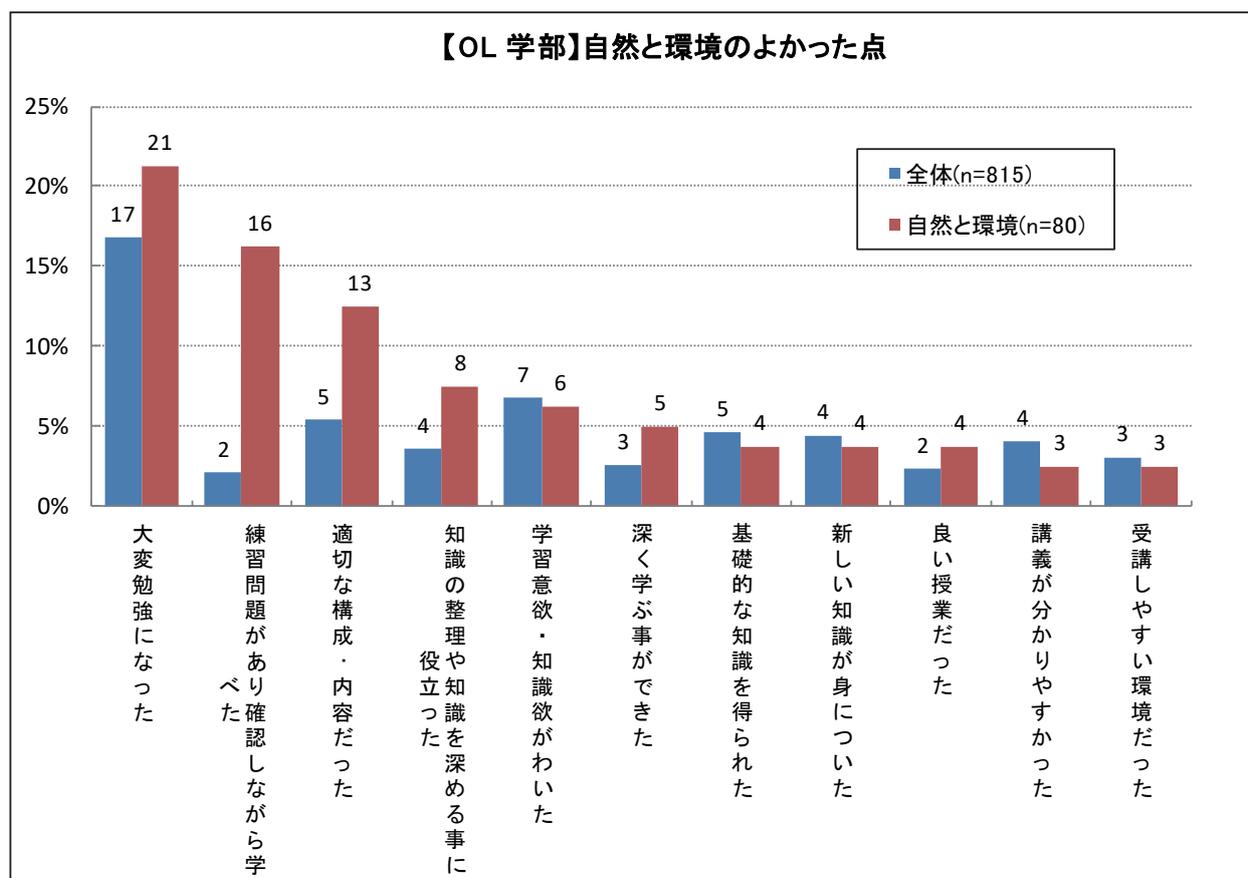
【学部 (OL)】「自然と環境」の傾向

よかった点

最も多かったのは「大変勉強になった」(21%)で2割に達しており、次いで「練習問題があり確認しながら学べた」(16%)、「適切な構成・内容だった」(13%)、「知識の整理や知識を深めることに役立った」(8%)と続いた。

この4項目は全体を上回り、特に「練習問題があり確認しながら学べた」と「適切な構成・内容だった」は、全体との差は極めて大きかった。

図2-105 【学部 (OL)】よかった点



※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

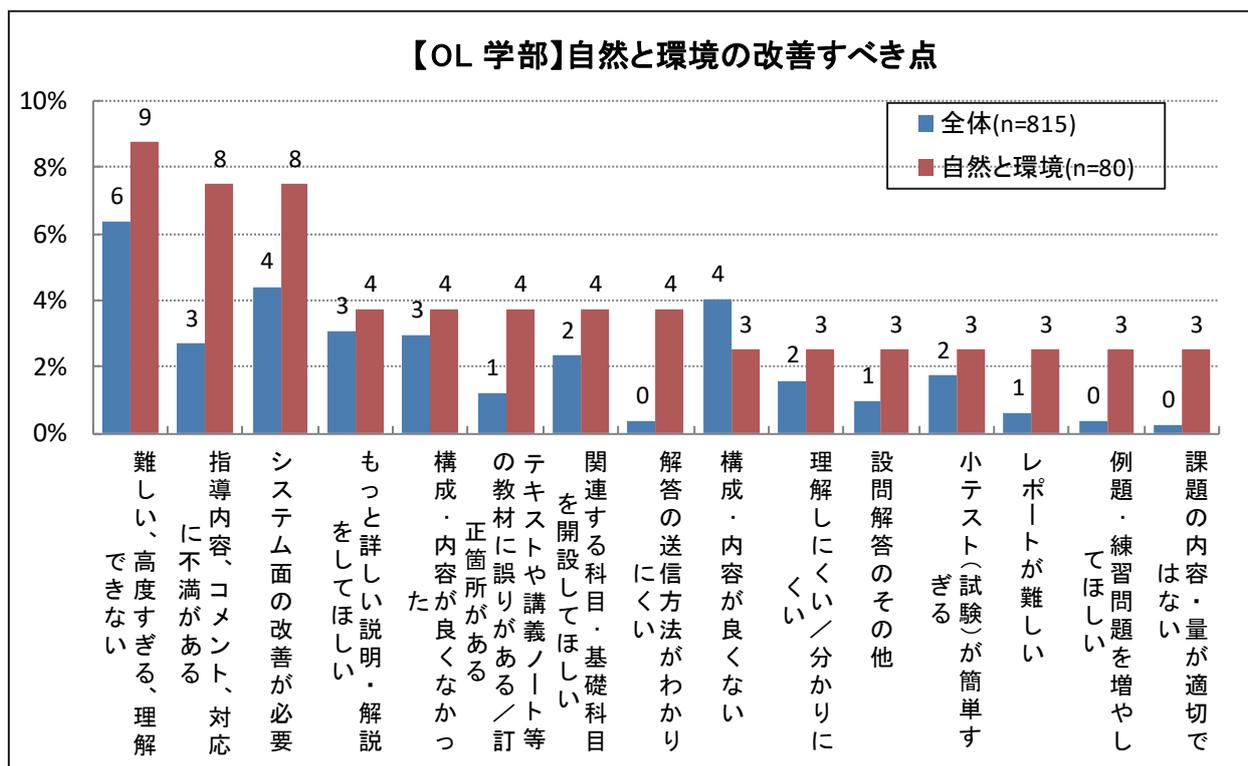
【学部 (OL)】「自然と環境」の傾向

改善点

「難しい、高度すぎる、理解できない」「指導内容、コメント、対応に不満がある」「システム面の改善が必要」が9～8%で上位に挙げられ、その他は4%以下で数多く挙げられていた。

先の3項目はいずれも全体を上回り、特に「指導内容、コメント、対応に不満がある」「システム面の改善が必要」には、大きな差が見られた。

図2-106 【学部 (OL)】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【学部 (OL)】「自然と環境」抜粋

よかった点

- 入門微分積分は受講済みであったが、改めて理解の整理や理解不足、誤認識などが発見され、とても有意義な授業となった。
- 高校基礎を飛ばしていたので、部分積分、置換積分に一定の知見が得られた。また、収束判定法を使った関数の解法には美意識が感じられて非常に良かった。
- 受講前は認定試験のような問題ばかりだと思っていたが、一つ一つの定理に沿った問題が細かく出題されていたところが良かった。
- 問題が平易な分、しっかりと極限の不定形や広義積分の確認などに意識が回り、演習の授業として十分機能していたと思う。採点方法などもユニークで良かった。
- 問題を解くことを主としており、内容が豊富だったので、一問一問じっくりと取り組むことができた。
- 微分積分学の全般についての内容であったので、得意箇所および不得意箇所が明確になり、自分の知識の整理ができた。
- 2年前に履修した、入門微分積分の復習ができたこと。
以前から数学系の科目については演習の必要性を感じていたので、自分にとってぴったりの科目だった。
- 微分積分を一から見直す良い機会を得られた。
- 忘れていた基本的事項を思いおこす良いきっかけになりました。関連する内容の書籍を読み直したり、さらに勉強する意欲が出てきたように思います。
- 微積分の復習のつもりで受講したが、学習した記憶のない公式等も出てきて有意義だった。
- 説明をいろいろせず、先に問題を考えさせるという方法が、自分で真剣に考え解いてみることに繋がった。難易度もちょうどよかった。

改善点

- 演習科目だが、問題に取り組んだ後の解説というのは、若い学生はともかく、記憶に問題のある年寄りには無駄に時間がかかったように思う。
- オンライン授業のシステムの問題ですが、少しスムーズに流れないところや、見にくいところがあった（まあ慣れれば問題ないのですが）。
- 中間でレポートを提出して評価をしてもらえると、更に理解が増すと思う。
- 設問の解説をもう少し掘り下げて記載（関係公式と課題解法の関係を解説）していただければと感じました。しかしながら、自分で関連を調べる取り組みは減るのも事実であり「可能な範囲での対応」をお願いしたく思っています。
- 次の段階での演習科目（ベクトル場の微分積分、重積分、偏微分、複素積分等）が新設されることを希望します。
- イントロダクションやまとめの動画がワンパターンで飽きてしまった。
- 誤記については、教材を差し替えてほしい。
- レポートの提出方法がわからなかったので提出しなかった。オンラインだけでなく、郵便での提出も認めてほしい。
- 基本問題の前に基本的な講義があるとよいと思った。
- 個人的には問題がもっと多くても良かったと思う。
- 講義だけではどうしても理解が進まない。
- 課題が基礎や発展などに分かれていたが、基礎問題が難しかったり、逆に発展問題が易すぎたりしました（これは私の好みの問題かもしれませんが・・・）。専門的なことが多く、特に用語は補足資料などがあるとよかった。

【学部(OL)】「自然と環境」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
大変勉強になった	17	オンライン授業:内容が良かった	10
知識の整理や知識を深める事に役立った	6	オンライン授業:良い授業だった	3
学習意欲・知識欲がわいた	5	オンライン授業:受講しやすい環境だった	2
深く学ぶ(勉強する)ことができた	4	オンライン授業:講義が理解しやすかった	2
新しい知識が身についた	3	オンライン授業:短時間でも取り組めた	1
基礎的な知識を得られた	3	オンライン授業:講師の解説、指導が良かった	1
全体として満足している	1	オンライン授業:講師の人柄の良さを感じた	1
楽しかった	1		
興味・関心が持てた	1		
視野が広がった	1		
資料・データが充実していた	1		
		設問解答	
		意見	合計
		設問回答:練習問題があり確認しながら学べた	13
		設問回答:指導内容、対応が良かった	3
		設問回答:学習内容の理解に役立った	3
		設問回答:レポートの提出が良かった	1
		設問回答:小テストが良かった	1

【学部(OL)】「自然と環境」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	7	オンライン授業:システム面の改善が必要	6
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3	オンライン授業:構成・内容が良くなかった	3
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	3	オンライン授業:理解しにくい	2
構成・内容が良くない	2	オンライン授業:オンライン上の操作・説明がわかりにくい	1
例題・練習問題を増やしてほしい	2	オンライン授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい	1
内容の詰め込みすぎ	1		
授業科目案内は役に立たなかった	1		
		設問解答	
		意見	合計
		テキスト・講義ノート:テキストや講義ノート等の教材に誤りがある	3
		設問解答:指導内容、コメント、対応に不満がある	6
		設問解答:解答の送信方法がわかりにくい	3
		設問解答:課題の内容・量が適切ではない	2
		設問解答:レポートが難しい	2
		設問解答:小テスト(試験)が簡単すぎる、難易度を上げるべき	2
		設問解答:小テストの問題数が少なかった	1
		設問解答:ディスカッションのルール・整理が必要	1
		設問解答:問題の解答・解説がほしい	1
		設問解答:小テストの解答・解説に納得できない	1

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- オンライン授業:システム面の改善が必要
- 設問解答:指導内容、コメント、対応に不満がある

- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- オンライン授業:構成・内容が良くなかった
- テキスト・講義ノート:テキストや講義ノート等の教材に誤りがある

Ⅲ－２．大学院

大学院については、専攻プログラム別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点は、3%以上の回答があった項目と、その項目の大学院（オンラインを除く）全体の比率をグラフ化した。

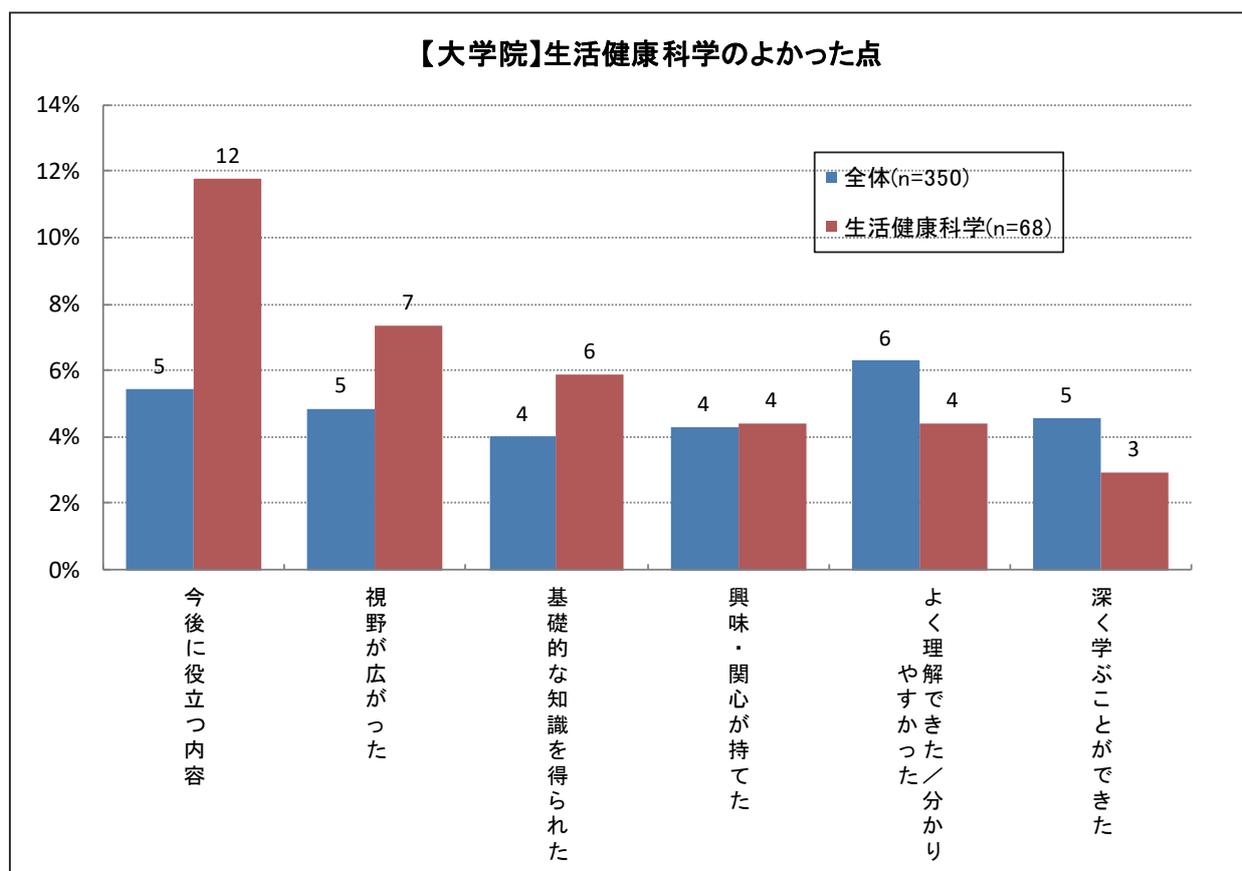
改善点については基本的に3%以上の回答があった項目としたが「人文学」と「情報学」は回答者が約30人と少なかったため、2人以上の回答があった項目を掲載した。

【大学院】「生活健康科学」の傾向

よかった点

「今後に役立つ内容」が最も多く12%に達し、他に「視野が広がった」(7%)、「基礎的な知識を得られた」(6%)が上位の項目で、「今後に役立つ内容」は全体と比べ7ポイントアップと大きな差が見られた。

図2-107 【大学院】よかった点



※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

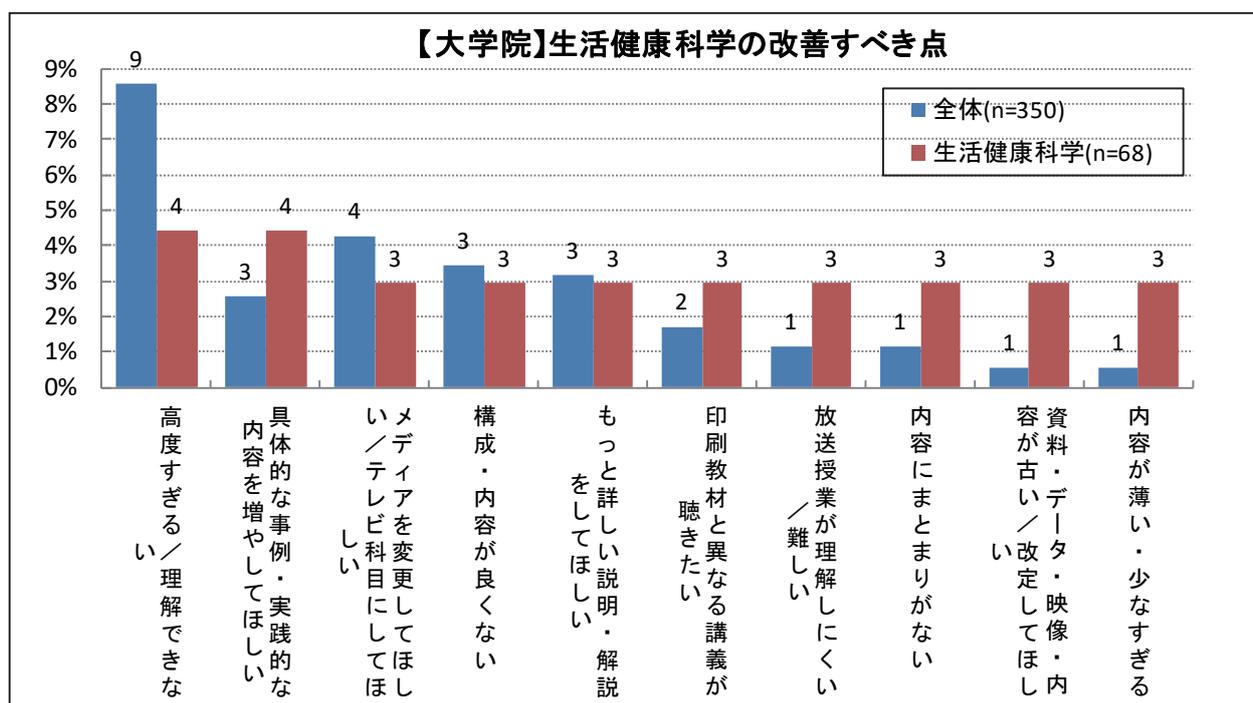
【大学院】「生活健康科学」の傾向

改善点

最も多くても「高度すぎる／理解できない」と「具体的な事例・実践的な内容を増やして欲しい」がそれぞれ4%にすぎず、他の項目を挙げた履修生も多くはなかった。

「高度すぎる／理解できない」は全体を大きく下回っていた。

図2-108 【大学院】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【大学院】「生活健康科学」 抜粋

よかった点

- 高齢者とスポーツ・運動に関して、老化、体力に関する知見を得られた。年相応に運動を継続すべしとの信念を持てた。
- スポーツ文化についての歴史や身体の構造、スポーツで得られる利点、欠点等が、専門的に網羅されて大変役立った。
- 運動生理学に関することを学べた。看護の現場でリハビリスタッフとの協働の際に活用できる。
- 今までの医学中心で治療だけに重きを置いていた医学から、患者の目線で医療を考える医学、感慨深いです。無病息災から一病息災というとらえ方は、私には斬新でした。
- ヘルス・リサーチにおいて研究者として注意すべき事柄は何か、患者の人権保護についての配慮点など、新しい知見を得た。
- 論文や学会発表を始めるにあたって基礎的な知識が身に付いた。
- 長野県の実態など、現在の状況がよりよく理解できた。
- 健康と病気の境界について考えさせられた。
- 健康について、WHO、日本の施策について詳しく知ることができた。
- 医療福祉分野の論文作成の参考になった。特に、第1回～第4回、第11回は、著者の熱意が伝わり、記述もわかりやすく良かった。

改善点

- 理論的な話が多いため、理解が難しいと感じた。
- 研究と実践と学術論文との関連を教えてほしかった。
- もう少し内容を絞り、簡易的な構成にするとより理解しやすいのではないかと感じました。
- 研究や論文作成の実例を示してほしかった。
- 資料の中に、年代の古いグラフや表が見受けられた。アップデートされた資料があれば、と、思わず、ネットを検索したことがありました。最新の資料、お願いします。
- ラジオでは、聴く意義が感じられない。
- 表の書き方など、詳しく説明があると良いと思う。
- せっかく講義をしてくださるのであれば、印刷教材からは得られないことを講義してくださるとありがたいと思いました。
- 放送教材の活用が結果的に不十分であった。
- 研究と実践と学術論文との関連を教えてほしかった。
- ページに限りがあるとは思いますが、海外との比較をもう少し加えていただけると、より興味深い内容になったかと思えます。
- 内容を詰め込みすぎて、理解が難しい単元があった。特に質的研究は内容が多すぎて、総論として取り扱うには無理があるように思う。これだけで一つの科目として成り立つような内容だった。
- 方法論ではあるが、実際に使うにはこの講義だけでは難しい。

【大学院】「生活健康科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		放送授業			
意見	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	13	印刷教材:理解しやすかった			1
今後に役立つ内容だった	8	印刷教材:様々な事例、具体的な事例が良かった			1
視野が広がった	5	印刷教材:熱意が伝わる教材だった			1
基礎的な知識を得られた	4				
よく理解できた	3				
興味・関心が持てた	3				
深く学ぶ(勉強する)ことができた	2				
満足している	1				
学ぶことの楽しさを知った	1				
今までにない、新しい情報や知識が得られた	1				
知識の整理に役立った	1				
適切な内容だった	1				
視点、考え方が変わった	1				

【大学院】「生活健康科学」

改善点

(単位:人)

科目全般		通信指導	
意見	合計	意見	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	3	通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2		
内容にまとまりがない	2		
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	2		
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	2		
期待していた内容ではなかった	1	単位認定試験:試験の設問内容に違和感があった	1
構成・内容が良くない	1	単位認定試験:簡単すぎる、難易度を上げるべき	1
内容の詰め込みすぎ	1	単位認定試験:問題数が少なかった	1
現実に活かせる内容にしてほしい	1		
最新の内容を講義してほしい	1		
関連科目・基礎科目の開設、もしくは既存科目の案内をしてほしい	1		

放送授業	
意見	合計
放送授業:メディアを変更してほしい	2
放送授業:理解しにくい	2
放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい	2
放送授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい	1
放送授業:講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	1
放送授業:講師以外は必要ない、違和感がある	1

印刷教材	
意見	合計
印刷教材:内容が薄い・少なすぎる	2
印刷教材:構成・内容が良くない	1
印刷教材:理解しにくい	1
印刷教材:文字が読みづらい	1
印刷教材:具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	1
印刷教材:色刷りにしてほしい	1

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 内容にまとまりがない
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい
- 資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい
- 放送授業:メディアを変更してほしい
- 放送授業:理解しにくい

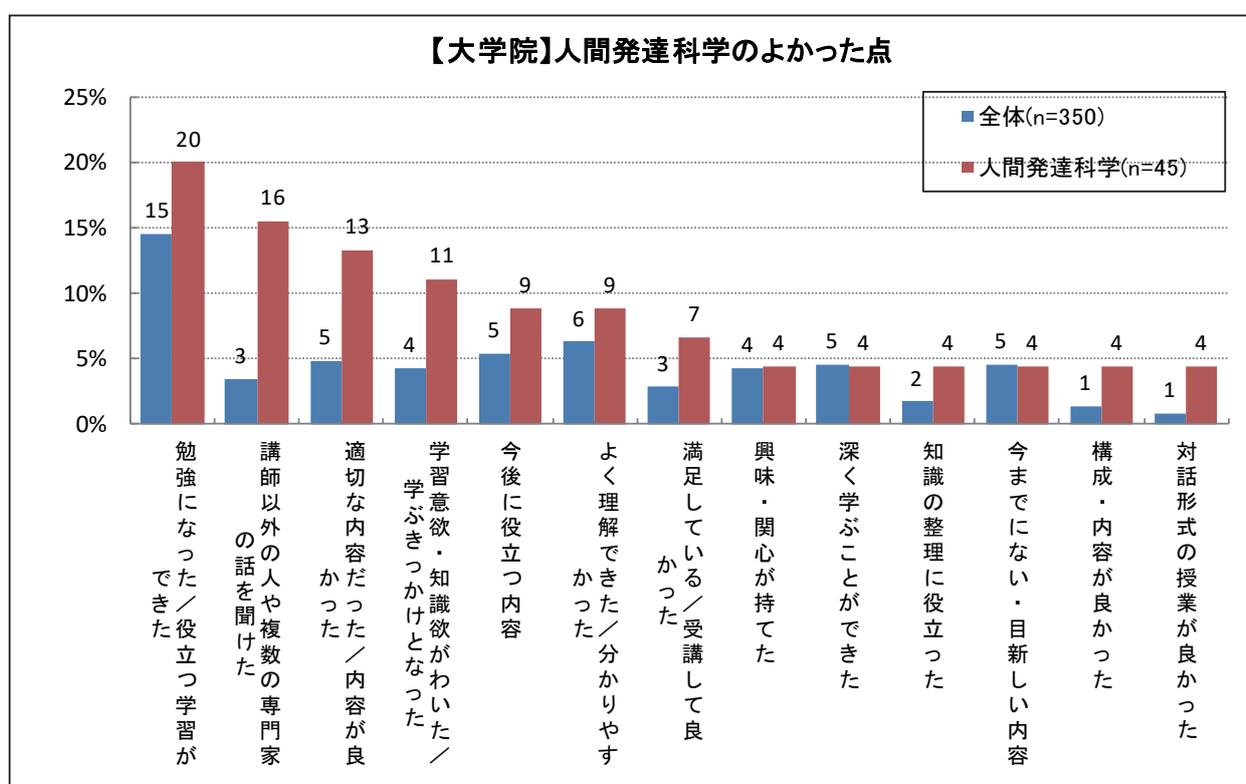
【大学院】「人間発達科学」の傾向

よかった点

最も多かったのが「勉強になった／役立つ学習ができた」で20%に達し、他に「講師以外の人や複数の専門家の話が聞けた」(16%)、「適切な内容だった／内容が良かった」(13%)、「学習意欲・知識欲がわいた／学ぶきっかけになった」(11%)が1割を超えていた。

この4項目はいずれも全体を上回り、特に「講師以外の人や複数の専門家の話が聞けた」は全体との差が極めて大きかった。

図2-109 【大学院】よかった点



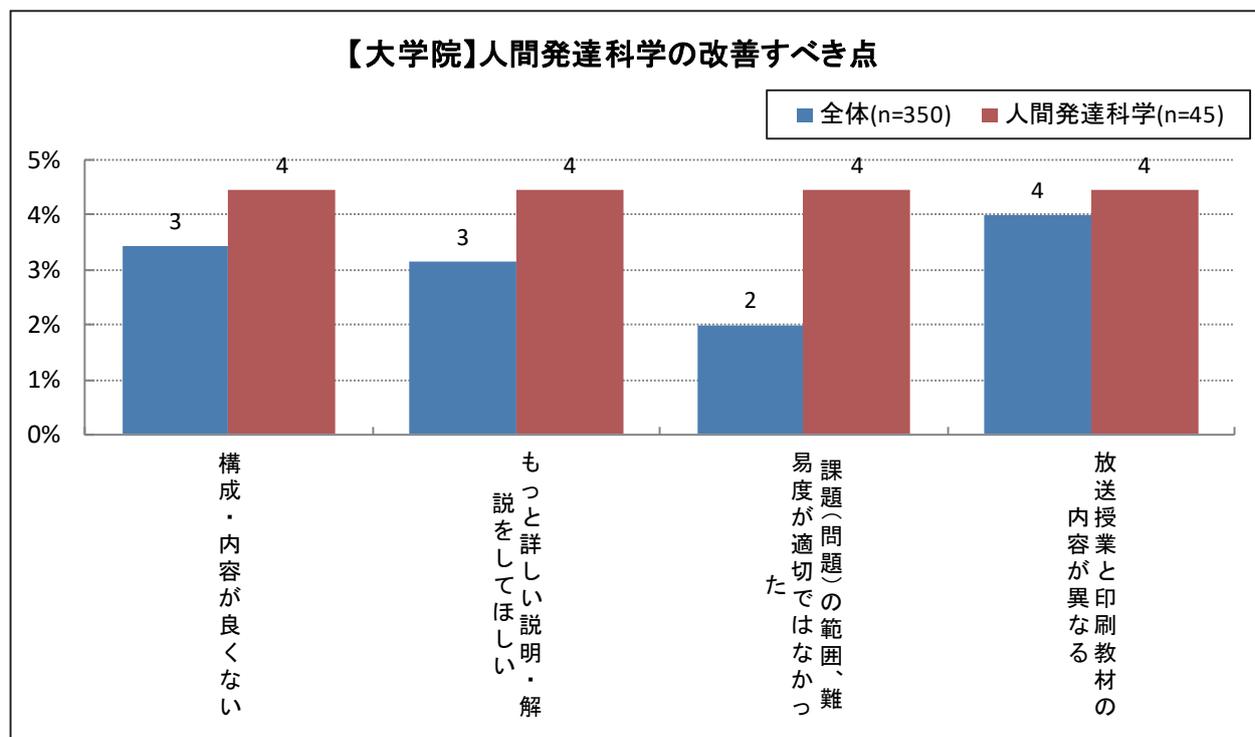
※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【大学院】「人間発達科学」の傾向

改善点

いずれの項目も低率で、項目数も極めて少なかった。

図 2-110 【大学院】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が4%(回答数2件)以上のものを掲載

【大学院】「人間発達科学」 抜粋

よかった点

- 自分の学習を振り返って、正しい学び方をしているかどうかを判断するのに役立った。
- 学習することに年齢は関係ないということを知り、教育心理学学習のひとつとして意義深く学ぶことができました。
- 放送授業の各回のゲストの先生が多彩で、さまざまな見解に触れることができ、良かったです。新規開講科目で履修登録を迷いましたが、受けて良かったです。
- 生涯学習に関する学習を継続したいと願っていただけだったので、期待通りの内容でとても良かったです。2010年の三輪先生の「生涯学習の理論と実践」も受講しておりましたので、たいへん有益でした。
- 自分の学習について客観視できた。今後とも学習を続けていこうという意欲につながった。ラジオ教材を聞き、印刷教材を読んでいる最中に、まさにフローの状態に入る自分を感じることがあった。
- 成人教育の全体像や様々な理論を理解することができました。
- 他の科目と重複する内容もあったが、生涯教育を考えるうえで多岐にわたる分野の知見を学ぶ必要がわかり、大変興味深く学べたと思う。
- 最新のトピックスも盛り込まれ、今まさに必要としていた内容が盛り込まれていたため、今後の研究の基礎固めとテーマアップに非常に参考になった。
- 変容的学習とナラティブ学習の説明が、私の人生でしてきたことを肯定化され、特に当てはまるものだったので、学問上での再確認、また、今後の人生の勇気をいただきました。

改善点

- 修士選科生なので理論的なことがあまりわかりませんが、紹介されている理論が、「そういうものだ」という実証的な理論なのか、実証はされていない一種の仮説なのか、「そうすべきだ」という「理論」なのか、ということがわからなかった。その観点についても説明していただけると効率的だと思う。
- 教材と放送との関係が不明。
- 通信指導の問題文が略記されすぎていて、問題の意図を読み取ることが困難でした。
- 学習理論やキャリア論、生涯発達理論など、扱われている範囲が広いので、受講する方によっては、特に難しく感じるかもしれないと思います。
- 科学的な考察と合わせて、先哲の逸話や格言、名言、行き方などを関連づけて論じていただけると、説得力があると思う。
- リカレント教育が今一度取りざたされる昨今であり、変化も激しいので、最近の動きはできるだけ早めに追補されるといいと思う。今年は初年度なのでその限りではない。
- 毎回、ゲストの話しが聞けたのは良かった。しかし、そのために肝心の講師の先生の話が少なくなったのは少し物足りなかった。
- 内容的に重複する部分が多い様に感じた。
- キーワードで各章の要点を表現してもらえると、章ごとの理解が進みやすいと思った。
- 通信指導で「よくまとめられたレポートです」としながら、B評価であった。どの点で、それ以上の評価とならなかったのか指摘がない。不適切不十分な指導助言であると感じた。
- 自習型問題に解答がないのはやむを得ないかと思いますが、解答例としてお手本を載せて頂けたらと願っています。
- 通信指導での提出方式と異なったため、容易すぎたきらいがした。

【大学院】「人間発達科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		放送授業	
意見	合計	意見	合計
勉強になった	9	放送授業:講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	7
適切な内容だった	6	放送授業:対話形式の授業が良かった	2
学習意欲・知識欲がわいた	5	放送授業:構成・内容が良かった	1
よく理解できた	4	放送授業:講師(陣)が良かった	1
今後に役立つ内容だった	4		
満足している	3	印刷教材	
興味・関心が持てた	2	意見	合計
今までにない、新しい情報や知識が得られた	2	印刷教材:良い教材だった	1
知識の整理に役立った	2	印刷教材:構成・内容が良かった	1
深く学ぶ(勉強する)ことができた	2		
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	1	通信指導	
基礎的な知識を得られた	1	意見	合計
具体的な事例・実践的な内容があった	1	通信指導:指導内容が良かった	1
面接授業や実習が良かった、参加しやすかった	1	通信指導:記述式が良かった	1
		単位認定試験	
		意見	合計
		単位認定試験:印刷教材が持ち込めて良かった	1

【大学院】「人間発達科学」

改善点

(単位:人)

科目全般		単位認定試験	
意見	合計	意見	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2	単位認定試験:簡単すぎる、難易度を上げるべき	1
難しい、高度すぎる、理解できない	1	単位認定試験:解答方法を変更・改善してほしい	1
構成・内容が良くない	1	単位認定試験:教材・電卓持込み可にしてほしい	1
内容の詰め込みすぎ	1	単位認定試験:教材の持ち込みは不要	1
最新の内容を講義してほしい	1		
放送授業			
意見	合計		
放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない	2		
放送授業:授業の構成・内容が良くない	1		
印刷教材			
意見	合計		
印刷教材:構成・内容が良くない	1		
印刷教材:放送授業の要約を載せてほしい	1		
通信指導			
意見	合計		
通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった	2		
通信指導:添削・コメントに不満がある	1		
通信指導:課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	1		

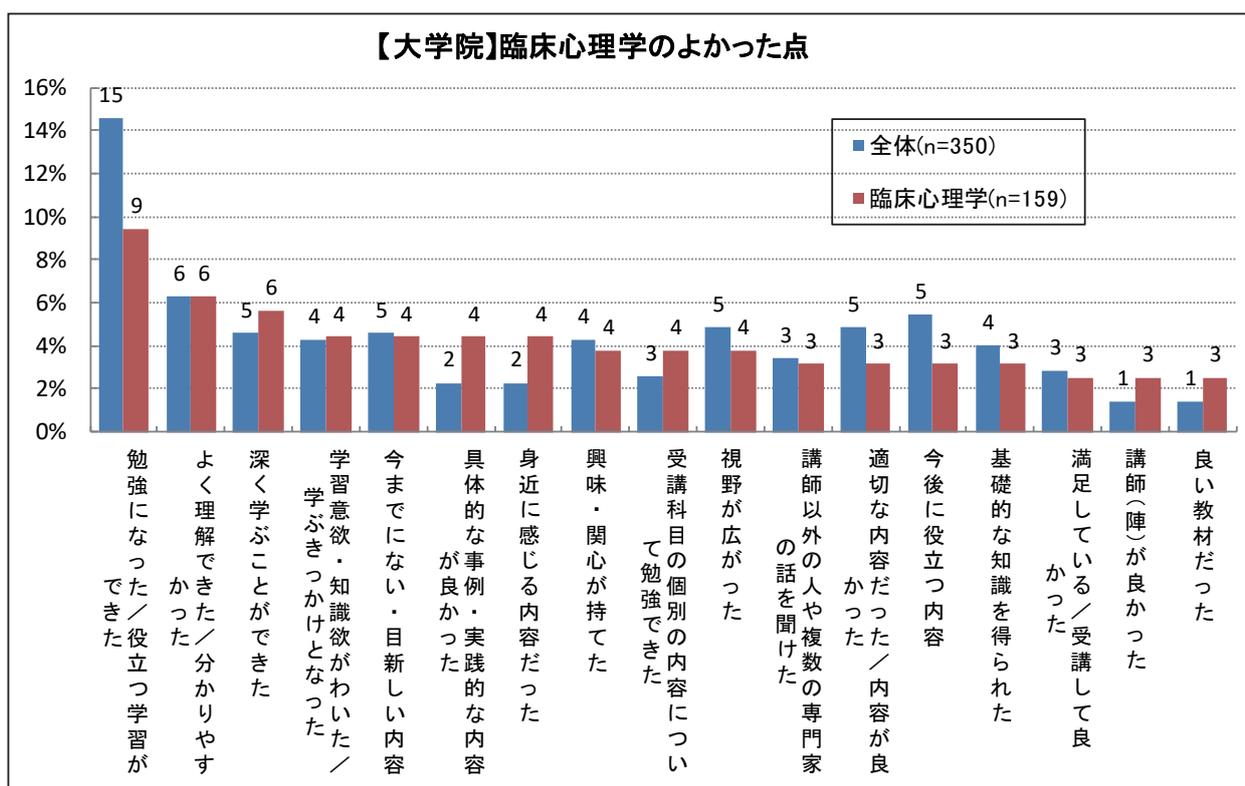
- 主な改善点の提案:集約
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
 - 放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない
 - 通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった
 - 難しい、高度すぎる、理解できない
 - 構成・内容が良くない
 - 内容の詰め込みすぎ
 - 最新の内容を講義してほしい

【大学院】「臨床心理学」の傾向

よかった点

「勉強になった／役立つ学習ができた」が9%、「よく理解できた／分かりやすかった」と「深く学ぶことができた」はそれぞれ6%で、それ以外は、項目数は多いものの低率であった。「勉強になった／役立つ学習ができた」は全体を下回っていた。

図2-111 【大学院】よかった点



※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

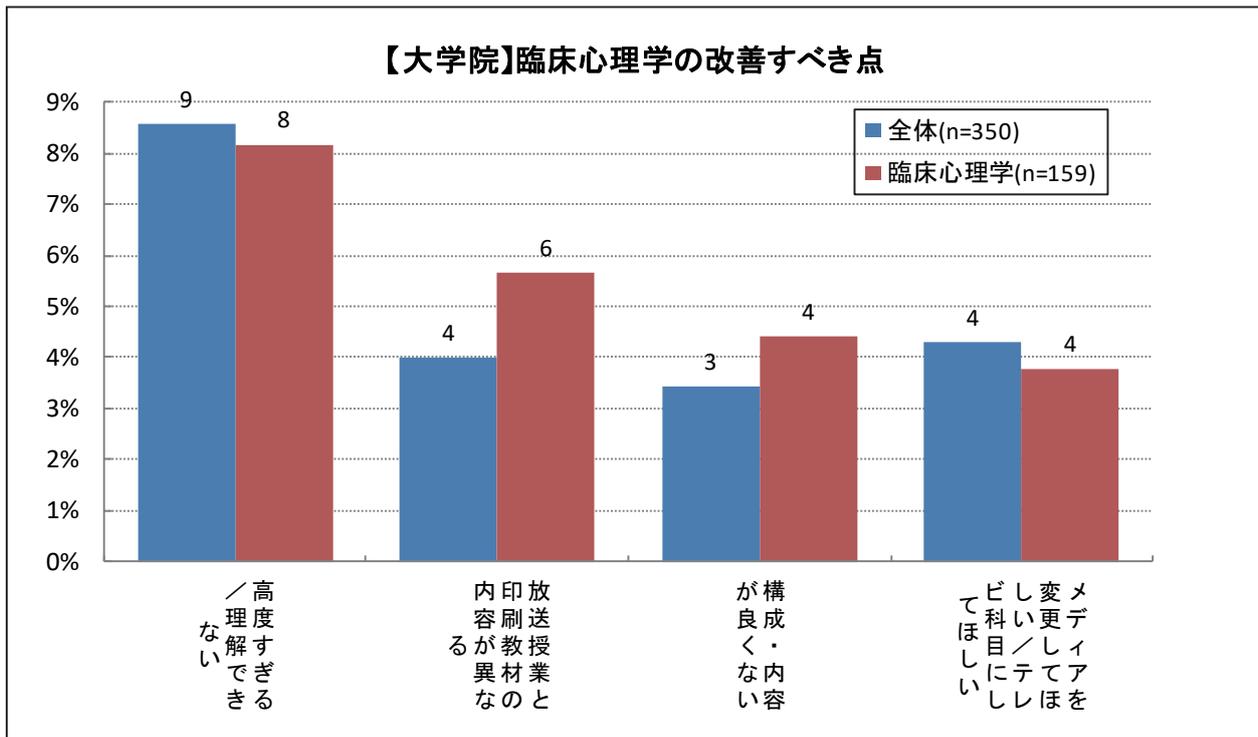
【大学院】「臨床心理学」の傾向

改善点

「高度すぎる／理解できない」が8%で最も多く、全体と同水準であった。

「臨床心理学」の改善点は、項目数が極めて少なかった。

図 2-112 【大学院】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【大学院】「臨床心理学」 抜粋

よかった点

- 自分の身近な問題ではなかったのですが、ほとんど知らない事が多かったので、とても勉強になりました。学校で問題になっている注意欠如・多動症の本質も理解できました。
- 臨床心理について知識があまりないまま受講したが、基礎がなくても理解できた。
- 障害の特徴や行動の傾向が、どんなことに起因するのかなど、より深い理解ができる科目であると思った。
- 詳細なアセスメント方法が学ぶことができ、非常に参考になった。特に応用行動分析は、これからももっと学習を深め、アセスメントに生かしていきたいと思った。
- とても分かりやすく最新の情報を取り入れられ、良い科目だったと思います。
- 現職で特別支援学級の担任をしているため、学習内容には日頃の指導に必要となる事柄が入っていて、非常に参考になった。
- 変化しつつある障害への考え方、特に発達障害へのアセスメントや対応について、事例を交えてわかりやすく学べた。
- 最近のトピックとして発達障害について多く取り上げられ、大変勉強になりました。
- 心理面接の奥深さと困難さの両方を知ることができ、今後自分が臨床心理士を目指す場合に大きな参考となった。
- 臨床心理学特論Ⅱと合わせて受講することで、臨床心理学の様々な分野を概観しながら学ぶことができよかったです。
- 旧年度版も受講し、単位も修得していたが、繰り返し学べてよかったと思う。内容が分割されたことで一学期中の負担が減り、じっくり取り組めた。
- テーマによって様々な立場の先生の講義があつてよかった。先生の熱意が伝わり、自分も頑張ろうと思えた。一流の先生の講義が働きながら受講できることが最大のメリットだ。
- 大六先生の講義及び執筆内容は、分かりやすくかつ内容も濃いもので、大変勉強になりました。

改善点

- 仕事と両立しながら受講しているので、テキストの内容と受講する授業だけである程度理解の出来るような工夫をお願いしたい。
- できれば、印刷教材と放送内容は合わせて欲しい。回によっては内容が違うので。
- ラジオ番組でなく、テレビ番組で視覚資料を多用した講座だと理解が深まると思います。
- 個人的には新たな知識が習得でき満足していますが、大学院の授業としては（放送授業という制約はあると思いますが）双方向性に乏しく、学生自身に深く考えさせる要素がやや不足していると感じました。
- 臨床心理学が抱える課題について、あまり触れられていないと感じた。
- 実際の介入や支援の現場のお話をもっと聞きたいと感じました。
- テキストの棒読みでは授業を聴く意味がないと思います。しかも非常に早口だったり、詰まったり、聞き辛いところもありました。改善をお願いします。
- ゲストを呼んでの回がつまらなかった。講師とゲストのなれあいのように感じる回もあった。
- 教材をしっかりと読み込み、理解していれば、添削も試験も点数が取れたはずだったと感じる。反省すべき点です。
- 単位認定試験の問題が易しく、勉強した甲斐がないと感じて残念でした。
- 専門家の自己陶醉を感じる部分があったこと。
- 担当の先生が分かれたので、一回分の内容の難易度やボリュームに差があるように感じられた。

【大学院】「臨床心理学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		放送授業	
意見	合計	意見	合計
勉強になった	15	放送授業:講師以外の人や複数の専門家の話を聞けた	5
よく理解できた	10	放送授業:講師(陣)が良かった	4
深く学ぶ(勉強する)ことができた	9	放送授業:講師の熱意・熱心さが伝わった	2
学習意欲・知識欲がわいた	7	放送授業:印刷教材の内容が連動していて良かった	2
今までにない、新しい情報や知識が得られた	7	放送授業:良い授業だった	1
身近に感じる内容だった	7	放送授業:理解しやすかった	1
具体的な事例・実践的な内容があった	7	放送授業:分かりやすい解説だった	1
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	6	放送授業:現場取材や、専門家・ゲスト・第一線の方のインタビューが良かった	1
興味・関心が持てた	6	放送授業:対話形式の授業が良かった	1
視野が広がった	6		
今後役立つ内容だった	5		
基礎的な知識を得られた	5		
適切な内容だった	5		
満足している	4		
知識の整理に役立った	3		
専門的な内容だった	3		
学ぶことの楽しさを知った	2		
引用・参考文献、補助教材、問題集の紹介が良かった	2		
視点、考え方が変わった	1		
		印刷教材	
		意見	合計
		印刷教材:良い教材だった	3
		印刷教材:構成・内容が良かった	2
		印刷教材:理解しやすかった	1

改善点

(単位:人)

科目全般		印刷教材	
意見	合計	意見	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	13	印刷教材:構成・内容が良くない	2
構成・内容が良くない	5	印刷教材:理解しにくい	2
内容が浅い	5	印刷教材:誤植がある	2
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	5	印刷教材:内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1
時間が取れなかった	3	印刷教材:図・表・写真・イラストが小さくて見づらい	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3	印刷教材:放送授業の要約を載せてほしい	1
現実に活かせる内容にしてほしい	3		
内容の詰め込みすぎ	2		
内容にまとまりがない	2		
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	2		
期待していた内容ではなかった	1		
興味・意欲がわかかなかった	1		
最新の内容を講義してほしい	1		

通信指導	
意見	合計
通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった	3
通信指導:添削・コメントに不満がある	2
通信指導:課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	1
通信指導:単位認定試験のヒントがほしい	1

放送授業		単位認定試験	
意見	合計	意見	合計
放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない	9	単位認定試験:簡単すぎる、難易度を上げるべき	3
放送授業:メディアを変更してほしい	6	単位認定試験:試験の設問内容に違和感があった	2
放送授業:講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい	5	単位認定試験:評価方法に疑問を感じる	1
放送授業:講師以外は必要ない、違和感がある	4	単位認定試験:試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1
放送授業:授業に興味・関心が持てなかった	2	単位認定試験:難しすぎる、難易度を下げるべき	1
放送授業:授業の構成・内容が良くない	2		
放送授業:講師の解説、指導が良くなかった	2		
放送授業:講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	2		
放送授業:専門家の意見が聴きたい	2		
放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい	2		
放送授業:インターネットでの視聴方法が分かりにくい、使いづらい	1		
放送授業:理解しにくい	1		
放送授業:各章ごとに、まとめや学習ポイント・総括がほしい	1		

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない
- 放送授業:メディアを変更してほしい

- 構成・内容が良くない
- 内容が浅い
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業:講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい

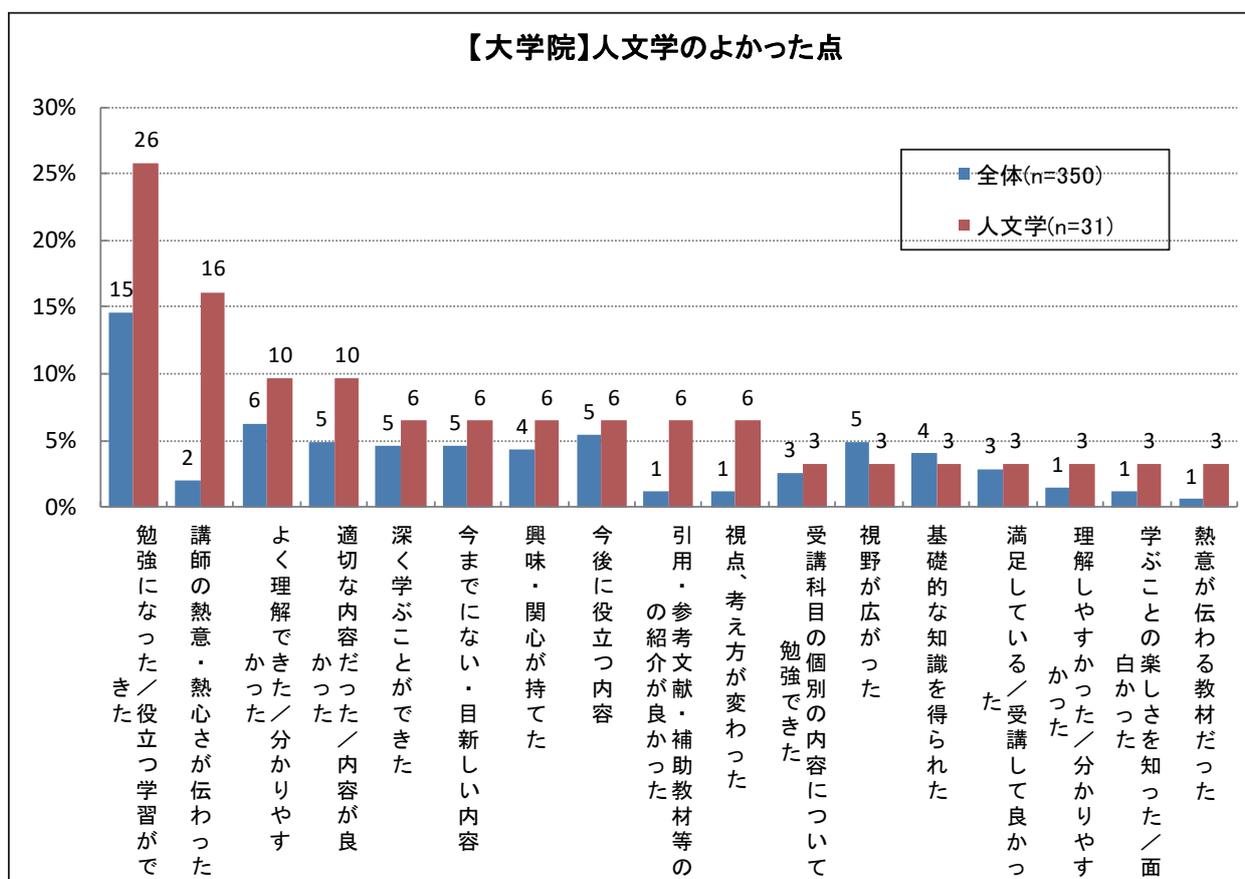
【大学院】「人文学」の傾向

よかった点

「勉強になった／役立つ学習ができた」が最も多く 26%に達し、次いで「講師の熱意・熱心さが伝わった」16%、他に「よく理解できた／分かりやすかった」「適切な内容だった／内容が良かった」がそれぞれ 10%で続いた。

「勉強になった／役立つ学習ができた」と「講師の熱意・熱心さが伝わった」は全体を大きく上回り、その差も 11 ポイント以上と際立っていた。

図 2-113 【大学院】よかった点



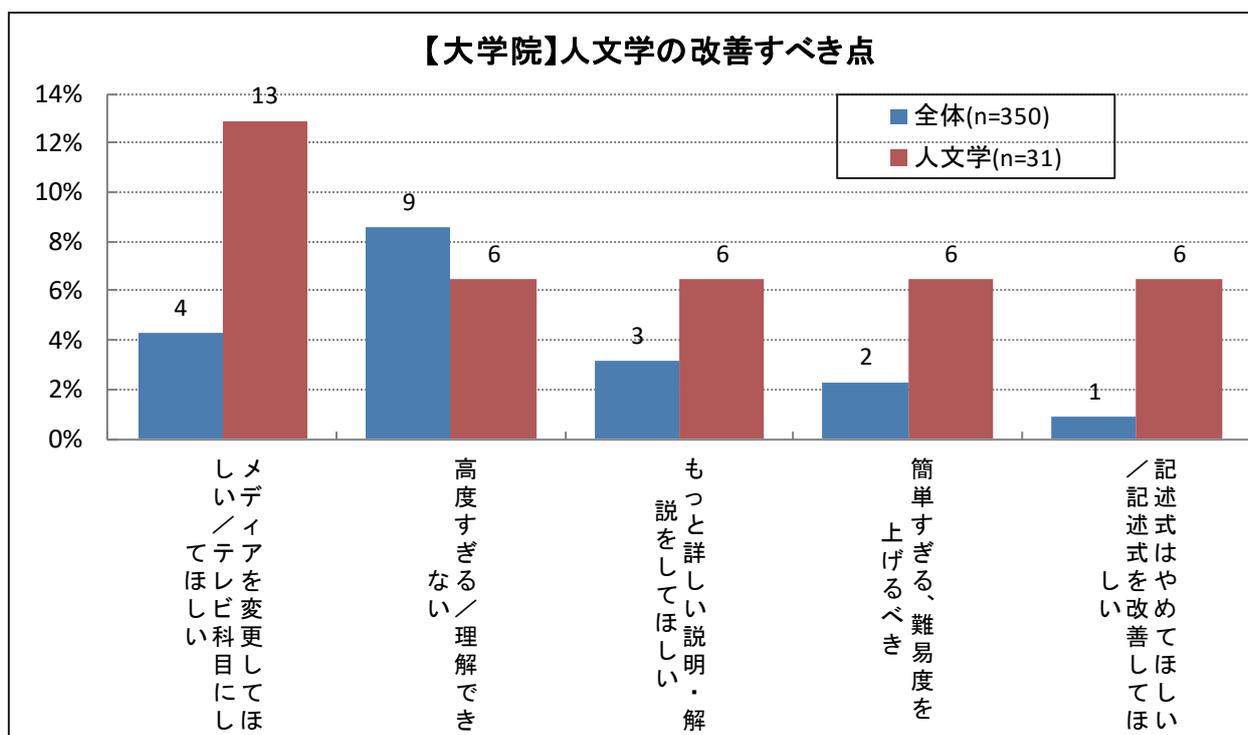
※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【大学院】「人文学」の傾向

改善点

「テレビ科目にしてほしい」が13%から挙げられ、全体と比べると大きく上回っていた。他の項目もそれぞれ6%（2名）から挙げられていた。

図2-114 【大学院】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が6%(回答数2件)以上のものを掲載

【大学院】「人文学」 抜粋

よかった点

- 美、芸術について、本質的な思想に触れることができた。多方面の分野の芸術それぞれに、知、技があり、普遍性があることが、感慨深かった。
- この科目の青山先生は学部生の卒業研究の担当教員でもあり、その熱心な指導に向学心が湧いてきます。美学・芸術学研究でも、ラジオから美や芸術にかける思いが伝わりました。
- 美学の基本的な考え方が分かりやすく解説されていたことと、学問に対する研究者の視点がよくわかり、とても勉強になりました。
- 哲学を基礎として美学・芸術学には、様々な学問(学際的)が重層的に含まれている事を改めてこの授業で学び、感動しました。
- さまざまなジャンルの芸術が一貫した立場から論じられているため、理解しやすかった。典拠が適切に示され、関心が広がった。
- 美学哲学について広く深く学ぶ内容で、近年の内容も取り扱っている。
- 芸術と学問の関係や、美術や音楽だけでなく、舞台芸術や映像における芸術性の考え方を学ぶことができ、今後、これらの鑑賞を豊かなものにしてくれると思う。
- 美や芸術の本質を捉えるにあたって、古代ギリシャ時代にまで遡り、深く掘り下げる内容となっていた点が大変良いと思いました。
- これまで一般論しか知らなかったデイドロ美学の本質に、わずかでも触れることができた。
- 前より美学や芸術学に興味があったので受講した。西洋芸術の基本的な構造、思想を知ることができた。

改善点

- 扱う題材が美や芸術である以上、映像での授業の復活が望まれます。学部頃から録画をして美学・芸術学研究13を観てきましたが、映像による実際の作品を観ながらの講義は、作品や芸術理論の理解には不可欠な要素であると思いました。
- やはり映像にすべきである。内容が分かっている人でも、履修が終わってからでも何度でも見ればいい。
- 最後のデイドロ論の部分はかなり難しかった。
- 近代美学の概説や評価点も解説があればと思います。
- 択一式問題が簡単です。
- 単位認定試験に記述式を取り入れても良いのではないかと思った。
- ラジオは正直頭に入ってこない。
- ラジオ放送において、担当講師の熱意のあまり、明瞭に聴きとりづらい箇所があった。
- 一般に流布している誤りの訂正は大切だが、もっと先生自身のお話を聞きたかった。
- ゲスト講師がいても良かった。
- テキストの説明が難しい(哲学や倫理学の知識も必要)。
- 画像が鮮明でよいのですが、実物と少し違う感じがする。
- 印刷教材にて参考文献をもっと挙げてほしい。近年の研究動向を踏まえた論文も多数案内してほしい。
- 印刷教材において解説されている芸術作品については、カラー写真をもっと増やしてもらいたいと感じました。

【大学院】「情報学」の傾向

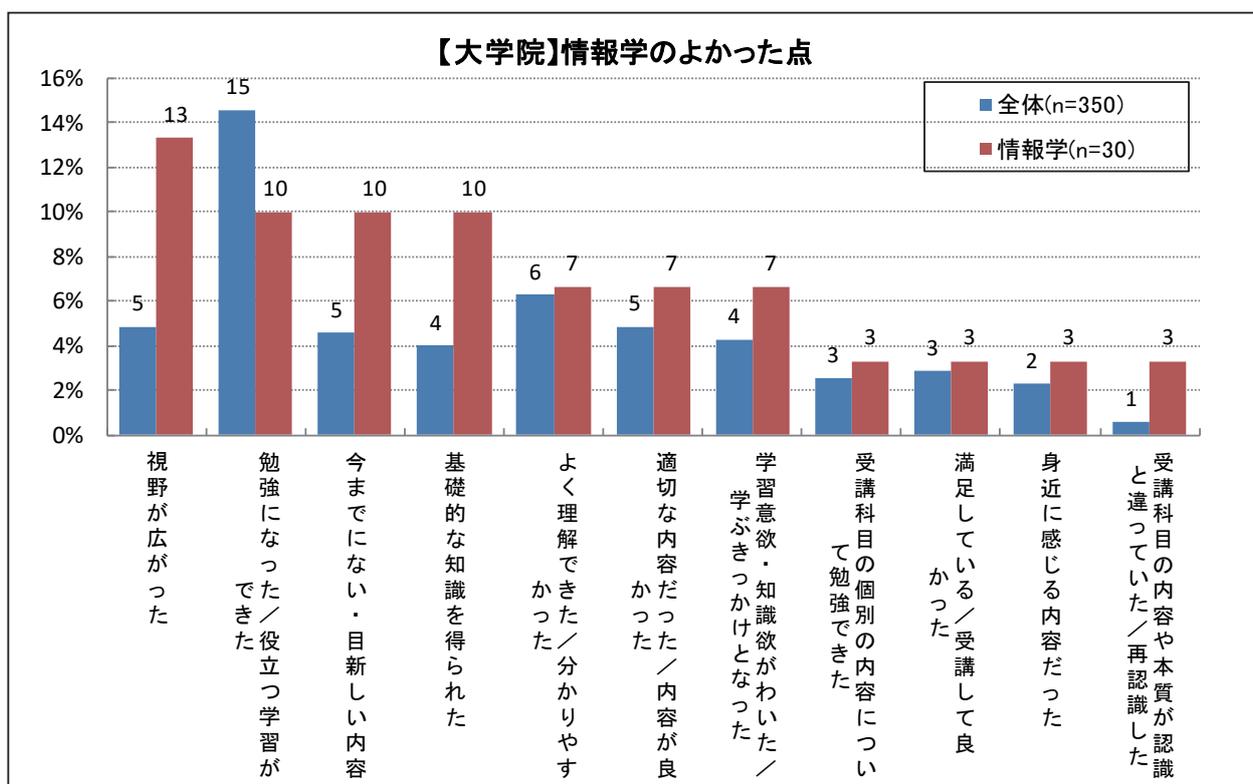
よかった点

「視野が広がった」が最も多く13%、他では「勉強になった／役立つ学習ができた」「今までにない・目新しい内容」「基礎的な知識を得られた」がそれぞれ10%と続いた。

「視野が広がった」は全体を大きく上回っており、他に「今までにない・目新しい内容」「基礎的な知識を得られた」も全体を超えていた。

反対に「勉強になった／役立つ学習ができた」は全体より5ポイント減であった。

図2-115 【大学院】よかった点



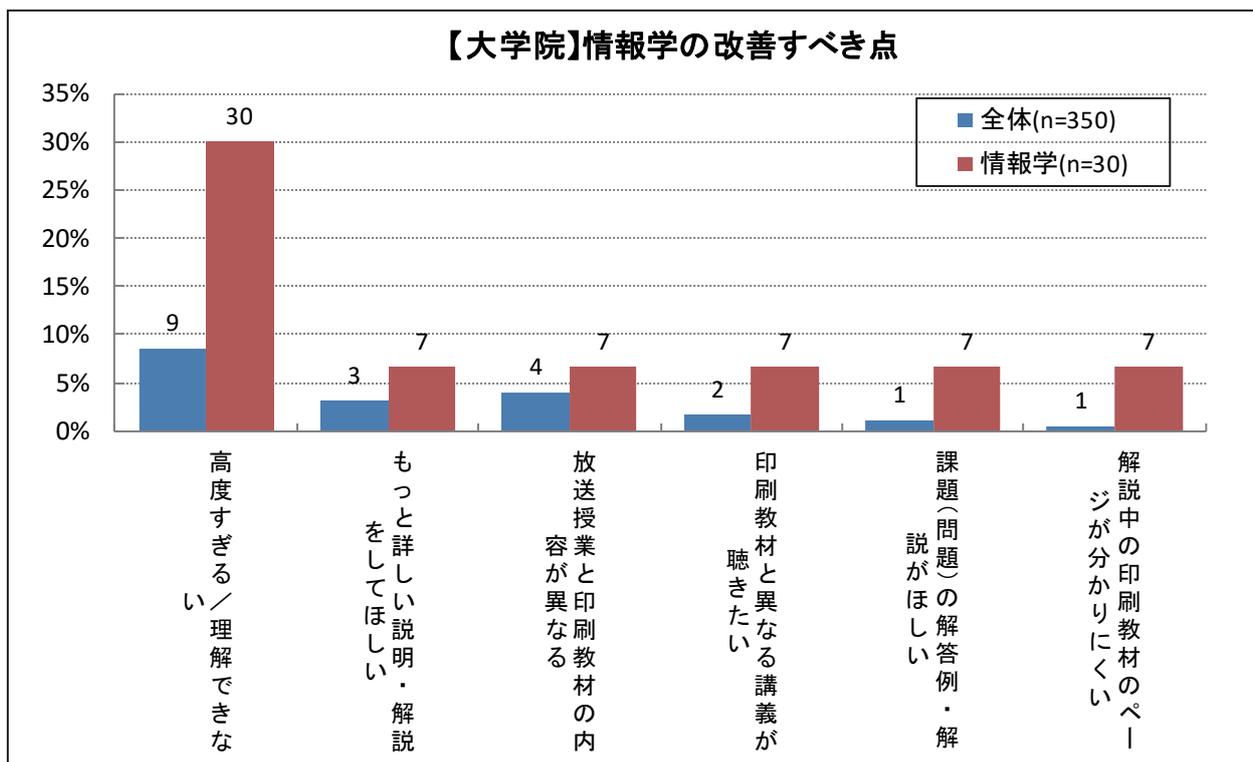
※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【大学院】「情報学」の傾向

改善点

「高度すぎる／理解できない」が突出しており 30%に達し、全体との差も 21 ポイントと極端に高く、意見の集中が見られた。

図 2-116 【大学院】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が7%(回答数2件)以上のものを掲載

【大学院】「情報学」 抜粋

よかった点

- 今まで馴染みのない分野だったので、新しい視野が開けたと思う。
- 現代の情報化社会におけるコンピュータの知識（特にチューリング機械）を学ぶことができたのは、自分にとっても大変有益だった。
- 最新のソフト工学について知ることができた。
- コンピューティングという概念の基礎を理解するために役立ったと感じています。計算を抽象化し、数学的に考える方法論を知ることができました。
- ソフトウェアが我々の生活にどのように関連するかが、よくわかりました。
- 計算についてよく理解できました。パソコンの操作は、まだ未熟ですが、理解しやすいように工夫されていました。
- 私の仕事はソフトウェア関係であるが、普段考慮していない内容等が多く出てきて、改めて気づかされる点が多々あり、非常に有益であった。

改善点

- 大学数学を履修していないので、履修してから受講すればよかった。
- 最新の展開に興味があって受講したが、原理や基礎的な考え方が最新の展開を深く理解する上でなぜ必要か、もう一つ関連性が分からなかった。
- 印刷教材のどこの部分を話されているかがよくわからない事がよくあった。
- 説明内容が印刷教材に印字されていないケースが沢山あって不満。
- 放送授業で知識を補おうと思ったが、印刷教材の読み上げだけだったため、理解の補助にはならなかった。
- 間違った解答に対しては、詳しく説明してほしい。
- 範囲を狭めて理解できるような内容にしてほしい。
- 例を多くしてください。
- 前提知識を得られる図書の紹介などがあればよかった。
- 研究課題の問題量をもう少し多くし、個人的には演習をしたかった。
- 小テストで理解度を確認して進められるオンライン授業の方が適していると思う。
- ラムダ計算関連部分だったと記憶しているが、印刷教材内の式を全て読み上げられていたと思うが、少し聞きづらいと感じた。
- 現場の状況を本当に理解した上での記述なのか？という不安が残った。例えば、ソフトの作成の途中で、仕様を変えことに対する肯定的記述などなど。
- 自分に前提知識が無いのもあると思うが、教科書を熟読しても理解できない箇所が多々あった。
- テストの設問数が少なすぎる。

【大学院】「情報学」

よかった点

(単位:人)

科目全般	
意見	合計
視野が広がった	4
勉強になった	3
今までにない、新しい情報や知識が得られた	3
基礎的な知識を得られた	3
よく理解できた	2
学習意欲・知識欲がわいた	2
適切な内容だった	2
満足している	1
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	1
身近に感じる内容だった	1
科目の学問的性質、位置づけがわかった	1

【大学院】「情報学」

改善点

(単位:人)

科目全般		通信指導	
意見	合計	意見	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	9	通信指導: 課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2	通信指導: 提出期間が短い	1
時間が取れなかった	1		
内容の詰め込みすぎ	1	単位認定試験	
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	1	意見	
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい	1	単位認定試験: 評価方法に疑問を感じる	1
練習問題がもっと欲しかった	1	単位認定試験: 問題数が少なかった	1
放送授業			
意見	合計		
放送授業: 解説中の印刷教材のページが分かりにくい	2		
放送授業: 印刷教材の内容が異なる、連動していない	2		
放送授業: 印刷教材と異なる講義が聴きたい	2		
放送授業: メディアを変更してほしい	1		
放送授業: 講師(ナレーター)の音が聞き取りづらい	1		
印刷教材			
意見	合計		
印刷教材: 構成・内容が良くない	1		
印刷教材: 理解しにくい	1		

主な改善点の提案: 集約

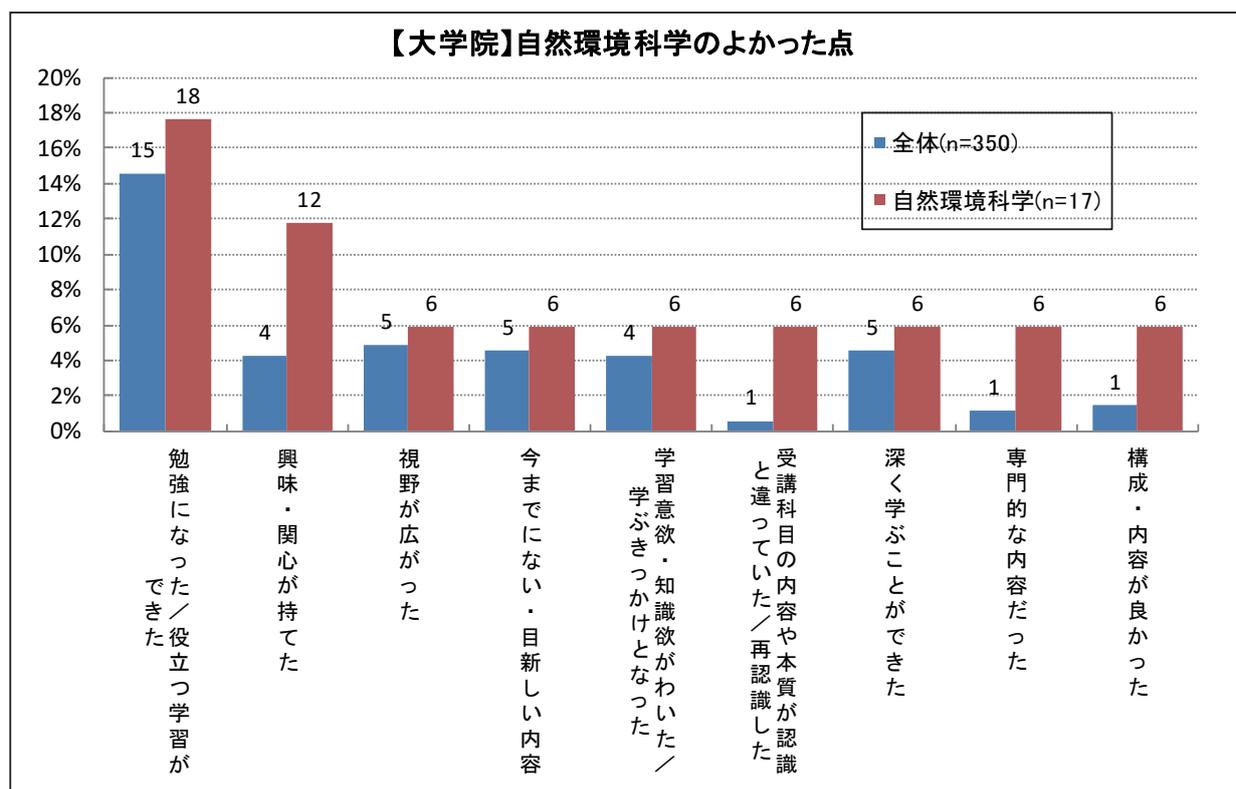
- 難しい、高度すぎる、理解できない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 放送授業: 解説中の印刷教材のページが分かりにくい
- 放送授業: 印刷教材の内容が異なる、連動していない
- 放送授業: 印刷教材と異なる講義が聴きたい
- 通信指導: 課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい
- 内容の詰め込みすぎ

【大学院】「自然環境科学」の傾向

よかった点

「勉強になった／役立つ学習ができた」が18%(3名)、「興味・関心が持てた」12%(2名)から挙げられた。

図2-117 【大学院】よかった点



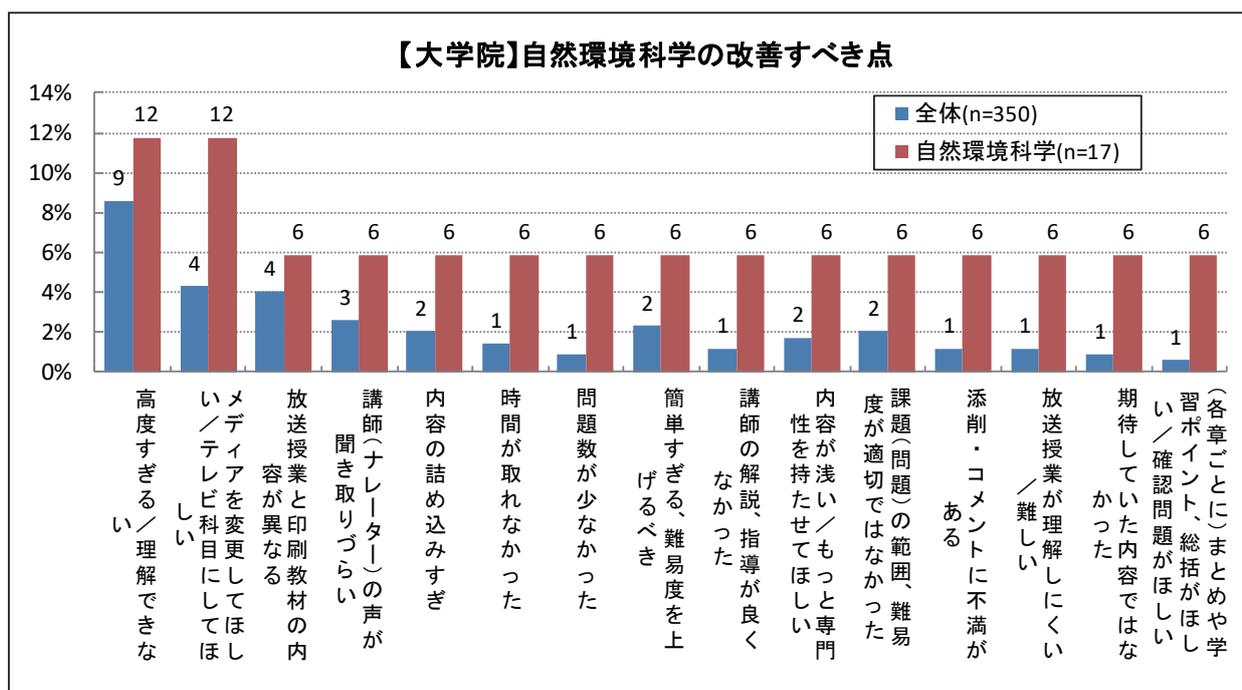
※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【大学院】「自然環境科学」の傾向

改善点

「高度すぎる／理解できない」と「メディアを変更してほしい／テレビ科目にしてほしい」がそれぞれ12%(2名)から挙げられた。

図2-118 【大学院】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【大学院】「自然環境科学」 抜粋

よかった点

- 久しぶりに物理学を学びなおしたことと、偏微分方程式の公式を実際に使ったこと。
- 修士課程の課題を探す材料には成りえる情報が見受けられた。物理で修士、博士の課程へ進むためには、どの分野でも相当幅広く、既知の学習が必要に思えた。
- 標準模型・統一理論に興味を持てた。
- 印刷教材の内容は、放送教材に収まりきらないほど膨大かつ濃密で、学びたいと思っていた分野への入り口として、最適でした。さらに先を学びたいと思います。
- 物理学を広く学ぶことができた。学びなおして理解が深まったと思う。

改善点

- 残念ながら、今回はハードルが高かったです。少し立ち返って勉強が必要なようです。
- 勉強しづらいことが多かった。
- ラジオでなくて、テレビかオンラインにしていっていただきたい。ラジオでは数式の導出や図表がまったくわかりません。ラジオの授業は廃止してほしい。
- TVで画像があるとちょっと理解しやすいのではないかな。
- 米谷先生の旧科目と勘違いしていた。
- 前期は、母の通い介護をしながらでも、オンライン授業の特性を活かして単位だけはとれたが、今期は、母が特養に入所したにも関わらず、例え1科目であっても、自宅の勉強時間も試験日も、全く空き時間が取れない状況に陥った。課題はギリギリ出したものの、十分な考察と勉強は出来なかった。今後も厳しい「職業訓練」後の、勉学の見通しが全く立っていない。就職を果たせたとしても、資格試験に時間を取られ続ける見込み。再入学も検討中。
- どうしても浅く広くという感じになる。
- 何を理解するべき事柄なのかが非常にあいまい
- 言葉での説明だけでなく、数式を使った説明がもう少しあれば、理解の助けになるかと思います。
- 多くのコマで、教科書の棒読み状態。
- 物理科目はどうしても数式を示した解説が必要になるので、テキストにある式や式展開の意味をもう少し放送授業の中で説明してほしい。
- 通信課題の解答をもう少し具体的に作成していただきたい。課題の内容が高度なので、解答を期待していたが、不十分なものだったことが残念です。
- 授業内容を図るのが通信指導だけでは不足しているような気がする。
- 問題数がすこし少なかった(10問)と思う。

【大学院】「自然環境科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		印刷教材	
意見	合計	意見	合計
勉強になった	3	印刷教材:構成・内容が良かった	1
興味・関心が持てた	2		
学習意欲・知識欲がわいた	1		
今までにない、新しい情報や知識が得られた	1		
視野が広がった	1		
専門的な内容だった	1		
深く学ぶ(勉強する)ことができた	1		

【大学院】「自然環境科学」

改善点

(単位:人)

科目全般		放送授業	
意見	合計	意見	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	2	放送授業:メディアを変更してほしい	2
期待していた内容ではなかった	1	放送授業:理解しにくい	1
時間が取れなかった	1	放送授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい	1
内容の詰め込みすぎ	1	放送授業:講師の解説、指導が良くなかった	1
内容が浅い	1	放送授業:印刷教材の内容が異なる、運動していない	1
各章ごとに、まとめ・学習ポイント・総括がほしい	1		

通信指導		単位認定試験	
意見	合計	意見	合計
通信指導:添削・コメントに不満がある	1	単位認定試験:簡単すぎる、難易度を上げるべき	1
通信指導:課題(問題)の範囲、難易度、量が適切ではなかった	1	単位認定試験:問題数が少なかった	1

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 放送授業:メディアを変更してほしい
- 期待していた内容ではなかった

- 内容の詰め込みすぎ
- 内容が浅い
- 各章ごとに、まとめ・学習ポイント・総括がほしい
- 放送授業:理解しにくい

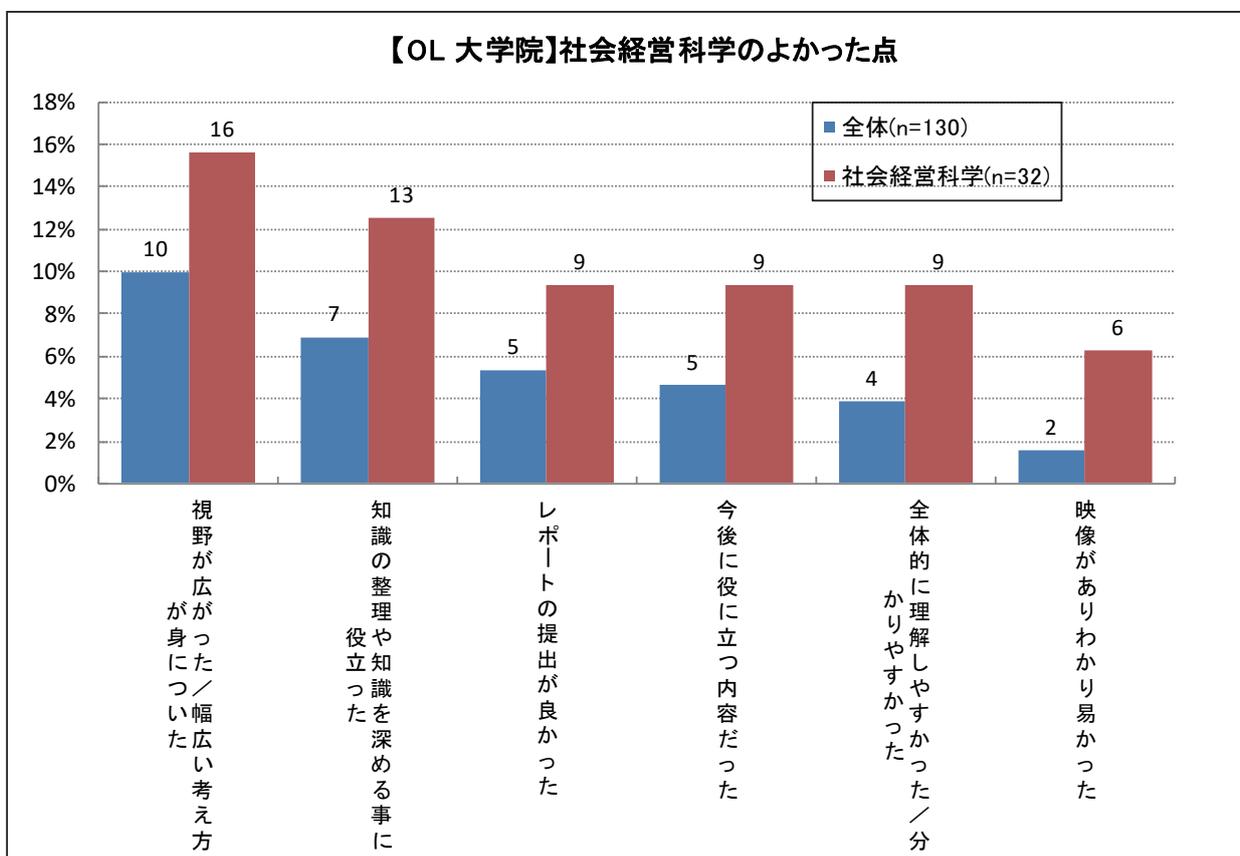
大学院のオンライン科目については、専攻プログラム別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点について、3%以上の回答があった項目と、その項目の大学院オンライン科目全体の比率をグラフ化した。また、改善点については、回答数が2件以上の項目を掲載した。

【大学院（0L）】「社会経営科学」の傾向

よかった点

「視野が広がった／幅広い考え方が身についた」が16%、「知識の整理や知識を深めることに役立った」は13%から挙げられ、この2項目は全体を上回り、それぞれ6ポイントアップであった。

図2-119 【大学院（0L）】よかった点



※当該科目で回答された内容(項目)が6%(回答数2件)以上のものを掲載

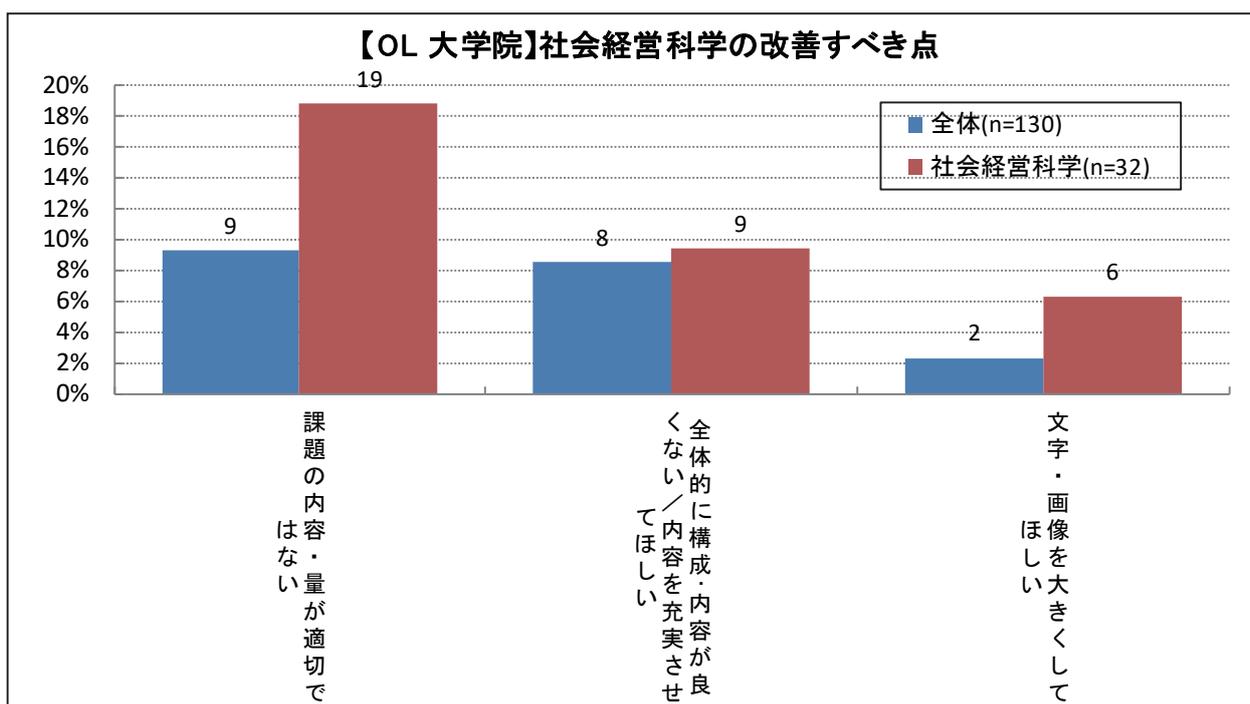
【大学院（OL）】「社会経営科学」の傾向

改善点

「課題の内容・量が適切ではない」が19%に達し、全体を10ポイント上回っていた。

他に「全体的に構成・内容が良くない／内容を充実させてほしい」「文字・画像を大きくしてほしい」が続いた。

図2-120 【大学院（OL）】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が6%(回答数2件)以上のものを掲載

【大学院 (OL)】「社会経営科学」 抜粋

よかった点

- リサイクルについて、系的な理解を得ることが出来た。従来行政任せで、自分のこととして考えていなかったリサイクルについて、現状と対策を考えるうえで、とても参考になった。
- 街がどのように構成されているのか、景観としての理論が、ここまでであるとは思わなかったので、街を歩いても見方が変わった。
- 環境問題の解決方向や矛盾が、より明確に理解できるようになった。
- 難解な数学や統計を用いず、それが苦手な学生でも十分理解できる内容であった。
- 日常生活において身近な内容もあるので非常にためになり、今後の日常生活に役立てたいと思っています。
- 授業を聞く時間、順番が自由で、自分の受けたいものから授業が聞けて良かった。また、レポートの提出もメールで簡単で良かったです。
- 研究テーマに相応しい授業科目であり、映像によりその内容が具体的に理解できて良かった。
- 普段はあまり意識しない環境のことを多少なりとも考えることができ、非常に役に立った。
- 化学が基礎であることが理解できた。
エコプラの基本が理解できた。
- 多彩な講師により、幅広い内容がカバーされていた。

改善点

- 毎回のレポートは少し負担が大きかった。三分の一くらいは小テストでも良かった。
- レポート分量多く、心理的負担が高かった。働きながら他の科目も取りながらこの分量をこなすのは難しく、挫折しました。
- 事例の分野が偏りすぎだと思います。
- 日本の環境問題だけでなく世界的な地球的な視点をもっと加えてほしいと思った。
- 教材をA4で印刷すると、例えば、第5回再生可能エネルギー24の図の文字が細かすぎて読めない。文字と数字を大きく。
- 画像や文字の大きさを見やすい大きさにしてほしい。
- 各回で専門家が講義を行っているが、内容が難しすぎてレポート課題の難易度と差が大きかったので、講義は殆ど参考にならなかった。
- バイオマス技術の実情について海外実例等もう少し入れてほしい。
- 倍速で視聴ができれば、復習に役立つ。
- オンライン授業であるのに、突然板書がでてきたのは少々おどろいた。それはそれで新鮮であるが、オンラインの特性を考えれば、検討の余地が残ると考える。
- 授業の内容をプリントアウトして学習したが、できれば印刷教材があれば、その分時間を有効に使えらと思いました。
- 通信教育の指導として、全体の総評ではなく、各章ごとにレポートの添削をしていただきたかったです。レポートと添削は、それでワンセットだと思います。
- 1つのレポートに何冊も本を読んで、まとめていたら時間がかかりすぎて難しかったです。

【大学院(OL)】「社会経営科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
大変勉強になった	7	オンライン授業:映像がありわかり易かった	2
視野が広がった	5	オンライン授業:複数の講師の話を聞いた	1
知識の整理や知識を深める事に役立った	4		
理解しやすかった	3		
今後に役に立つ内容だった	3		
自分のペースで勉強できた	1		
興味・関心が持てた	1		
身近に感じられる内容だった	1		
基礎的な知識を得られた	1		
		設問解答	
		意見	合計
		設問回答:レポートの提出が良かった	3

【大学院(OL)】「社会経営科学」

改善点

(単位:人)

科目全般		設問解答			
意見	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容が良くない	3	設問解答:課題の内容・量が適切ではない			6
難しい、高度すぎる、理解できない	1	設問解答:指導内容、コメント、対応に不満がある			1
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	1	設問解答:レポートが難しい			1

オンライン教材		テキスト・講義ノート	
意見	合計	意見	合計
オンライン授業:システム面の改善が必要	1	テキスト・講義ノート:文字・画像を大きくして欲しい	2
オンライン授業:構成・内容が良くなかった	1	テキスト・講義ノート:印刷した講義ノートがほしい	1

主な改善点の提案:集約

- 設問解答:課題の内容・量が適切ではない
- 構成・内容が良くない
- テキスト・講義ノート:文字・画像を大きくして欲しい

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい
- オンライン授業:システム面の改善が必要
- オンライン授業:構成・内容が良くなかった

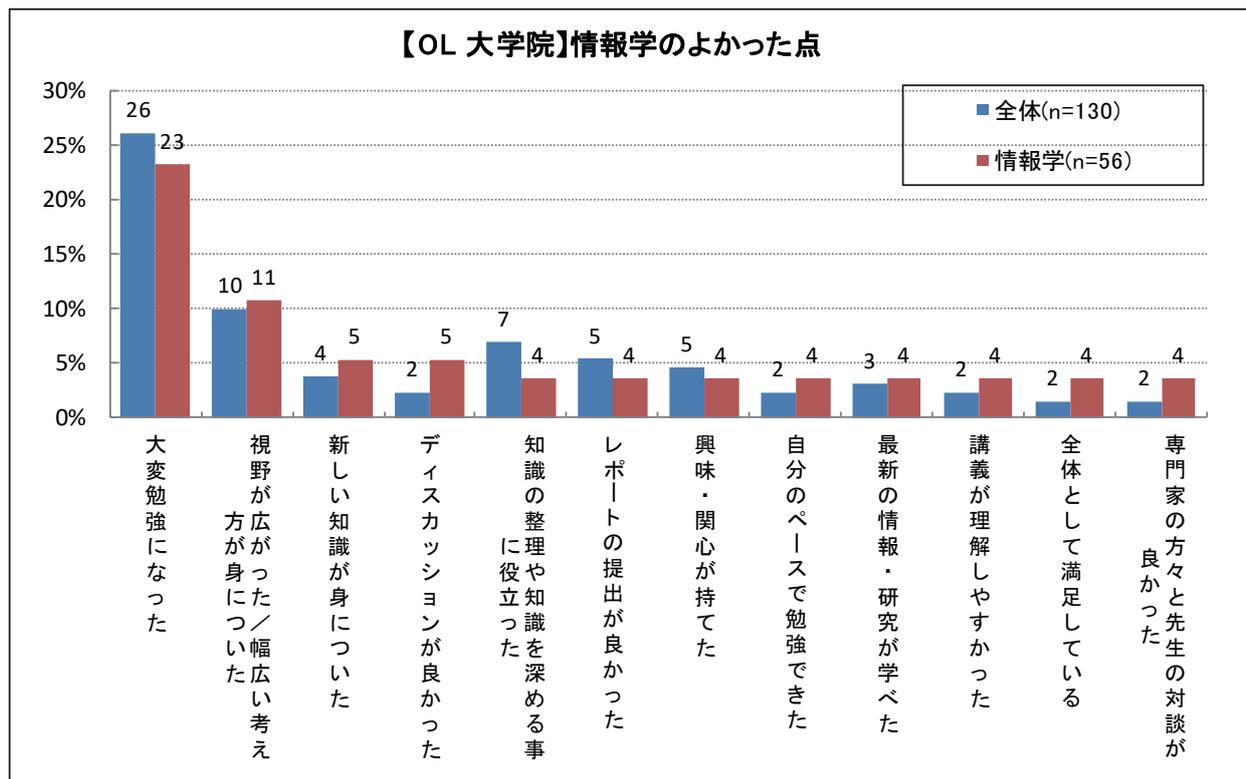
【大学院 (OL)】「情報学」の傾向

よかった点

最も多かったのは「大変勉強になった」で、23%に達しており、「視野が広がった／幅広い考え方が身についた」が11%と続いた。

それ以外は5%以下で多くの回答が挙げられていた。

図2-121 【大学院 (OL)】よかった点



※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

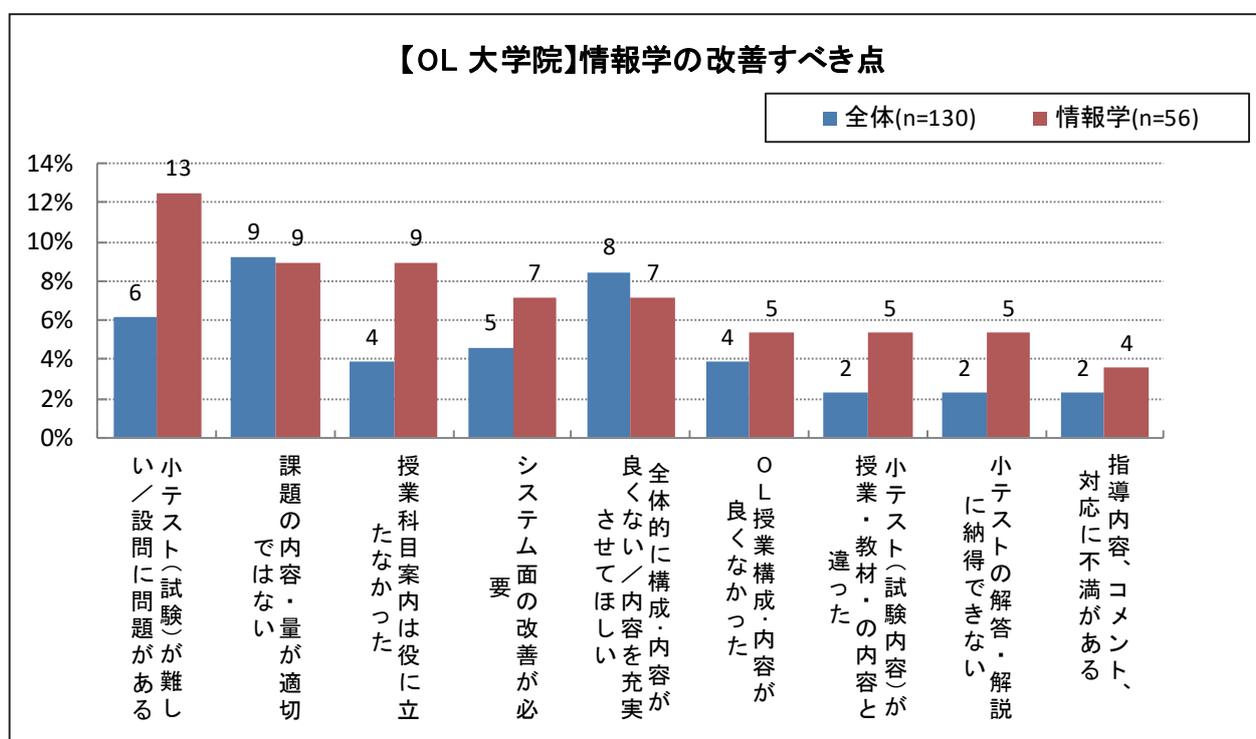
【大学院（OL）】「情報学」の傾向

改善点

「小テスト（試験）が難しい／設問に問題がある」が最も多く13%、他に「課題の内容・量が適切でない」「授業科目案内は役に立たなかった」がそれぞれ9%、「システム面の改善が必要」「全体的に構成・内容が良くない／内容を充実させてほしい」がそれぞれ7%と続いた。

「小テスト（試験）が難しい／設問に問題がある」と「授業科目案内は役に立たなかった／内容が不十分だった」は全体を上回っていた。

図2-122 【大学院（OL）】改善すべき点



※当該科目で回答された内容（項目）が4%（回答数2件）以上のものを掲載

【大学院 (OL)】「情報学」 抜粋

よかった点

- 文化人類学を勉強している者として、ICTの活用が文化変容にどのように影響を与えてくるかは、非常に興味があるテーマだったので、体系的にそこが学べてよかった。
- コンピュータ技術の発展により社会がどのような影響を受けるのかに興味があり、網羅的に各方面での業績を知ることができたのはよかった。
- 現在普及しているにも関わらず全く知らなかった知識が得られ、また未来への展望や課題が見えてきたこと。
- 自由に投稿できるページがあり、毎回、投稿するのが楽しかった。他の受講生の方の投稿を読むのも大変参考になり、楽しかった。
- 仕事のプロジェクトが佳境な時(2~3週間)は全く学習時間が持てなかったが、その後、それを挽回するような形で、自分なりにスケジュールを組めたのは助かった。
- IT技術についての知識にとどまらず、関連する浅くも広い知識に興味を持つことが出来たことが大きい。興味を持つことさえできれば、知識を深めることは難しくない。
- ICTに対する不安や抵抗感を漠然ともっていましたが、授業では危険性とデメリットを学ぶことができ、漠然とした気持ちが少しクリアになりました。
- 現代のデジタルメディアの最先端を学習できる講義であった。受講してよかったと思っている。
- 青木先生の授業が受けられてよかった。分かりやすく馴染みやすいトピックが例としてあげられ、よかったです。
- 時々あった専門家の方々と先生の対談が興味深く、講義内容の理解がより深まり、良かった。
- 他の学生とのコミュニケーションが取れ、インタラクティブに学ぶことができた。特に中間レポートを相互に評価する方法はとても良いと考える。
- オンライン授業というものを始めて体験しましたが、毎回の課題を通じて意欲的に取り組むことができたと思いました。

改善点

- 小テストの内容が理解度を測るというより、講義内容の間違い探的な感じでわざとらしい引っ掛け問題などの意図を感じました。やめたほうが良いと思います。
- ディスカッションと言いつつ、実際は小レポートのような課題の提出だったことは誤解を招くと感じた。シラバスにディスカッションではなく小レポートと記載した方が良いと思う。
- 第15回の講義で毎回課題を要求されている点、半分の回数くらいでもよいのではないのでしょうか。
- 学部の授業がスライドされていた。院の授業という実感がなかった。授業構成に改善点があると感じた。
- 一定の時間が経過すると、ディスカッションなどが閲覧できなくなるのが残念です。
- 映像が学部の教材と共有だが、章ごとに分割した映像としてもらいたい。
- 小テストの設問はかなり無理のある内容が多かった。授業では触れなかった事に関する設問も多く、またその内容も明確に答えを判断する事が出来ないものも多かった。
- 小問題の解答に納得できないものが結構あった。これが評価に影響するので残念である。
- 話し方、早口で聞き取れないこともありました。
- 教材を印刷しましたが、字が小さくて読めませんでした。

【大学院(OL)】「情報」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
大変勉強になった	13	オンライン授業:講義が理解しやすかった	2
視野が広がった	6	オンライン授業:専門家の方々と先生の対談が良かった	2
新しい知識が身についた	3	オンライン授業:受講しやすい環境だった	1
全体として満足している	2	オンライン授業:楽しかった	1
自分のペースで勉強できた	2	オンライン授業:講師の解説、指導が良かった	1
興味・関心が持てた	2		
知識の整理や知識を深める事に役立った	2		
最新の情報・研究が学べた	2		
理解しやすかった	1		
学習意欲・知識欲がわいた	1		
今後に役に立つ内容だった	1		
教材がこれからも活用できる	1		

設問解答	
意見	合計
設問回答:ディスカッションが良かった	3
設問回答:レポートの提出が良かった	2

【大学院(OL)】「情報」

改善点

(単位:人)

科目全般		設問解答		
意見	合計	意見	テレビ	ラジオ 合計
授業科目案内は役に立たなかった	5	設問解答:小テスト(試験)が難しい		7
構成・内容が良くない	4	設問解答:課題の内容・量が適切ではない		5
難しい、高度すぎる、理解できない	1	設問解答:小テスト(試験内容)が授業・教材の内容と違った		3
内容の詰め込みすぎ	1	設問解答:小テストの解答・解説に納得できない		3
		設問解答:指導内容、コメント、対応に不満がある		2
		設問解答:レポートが難しい		1
		設問解答:ディスカッションのルール・整理が必要		1

オンライン教材		テレビ	ラジオ	合計
意見				
オンライン授業:システム面の改善が必要	4			
オンライン授業:構成・内容が良くなかった	3			
オンライン授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい	1			

テキスト・講義ノート	
意見	合計
テキスト・講義ノート:講義ノート等、印刷したPDF資料が見づらい	1
テキスト・講義ノート:文字・画像を大きくして欲しい	1

主な改善点の提案:集約
●設問解答:小テスト(試験)が難しい
●授業科目案内は役に立たなかった
●設問解答:課題の内容・量が適切ではない
●構成・内容が良くない
●オンライン授業:システム面の改善が必要
●オンライン授業:構成・内容が良くなかった
●設問解答:小テスト(試験内容)が授業・教材の内容と違った

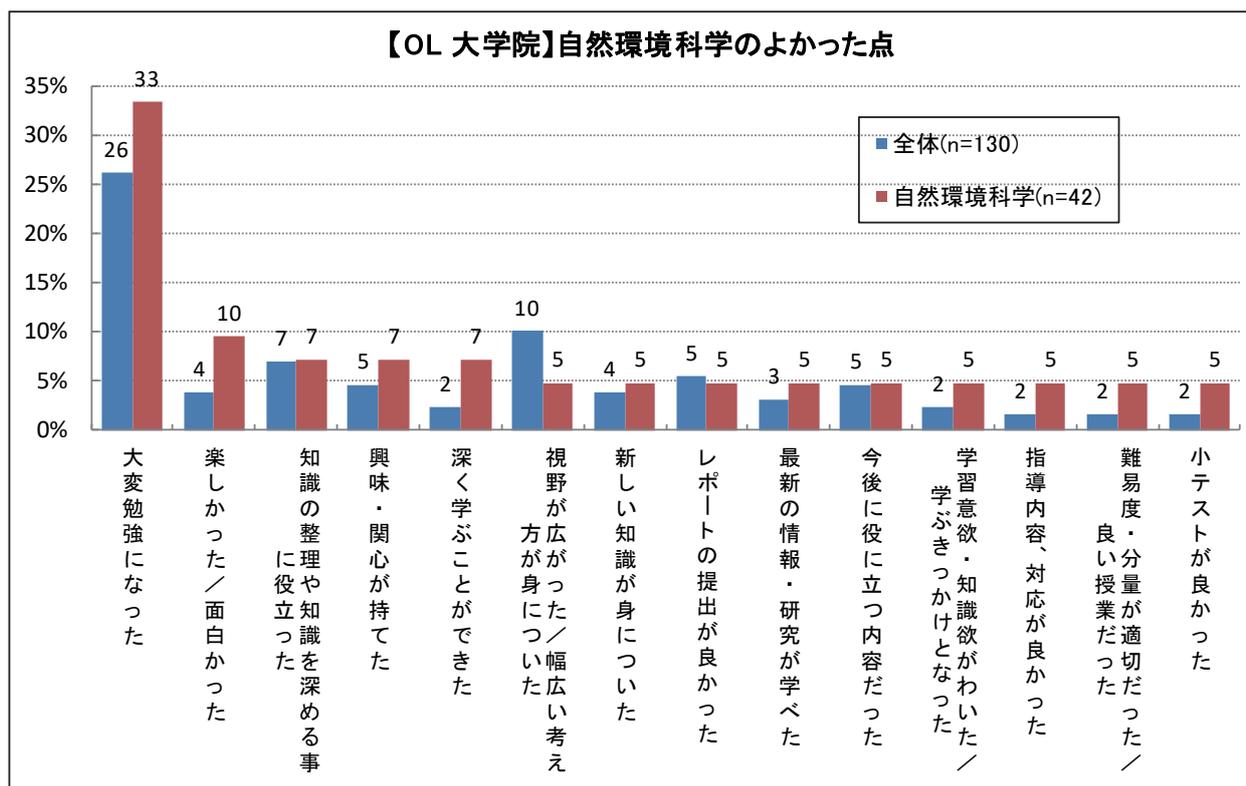
【大学院 (OL)】「自然環境科学」の傾向

よかった点

最も多かったのは「大変勉強になった」が33%と際立ったおり、次いで「楽しかった／面白かった」が10%に達し、この2項目は全体を大きく上回っていた。

その他は7%以下であったが、多くの意見が挙げられていた。

図2-123 【大学院 (OL)】よかった点



※当該科目で回答された内容(項目)が3%以上のものを掲載

【大学院 (OL)】「自然環境科学」の傾向

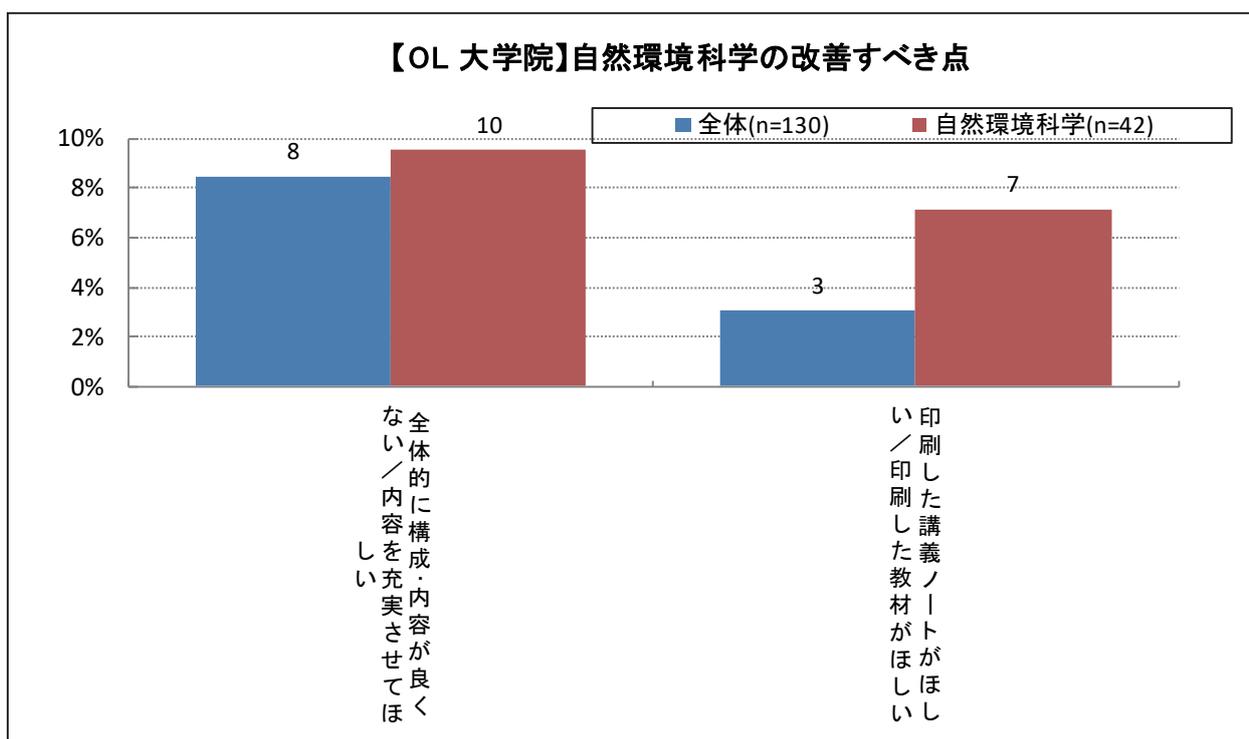
改善点

「全体的に構成・内容が良くない／内容を充実させて欲しい」が10%に達し、「印刷した講義ノートがほしい／印刷した教材がほしい」も7%から挙げられた。

「印刷した講義ノートがほしい／印刷した教材がほしい」は全体を上回っていた。

「自然環境科学」の改善点は、5%を超える項目はこの2項目だけであった。

図2-124 【大学院 (OL)】改善すべき点



※当該科目で回答された内容(項目)が5%(回答数2件)以上のものを掲載

【大学院 (0L)】「自然環境科学」抜粋

よかった点

- 何を調査のターゲットとするかによりませんが、野外生物調査を意味のある形にするためには、相当な時間と労力を必要とすることがよくわかりました。
- 地球形成について、岩石学、堆積学、地質学、宇宙まで、広範囲に学ぶことができた。
- 今回の科目は、岩石を読む(1)～(3)が特に楽しく学習できました。
- 生成された鉱物から地球内部の状態がわかることや、薄片から鉱物名を特定できる方法が詳しく解説されていて、興味が持てた。
- これまで野外調査を行ってきたが、受講を通して、調査方法や植物の分類についてあいまいだった点のはっきりした。
- 昨年履修した、「宇宙・地球、そして人類」の際に理解不足だったところが、復習になる部分もあり、理解に助かった。
- 植生調査、鳥類調査、水生昆虫調査の方法等を具体的に学ぶことができてよかったです。文献探索の仕方、樹木の分類方法、野外調査における安全管理など、大変参考になりました。
- 調査のリスクを深く考えることができるようになった。まったく知らなかった植物や鳥類の調査方法がよくわかった。
- ずっと地質を学びたいと思っていましたので、地球史全体を学べる講義はとても魅力的でした。この講義をきっかけにして、様々な関連本を読み、知識を深めていきたいと感じました。
- 野外調査について、参考になることが多かった。今後の論文作成や仕事にいかしていきたいと思います。
- 講義動画、小テスト、レポートと全てにおいて、他では学ぶことが出来ないと思われるような素晴らしい授業を経験することができた。
- 加藤和弘先生の非常にきめ細かいご指導に感謝申し上げます。レポートの評価でいただいたコメントは、今後進める研究の糧にしたい。

改善点

- 生物の中で、昆虫がありませんでした。その点は残念です。
- 自然系の中で、特に地学系の講義が少ないので、ひとくくりせず、岩石学、堆積学、地質学、宇宙と、それらに加えてたとえば「古生物学」などを学べるとありがたい。
- やはり放送授業と同じように印刷教材があった方が復習時に便利である。
- 授業のプリントが非常に多いように感じられます。私自身途中から Ipad で PDF を読み込ませて利用していましたが、正直紙であればもう少し簡潔な内容にしていれば幸いです。
- 大学院生の中には、学部の講義を受けていないままに受講する方が大勢おられると思います。そういった方たち向けに、もう少し用語解説などの工夫をして欲しいと思います。要は、基本が分からないと講義そのものを聞いていてもよく理解できないと感じたからです。
- 一科目で、これだけのボリュームを網羅することはどうかと思われる。
- もう少し、狭く、深く掘り下げてもよいのでは。
- 新しい学問を開拓する意識が講師からは感じるできませんでした。ダークマターと地球誕生の関係について素粒子物理学の研究者は言及しています。また、地球の内部を探索する方法についても新しい手法を開発することが可能になると私は期待しています。しかし、今回の科目を通して、今後の研究テーマの発見やイノベーションに関わる実践などをイメージすることが私にはできませんでした。

【大学院(OL)】「自然環境科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
大変勉強になった	14	オンライン授業:良い授業だった	2
楽しかった	3	オンライン授業:受講しやすい環境だった	1
興味・関心が持てた	3	オンライン授業:内容が良かった	1
知識の整理や知識を深める事に役立った	3	オンライン授業:楽しかった	1
深く学ぶ(勉強する)ことができた	3	オンライン授業:講義が理解しやすかった	1
新しい知識が身についた	2	オンライン授業:講師の解説、指導が良かった	1
学習意欲・知識欲がわいた	2	オンライン授業:講義ノートで繰り返し学べる	1
視野が広がった	2		
今後に役に立つ内容だった	2		
最新の情報・研究が学べた	2		
理解しやすかった	1		
身近に感じられる内容だった	1		
自分の意見・考えが持てるようになった	1		
専門的な内容だった	1		
具体的な事例・実践的な内容があった	1		
資料・データが充実していた	1		
		設問解答	
		意見	合計
		設問回答:指導内容、対応が良かった	2
		設問回答:レポートの提出が良かった	2
		設問回答:小テストが良かった	2

【大学院(OL)】「自然環境科学」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン授業		
意見	合計	意見	テレビ	ラジオ 合計
構成・内容が良くない	4	オンライン授業:システム面の改善が必要		1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	オンライン授業:構成・内容が良くなかった		1
内容の詰め込みすぎ	1	オンライン授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい		1
内容が浅い	1			
最新の内容を講義してほしい	1			
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	1			
		印刷教材		
		意見		合計
		設問解答:課題の内容・量が適切ではない		1
		設問解答:小テスト(試験)が難しい		1

主な改善点の提案:集約

- 構成・内容が良くない
- テキスト・講義ノート:印刷した講義ノートがほしい
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい

- 内容の詰め込みすぎ
- 内容が浅い
- 最新の内容を講義してほしい
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい

付録) 2019 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

1. 調査の概要

(1) 調査目的 自己点検・評価の一環として、本学学生の授業に関する理解状況等を把握することにより、本学における教育内容及び方法の改善に資すること

(2) 調査方法 システムWAKABAを用いたオンライン調査

(3) 調査対象

① 対象科目

【学部】

	基盤科目	基盤科目(外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境
R1(2019)	2	2	8	5	12	8	6	7

夏季集中 科目(看護)	計
2	52

【大学院】

	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	人文学	情報学	自然環境科学	計
R1(2019)	3	1	3	1	2	1	11

① 対象者 2019年度第1学期履修登録者

(4) 調査時期 調査期間:7月19日 ~ 9月30日
調査結果の集計: 10月

2. 集計結果

(1) 回収状況

	標本数(人)			有効回答数(人)			回収率		
	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院
R1(2019)	28,420	27,392	1,028	4,900	4,550	350	17.2%	16.6%	34.0%

調査期間と標本数をお知らせ下さい。⊗

付録) 2019 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(2) 回答者の属性

【学部】

年次	新コース所属全科履修生						全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境			
2017	12.6%	21.5%	11.0%	11.1%	4.1%	10.3%	75.3%	17.7%	6.1%
	旧専攻所属全科履修生								
2018	2.5%	0.5%	0.3%	0.2%	0.4%	0.7%	83.0%	13.2%	3.8%
	新コース所属全科履修生								
2019	13.3%	25.3%	10.3%	15.1%	9.7%	8.6%	74.6%	16.9%	8.5%
	旧専攻所属全科履修生								

年次	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2017	48.2%	50.2%	0.4%	6.8%	11.1%	20.5%	19.1%	27.0%	14.7%
2018	51.3%	48.7%	0.3%	5.9%	12.1%	25.8%	27.6%	23.3%	5.0%
2019	46.8%	53.2%	1.4%	6.7%	11.5%	21.6%	26.9%	21.5%	10.4%

(2) 回答者の属性

【大学院】

年次	新プログラム所属修士全科学								修士全科学 (計)	修士選科学	修士科目生
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営学科	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学			
2017	3.0%	4.1%	5.0%	6.5%	-	7.5%	1.3%	0.9%	28.6%	62.6%	7.7%
	旧プログラム所属修士全科学										
2018	0.1%	-	-	-	-	0.3%	53.9%	42.1%	53.9%	42.1%	3.9%
	新プログラム所属修士全科学										
2019	7.9%	15.8%	2.6%	13.2%	-	1.3%	11.8%	1.3%	36.3%	57.4%	6.3%
	旧プログラム所属修士全科学										

年次	性別		年齢別					
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2017	51.1%	46.4%	1.6%	9.2%	17.2%	30.1%	30.8%	10.6%
2018	73.7%	26.3%	5.3%	28.9%	19.7%	32.9%	6.6%	6.6%
2019	54.9%	45.1%	3.1%	14.3%	22.6%	28.9%	25.4%	5.7%

付録) 2019 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【学部】

①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
2017	3.14	3.14	3.13	3.23	3.23	3.23	3.20	3.18	3.23	3.21	3.27	3.16	3.18	3.19	3.18	3.28	3.28	3.27	3.28	3.26	3.30
2018	3.36	3.39	3.31	3.32	3.33	3.31	3.28	3.26	3.31	3.35	3.40	3.27	3.27	3.31	3.22	3.33	3.32	3.35	3.38	3.37	3.38
2019	3.30	3.29	3.31	3.32	3.29	3.36	3.27	3.24	3.32	3.31	3.32	3.31	3.30	3.28	3.34	3.31	3.26	3.39	3.39	3.34	3.45

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		コース・科目区分別						
	全対象科目	TV	R	基盤科目	基盤科目(外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報
2017	3.26(3.50~3.02)	3.24	3.29	3.44	3.02	3.36	3.23	3.25	3.31	3.13
2018	3.39(3.86~2.00)	3.40	3.38	3.11	3.35	3.46	3.44	3.36	3.59	3.22
2019	3.32(3.87~2.35)	3.29	3.36	3.43	2.83	3.44	3.29	3.28	3.24	3.23

※()内の値は「最高値～最低値」

コース・科目区分別		
自然と環境	夏季集中科目(司書)	夏季集中科目(看護)
3.25	3.50	-
3.37	-	3.09
3.26	-	3.09

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
2017	3.23	3.29	2.82	3.24	3.24	3.31	3.21	3.26	3.30
2018	3.36	3.42	3.50	3.35	3.38	3.37	3.44	3.38	3.36
2019	3.27	3.36	3.40	3.28	3.29	3.31	3.36	3.30	3.28

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【大学院】

①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
2017	3.24	-	3.24	3.33	-	3.33	3.36	-	3.36	3.29	-	3.29	3.27	-	3.27	3.31	-	3.31	3.38	-	3.38
2018	3.46	-	3.46	3.27	-	3.27	3.39	-	3.39	3.26	-	3.26	3.25	-	3.25	3.163	-	3.16	3.39	-	3.39
2019	3.38	-	3.38	3.43	-	3.43	3.45	-	3.45	3.38	-	3.38	3.39	-	3.39	3.39	-	3.39	3.55	-	3.55

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		コース・科目区分別						
	全対象科目	TV	R	生活健康科学	人間発達科学	人文学	情報学	臨床心理学	自然環境科学	社会経営科学
2017	3.38(3.30~3.48)	-	3.38	3.43	3.34	3.33	3.48	3.47	-	3.30
2018	3.36(3.82~2.75)	-	3.36	3.14	3.40	-	2.92	3.25	-	3.59
2019	3.43(3.84~2.17)	-	3.43	3.36	3.55	3.51	3.09	3.52	3.00	-

※()内の値は「最高値～最低値」

	性別		年齢別						
	男	女	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
2017	3.37	3.39	3.00	3.37	3.47	3.43	3.29	3.36	
2018	3.43	3.15	3.50	3.64	3.20	3.24	3.80	2.60	
2019	3.37	3.50	3.63	3.40	3.42	3.49	3.39	3.30	

(参考)集計方法について

各質問項目について、「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」の回答をそれぞれ4、3、2、1の4段階の数値をあて、平均値を出し集計している。

2019年度学生による授業評価の調査結果一覧表 【2019年度新規開設科目】(単純集計1 平均評点) コース・科目区別、プログラム別

	回収状況			取組み姿勢				難易度・分量					放送授業					印刷教材					通信指導・単位認定試験					全体評価					授業にかか る評点 (B1- B20) の平均	全体 (A1-B20) の平均	
	調査 対象者数	回答者数	回収率	A-1	A-2	A-3	項目 平均	B-1	B-2	B-3	B-4	項目 平均	B-5	B-6	B-7	B-8	項目 平均	B-9	B-10	B-11	B-12	項目 平均	B-13	B-14	B-15	項目 平均	B-16	B-17	B-18	B-19	B-20	項目 平均			
学部	全科目平均	27,392	4,550	16.6%	3.38	3.15	3.36	3.30	3.23	3.27	3.27	3.31	3.27	3.28	3.45	3.33	3.19	3.31	3.33	3.29	3.24	3.35	3.30	3.33	3.39	3.22	3.31	3.34	3.42	3.56	3.23	3.38	3.39	3.32	3.32
	科目最高値				3.63	3.51	3.58	3.54	3.61	3.63	3.63	3.66	3.63	3.74	3.83	3.74	3.70	3.69	3.66	3.75	3.66	3.73	3.68	3.69	3.73	3.60	3.65	3.62	3.82	3.87	3.63	3.82	3.74	3.66	3.64
	科目最低値				2.97	2.70	2.83	2.93	2.36	2.36	2.50	2.53	2.44	2.50	3.03	2.71	2.54	2.83	2.67	2.50	2.35	2.86	2.75	2.70	2.75	2.47	2.68	2.84	2.92	3.00	2.42	2.67	2.85	2.72	2.75
	テレビ科目(TV)平均	15,659	2,783	17.8%	3.36	3.19	3.32	3.29	3.20	3.25	3.22	3.27	3.24	3.26	3.45	3.32	3.23	3.32	3.31	3.24	3.26	3.31	3.28	3.29	3.34	3.16	3.26	3.30	3.39	3.52	3.17	3.34	3.34	3.29	3.29
	ラジオ(R)平均	11,733	1,767	15.1%	3.42	3.08	3.43	3.31	3.28	3.30	3.34	3.37	3.32	3.32	3.47	3.34	3.11	3.31	3.36	3.37	3.21	3.40	3.34	3.40	3.46	3.32	3.39	3.40	3.47	3.62	3.32	3.45	3.45	3.37	3.36
	「基盤科目」項目平均	3,214	604	18.8%	3.35	3.20	3.35	3.30	3.38	3.43	3.46	3.48	3.44	3.44	3.54	3.46	3.28	3.43	3.46	3.50	3.49	3.51	3.49	3.40	3.46	3.36	3.41	3.41	3.49	3.56	3.37	3.51	3.47	3.45	3.43
	「基盤科目(外国語)」項目平均	338	48	14.2%	3.00	2.81	2.98	2.93	2.52	2.48	2.63	2.60	2.56	2.65	3.21	2.98	2.88	2.93	2.83	2.56	2.79	2.94	2.78	2.96	2.88	2.58	2.81	3.02	3.02	3.42	2.60	2.81	2.97	2.82	2.83
	「生活と福祉」項目平均	5,941	970	16.3%	3.48	3.13	3.46	3.36	3.39	3.39	3.45	3.47	3.43	3.41	3.48	3.44	3.27	3.40	3.39	3.46	3.36	3.47	3.42	3.42	3.52	3.39	3.44	3.49	3.54	3.65	3.45	3.56	3.54	3.45	3.44
	「心理と教育」項目平均	4,209	780	18.5%	3.41	3.06	3.44	3.30	3.17	3.20	3.23	3.27	3.22	3.23	3.36	3.27	3.11	3.24	3.28	3.25	3.26	3.32	3.28	3.38	3.44	3.19	3.34	3.35	3.36	3.56	3.22	3.36	3.37	3.29	3.29
	「社会と産業」項目平均	2,571	505	19.6%	3.38	3.15	3.36	3.30	3.20	3.28	3.24	3.32	3.26	3.22	3.39	3.23	3.10	3.24	3.33	3.25	3.16	3.30	3.26	3.31	3.37	3.18	3.29	3.30	3.40	3.50	3.20	3.34	3.35	3.28	3.28
	「人間と文化」項目平均	4,317	949	22.0%	3.33	3.21	3.33	3.29	3.14	3.17	3.18	3.18	3.17	3.18	3.50	3.28	3.17	3.28	3.29	3.18	3.05	3.26	3.20	3.27	3.28	3.07	3.21	3.23	3.37	3.54	3.10	3.25	3.30	3.23	3.24
	「情報」項目平均	1,438	307	21.3%	3.27	3.17	3.24	3.23	3.12	3.25	3.10	3.24	3.18	3.19	3.42	3.21	3.22	3.26	3.26	3.16	3.20	3.21	3.21	3.23	3.29	3.19	3.24	3.25	3.31	3.47	3.02	3.28	3.27	3.23	3.23
	「自然と環境」項目平均	1,467	333	22.7%	3.36	3.17	3.20	3.24	3.16	3.22	3.06	3.19	3.16	3.29	3.48	3.33	3.20	3.33	3.30	3.10	3.23	3.26	3.22	3.22	3.28	3.20	3.23	3.29	3.41	3.57	3.11	3.35	3.35	3.26	3.26
「夏季集中科目」項目平均	3,897	54	1.4%	3.30	2.93	3.37	3.20	3.04	2.98	3.11	3.11	3.06	3.15	3.19	3.13	2.74	3.05	3.04	3.09	3.07	3.11	3.08	3.20	3.13	2.89	3.07	3.09	3.11	3.28	3.04	3.04	3.11	3.08	3.09	
大学院	全科目平均	1,028	350	34.0%	3.48	3.11	3.55	3.38	3.41	3.43	3.46	3.48	3.45	3.41	3.59	3.40	3.13	3.38	3.39	3.45	3.27	3.46	3.39	3.39	3.45	3.32	3.39	3.49	3.58	3.67	3.43	3.58	3.55	3.44	3.43
	科目最高値				3.65	3.39	3.76	3.60	3.58	3.62	3.64	3.67	3.63	3.65	3.84	3.65	3.57	3.68	3.65	3.67	3.46	3.71	3.62	3.51	3.58	3.52	3.54	3.67	3.68	3.84	3.62	3.80	3.72	3.65	3.64
	科目最低値				3.29	2.70	3.06	3.02	2.72	2.72	2.83	2.94	2.80	2.56	3.06	2.76	2.17	2.64	2.88	2.61	2.61	2.76	2.72	2.89	2.83	2.71	2.81	3.17	3.11	3.39	2.61	3.00	3.06	2.82	2.84
	「生活健康科学」項目平均	180	68	37.8%	3.49	2.87	3.54	3.30	3.34	3.32	3.40	3.47	3.38	3.28	3.40	3.26	3.07	3.25	3.38	3.41	3.29	3.47	3.39	3.32	3.40	3.28	3.33	3.41	3.46	3.59	3.38	3.44	3.46	3.37	3.36
	「人間発達科学」項目平均	94	45	47.9%	3.47	3.02	3.76	3.42	3.58	3.62	3.64	3.67	3.63	3.44	3.69	3.56	3.33	3.51	3.49	3.67	3.42	3.56	3.54	3.42	3.44	3.42	3.43	3.62	3.62	3.78	3.62	3.80	3.69	3.57	3.55
	「臨床心理学」項目平均	536	159	29.7%	3.49	3.14	3.55	3.39	3.54	3.57	3.60	3.58	3.57	3.55	3.67	3.58	3.36	3.54	3.45	3.55	3.33	3.58	3.48	3.49	3.54	3.40	3.48	3.52	3.67	3.69	3.53	3.65	3.61	3.54	3.52
	「人文学」項目平均	77	31	40.3%	3.55	3.39	3.65	3.53	3.42	3.45	3.35	3.42	3.41	3.55	3.84	3.39	2.94	3.43	3.52	3.58	3.35	3.45	3.48	3.45	3.58	3.52	3.52	3.61	3.68	3.84	3.52	3.74	3.68	3.51	3.51
	「情報学」項目平均	86	30	34.9%	3.43	3.17	3.47	3.36	2.90	2.87	3.00	3.10	2.97	2.87	3.33	2.93	2.50	2.91	3.10	2.87	2.87	3.00	2.96	3.13	3.13	3.00	3.09	3.37	3.30	3.53	3.00	3.27	3.29	3.05	3.09
「自然環境科学」項目平均	55	17	30.9%	3.29	3.35	3.06	3.23	2.94	3.00	3.00	2.94	2.97	3.18	3.35	2.76	2.18	2.87	2.88	2.88	2.82	2.76	2.84	3.06	3.06	2.71	2.94	3.24	3.41	3.41	2.71	3.12	3.18	2.97	3.00	

(注) 平均評点は、調査票の選択肢「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

2019年度学生による授業評価調査票 (学部)

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(20)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。(この面が済みましたら、裏面にもお答えください。)

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

＜授業の難易度・分量＞					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
＜放送授業＞					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	講師の熱意が十分に伝わった。	4	3	2	1
(7)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(8)	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
＜印刷教材＞					
(9)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(10)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(11)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(12)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
＜通信指導・単位認定試験＞					
(13)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(14)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(15)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
＜全体評価＞					
(16)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(17)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(18)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(19)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(学部)

- (1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

- (2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

- (3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見や感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	<p>【全科履修生 新コース所属の方】</p> <p>1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境</p> <p>【全科履修生 旧専攻所属の方】</p> <p>7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解</p> <p>【選科履修生・科目履修生】</p> <p>13. 選科履修生 14. 科目履修生</p>
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

授業評価の組織的な活用

